

# 青 年 へ の 使 命

「あなたの若い日に、あなたの  
造り主を覚えよ」

エレン・G・ホワイト

福音社編集部訳

福 音 社

# MESSAGES

TO YOUNG PEOPLE

By

Ellen G. White

"Remember now thy Creator  
in the days of thy youth."

Printed and Published by

JAPANS.D.A.PUBLISHING HOUSE

1966Kamikawai-machi,Hodogaya-ku

Yokohama, Japan

# はしがき

昔、エルサレムが再建されるとき、預言者ゼカリヤは、異象の中で、ひとりの天使が他の天使に、「走って行って、あの若い人に言いなさい」と告げているのを聞きました（ゼカリヤ書二ノ四）。今日においても同様に、再臨運動の青年男女は、地上歴史の終幕において果すべき重要な役割を与えられています。

「主は青年たちをご自分の助手として任命されました」（教会へのあかし・第七巻・六四ページ）。「正しく訓練されたわが青少年たちから成るこのような働き人の軍勢が与えられるとき、十字架につけられ、よみがえり、まもなくおいでになる救い主の使命は、どんなにすみやかに全世界にのべ伝えられることでしょう」（教育・三三七ページ）。

このようなメッセージは、この働きが始められた時から、預言の霊を通して再臨運動の青年

に与えられてきました。この賜物をあらわすために主から選ばれた器であるホワイト夫人が、その働きを始めたのはたった十七才の少女の時でした。彼女は暗黒の勢力と戦う少年や青年の苦闘を知っており、またキリストのうちにある勝利を知っていました。彼女のペンによって、教えと同情と譴責と励ましの多くのメッセージが、直接に若い人たちにあてて書かれました。こうしたメッセージは、りっぱなクリスチャン品性を築く上に力のみなものであるキリストとそのみことばに青少年たちの心を向け、わが多くの青年たちのうちに目立っている献身の精神を養うのに大きな力となってきました。

わが青少年をクリスチャンの働きのためにグループと会の組織にしなければならないということを示唆したメッセージが与えられたのは一八九二年と一八九三年でした。この示唆から青年篤志伝道会が発展し、それは全世界のアドベンチスト青年の生活を高め、維持する力となりました。

わが青少年のためにホワイト夫人が書かれた多くのことは本に発表されましたが、ユース・インストラクターやその他に載せられた多くの記事は恒久的な形となって保存されていません。これらの教えはとうとい遺産であって、今日のすべての青年の手になければならないものです。

そこで世界総会青年部局では、ホワイト夫人の働きの初めから定期刊行物に書かれたものを全部調べて青年とその問題に関係のある記事を選び出しました。記事の全部を収録することはできませんでしたが、取り扱われている問題について筆者の思想を明瞭に伝えるように、その選択に注意が払われました。教訓書としてバランスのとれたものとするために、すでに本の形になっ­ていながら、青年たちの間にあまり広く普及していないものからも多くの資料を収録しました。本書に載せられている記事の収集と配列には、エレン・G・ホワイト著書刊行会と青年部局とが一体となって当りました。

わが青年たちがこの本に興味を持つことによって、預言の霊を通してこの残りの教会に与えられたすべてのメッセージを、注意深く研究するようになられることを希望します。

全世界の再臨運動のわが青少年が、クリスチャン品性を完成し、「この時代に全世界に再臨使命を」という大事業の完結を促進する上に、このメッセージが大きな力となるように熱心に祈ってやみません。

# 目次

一、永遠につづく品性の形成（序論）	1
第一部 青年に対する神の御目的	

二、青年の召し	7
三、主をよろこばせることを求めよ	12
四、成功の標準	13
五、われらの機会の時代	19
六、到達しうる高さ	22
七、能率の標準	28
八、高きをめざして	32
九、神との協同	34

## 第二部 罪との戦い

[illegible]

第三部 勝利の獲得

二四、上へ向かつて前進・・・・・・・・・・・・・・・・・・87

二五、品性の完成・・・・・・・・・・・・・・・・・・91

二六、信仰の戦い・・・・・・・・・・・・・・・・・・94

二七、勝利をわがものに・・・・・・・・・・・・・・・・97

二八、強くなるには・・・・・・・・・・・・・・・・99

二九、勝利の生活・・・・・・・・・・・・・・・・102

三〇、生きた信仰・・・・・・・・・・・・・・・・104

三一、キリストとの結合・・・・・・・・・・・・・・・・112

第四部 光の中に歩む

三二、恩恵の中の成長・・・・・・・・・・・・・・・・115

三三、世に従うな・・・・・・・・・・・・・・・・120

三四、真のクリスチャン経験・・・・・・・・・・125

三五、修養・・・・・・・・・・・・・・・・128



[illegible]

四九、	クリスチャン教育の必要	169
五〇、	永遠のための教育	172
五一、	実際の訓練	173
五二、	学生の忠誠	177
五三、	学生の機会	178
五四、	奉仕に備える訓練	181
五五、	進歩への熱意	184
五六、	真の知恵	185
五七、	高い目標を立てよ	187
第六部 奉仕		
五八、	働き人として召された青年	193
五九、	救霊の責任	194
六〇、	キリストのための証言	195
六一、	個人的な働き	199

六二、	救霊者としての青年	200
六三、	各方面の奉仕	204
六四、	無私の奉仕	205
六五、	勤勉の報い	206
六六、	労働の尊厳	209
六七、	すべての水のほとりに種子をまけ	212
六八、	多方面の働き	214
六九、	神によるこばれる奉仕	221
七〇、	忠実な奉仕	223
第七部 健康と能率		
七一、	生活の科学	229
七二、	健康を守る	231
七三、	健康の神聖	232
七四、	均整のとれた教育	234

第八部 献身の生活

七五、健康を犠牲にした教育	235
七六、高潔のしるし	236
七七、祈りは私たちの砦	243
七八、祈りの力	245
七九、祈りの態度	247
八〇、信仰と祈り	248
八一、聖書研究の価値	249
八二、自分自身のために聖書を調べよ	254
八三、聖書研究における忍耐強い努力	255
八四、忠実な聖書研究の報い	258
八五、教育者としての聖書	259
八六、敬虔	261
八七、堅い基礎をもった希望	264

第九部 読書と音楽

八八、読書の選択・・・・・・・・・・・・・・・・・・

八九、エペソ人の模範・・・・・・・・・・・・・・・・

九〇、正しい知的食物・・・・・・・・・・・・・・・・

九一、最も興味のある本——聖書・・・・・・・・

九二、魂の道を守れ・・・・・・・・・・・・・・・・

九三、クリスチャンの品性を築く・・・・・・・・

九四、小説の影響・・・・・・・・・・・・・・・・

九五、音楽の利益・・・・・・・・・・・・・・・・

九六、音楽の用途・・・・・・・・・・・・・・・・

九七、音楽の悪用・・・・・・・・・・・・・・・・

第一〇部 家つかさの務

九八、経済上の教訓・・・・・・・・・・・・・・・・

九九、犠牲の精神・・・・・・・・・・・・・・・・

一〇〇、	什	一・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一〇一、	あなたの財産	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一〇二、	個人の責任	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一〇三、	クリスマスのプレゼント	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一〇四、	服装における経済	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一〇五、	自我の満足	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一〇六、	経済と慈善	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
第一部 家庭生活																						
一〇七、	クリスチャンの家庭	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一〇八、	家事に忠実なこと	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一〇九、	家庭における宗教	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一一〇、	家庭は訓練の学校	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一一一、	父母を敬い愛せよ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一二、	家庭における祝福	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		333	331	329	327	326	325			319	315	312	310	308	304	302						

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

# 序 論

## 一 永遠につづく品性の形成

私は若い人たちに深い関心を持っています。若い人たちがクリスチャンとしての品性を完成するために努力し、また神の働きにおいて、神に嘉納される奉仕をするのに必要な訓練を受けるために、勤勉に学び熱心に祈って努力しているのを見たいと心から望んでいます。私は、若い人たちが互に助けあって、一層高いクリスチャン経験の段階に達するのを見たいと熱望しています。

キリストは、人類家族に救いの道を教えるためにになりました。キリストは、救いの道をやさしくなさったので、小さな子供でもこの道を歩むことができます。キリストは、弟子たる私たちに、「せつに主を知ることが求めよう」と命じておられます。日々、神のみちびきに従うとき、「主はあしたの光のように必ず現われい」たもうことがわかります（ホセア書六ノ三）。

あなた方は、太陽がのぼって、地と空がだんだん明るくなっていくのをみたことがあるでしょう。東の空が少しずつ赤味をまし、やがて太陽が現われます。すると、光はだんだん強く明るくなって、ついに真昼の明るさになります。神はご自分の子らが、この美しいたとえのように、クリスチャン経験を完成することを望んでおられます。神のすべてのご要求に心から服従し、日々に、神から送

られる光のうちに歩むとき、私たちの経験は深く広くなり、やがてイエス・キリストのうちに一人前の大きさにまで成長するのです。

青年たちは、キリストの歩まれた道をいつも念頭におかなければなりません。その一步一步は勝利の道でした。キリストがこの世においでになったのは、王として国を治めるためではありませんでした。身分の低いお方としておいでになり、試みられて、これにうち勝ち、神を知ることにつとめられました。私たちもそうしなければなりません。キリストの一生を研究してみると、神がどんなにキリストを通して子らのために尽しておられるかがわかります。同時にまた、私たちの試練がどんなに大きくても、それは私たちに道と真理と生命を知らせるためにキリストが耐え忍ばれたことには、はるかにおよびないことがわかります。キリストの模範に一致した生活を送ることが、私たちのために払われたキリストの犠牲に対する感謝を表わすことになるのです。

若い人たちは、無限の価をもって、神のみ子の血潮によってあがなわれたのです。み子にこのような犠牲を払うことをお許しになった父なる神の犠牲を深く心に思ってください。キリストが一切を捨てて天の宮廷と王位を去り、人類のために、日々、犠牲の生活におはいりになったことを深く心に思ってください。キリストは非難と悪口をお受けになりました。キリストは悪人どもが侮辱と嘲りのかぎりを加えるのに耐えられました。そうして、地上の奉仕が終えられると、十字架の死をお受けになりました。十字架上のキリストの苦しみを思ってください。その両手両足にはくぎが打ちこまれ、救うためにおいでになったのに、かえってその人たちから嘲笑と悪口を浴びせられ、父なる神のみ顔さえ隠されたのです。しかし、これだけの苦しみがあってこそはじめてキリストは、

望む者にすべてを、神の生命にくらべうべき生命を与えることがおできになったのです。

## 忠 実 な 友

キリストは、父なる神のみもとに昇天されたとき、弟子たちを無力のままに放って置かれませんでした。キリストは優勢な敵に対して信仰のよき戦いをたたかっている者を助けるために、聖霊をご自分の代表としてまた天使たちを仕える霊としておつかわしになりました。イエスはあなた方を助けてくださるお方であることを、いつも忘れないでください。イエスほどあなた方の品性の特徴を理解してくださるお方は他にありません。キリストはあなた方を見守っておられます。キリストのみちびきを心から願うとき、キリストはあなた方のまわりに善への感化力を与えて、あなた方に対する神のみこころをなしとげてくださいます。

私たちはこの世において、来世への備えをしているのです。まもなく大調査があります。そのとき、クリスチャン品性の完成に努力している者はみな神の試問に合格しなければなりません。あなた方は他の人々の手本としても心配のない模範を示してきましたか。人間は最後に総決算をしなければなりません。あなたが、あなた方は人々の魂をそのような者として見守ってきましたか。天の軍勢は、青年たちに関心を示し、あなた方が試問に合格して、「良い忠実なしもべよ、……主人と一緒に喜んでくれ」との、おほめの言葉がいただけるように熱心に望んでいます（マタイ二五ノ二一）。

青年たちは、この世にあって永遠のために品性を築くべきで、神が彼らに最善を尽すように要求しておられることを忘れてはなりません。経験の古い者は若い者を見守り、もし彼が誘惑に陥って

いるのをみたら、自分のそばにょんで、心をあわせて彼のために祈りましょう。神は、キリストが救うためにおいになつた人類の救済に、私たちに関心を示すことによって、私たちのために払われたキリストの大犠牲をみとめるように望んでおられます。若い人たちがキリストを求めるとき、主は彼らの努力を効果のあるものとしてくださいます。

— E・G・ホワイト・ザ・ユース・インストラクター・一九一一年一月二一日

# 第一部

## 青年に対する神の御目的

この働きをすべての部門にわたって前進させるために神は青年の力と熱と勇気を求めておられます。神はみわざの前進を助けるために青年をえられました。はっきりした頭脳をもって計画し、勇気のある手で実行するには能力の衰えていない、新鮮なエネルギーが必要です。青年男女がその力を発揮することによって、また明敏な思想と活発な行動とによって、神に栄えを歸し、人類同胞に救いをもたらすことができるように、神は彼らの青年らしい力を神にささげるように求めておられます。

福音宣伝者・67ページ



## 一 青年の召し

神は、若い人たちが熱心な人となり、神のとうとい働きに活動する準備をし、責任をになうのにふさわしい者となるように望んでおられます。けがれのない心を持ち、強くて勇敢で、神のみ栄えを表わし人類に祝福をもたらすために目の前の戦いを雄々しくたたかう決心をしている青年を、神は召しておられます。青年たちが聖書を学び、血気にはやる思いを静め、創造主であり贖罪主である神のみ声にききたがいさえすれば、彼らは、神との和らぎの中にあるばかりでなく、また自分自身が高潔になり向上したことに気がつきます。若き方々よ、神のみことばの中の教えに注意を払うことは、あなた方の永遠の生死にかかわりがあるのです。それはあなた方にとって測り知ることのできないほど重要な教えです。

神の霊に支配されない、わがままな生活を送ることがどんな結果になるかということをおあなた方が賢明に考慮されるように望みます。「まちがってはいけない、神は侮られるようなかたではない。人は自分のまいたものを、刈り取ることになる。すなわち、自分の肉にまく者は、肉から滅びを刈り取り」とあります（ガラテヤ六ノ七、八）。自分自身の魂のために、また、あなた方を滅亡から救うべくご自身を与えられたキリストのために、人生の出発にあたって、自分の責任、自分の機会、また自分の可能性について、よく考えてみてください。神は、とうとい天命に応ずる機会をおあなた方にお与えになりました。あなた方のおよぼす感化は、神の真理にとって力があります。あなた方は人類の救済というとうとい働きにおいて、神との共労者となれるのです。...

## とうとい運命への召し

青年たちが、自分の召されているとうとい運命を認識するように望みます。あなた方の歩いている道をよく考えてください。高い聖なる目的をもつて自分の働きを始め、神の恩恵の能力によつて、公正という道から離れないように決心してください。いったん方向を誤ると一步一步に危険と不幸が伴い、真理と安全と成功の道から迷い出てしまいます。天来の力によつて、知的能力が強められ、道徳的能力がめざまげなければなりません。

神の働きには、人の最高の能力が必要で、多くの伝道地では、教育のある青年が緊急に必要です。いまや刈り入れを待っている広い伝道地で働くのに信頼することのできる人々が必要です。青年が全的に神に献身し、悪徳や不純な行為にけがれていなければ、その才能は平凡であっても、神のために大きな働きをなすことができます。青年は、自分に与えられる訓戒を心にとめ、まじめでなければなりません。

神から与えられた力を、愚かなことや、したい放題なことに浪費してしまった青年がどんなに多いことでしょう。悪習慣に身をゆだねたために知的にも道徳的にも肉体的にも人生の敗残者となった青年の痛ましい実例を、私はどのくらい見せられているかわかりません。無法な享樂にふけるために、彼らの肉体は破壊され、一生役に立たない人間になってしまふのです。

私は、今日の不注意な、思慮のない青年たちが心を入れかえて、神と共なる働き人となるように望んでいます。他人を祝福し救うことを、あなた方の一生の勉強としてください。神に助けを求め

るならば、あなた方の内に働く神の能力は、敵の勢力をうちくだき、あなた方は真理を通してきよめられた者となるのです。罪は、今日の若い人々の間に、おどろくほどはびこっています。しかし、魂をサタンの能力から救うために、最善をつくすことが、あなた方の目的でなければなりません。

光をになう者となれ

どこに行くにも、光を伝達なさい。力強い目的を持つていることを、また悪友たちの誘惑にすぐ負けてしまうような意志の弱い人間ではないことを示しなさい。神をけがす人たちの言うことにすぐ同意するようなことをしないで、かえって、罪の中にある魂の悔い改めと矯正と救いにつとめなさい。

自分で自分に反抗している者を、祈りに訴え、柔和とけんその精神で説得なさい。ひとりの魂が、過失から救われてキリストの旗の下につれてこられると、天にはよろこびが起り、あなた方のよろこびの冠には、星がつけられます。救われた魂は、自分の敬虔な感化力を通して、また他の魂を救いの知識にみちびき、こうして働きは倍加していきます。そして、その働きがどれほど広くおよんだかは、ただ審判の日にのみ明らかにされるのです。

自分には大したことはできないと思って、神のために働くことをちゅうちょしてはなりません。たとえば大したことはできなくても、誠実に事をなすときに、神は、あなた方の努力と一しょに働いてくださいます。神は、主のよろこびにはいる価値のある者として、あなた方の名前を、生命の書に書きしるしてくださいます。野は色づきわたって、刈り入れをするばかりになっています。刈り

入れは多く働き人は少ないのです。働き人が召し集められるように、お互に、主に熱心に祈り求めましょう。……

### 広い考えをいだけ

若い人は、広い考えと賢明な計画を持たねばなりません。そのとき彼らは、できるだけ多くの機会を利用し、また使徒たちをふるいたせたような靈感と勇気をとらえることができます。ヨハネは、「若者たちよ。あなたがたに書きおくつたのは、あなたがたが強い者であり、神のことばがあなたがたに宿りそして、あなたがたが悪しき者にうち勝ったからである」と言っています(ヨハネ第一・二ノ一四)。青年たちの前には、崇高な標準が示され、神は、若い人々を神への真の奉仕に召しておられます。よるこんでキリストの学校の生徒となる真実な心を持った青年は、主のために大きな働きをすることができます。隊長たるキリストの、「勇気を出して男らしくせよ」との命令が、全戦線にわたって私たちの時代にまでひびきわたってくるとき、私たちはこれに注意を怠ってはなりません(サムエル記上四ノ九)。

神とともにけんそんに歩む者とならねばなりません。不純を去り、今日の時代を腐敗させている肉欲のけがれを去り、神から与えられた人格をもつて神の前に立つ者とならねばなりません。あらゆる虚偽と悪徳を憎み、インマヌエルの君の血潮にそまつた旗を高くかかげ、自ら進んで真実かつ勇敢な者とならねばなりません。才能は、主のために用いるにつれて、増大します。あなた方の才能を無限の価で買いとられた主は、これを貴重なものとして評価しておられます。自分には、大

なことは何もできないからというだけの理由で、何もしないでただすわっているようなことがあつてはなりません。自分の手で行うことは、なんでも徹底的に積極的になさい。……

### 召 集 の 命 令

キリストは、志願者たちがキリストの旗の下に参加して、十字のみ旗を世人の前におしたるように召しておられます。勇敢なあかしを立て、燃えるような熱誠をもって神の民のなまぬるい力をふるいたたせ、世における教会の勢力を増大することに役立つ青年たちの助けを教会は待ち望んでいます。世俗の風潮に抵抗し、不道德と罪惡の第一歩に対して警告の声をあげる青年が必要です。

神につかえ神の働きに献身したいと望む青年は、まず第一に自分の魂の宮から汚れをはらいきよめ、キリストに心の王座についていただかねばなりません。その時はじめて、彼らはクリスチャンとしての働きに力をそそぐことができ、人々に、キリストとの和らぎを説きすすめることに熱心な熱心さをあらわすようになります。キリストの招きに応じて、「ここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください」と答えようではありませんか(イザヤ書六ノ八)。青年方よ、前線に急行し、キリストと共なる働き人であることを身をもって証明し、キリストの残された働きを引きつぎ、それが完結するまで働きつづけなさい。

レビユー・アンド・ヘラルド・一八九一年六月一六日

### 品性の本質的な要素

神は、青年に、望みを小さく持てとは命じておられません。人々の間に立ちまじって、成功し、

尊敬される者となるのにふさわしい品性の要素 何かもっと大きなよいことに対するやむにやまれぬ望み、たゆまない意思、刻苦精励、倦むことのない忍耐心といったような品性の要素を滅ぼすようなことがあってはなりません。 創世時代と父祖の生活・英文・六〇二ページ

### 三 主をよるこばせることを求めよ

主は、私たち個人個人のために特別な働きを持っておられます。私たちは、世の人々の悪事が法廷の明るみに出され、毎日の新聞面をにぎわすのを見るたびに、ますます神に近づき、キリストの恩恵が私たちの内にあらわされるように、生きた信仰をもって神の約束にすがらねばなりません。私たちは、世に感化力を、しかも強い感化力を与えることができます。罪をさとらせる神の力が私たちのうちにあるとき、私たちは、罪のうちにある魂を悔い改めにみちびくことができます。

私たちは単純であることによつて、この働きに多くのことをなすことができます。高い地位にのぼろうとしたり、人々の賞賛をうけようとしてはなりません。私たちの目標は、最も偉大な者となることであつてはなりません。私たちの目をただ神の栄光に向けていなければなりません。神から与えられた知性のすべてをもって働き、自分自身を光の通路におかねばなりません。その時、神の恩恵は私たちの上にそそがれ、私たちの品性は神のみ像に似て陶冶され、形づくられます。今日、世界歴史の終末時代に、神の働きに献身する人々の上に、天は豊かな祝福を与えようとして待つて

おられます。私たちは試みられ、練られるでしょう。また眠られぬ幾夜かを過ごさなくてはならないときがあるかもしれません。私たちは、神がさとりを与え、私たちのものである特権をみわけ、鋭敏な心を与えてくださるよう、熱心な祈りのうちにこの時を過ごさねばなりません。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇九年四月一日

## 四 成功の標準

「主を恐れることは知恵のはじめである」（詩篇一一一ノ一〇）。多くの青年は、どんな時にもまたどんな事情のもとにも最善を尽すために自分の能力を懸命に働かせる必要を感じていません。彼らは、目の前に神を恐れる思いを持たず、その思いは純粹でなく、また高められていません。

すべての思い、すべての行いは、天に知れわたっています。あなた方の行為は、友だちの目には見えないかも知れませんが、天使たちの監視の目に全部見られています。天使たちは、悪習慣の一つ一つにうち勝ってサタンの計略から身を潔白に守ろうと努力する人々に奉仕するように、任務をうけているのです。

### 心からの正直さ

私たちは、ほんのちよつとした悪い行いや、また品性を形づくる上のわずかな矛盾について、その力を正しく評価していません。最も重大で最も高尚な原則が、私たちのために神のみことばたる

聖書の中に示されています。その原則は、善へのあらゆる努力を励まし、心の思いを抑制し安定させ、高い標準に到達しようとの望みをいだかせるために与えられているのです。

ヨセフやダニエルとその友らの歴史をみれば、真理という黄金の鎖が青年たちを神のみ座につながっていることがわかります。彼らを誘惑して正直という道からひきはなすことはできませんでした。彼らは王侯たちの恩恵や賞賛よりも、神の恩寵を尊びました。神は彼らを愛し彼らの上に守りの手をさし出されました。彼らが心から正直だったために、またどんな人間の力よりも神を敬ったために、主は、人々の前で彼らに非常な誉をおさずけになりました。彼らは、上なる天と下なる地にあるすべてのみ手のわざの上に能力を持つておられる主なる万軍の神エホバによつて榮譽を与えられました。この青年たちは、自分たちの本当の旗色を鮮明にすることを恥じませんでした。彼らは、王の宮廷においてさえ、その言葉、習慣行為によつて、天の神エホバへの信仰を表明しました。彼らは、神の名誉をきずつけるようなどんな人間の命令にも屈服することをこばみました。彼らは天来の力を得て、神への忠誠心を表明しました。

あなた方は、これらの立派な青年たちの模範に従うように心がけなければなりません。あなた方の旗を恥じるようなことがあつてはなりません。あなた方の旗を高くかけ、人々と天使たちの目の前にひるがえしなさい。偽りの遠慮深さや偽りの思慮深さに心を動かされて、この勧めに反するような行動にさそわれてはなりません。あなた方の立派なことばと、矛盾のない行動、またあなた方の特性であるまじめな敬神の念によつて、自分の魂にはキリストがみ座についておられるのだという確固たる信仰をはっきりと表明なさい。そうして、あなた方の才能を余すところなくキリスト



の足下にささげ、主の働きに用いていただきなさい。

## 完 全 な 献 身

あなたの現在と未来の幸福のために、正しいことのために全的に献身し、世の人々にあなたの方の立場を知ってもらうことは一番よいことです。多くの者は、神の働きに全的に献身していません。彼らのぐらつく立場は、それ自身が弱点のもとであり、また他人をつまづかせる石となっています。一定の主義を持たず、献身ができていないために、彼らは誘惑の波にさらわれ、心では正しいとわかっていながら離れてしまいます。彼らは、悪の一つ一つにうち勝つために、またキリストによつて着せられる義によつて正しい品性を完成するために、聖なる努力を払っていません。

世人は、知識のあるひとりびとりに教えてもらいたいと思う事柄について知る権利を持っています。堅い、決定的な、正しい原則を生活に実行している人は、交友たちに生きた力をおよぼし、キリスト教によつて他人を感化します。多くの者は、自分の感化力が、善であれ、悪であれ、それがどれほど大きなものであるかを認識していません。どの学生も自分の奉ずる主義が品性の形成に生きた影響をおよぼすことを知らねばなりません。キリストを自分自身の救い主として受け入れる者は、イエスを愛し、またイエスが死をもつてあがなわれた人々を愛します。それは、キリストが彼のうちにあつてこころと湧きあふれる永遠の生命の水の源となれるからです。彼はキリストの原則に無条件に服従します。

## 自由を主張せよ

神を敬うことをあなた方の生活の法則となさい。そしてどんなに誘惑され、どんなに関心を他にそられるようなことがあっても、この生活の法則から離れてはなりません。「神は、そのひとり子を賜わったほどにこの世を愛して下さった。それはみ子を信じる者がひとりも滅びないで永遠の命を得るためである」とあるからです(ヨハネ三ノ一六)。神は、あなた方が無限の価で買い戻されあがなわれた自由な人間として、自分の自由を主張し、神から与えられた能力を天の王国の自由臣民として行使するように求めておられます。いつまでも罪の奴隷たる生活を送っていないで、王たるキリストの忠実な臣民として、神への忠誠心を示してください。神が生命と恩恵を与えてあなた方をとよばれたその信頼に価するものであることを、イエス・キリストを通して示してください。悪の能力に服従することを拒否しなければなりません。キリストの兵士として、私たちは、どんな状況のもとにあっても、慎重に賢明に、キリストの救いの条件をうけいれ、正しい主義を心にいだいてこれに即した行動をとらねばなりません。天来の知恵が、足もとを照らす光とならねばなりません。自己に真実であり、また神に真実でなければなりません。「震われるもの」はことごとく震われるでしょう。しかし、あなた方は真理という土に深く根をおろしているので、「震われないもの」と一緒にいつまでも存続することができます(ヘブル二ノ二七)。神の律法はゆるぐことなく、また変えることはありません。なぜなら、それは神のご品性を表わしたものだからです。自分のことばや感化によって、神の律法の権威にいささかの傷でもつけるようなことのないように、

決心なさい。

## 完全な服従

キリストへの信仰を持つことは、一切を神にまったく任せきって、聖霊のみちびきに同意することです。聖霊の賜物を通して、道德的能力が与えられます。そのとき、すでにゆだねられていた才能が神の働きのために用いられるばかりでなく、またその能率が非常に増大します。一切の能力を神に従わせるとき、人生の問題は非常に簡単になります。生来の心の情欲との限りない戦いは下火になり、終息してしまいます。宗教は年とった者また若い者の魂をキリストにむすびつける黄金の綱のようなものです。心からよるこんでキリストに従う者は、この綱によって、暗いけわしい道を安全に神の都へとみちびかれます。

平凡な才能しか持っていない青年でも、高い純潔な原則に基いて活動している教師のもとに訓練と教育を積むときに、その訓練の過程を経て、神から召された責任の地位につく資格のある者となります。しかしまた、生れつきのままの性癖のうち勝つ決心がつかず、聖書を通して語られる神の声に耳を傾けようとしないために失敗する青年たちもいます。彼らは誘惑に対して自分の魂の防御ができていず、またどんなことがあっても責任をはたそうとする決意を持っていません。彼らはちやうど、危険な旅行において案内と指図に従えば事故と破滅をさけることができるのに、これに従わないで、破滅の道を進む者に似ています。

## 運命の選択

自分の運命を決定する者は自分自身であるということを、どうかすべての方々に知っていただきたい。あなた方の現世および来世における幸福すなわち永遠の生命は、あなた方自身とともにあるのです。あなた方は、選択次第で、自分の思想やことばや道徳を低下させるような影響を与える者を友だちとして持つかもしれません。欲望や感情をほしいままにし、権威を無視し、下品なことばを使い、最下等の水準まで墮落することもできます。他人に悪い感化を与え、キリストに導かなくてはならないはずの人々をかえって滅びに至らせるかもしれません。人々の先頭に立って彼らをキリストや、正しいこと、神聖なこと、及び天から離れさせるかもしれません。審判の時に滅びた魂はあなた方を指さして「この人の感化さえなかったら、私は、つまりいて信仰をあざけるようなこととはしなかったらう。この人は光を持ち、天に行く道を知っていたのだ。私は知らないで、目かくしのまま破滅の道を歩いていたのだ」と言うでしょう。こんな非難に対してなんと答えたらよいでしょう。だれでも、自分は他の魂をどこにみちびいているだろうかと考えることが大切です。私たちは永遠の世界をめざしています。したがって、私たちは、自分が人々に与える影響の価値について、まじめに考えてみなければなりません。私たちの計画から永遠ということを見落してはなりません。そして、いつも自らこう問うように習慣づけたいものです。「この道は神によるこばれる道だろうか。正しいことについて私ほどの光と確証を与えられていない人々に対して、私の行為はどんな影響を与えるだろうか」と。

## 心を探る問い

青年たちが聖書を調べ、キリストが自分と同様な境遇におられたらこうなさるだろうと思われる通りに行動するように、私は切望します。私たちに天来の知識を得る機会が与えられていることは、同時にまた私たちに大きな責任が負わされていることになります。私たちは、深い心配をもって、こう問うてみなければなりません。「私は光の中を歩いているだろうか。私は、自分に与えられたとうとい光にしたがって正しい道に人々をみちびいているだろうか。それともまがった道ばかり歩いて、足なえが道から、はずれるようなことはないだろうか」と。

真理の価値と神聖さと権威をいつもかわらず強く意識していなければなりません。愛する青年方よ、天の光はあなた方の歩む道に輝いています。どうかあなた方の機会を最もよく利用してください。天から送られる光の一すじ一すじを受け入れて大事にしてください。そのときあなた方の道はいよいよ輝きを増して真昼となる」のです(箴言四ノ一八)。

ザ・ユース・インストラクター・一八九三年二月二日

## 五 われらの機会の時代

過去の時代に神のために働いた人々の経験の中には、今日私たちの学ばねばならない教訓があります。これらの人々が、サタンの軍勢に対抗するのにふさわしい者となった時の戦いや試みや、働

きについて私たちはあまり知っていません。彼らは神のよるいをすっかり身につけていたので、サタンの策略に対抗できたのです。…

過去において、神のために、また神の働きの前進のために献身したこれらの人々は、主義に対し鋼鉄のような強い真実さをもっていました。彼らは決してくじけたり落胆したりしない人たちでした。彼らはダニエルのように神をおそれる念と熱心さに満たされ、また高貴な目的と抱負に満たされていました。彼らは今日働きにたずさわっている人たちと同じ弱い無力な人間でしたが、神に全的な信頼をおいていました。彼らは富をもっていました。それは精神的な教養から成っていました。すべてのことに神を全部としまし最上とする人々はみなこの富を持つことができます。私たちは、知恵、知識、徳、能力に欠けるところがあっても、私たちの特権として学ぶことをゆるされている教訓をキリストから学ぶときに、すべてこれらのものを受けることができるのです。

### どんな働き人が必要か

今日私たちは、過去の時代には容易に得られなかったような機会と特権にめぐまれています。私たちにあたえられている光は増大しています。それは、神に信頼し、神から能力をあたえられて光を世に明るくかがやかせた忠実な番人たちの働きのおかげです。過去の時代に、りっぱな人たちが神からあたえられた光によって向上したように、私たちも今日この増大した光によって向上するよう努力しなければなりません。彼らはキリストの学校であたえられた教訓を長いあいだ骨折って学びましたが、その努力はむだではありませんでした。彼らの忍耐づよい努力はむくいられました。

彼らはあらゆる能力の中で最も偉大な能力と結合しましたが、それでもなお真理の宝を貧しい世に巧みにあたえることができるように、永遠の事実についてもっと深くもっと高くもっと広く理解したいと、たえず熱望していました。

今日、こういう品性をもった働き人が必要です。神の御目に雄々しい人と見られ、天の書にこのように記録されるのは、ダニエルのように、悪の世にありながら神の国を最もよく代表することができるようにあらゆる才能をみがく人です。知識の進歩は大切です。なぜなら神の働きに用いられるとき、知識は善にとって力となります。世は、思想を持った人、主義をもった人、理解力と判断力とに絶えず成長する人を必要としています。

わが印刷所には、真理を諸国、諸族、諸民にすみやかに伝えることができるように、これを最もよく用いる働き人が必要です。

### 才能の本源

陰ひなたのない勤勉さを養い、自分の能力を進んで仕事にそそぐような青年たちを活用しなければなりません。このような青年たちはどこへ行っても働き場所があります。なぜなら彼らは途中でぐらつくようなことがなく、その心と魂に神のみ像を宿しているからです。彼らはわき目もふらず、勝利を叫びながらたえず上へ向かって前進します。しかし、なまけ者や臆病者や信じない者は、神の働きに召されません。彼らは信仰が足りず、またキリストのために自我を抑制する気がないために、神の働きの前進をはばんでしまうからです。

神は、神と共に働く者を召しておられます。キリストにつながるとき、人の性質は純粹になり真実になります。キリストは能率を補ってくださいます。こうして人は善にとつて一つの力となります。真実と正直は神の属性で、この性質を所有する者は何ものにも負かされることのない力を持っています。

レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年三月一〇日

## 内なる義

内なる義は外なる義によつて証明されます。内なる義を持つ者は薄情や無情な者となることなく、日ごとにキリストのみ像に成長し、力より力に進みます。真理によつて清められている者は自我を克服し、キリストの足跡にしたがい、恩恵の中にあるその生活は、ついには栄光の生命へ移ります。私たちが義とされるのはキリストによつて着せられる義によつてであり、私たちが清められるのは、キリストを通して与えられる義によるものです。前者は天国にはいる私たちの肩書き、後者は天国にはいる私たちの資格です。

レビユー・アンド・ヘラルド・一八九五年六月四日

## 六 到達しうる高さ

愛する青年方よ、あなた方の一生の目標また目的はなんですか。あなた方は世に名をあげ地位を得ることができるような教育を熱望していますか。あなた方は、いつかは知的偉大さの最高峰に立つことができるかもしれないとか、審議会や立法会議につらなつて国家の法律を制定する身分にな



れるかもしれないということを、口には出さなくても、心の中に思っていますか。そうした大望には何も悪いことはありません。あなた方はだれでもみな自分の目標を定めることができます。低い教養に甘んじていてはなりません。高きをめざし、その標準に到達するために骨身を惜しんではなりません。

### 生活の根本である宗教

すべての真の偉大さの根底には神を恐れる思いがあります。正直さ、ゆるがない正直さこそ生活のあらゆる対外関係に持ち込まれなければならない原則です。あなた方の学校生活に、寄宿舎生活に、すべての仕事に、あなた方の宗教を持ちこみなさい。いまあなた方にとって大切な問題は、クリスチャンとしてけがれない品性を堅固にそして純潔に保ち、現世のいろいろな要求や関心をクリストの福音という一そう高い要求に従わせるには、どのように学業を選択し、これを完成するかということです。あなた方は、身を備えることのできるうちにいま品性を築き、自分を造ってくださった神の御目的に添うように社会と人生に対したいと望んでいます。クリストの弟子だから世の中の仕事にたずさわってはならないという理由はありません。ただいつもあなた方の宗教を身から離さないようになさい。どんな職務につく資格を得ても、主義を放棄しなければ成功できないというような考えを持つてはなりません。

### 高い責任

あなた方は宗教的な原則によってつりあいがとれていますから、望み通りのどんな高さにでもの

ぼることが出来ます。神が、到達させようと計画しておられる崇高な高さにまで、あなた方がのぼって行くのを見るのはうれしいことです。イエスは大事な青年たちを愛しておられます。イエスは、彼らがその才能を養うことも啓発することもしないで成長するのをごらんになるのを喜びになりません。彼らは確固たる主義を持った強い人になり、高い責任の地位を任せられるのにふさわしい者となるのです。そしてこの目的のために彼らは正しく全力を尽すことができます。

神からあたえられた能力を悪用して、他人を破滅させるような大きな罪を犯してはなりません。才能にめぐまれた人物でありながら、その才能を道徳的な腐敗と墮落をまきちらすことだけに役立たせているような人がいます。こういう人は、刈りとるのが自慢にならないような収穫を生じる種子をまいているのです。神から与えられた才能を、社会に祝福をもたらすために用いないで、かえって害毒と災難をまきちらすような用い方をすることは恐ろしいことです。一方また私たちに委託されている才能をナフキンに包んで、世の中に隠してしまうことも恐ろしいことです。なぜなら、それは生命の冠を投げずることになるからです。神は私たちの奉仕を要求しておられます。各人にはそれぞれに負わねばならない責任があります。私たちは、それらの責任を全的にひきうけて、忠実に良心的にこれを果たしたときに初めて人生の大いなる使命を成就したと言いうるのです。

## 宗教の感化

賢者ソロモンは、「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ」と言っています(伝道の書一二ノ一)。宗教は人をみじめにしたり暗くしたりして、成功への道をふさぐものなどと、かりそめ

にも思つてはなりません。キリストを信ずる宗教は一つの才能でも殺すことはもちろん弱くすることさえしません。それは決して真の幸福を味わえないようにするものでもなく、また人生への関心を低めたり、あるいは友人や社会の要求に冷淡にならせたりするものでもありません。それは人生を喪服に包んだり、ふかいため息やうめき声で表現したりするものでもありません。それどころかすべての事に神を最上とし全部とする者は、世の中で一番幸福な人間です。彼らの顔からは微笑と明るさが消えません。宗教は信者を粗暴にしたりだらしなくしたり、礼儀知らずにしたりしません。むしろ反対に、それは人を向上させ、上品にし、その好みを洗練し、判断を正しくし、天使たちとの交際に、またイエスが備えに行かれた天国の生活にふさわしい者とします。

イエスは喜びの泉であるという事実を決して忘れてはなりません。イエスは、人類が悲惨な状態にあるのをよるこびにならず、人々が幸福な状態にあるのをごらんになるのを喜ばれます。クリスチャンはいろいろな幸福の源を思いのままに自分のものとすることができます。そしてどういった楽しみが法にしたがった正しいものであるか、はつきりわきまえることができます。精神を消耗したり、魂を墮落させたりするようなことのないレクリエーション、失望させられることのない、また自尊心を滅ぼしたり、有用な道を妨げる不幸な影響を残したりすることのないレクリエーションを楽しむことができます。どこへ行くにもイエスと一緒に行き、いつも祈りの心を忘れさえないければ、絶対に安全です。

## 私たちは才能の家宰

若い方々よ、神を恐れる心はすべての進歩の基であり、知恵のはじまりです。天の父はあなた方に対して要求を持っておられます。あなた方の側にはなんの懇請も功績もないのに、神は摂理の恩寵をお与えになっています。それだけでなく、神は全天を一つの賜物すなわち神のひとり子の中に含めてお与えになりました。この無限の賜物をお与えになった代りに、神はあなた方の、心からの服従を要求しておられます。あなた方は価をもつて、しかも神の子のとうとい血潮によってあがなわれたのですから、神は、あなた方が自分に与えられている特権を正しく行使するように要求しておられます。あなた方の知的、道徳的な能力は神の賜物であり、才能はこれを賢明にみぐくために委託されているのですから、これを適当に手入れしないで眠らせておいたり、全然働かさないで、不具や小さなものにしてしまうことは許されません。自分に負わされている重大な責任を忠実に果たしているかどうか、自分の努力は最善のもので、正しい方向にあるかどうかということをきめるのは、あなた方自身の問題です。

私たちは終末時代の危険の中に生存しています。全天の関心はあなた方がどんな品性を形づくるかに集中されています。あなた方が世の中の肉欲の墮落からのがれて、神の性質にあずかる者となるために、あらゆる用意がなされています。人は自分だけの弱い力で悪の勢力にうち勝つように放って置かれているわけではありません。助けは手近にあつて、ほんとうに助けてほしい人にはだれにでも与えられます。ヤコブの夢の中で、はしごをのぼりくだりしていた神の天使たちは、いちばん

高い天までのぼろうと志す者をだれでも助けます。天使たちは、神の民を守り、その一步一步を見守っています。光り輝く道をのぼる者はむくいられ、神の与えられる喜びにはいります。

キリスト教教育の基礎・八二 八六ページ

### 到達すべき高い理想

神がその子らにお望みになる理想は、人の思想が達しうる最高のものよりも、さらに高い理想です。敬虔すなわち神のみ像に似ることが私たちの達しなければならない目標です。生徒の前には絶えざる進歩の道が開かれています。彼はなしとげなければならない目的を持っています。あらゆる善と、純粹さと、とうとさを包含している標準に達しなければなりません。彼は真の知識のあらゆる分野にできるだけ早く、深く進みます。しかしこの努力は、天が地より高いように、ただの利己的な、世俗的な利害よりもはるかに高い目的に向かってなされます。

教育・英文・一八、一九ページ

### 神の恩恵の器

神の恩恵という宝、すなわちキリストの測り知れない富を世に伝える生ける器となることは、ひとりびとりの魂の特権です。キリストは、ご自分の聖霊と品性を代表する者を何よりも特に求められます。世人が最も必要としているのは、救い主の愛が人を通して表わされることです。全天は、人の心によるこびと祝福をもたらす聖なる油をそそぐ器となりうる者を待ち望んでいます。

自然と宗教・四一九ページ

## 七 能率の標準

青年たちの上には重い責任が負わされています。神は、光と知識の増し加わった現代の青年たちに多くのことを期待しておられます。神は、あなた方がこの光と知識を世の人々に与えるのを期待しておられます。神は、人々の心を暗くしている誤りと迷信の雲を追い払うために、青年たちを用いようと望んでおられます。青年は、どんなに小さな知識や経験でも、それを積み重ねることによって自分を訓練しなければなりません。神は、彼らにお与えになっている機会と特権とに対して、責任を求めておられます。若い人たちの前にある働きは、時代の要求に応じて一步一步前進させられるように、彼らの熱心な努力を待っています。

青年たちが知性と靈性を神の奉仕にささげるとき、彼らは高い能率と有用の標準に達します。神は若い人たちがこの標準に到達するのを期待しておられます。これに達しないことは、神からあたえられた機会の利用を拒むことになります。これは神への反逆、また人類の幸福のために働くことを怠ることとみなされます。

### 奉仕の資格

神の働き人になるために努力し、人に与えるために光を受けたいと熱心に求める者は、伝達の通路となることができるようにたえず神から光を受けます。若い男女がダニエルのように、その習慣、

食欲、情欲を神の要求にしたがわせるとき、彼らは一層高い働きにたずさわる資格を備えます。つまらない不まじめなことは全部心から追い出さねばなりません。ばかげたことや、娯楽を愛する性癖は、神のみ子を信仰し、その肉を食らい、その血を飲む者の生活と経験にふさわしくないものとして捨て去らねばなりません。

勉学のあらゆる便宜に恵まれていながら、なお主のぶどう園の働きにふさわしい者となる教育を身につけることに失敗する人があることを認めなければなりません。道理になつた敬虔という欠くべからざる資格がなければ神の奉仕にたずさわることはできません。高い立派な目的によつて強くならねばならないはずのとい心が快樂や娯楽に向けられるとき、神から与えられた能力は退化し、その人は神の前に罪とされます。それは、彼が賢明な使用によつて才能をみがくことを怠つたからです。

彼らの委縮した靈性は神に対する一つの罪です。彼らは交際する人々の心をけがし、腐敗させます。彼らのことばと行為は聖なる事に対して軽率で不注意な念を助長します。彼らは自分自身の魂を危険におとし入れるばかりでなく、また彼らの手本はその接触するすべての人に害を与えます。彼らはキリストを表わす資格が全然ありません。彼らは、罪、不注意、向こう見ず、愚かさなどのしもべなので、キリストのもとから散つてしまします。

低い標準に到達することに甘んじる者は神と共に働く者となることができません。心を守らないでどこへでも吹き流されるがままにしておく者は、サタンのささやきに心を奪われ、サタンの軍隊で訓練を受け、ついには他の魂までもおびきよせるようになります。彼らは信仰を告白し、敬虔の

装いをしているかもしれませんが、実は神を愛するよりも快樂を愛しているのです。

### 利口さは敬虔ではない

友人たちからみとめられ賞賛されるようなある種の利口さを持った青年たちがいるものです。しかし彼らの才能はきよめられていません。それは恩恵と試練の経験によって、強くまた固くされていません。神は、人類の利益と神のみ名の栄えのために、これをお用いになることができません。敬虔を装っていないながら、彼らの能力はまちがった標準を立てるために用いられています。そのため世の人々は、自分たちのまちがった行為の言い訳に彼らを引き合いに出します。サタンは彼らのくだらない言行やいわゆる才知で、仲間たちを面白がらせるようにしむけます。彼らの企てることはなんでも安っぽいことばかりです。それは彼らが誘惑者の意のままになって、その働きをなすように品性を支配され形づくられているからです。

彼らには手腕がありますが、それは訓練されていません。彼らは能力をもっていますが、それは善用されていません。彼らには才能があたえられていますが、彼らはそれを乱用し、愚かさによってこれを低下させ、他人を自分の低い標準にまでひき下げます。キリストは克己、犠牲、屈辱非難に耐え忍んで、彼らの魂のためにあがないの代価を払われました。キリストがこれほどのことをしてくださったのは、彼らを罪の束縛から、また魂の滅びのために使うときだけしか顧みないような主人の奴隷となっている状態から救い出すためだったのです。しかし彼らは自分たちのためにそそがれたあがない主の愛を無にしています。キリストは悲しい思いで彼らのなすことをごらんになっ



ています。

このような青年たちは永遠の滅びに会います。彼らが面白おかしいことをしたり、ふざけたりしたことは、やがてすべての人が生きている間に行ったことの報いを全地の審判主によってうける日に、どんなに見えるでしょうか。彼らは木や草やわらを基としているのでその一生の働きは滅びてしまいます。なんとという損失でしょう。

神の奉仕に自分の持ち場をはたし、毎日、勘定簿に自分の過失、誤り、不幸、あるいは誘惑に対する勝利またキリストにある喜びと平和を書き込んで、イエスに承認をもとめる人々の状態はどんなにはるかによいことでしょう。このような青年たちは、自分の一生の記録にはずかしさと狼狽をもって直面しなくてもよいのです。

ザ・ユース・インストラクター・一八九九年六月二二日

### 選ばれた方法

キリストの真実についてあかしをすることはキリストを世人に表わすために、天の神がお選びになった方法です。古代の聖人たちを通してキリストの恩恵が世に示されているのを認めなければなりません。しかし最も効果があるのは私たち自身の体験のあかしです。神の力が私たちの内に働いていることを表わすとき、私たちは神の証人となります。各人はそれぞれに他人と全然ちがった生活を持ち、他人とは本質的に異なった体験を持っています。神は、私たちの賛美がそれぞれ特有の個性をもって神のみもとにのぼって行くことをお望みになります。

## 八 高きをめざして

クリスチャン品性の完成には、正しいことをたゆまずしつづけることが大切です。品性を築く働きには忍耐と努力がどんなに大切であるかということ、私は、若い人たちの心にきざみこみたいのです。青年たちが一人前の男女として最高の標準に達するためには、幼い時からその品性に絶対の正直という原則が織り込まれていなければなりません。自分は価を払われて買われた者であるという事実をいつも念頭に置いて、いまは神のものである肉体と精神に、神の栄えをあらわさねばなりません。……

### 日々の進歩

青年の働きには一日一日進歩がなければなりません。ペテロはこう言っています「それだから、あなたがたは、力の限りをつくして、あなたがたの信仰に徳を加え、徳に知識を、知識に節制を、節制に忍耐を、忍耐に信心を、信心に兄弟愛を、兄弟愛に愛を加えなさい。これらのものがあなたがたに備わって、いよいよ豊かになるならば、わたしたちの主イエス・キリストを知る知識について、あなたがたは、怠る者、実を結ばない者となることはないであろう」(ペテロ第二・一ノ五八)。

私たちは出発にあたって、これらの次々の階段を心の目から離さずにかぞえるよりも、むしろ目

をまっすぐに神の栄光にそそいで、イエスを仰ぎ見ることによって進歩することができるのです。一日でキリストの身長にまで達することはできません。もしこれから会わねばならない、そしてうち勝たねばならない数々の困難を目に見る事ができたら、絶望してしまうにちがいありません。私たちは、サタンと戦わねばなりません、サタンはあらゆる工夫をこらして私たちの心をキリストからひきはなそうとしているのです。

### 障害に直面する

道に置かれたあらゆる障害に直面して、一度に一つずつこれにうち勝たねばなりません。最初の困難にうち勝ったらもつと強くなって次の困難に対することができ、努力の一步ごとにますます進歩することができます。イエスを仰ぎ見ることによって勝利者となることができるのです。弱くなり、信仰がなくなるのは、困難にばかり心を奪われて、正しいことのために熱心に戦うのをしりごみするからです。

どんな高い登り坂でも、一步また一步と登って、ついには山の頂上にたどりつくことができるのです。一生のうちにしなくてはならない仕事は山ほどあっても、それに圧倒されてはなりません。それだけのことを一度にやってしまわなくてはならないというわけのものではないのです。一日一日の仕事にたずさわる私たちの能力によって、とうとい機会の一つ一つを利用し、あたえられる神の助けを感謝し、進歩のはしごを一步一步登って行くようにしましょう。一度に一日しか生活できないということ、また神からあたえられているその一日の特権と機会をいかに尊重したかが天の記

録にあらわれるということを忘れないでいましょう。どうか、神から与えられた一日一日をよく用いて、最後には主から「良い忠実なしもべよ、よくやった」とのみことばが聞かれるようになってください。

ザ・ユース・インストラクター・一八九三年一月五日

## 九 神との協同

私たちは限りある可能性以上のものに到達することができません。神が仰せられているように、人は神の子です。「わたしたちは今や神の子である。しかし、わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現われる時、わたしたちは、自分たちが、彼に似るものとなることを知っている。そのまことのみ姿を見るからである」(ヨハネ第一・三ノ二)。安っぽいことや下等なことには顔をそむけて、高い標準に向かって立つこと。すなわち人に尊敬され、神に愛される者となることです。私たちの特権です。

若い人にも年配の人にもまた老人にも、神の働きが与えられています。それは神がみんなを自身の子供として重んじておられる証拠です。神は自治の働きをお与えになっています。神は魂の救いと向上のためという働きの共労者となるように、私たちを招いておられます。父親が自分の事業にむすこを協同させるように、神はご自分の子らを神と協同する者とされます。私たちは神と共に働く者とされているのです。イエスは「あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました」と仰せになっています(ヨハネ一七ノ一八)。サタンと罪のしもべとな

り、キリストの敵として名を書きしるされるよりは、神の子になりたいとは思いませんか。

若い人たちがキリスト教の原則を日常生活に実行できるようにするためにはもっとキリストの恩恵が必要です。キリストの再臨に備えることは、最高の能力を働かせるためにキリストを通して準備することにほかならないのです。自分の品性で美しい建造物をつくることは、どの青年にとっても特権です。しかしそれには、イエスのそばから離れないということが絶対に必要です。イエスは私たちの力、能力、また勢力です。私たちは一瞬間も自我に依存してはなりません。…

### いよいよ高く

自分の才能がどんなに大きかろうと、どんなに小さかろうと、自分の持っているものはただ委託されているにすぎないのだということを忘れてはなりません。

こうして神は、私たちが真実なものであることを立証する機会をあたえて、私たちを試験しておられるのです。私たちの能力はみな神からの借り物です。私たちの体力、知力、また靈性の力は神のものであり、私たちはこれらの能力を神のために用いなければなりません。私たちの時間、感化、能力、技量などはすべてこれをお与えになった神に使途を報告しなければなりません。人類の向上のために神の大いなるご計画の実行に熱心に努力する者こそ、その賜物を最善に用いている者と言えます。

すでに始めた働きにおいて勝利につぐ勝利を得るまで忍耐しつづけましょう。自分自身を一定の目的のために教育しましょう。最高の標準をつねに念頭に置いて、いよいよ大いなる良きわざをな

しとげ、神の栄光を反映する者となりました。

ザ・ユース・インストラクター・一九一〇年一月二五日

## 第二部

## 罪との戦い

私たちの勝利の唯一の望みはサタンの攻撃に絶えず抵抗することにあることが、キリストの模範に示されています。誘惑との戦いにおいて、魂の敵に勝利されたキリストは、人類に対するサタンの力を理解し、私たちのためにサタンを征服されたのです。キリストは勝利者として、ご自分の勝利の強みを私たちにお与えになりました。それはサタンの誘惑に抵抗する努力において、私たちの弱さがキリストの力と一つになり、私たちの無価値がキリストの功績と一つになるためです。誘惑の力の下にあるとき、私たちはキリストの耐え忍ぶ力にささえられ、その全能のみ名によって抵抗し、キリストが勝利されたように勝利することができるのです。

サインズ・オブ・ザ・タイムズ・1880年3月4日



## 一〇 強敵サタン

墮落した人間は当然サタンの捕虜です。イエス・キリストの任務は、人をサタンの力から救い出すことでした。人は生れつきサタンのそののかしに心を引かれがちです。偉大な勝利者キリストが心の内に住み、思いをみちびき、力をあたえてくださるのでなければ、人はこのようなおそるべき敵に自力でうまく抵抗することはできません。サタンの力を制限することができるとはただ神だけです。サタンは地上のいたるところをめくり歩いています。彼は、魂を滅ぼす機会を失うことのないように、一瞬間も見張りをやめません。神の民はこの事実を念頭に置いて、サタンのわなからのがれるようにすることが大切です。

### 偽装のサタン

サタンは神の民に対する最後の戦いにおいて、自分の正体を見破られないように欺瞞を働きます。コリント第二・一一―一四に、「驚くには及ばない。サタンも光の天使に擬装するのだから」とあります。サタンにだまされていながら、サタンは実在しないなどと言いふらす人々がいますが、そういう人たちはサタンの捕虜になっているのです。サタンはそういう人たちを通して広範囲に働くことができます。サタンは、神の民がキリストの内にある能力をうけると、彼らはサタンを制する能力を持つことができるということ、彼らよりもよく知っているのです。

へりくだった心をもって偉大な勝利者キリストに助けを願い求めるときに、真理を信じてキリストに固く寄り頼んでいる者は、どんな弱い人間でもサタンとその軍勢を完全に撃退することができま。サタンは狡猾ですから、真正面から公然と誘惑してくることはありません。もしそうすれば、クリスチャンの眠っている能力がめざめ、強力で偉大な救い主に寄り頼むようになるからです。むしろサタンは気づかれないように変装して近づき、神を信ずると自ら称しながら神に従っていない者たちを通して働きます。サタンは、神の民を悩まし、誘惑し、まちがった方向へ導くために、その最大限の能力を発揮します。

主イエスを堂々と正面から誘惑し、あざけたサタン、イエスの手をとって神殿の頂上や高い山の上へ連れて行くほどの能力を持ったサタン、彼は主イエスよりもはるかに知恵の劣った、そしてサタンの狡猾さと能力を全然知らないといってよい現代の人々に向かって驚くばかりにその力を及ぼしています。

生れつきサタンの命ずるままに事をなすような人々の肉体に、サタンはおどろくべき方法で影響を及ぼします。サタンは自分の存在が人々から作り話にみられることをこれ幸いと喜びます。サタンの存在が軽んじられたり、あるいは子どもじみたさし絵で表わされたり、何か動物のように表わされたりすることは、サタンにとっては大へん都合なのです。サタンを劣等視しているために、人は彼の賢明な計画に対して全く心構えができていないで、いつもサタンを成功させます。もしサタンの狡猾さと能力を理解していたら、彼に負けないように心の準備ができるはずです。

## ひとりびとりの魂のための戦い

悪天使たちが魂を奪おうとして争い、神の天使たちがこれに抵抗しているのを、私は見ました。戦いは激烈でした。悪天使たちは群がりよって来て、有害な感化力でその場の空気を腐敗させ、人の感覚を麻痺させていました。聖天使たちはこれらの魂を心配げに見守り、サタンの軍勢を撃退しようとして待っていました。しかし個人の意志に反してその心を支配することは善天使たちの働きではありません。もし人が敵に降参してしまつてなんの抵抗も示さないならば、神の天使たちは、危機に陥っているこれらの人々にもっと光があたえられて、彼らが目をさまし、天を仰いで助けを求めるようになるまで、サタンの軍勢を阻止し、ただ彼らが滅びないようにすることしかできません。イエスは自ら何らの努力も払わない者まで救い出すようにとは、聖天使たちにお命じになりません。もしサタンがひとりの魂でも自分の手から離れそうな危険を感じると、彼は全力をあげてその魂を離すまいとします。人が身の危険に目ざめて苦悩と熱心をもってイエスに力を仰ぎもとめるとき、サタンは捕虜を逃してはならないと、部下の天使たちの増援をもとめ、この可哀想な魂をとり囲み、そのまわりに暗黒の壁を築いて、天来の光がとどかないようにします。しかしこの危険の中にある魂があくまでも耐え忍んで、弱く無力のままに自分自身を投げ出してキリストの血潮の功績にすぎるとき、イエスは熱心な信仰の祈りをきき、力のまざった天使の増援軍をおくって彼を救ってくださいます。

人がサタンの強敵キリストに助けを求めることは、サタンにとって苦手です。なぜなら彼はキリ

ストの能力と威光の前におそれおののくからず。熱烈な祈りの声にサタンの全軍はふるえあがります。……こうして天の武具に身を固めた有力な天使たちが、追われて氣を失いそうになっている魂を助けにやって来るとき、サタンとその軍勢は戦いに勝目のないことを知って退却します。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八六二年五月一三日

## 一 争闘の性格

人の意思は攻勢的で、たえず万事を自分の目的に従わせようと努力します。意思が神と正義の側に参加するとき、聖霊の実が生活にあらわれます。神は「善を行うすべての人に……光栄とほまれと平安」を約束しておられます（ローマ二ノ一〇）。

意思を形成することがサタンに許されると、彼は自分の目的を完成するためにそれを用います。サタンは不信の理論を人々の心にしのび込ませ、人々の心をふるいたたせて、神のみことばに挑戦させます。サタンは頑固な根気のよい努力で神に対する憎悪と反抗心を人の心に吹きこみ、人々を動員して天の制度と規則また聖霊の働きに反対させます。サタンは自分の旗の下にあらゆる悪の勢力をよせ集め、彼らを戦場にひっぱって行って、自分の指揮の下に悪を善に立ち向かわせます。

### 悪の勢力に対抗せよとの命令

人の心から神を追い出し、人間の性質を自分の醜い像に形づくるのがサタンの働きです。サタ

ンはあらゆる悪の性癖をかきたてて、けがれた情欲や野心を目ざめさせます。サタンは、この能力、名誉、富、罪の楽しみのすべてをお前にやろうと宣言します。ただしそれには廉潔な心を屈服させ良心を麻痺させるという条件がついています。こうしてサタンは人の才能を墮落させ、これを罪の奴隷にしています。

神は悪の勢力に対抗するように呼びかけておられます。神はこう仰せになります。「あなたがたの死ぬべきからだを罪の支配にゆだねて、その情欲に従わせることをせず、また、あなたがたの肢体を不義の武器として罪にささげてはならない。むしろ、死人の中から生かされた者として、自身を神にささげ、自分の肢体を義の武器として神にささげるがよい」と(ローマ六ノ一二)。

クリスチャンの一生は戦いです。しかし、「わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである」とあります(エペソ六ノ一二)。義と不義とのこの戦いにおいて、私たちはただ神の助けによつてのみ勝利することができます。私たちの有限な意志を無限な神のみこころに服従させねばなりません。そのとき聖霊は私たちの助けとして与えられ、すべての勝利は神の買われた所有物の回復、すなわち魂に神のみ像を回復することに役立ちます。

### 聖霊の助け

聖霊はキリストの代表者で、キリストは聖霊を通して働かれます。キリストは聖霊を通して人の魂に霊的生命を吹きこみ、善のために霊的能力を活発にし、道徳的な汚れをきよめ、神の国にふさ

わしいものとなさいます。イエスは豊かな祝福をあたえ、とうとい賜物を人々にお授けになります。イエスは無限の知恵と能力をもった偉大な助言者です。キリストの聖霊の能力をみとめ、聖霊によってかたちづくられるがままにされるとき、私たちはキリストにあつて完全な者として立ち得るのです。なんといいすばらしいことでしょう。「キリストにこそ、満ちみちているいっさいの神の徳が、かたちをとって宿っており、そしてあなたがたは、キリストにあつてそれに満たされているのである」(コロサイ二ノ九)。神の霊によってかたちづくられるがままに心を服従させるときに、はじめて幸福があります。聖霊は新たにされた魂を、型なるイエス・キリストに一致させられます。聖霊の感化によって、神に対する敵意は信仰と愛に変わり、高慢な心はけんそんな心になります。魂は真理の美しさをもとめ、美しい完全な品性の中にキリストがあがめられます。こうした変化がなしとげられるとき、天使たちは歡喜の歌を高らかにひびかせ、神とキリストは、神のみ像にかたどられた魂をお喜びになります。

## 勝利の価

善と悪の戦いの激しさは、救い主の時代以来すこしも衰えていません。天への道は当時と同じように今も平坦ではありません。罪はすべて除かれねばなりません。靈性の進歩をさまたげるような道楽趣味はやめなければなりません。もし右の目または右手がつまずきの原因となっているなら、それを犠牲にしなければなりません。自分の知恵を放棄して、幼児のように天国をうけ入れる気持があるでしょうか。自分を義とする気持を捨てることができでしょうか。人からの賞賛を犠牲に

することができるとしようか。永遠の生命という報賞は無限の価をもっています。私たちは、聖靈の助けを心からもとめ、これと協力し、私たちの獲得すべき物の価値にふさわしい努力と犠牲を払っているでしょうか。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年二月一〇日

## 一二 サタンの特別な努力

四方を警戒して、サタンのそのかしの計略に根気よく抵抗しなければならぬことが私に示されました。サタンは身を光の天使によそおい、多くの者をあざむいて虜にしています。彼が人心の機微に巧みにつけこむ手段には、まことに驚くべきものがあります。彼は人目につかないうちにへびのように心に忍びこんで神のみわざをそこないます。サタンはキリストの奇跡とみわざを全部人間の的なものとします。

もしサタンがキリスト教を正面から大胆に攻撃すれば、クリスチャンは患難と苦悩の中に、救い主に助けを求めるので、この大胆な敵も、強力かつ強大な救い主には恐れをなして退かねばならない結果になります。しかしサタンは、光の天使に身をよそおって人々の心に働きかけ、彼らをただ一つの安全な正しい道から誘い出します。骨相学、心理学、催眠術などの知識を通して、サタンは比較的容易に現代の人々の中に入りこみ、恩恵期の終りにおけるサタンの働きを特徴づけている能力で働きかけます。……

世の終りが近づくにつれて、人々の心はますますサタンの計略に陥りやすくなります。サタンに

欺かれた人々は、キリストのみわざと奇跡を、一般的な原則で説明しようとしています。サタンはいつもキリストのみわざを模倣して、自分の勢力と権利を確立しようとする野心を持っています。しかし彼はたいていこのことを正面から堂々とやりません。サタンは巧妙ですから、自分の働きをなしとげるには光の天使の姿を装ってあわれな墮落した人の前に出ることが最も効果的であることを知っています。

サタンは荒野のキリストの前にりっぱな若者、すなわち墮落天使というより君主のような姿をとって現われました。彼は聖書のことばを口にして、「……と書いてありますから」と言っています。苦難を受けられた救い主もまた聖書のことばでこれに応じ、「……と書いてある」と仰せになっています。サタンはキリストが苦しみ弱られたところにつけこみました。キリストは自ら私たちと同じ人性をおとりになったのです……

### 致命的な自己依存

サタンが人の心を迷わせ、欺き、人間には先天的に偉大で善なるわざをなしとげる能力がそなわっているのだということを人々に思いこませることができると、人々は自分自身の中にあると思いきんでいる能力で事をなそうとし、神に寄り頼むことをやめます。彼らは、はるかにまさった能力を認めません。彼らは神がもとめておられる、また当然神に帰すべき栄光を神にささげません。サタンの目的はこうして達成されます。サタンが天にいた時分、自分で自分をえらい者にしたために天から追い出されたように、墮落した人間が僭越にも自分を高めるとき、サタンはこ踊りして喜び



ます。サタンは、人が自分をえらい者に思うとき、その人はサタンの場合と同じように、かならず滅びることを知っているのです。

### 信頼心を滅ぼすこと

サタンは荒野のキリストを誘惑することに失敗しました。救いの計画は実行され、人の贖罪のために高い価が払われました。こうなった以上、サタンは、クリスチャンの望みの根拠を破壊し、人の心の流れを変えて、彼らが人のためにささげられた大いなる犠牲によつて益を受けることや、救いを受けることができないようにしようと努めます。サタンは墮落した人間に「あらゆる不義の惑わし」を働きかけ、贖罪がなくてもさしつかえないことや、十字架につけられてよみがえられた救い主を信じる必要のないことや、人は自分自身の功績によつて神の恩恵をうける資格があることなどを信じこませようとします(テサロニケ第二・一一一〇)。こうしてサタンは聖書に対する人の信頼心を滅ぼすのです。サタンは、もしこのことがうまくいって、自分の正体を見破るものを滅ぼすことができれば、自分の身が安全になることをよく知っているのです。

サタンは、悪魔というものは存在しないという誤った考えを人々の心にいだかせます。こういう考えを信じる人々は、存在しないものに対して抵抗したり戦ったりする必要を感じなくなります。こうして目の見えないあわれな人間はついには、「あるものはすべて正しい」との格言を信じるようになります。彼らは行為の規準となるべき法則をみとめません。サタンは、神に祈ることは形式に過ぎず、無益であると多数の人々に信じさせます。キリストの信者たちが目をさまして、サタン

の狡猾さと欺瞞に抵抗するのに瞑想と祈りが必要であることは、サタン自身が一番よく知っています。サタンは、魂が大いなる神に寄り頼んで助けを求め、神から力を得て、サタンの攻撃に抵抗することがないように、人々の心をこうした大切な瞑想や祈りからそらせてしまおうと、いろいろな計略をもって働きかけるのです。...

祈りというこの勤めを怠るとき、サタンの偽りの不思議なわざは一層容易に私どもの心にうけ入れられ、サタンの目的にかないます。サタンは欺瞞的な誘惑を人の前に置くことによって目的を遂げることができます。それはキリストを誘惑したときに遂げることのできなかった目的です。サタンは、時には、美しい若者の姿をとって現われたり、美しい幻となって現われたりします。サタンはまた病気をなおし、欺かれた人間から人類の恩人としてあがめられます。

## 心の統御

自分で自分の心をサタンの支配に屈服させないかぎり、サタンは決して私たちの心を支配することはできないということを、私は示されました。正しいことから離れる人はいま大きな危険に直面しています。神を離れ、また天使の守りから離れると、魂を滅ぼそうとたえず見張っているサタンがすぐに彼らに欺瞞を働きかけますので非常に危険です。そうしてから初めて暗黒の勢力をみとめ、これに抵抗しようと試みたり、サタンのわなからのがれようとしてみても、それは容易なことではありません。彼らは自ら敵地に踏みこんだのですから、サタンは彼らを自分のものとして主張します。サタンは、たった一人の人間でもキリストから奪いとるためには、ためらうことなく全力

をあげて戦い、また悪の全勢力に助けを呼びもとめます。

わが身を悪魔の誘惑にまかせる者は、その勢力から免れるために必死の努力をしなければなりません。彼らがわが身を悪の勢力から救うために努力し始めるとき、これまで心配していた神の天使たちが助けにやってくる。サタンと悪天使たちは、この虜を離したくないので聖天使たちと激しく戦います。しかし過失を犯した者が、神に救いを求めつづけ、心の底からへりくだって罪を告白するとき、力のまさった聖天使たちは敵に打ち勝って、悪天使たちの手からその魂をとり返します。

## 開かれた幕

幕が開かれて、今の世の中の墮落ぶりが示されたとき、私は気分が悪くなるような嫌悪をおぼえ、気が遠くなりそうでした。地上の住民が不義の杯を満たそうとしているのを、私は示されました。神の怒りは燃えあがり、罪びとが地上から滅ぼしつくされるまで、その怒りは和らげられません。

サタンはキリストご自身の敵です。サタンは天と地のあらゆる反逆の創始者であり、指導者です。サタンはますます猛威をふるっているのに、私たちは彼の力をみとめていません。自分は安全だと思つてのんきにかまえている人々に、悪天使たちが働きかけている様子を見ることができたなら、私たちは安心感を持てなくなるでしょう。悪天使たちは一刻も離れず私たちの道にいます。悪い人間はすぐにサタンの言うとおりになると私たちは思っています。しかし私たちの心が、目に見えない悪天使たちの働きに対して防御されていないとき、彼らは新しい立場を装って、私たちの目の前で驚くべきことや、ふしぎなことを行います。私たちは悪天使たちに対して、私どもを勝利させる

唯一の武器である神のみことばをもって抵抗する備えができていようか。

こうした奇跡が神から出たものであるかのように信じこまされる人々もあります。私たちの目の前で病人がいやされ、いろいろな奇跡が行われます。こうしたサタンの虚偽の奇跡がますます広く行われるようになるとき、私どもは、そうした試練に対して、備えができていようか。多くの魂がこのわなにかかって捕えられるようなことはないでしょうか。いろいろな誤りを信じたり、神から与えられた明らかな律法や戒めから離れたり、伝説に心を奪われたりすることなどによって、人々の心はサタンの虚偽の奇跡に陥りやすくなります。まもなく遭遇しなければならぬ戦いのために、いまこそ、身を武装しなければなりません。神のみことばを信じ、これを祈りのうちに学び、実生活にあてはめるときに、私どもはサタンの勢力から守られ、キリストの血による勝利者となることができます。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八六二年二月一日

### 一二 誘惑は罪の口実にならない

私どもの性質の衝動、心の能力、あるいは感情の動きといったようなものには、一つとして、一刻に、神の聖霊の支配を受けないでよいものはありません。もしサタンに少しでもすきを見せるならば、サタンは、神が人にお授けになる祝福、あるいは神がおゆるしになる試練を逆用して、魂を誘惑し、苦しめ、滅ぼそうとします。ですから、私たちに与えられている霊的な光がどんなに大きくても、あるいは私たちにどんなに多くの恩恵と祝福が与えられていても、私どもは神の前にい

つもけんそんな歩みをつづけ、神が私どもの思いの一つ一つをみちびき、私どもの動機の一つ一つを支配して下さるように、信仰をもつて祈り求めなければなりません。

神を信じると告白している者はすべて、どんな大きな誘惑に会っても、精神を守り、自己を抑制する最も聖なる義務があります。モーセに負わされた重荷は非常に重く、彼ほど激しい試みをうけた人は幾人もありません。しかしそのことは、彼が罪を犯してもいいという理由にはなりませんでした。神はご自分の民のために、十分な用意を備えておられます。神の力に寄り頼むとき、私どもは決して境遇にもてあそばれる者となることはありません。どんなに誘惑が激しくても、それは罪を犯す口実にはなりません。魂の上に加えられる圧力がどんなにひどくても罪を犯すそのことは私ども自身の行為です。人に悪を犯させる能力は地上にも地獄にもありません。サタンは弱点を攻撃して来ます。しかし征服されてはなりません。サタンの攻撃がどんなに激しく、また不意であつても、私どもは、神から助けを与えられているのですから神の力によつて勝利することができます。

創世時代と父祖の生活・英文・四二一ページ

## 一四 堅固な心

最後に勝利を得る者は、その信仰生活の途上に、恐るべき患難と試練の時期があることを覚悟しなければなりません。しかしこれは、キリストの学校の訓練の一部分であり、あらゆる不純物を取り去るためになくてはならない試練なのですから、私どもはそういう時にも確信を失ってはなりません。

せん。神のしもべたる者は、堅固な心をもって、敵の攻撃や非道な嘲弄に耐え忍び、サタンが路上に横たえる障害を征服しなければなりません。

サタンはキリストに従う者たちを落胆させて、彼らが祈ったり聖書を学んだりしなくなるようにしようとしています。また彼は、私たちの道に彼の憎むべき影を投げかけて、私たちの目からイエスを隠し、イエスの愛についての異象と、天国のかがやく嗣業を見せないようにしようとしています。サタンは神の子らが絶えざる疑惑の中に、おずおずと、ふるえ苦しみながら日を送ることをよろこぶのです。サタンは私たちの道をできるだけ不幸なものにしようと努力します。けれども、もし私たちが足下の困難ばかりを見ないで、天に目をそいで進むなら、途中で気を失うようなことはありません。上を仰いで進んでゆくとき、そこには私たちを助けようとして手をさしのべておられるイエスのお姿をみとめることができます。そのとき私たちは単純な信頼の中に、手をイエスにさし出して、イエスにみちびいていただければよいのです。信頼の思いを持つとき、そこには望みが生じます。

### 神の力によって

イエスは世の光です。私たちはイエスにならって、自分の生涯を形づくらねばなりません。強い、均整のとれた、美しい品性を形づくるためにイエスの中に助けを求めることができます。サタンはこのような品性から輝き出る光を無効にすることができません。神は私どもひとりびとりがなすべき働きを持っておられます。私たちが人の賞賛や寵愛などの力によってささえられることは、神のみこころではありません。神は私たち一人一人が神の力によって立つように望んでおられます。私

たちにイエスご自身の完全な品性を着せ、私たちを向上させ高貴にし、そして神の国の住居にふさわしい者とするために、神は最上の賜物としてひとり子イエスさえお与えになりました。イエスは、この世においてになって、イエスに従う私たちの生活の模範となるような一生をお送りになりました。もし私たちが放縦で怠慢で、神の大きいなる働きに協力して熱心に努力することをしなければ、私どもは現世において損失を招くだけでなく、また来世の永遠の生活も失わなければなりません。

神は、私たちが絶望的な態度でなく、強い信仰と希望とをもって働くように望んでおられます。聖書を調べ、心の目が開けて、神を信じるすべての者が、滅びることなく永遠の生命を持ち得るように、神がイエスをこの世にお与えになったその広大な恩恵をみとめるとき、私たちは口に言いあらわすことのできない喜びと深い光栄を感じるにちがいありません。神は私たちが教育によって身につけたすべての事を、真理の前進のために用いるように望んでおられます。私たちの生活と品性には、真実な活気のある信仰心が反映していなければなりません。私たちはキリストの十字架を世人の前にかかげ、その十字架の光の中に魂の価値を明示しなければなりません。天のパンを食べることによって霊的能力を得るように、心を開いて聖書の言葉を悟らなければなりません。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八九〇年四月八日

## 一五 魂の宮

神のご要求に忠実に従うことは、あらゆる才能を啓発し、向上させ、強固にするのに、非常な力

をもっています。若くて神の奉仕に献身する者は、健全な判断力と、鋭い識別力をもった人間となります。世に知られるかぎり最大の教師であるイエスとの交わりによって、理解力は強められ、知性は輝き、心がきよめられます。すなわち、人の知、徳、体の能力が高められ、洗練され、とうといものとなります。「みことばが開けると、光を放って、無学な者に知恵を与えます」（詩篇一九ノ二三〇）。

## 神の理想

神を信じると告白している青年の中には、その言うところに反しているように思われる人がたくさんいます。彼らは、知識にも、霊性にも、すこしも進歩しません。彼らの能力は、進歩するよりも、むしろ退化しています。しかし、真のクリスチャンにとつて、詩篇記者のことは事実です。しかし、光と悟りは、ただ神のみことばの字面から得られるのではなく、神のみことばが、聖霊によつて、心に開かれ、適用されるときに、はじめて得られるのです。人は、真に悔い改めるとき、神の子となり、神のご性質にあずかる者となります。その時、心が新しくされるばかりでなく、私たちは、力のある強い知性を持つようになります。悔い改めて信仰にはいる前には、平凡な、むしろ貧弱な才能しかないと思われる人が、信仰にはいつてからは、すっかり人間が変わってしまつたようにみえる場合がよくあります。彼らは、すばらしい能力をあらわして、神のみことばの真理をさとり、また他人にも、この真理を伝えます。高い知的水準にある人々も、こうした人々との交わりを持つことを特権とみなすようになります。義の太陽であるイエスが、彼らの心に輝かしい光



をそそぎ、彼らのあらゆる能力をめざめさせて、活発に働かせて下さるのです。

青年が、聖霊の働きによつて、神のみことばを心にうけ入れ、これに従つた生活をするとき神は、彼らのために、偉大な働きをしてくださいます。神は、青年たちを、すべての知恵の根源であり、恩恵と純潔と真理の泉であるご自身のもとに、絶えず引きよせようとしておられます。心が崇高なテーマによつて占領されるとき、それはひとりでに高貴なものとなります。

## けがれた祠

口では神に仕えると言いながら、知識にも信仰にも、なんらの進歩を示さない人は、名前だけのクリスチャンです。こんな人の魂の宮は、けがれた祠で満たされています。つまらないものを読んだり、くだらないことをしゃべったり、世俗的な快楽を求めたり、そういうことばかりに、心が完全に占領されているので、神のみことばのはいる余地がないのです。キリストがお住みになるべき魂の中に、世俗や浮気や高慢心が場所を占めています。……

## 肉欲の放縦による墮落

食欲と情欲をほしいままにすることを、第一の幸福としてもとめる人は、決して幸福になることも、真に偉大な人間になることもできません。こういう人は、世俗的な意味からいって、どんなに高い地位に立つても神の御目には、低級で、卑劣で、腐った人間にしかみえません。天の神は、彼らの墮落のしるしが、その容貌に現われるようにお定めになりました。彼らの思いはこの世に属す

るもの、世俗的なものの上にあります。彼らのことばは、低い水準にある心を表わしています。彼らの心は卑劣さで満たされているので、その心からは、神のみ像がほとんど消されてしまっています。理性の声は沈黙させられ、判断は誤っています。肉欲の放縱のために、人の性質全体が、どれほど墮落してしまっていることでしょうか。意志をサタンに屈服させるとき、人は、なんと悪徳と愚かしさの深みに転落することでしょう。そのとき、真理が知性に訴えても無益です。なぜなら、心が真理のきよい原則にそむいているからです。

ザ・サイNZ・オブ・ザ・タイムズ・一八八一年一月一日

### 誘惑における助け

私たちはみな、信仰と祈りによって、福音の要求に応ずることができます。だれも、罪を犯すように強制されることはできません。欲望が理性を支配し、不義が良心を征服するには、その前にまず本人自身の同意がなければなりませんし、その魂が、罪の行為を意図しなければなりません。誘惑がどんなに強くても、それは決して、罪の口実になりません。「主の目は義人たちに注がれ、主の耳は彼らの祈りにかたむく」(ペテロ第二・三ノ一二)。

誘惑の中にある魂よ、主にむかって叫びなさい。無力、無価値な自分自身を、イエスの前に投げ出して、その御約束にすぎりなさい。そのとき、主は、耳をかたむけてくださいます。主は、人間の生れつきのままの心の性癖がどんなに強いかを知っておられて、誘惑を受けるたびに、助けをあたえてくださいます。

あなたは、罪に陥ってはいませんか。もしそうなら、今すぐ、神のあわれみと許しを求めなさい。……いまでも罪びとの上にそのあわれみの手がさしのべられています。主は、私たちがさまよいつづけている間中、「背信の子どもたちよ、帰れ。わたしはあなたがたの背信をいやす」と、呼びかけておられます(エレミヤ書三ノ二二)。

教会へのあかし・第五巻・一七七ページ

## 一六 あなたがたは自分自身のものではない

よくこういう質問を耳にします。私は決して自分の好きなようにやってはいけないうか。自分自身の道を進むことは絶対にいけないでしょうか。いつでも、自分の心を、抑制していなくてはならないでしょうか。自分の性癖に従って行動することは絶対にいけないのでしょうか。

生れつきのままの性癖に従うことが少なくなればなるほど、それだけ自分自身のためにもなり、また他人のためにもなるのです。人が生れつき持っている性癖は墮落し、生れつき持っている能力は、悪用されてきました。サタンは、人と神との間に、不一致を生じさせました。彼は、人の中にある神のみ像をこわそうと、たえず働いています。したがって私たちは、言葉と行為を抑制しなければなりません。

## 全的な献身の結果

心が神の恩恵によって占領されるとき、先天的後天的な悪の傾向は、十字架につけられねばなら

ないことがわかります。魂のうちには、新しい支配のもとに、新しい生命が生じなければなりません。すべてのことは、神の栄えのために、なされなければなりません。この働きは、人の内部的な面にも、外部的な面にも現われなければなりません。知、徳、体の全体を、神に服従させ、義の器として、神に用いていただくかななりません。

生れつきのままの人間は、神の律法に従わず、また自力では従うことができません。しかし、新たに生れかわった者は、信仰によって、日々に、キリストの生命に生きます。彼は、自分が神のものであることを認めていることを日々に示します。

魂と肉体は、神のもです。神は世のあがないのためにみ子をお与えになりました。このゆえに私たちは生命が延ばされて、欠点のない忠実な品性を発達させるための期間があたえられているのです。神は、私たちを、罪の奴隷から救い、私たちが生れかわって、一変した奉仕の生活を送ることができるようになってくださったのです。

### われらのすべての能力は神のもの

私たちには、神の印がおされています。神は、私たちを買われたのです。私たちの知、徳、体の能力は、神のものであるということ、私たちが忘れないように神は望んでおられます。時間も感化力も、理性も、愛情も、良心も、みな神のもので、神のみこころにかなうことにだけ用いなければなりません。私たちは、それらを、世の指図に従って用いてはなりません。なぜなら、世は神に敵対しているサタンの指導のもとにあるからです。

魂の宮である肉体は、神のものです。筋肉、筋骨の一つ一つは神のものです。どんな場合にも、一つの器官でも粗末にしたり悪用したりして、これを弱くしてはなりません。肉体を最上の健康状態に保つことによって、これを聖霊の宿る宮とすることに神と協力しなければなりません。そのとき初めて、聖霊は肉体と霊性のあらゆる能力を神のみこころにしたがって形づくられることができます。

きよい原則を心にたくわえねばなりません。魂という板に、真理を彫りこまねばなりません。みことばのとうとい真理を記憶に満たさねばなりません。そのときこれらの真理は、美しい宝石のように、日ごとの生活に光を放ちます。

### 魂の価値

神がそのみ手のわざによってお造りになったものの上に置かれる価値、すなわち、神がご自分の子らに寄せられる愛は、人類をあがなうために神がおあたえになった賜物の中にあらわされています。アダムは、サタンの支配に陥りました。アダムは罪と罪による死を世にもたらしました。神は人類を救うために、ひとり子をお与えになりました。神はこれによって自ら義となり、さらにキリストを受け入れるすべての者を義となさいます。人は自分自身をサタンに売り渡しましたが、イエスは人類を買い戻されました。……

私たちは、私たち自身のものではありません。イエスは、ご自分の血で私たちを買い受けられたのです。自分のタレントを地中に埋めてしまっただけではありません。それを神のために用いなければな

りません。どんな事業に従事しようと、イエスと一緒になければなりません。もし救い主に対する愛が冷えてゆくことに気がついたら、自分の事業を放棄して、「主よ、私はここにあります。私に、何をさせようと望んでおられるのでしょうか」と、言わなければなりません。イエスは、私たちをやさしく受け入れ、存分に愛してくださいます。彼は、だれひとりとして滅びることをお喜びにならず、恵み深く忍耐深いお方ですから私たちを寛大に許してくださいます。……

私たち自身、また私たちの持っているすべてのものは神のものです。私たちは心の愛情をイエスにささげることが犠牲と思つてはなりません。私たちの心そのものを、よるこんでささげなければなりません。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇〇年十一月八日

## 決断の必要

サタンの言う通りになったら、どんな利益が得られるだろうかと考えて迷うことは、安全ではありません。罪はそれにふけるすべての魂に、不名誉と不幸を意味します。けれども罪は人を盲目にし、欺く性質を持っているので、私たちをうれしがらせるような外観をもつて誘惑します。もしサタンの側に踏みこんだら、彼の力から守られる保証はありません。できるだけすべての道を閉ざし、誘惑者を近づけないようにしなければなりません。

祝福の山・一七一ページ

## 一七 真の改心

「わたしは清い水をあなたがたに注いで、すべての汚れから清め、またあなたがたを、すべての

偶像から清める。わたしは新しい心をあなたがたに与え、新しい霊をあなたがたの内に授け、あなたがたの肉から、石の心を除いて、肉の心を与える」(エゼキエル書三六ノ二五、二六)。

新しい心の必要を他人に説きながら、自分自身はそのことばの意味を何もわかっていない人がたくさんいます。青年たちはことに、この「新しい心」ということばにつまずきます。彼らには、それが何を意味しているかがわからないのです。彼らは自分の気持ちに特別な変化が行われるのを期待します。これを彼らは改心と称します。多くの人々がこのあやまちにつまずいて、「あなたがたは新しく生れなければならない」ということばを理解することができず、ついには滅びてしまうのです(ヨハネ三ノ七)。

### 感情でなく、生活の変化

サタンは、改心とは、一種の歡喜の興奮状態であると人々に思いこませようとします。しかし、彼らの実生活の経験は変化しません。その行為はこれまでと変わりません。その生活は少しもよい実を結びません。彼らは幾度も長い祈りをささげ、これこれのときにこういう気持を感じたと始終口にします。しかし、新しい生活を送っていません。彼らはだまされているのです。その経験はただ気分だけで、それ以上の深いものがないのです。彼らの家は、砂の上に建てられているので、あらしが吹けば、吹き倒されてしまいます。

人が経験したような気分を、自分も持ちたいと願って、可哀想に多くの魂が暗闇の中を探り求めています。キリストを信じる者は、「恐れおののいて自分の救いの達成に努め」なければならぬ

という事実を、彼らはみのがしているのです（ピリピ二ノ一二）。罪を自覚した者は、次にしなければならぬことがあります。彼は悔い改めて、真の信仰を示さなければなりません。

イエスが、新しい心についてお語りになると、精神と生活すなわち全体のことを言っておられるのです。心を入れかえることは、世俗に向けられていた愛情をひっこめて、これをキリストに結びつけることです。新しい心を持つことは、新しい精神、新しい目的、新しい動機を持つことです。では、新しい心のしるしはなんでしょうか。それは生れかわった生活です。そこには、日々に、時刻々に、利己心と高慢に対する死がなければなりません。

### 実際のな真の信仰

実際の奉仕をしないでも、口先だけでりっぱな告白をしさえすれば、それで奉仕の代りになるかのように、たいそう誤った考えをもっている人々があります。しかし実際のでない信仰は、真実なものではありません。真に改心するとき、私たちは人々に対して絶対に正直な態度をとるようになります、また毎日の働きに忠実になります。キリストの真の弟子はみな、聖書を信じる宗教によって、自分の才能を主の奉仕に用いる資格があることを示します。

「熱心で、うむことなく」とあります（ローマ二ノ一二）。このことは、真のクリスチャンたるひとりびとりの生活に実現されなければなりません。あなたの働きがたとえ骨折り仕事に思えても、あなたのやりようで、それをとうといものにすることができます。その働きを、主に対してするようになさい。心楽しく、そして天来の威厳をもってなさい。働きの中とうとい原則が生かさ



れるとき、その働きは、神の御目によるこばれるものとなります。真の奉仕を通して、地上の最もいやしい神のしもべたちは天上の最もとうとい神のしもべたちに結びつけられます。……

クリスチャンは、神のむすこ娘として、福音の中に示されている高い理想に達するように努力しなければなりません。「それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい」(マタイ五ノ四八)と、キリストが仰せられたように、完全に達するまでは満足してはなりません。

### きよめられた生活

神のみことばを学んで、その聖なる原則を私たちの生活にとり入れましょう。日々に自分の欠点を直しながら、柔和とけんそんな心をもって、神のみに歩みましょう。利己的な高慢心のために、魂が神から離れるようなことがあってはなりません。自分は人よりすぐれているという思いあがった優越感をいだいてはなりません。「だから、立っていると思う者は、倒れないように気をつけるがよい」と教えられています(コリント第一・一〇ノ一二)。平安と休息は、自分の意志をキリストのみこころに服従させるときに与えられます。そのとき心の中はキリストの愛が支配し、行為のかくれた動機を救い主に従えさせます。せっかちな、いらだちやすい気分は、キリストの恩恵という油によって、やわらげられ、静められます。罪がゆるされたという意識によって、「人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安」が与えられます(ピリピ四ノ七)。クリスチャンとしての完成に反するいっさいのものにうち勝つために熱心な努力がなされます。不和はなくなります。まわ

りの人々の欠点ばかりみていた人が、自分の品性のうちにもっと大きな欠点があることを認めるようになります。

真理をきいて、これまでキリストに反する生活をして来たことに気づく人々がいます。彼らは、罪を示されて、その罪を悔い改めます。彼らは、キリストの功績によりすがり、キリストのうちに真の信仰を働かせて、罪のゆるしを受けます。悪いことをするのをやめて、よいことをするようになったとき、彼らは神の恩恵と神の知識のうちに成長します。彼らは世から離れるために犠牲を払わなければならないことを知ります。そして「その費用を計算し」てみて、キリストをわがものとするのができさえすれば、他のことはみな損とみなします（ルカ一四ノ二八）。彼らはキリストの軍隊に召集されたのです。戦いは彼らの目の前にあります。彼らは、勇敢によるこんで戦いに突入し、自分の生れつきの性癖や、利己的な欲望と戦い、意志をキリストのみこころに服従させます。天来の恩恵によつて、神に従うことができるように日ごとに祈り求めるとき力と助けがあたえられます。これが真の改心です。新しい心をあたえられた者は、けんそんにそして感謝に満ちた信頼心をもつてキリストの助けに寄り頼みます。彼の生活の中には、義という実が現われます。彼はかつては自分自身を愛しました。世俗的な快楽を楽しみました。しかしいま彼の偶像は退けられ、神が最高位にあつて統治しておられます。かつて愛した罪をこんどは憎むようになります。断固として聖潔の道を歩むようになります。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇一年一二月二六日

サタンのきずな

義務の苦痛と、罪の快樂は、サタンが人をわなにしばらくつける縄です。悪い行為をするよりは、むしろ死んだ方がよいと思う人だけが、忠実な者とみとめられるでしょう。

教会へのあかし・第五巻・五三ページ

## 一八 あるわがままな娘への忠告

あなたは、憂慮すべき過去の記録をもっています。それは、天の神の御目にはもちろん、幾万の聖なる天使たちの目に明らかです。あなたの思想や行為、また投げやりな、きよくない感情は人間の目には隠すことができたかもしれませんが。しかしあなたの生活のどんな小さな行為も、神の御目にはすっかりわかつていることを忘れてはなりません。あなたの天の記録は汚れています。あなたの犯した罪は、全部そこに書きとめられています。

神はあなたに顔をしかめていらっしゃるのに、あなたは何も感じていないようにみえます。あなたは、自分が失われ、滅びた状態にあることがわかっていません。あなたは時々後悔の思いをいだくこともあります。しかしあなたの高慢な自尊心はすぐに後悔の念をおさえつけ、あなたは良心の声をうち消してしまします。

あなたは幸福ではありません。けれども、もし何ものにもしばらくられないで自分の思う通りの生活ができれば幸福だろうとあなたは考えています。かわいそうに、あなたはエデンのエバと同じ立場をとっているのです。神は、エバが死なないように、木の実に触れることさえ禁じられたのに、エ

バは、その実を食べたらどんなに高い身分になれるだろうと想像しました。彼女はその実を食べて、エデンのすべての栄光を失いました。

### 心の思いを抑制すること

あなたは自分の思いを抑制しなければなりません。それは容易なことではありません。これは細心な、しかもきびしい努力がなければ達成できません。しかし神は、このことをあなたに要求しておられます。それは審判を受けなければならない人間のひとりびとりに負わされた義務です。あなたは自分の思いについて神の前に責任があります。むなしい思いにふけり、不純なことに心を奪われるがままにしておくことは、その思いを行為に移したのと同じ程度の罪に神からみなされます。機会がないのでその行為をしないというだけのことです。

夜も昼も夢をみ、空想を描くことは悪いことでしかも非常に危険な習慣です。一たんこういう習慣がつくと、それをうち破って、心の思いを純潔で聖なる高いテーマに向けることはほとんど不可能になります。心を抑制したいと思うなら、そしてまた、むなしいけがれた思いで魂を汚したくないと思うなら、自分の目や耳やすべての感覚器官を厳重に監視しなければなりません。ただ恩恵の能力によってだけ、この最も望ましい働きをなしとげることができます。あなたはこの方面に劣っています。

### 欲望と情熱の克服

あなたは、わがままで、大胆で、どんなことでもやりかねないような人間になってしまいました。

あなたの心のうちには、神の恩恵の宿る余地がありません。神の力にたよらないかぎり、あなたは神の恩恵を受け入れる者、また義の器としての立場にまで、自分自身を高めることはできません。神は心の思いだけでなく、欲望と愛情もまた抑制するように要求しておられます。あなたの救いはあなたがこれらのことを支配できるかどうかにかかっているのです。欲望と愛情は、強力な作用をもっています。もし方向をあやまったり、まちがった動機に動かされたり、置き場をまちがえたりするようなことがあつたら、それらはあなたを破滅させ、神も希望もない悲惨な敗残者としてしまうのに力があります。

欲望や愛情を、理性と良心と人格にしたがわせるには、心の思いを積極的に根気よく抑制しなければなりません。あなたは、欲望の祭壇の上にまさに永遠の運命を犠牲にしようとする危険な立場にあります。欲望しかも下等で、人を破滅させるような性質の欲望が、あなたの人間全体に絶対的な支配力を及ぼそうとしています。これに負けてしまえば、あなたは両親の生活を苦しめ、姉妹方に悲しみと恥じをもたらし、自分自身の人格を犠牲にし、天国と輝かしい永遠の生命を失うことになります。それでもよいとあなたは思いますか。いますぐおやめなさいと、私はあなたに訴えたいのです。強情で浮気な道を、もうこれ以上一步もふみ出してはいけません。不幸と死は目の前にあります。欲望と愛情について、自分を抑制する心を働かさなければ、まわりのすべての人々の不評判を招き、自分の人格に一生の間ぬぐいさることのできない不面目を招くことは確実です。

あなたは、両親にしたがわず、生意気で、感謝することを知らず、不敬虔です。そういう悲しむべき性質は、悪い木のむすんだ実です。あなたは早熟です。あなたは男たちを愛し、好んで彼らの

ことを会話の主題にします。「おおよそ、心からあふれることを口が語るものである」とあります（マタイ一二ノ三四）。習性が強力になってあなたを支配しています。あなたは自分の目的を実現し、自分の望みを遂げるためには、欺くことまでおぼえています。

教会へのあかし・第二巻・五六〇 五六二ページ

## 一九 戦いを通して得られる人格の力

キリストは、初めの三十年間の生涯を、ナザレの片いなかにお送りになりました。この村の住民たちは、人間が悪いことで有名でした。ナタナエルが、「ナザレからなんのよいものが出ようか」と言っているほどです（ヨハネ一ノ四六）。四福音書の記者たちはキリストの少年時代については、少ししか書いていません。イエスが両親につれられて、エルサレムに行かれたことについて、短い記録があるほかには「幼な子は、ますます成長して強くなり、知恵にみち、そして神の恵みがその上にあつた」と、簡単に述べられているだけです（ルカ二ノ四〇）。

キリストは、すべてのことに、私たちの模範です。神の摂理によつて、キリストは、少年時代をナザレにお送りになりました。そこは、住民の素質が悪く、イエスがいつも誘惑にさらされ、このような罪と邪悪のさなかにあって、けがれなく純潔に身を保つには、よほど用心しなければならぬようなところでした。キリストがご自分でこの場所をお選びになったものではありません。天の父なる神が、イエスのためにこの場所をえらび、その品性が、いろいろな方面から、試みられ、鍛え

られるようになさったのです。キリストの品性が完全な発達をとげて、子供にとっても、青年にとっても、おとなにとっても完全な模範となるためには、キリストは、少年時代から、きびしい試練と困難と戦いに会わなければなりませんでした。

住んでいる環境が、子供や青年たちにとって、クリスチャン生活を送るのに、好ましくない場合がよくあります。簡単に誘惑に負けてしまっただけから、自分が悪の道に踏みこんだのは、環境が悪かったからだ、盛んに言い訳をします。キリストは世間からひっこんで、手を働かして勤労の生活を送り、誘惑に近づかず、墮落的な影響を与える人々との交際から遠ざかっておられました。キリストは、青年たちが歩まねばならない正しい道を自ら歩きました。富裕で怠惰な生活はキリストの生活ではありませんでした。イエスの両親は貧しく、その日その日の働きで暮しをささえていました。したがって、キリストの生活は、貧しくて、不自由で、犠牲的な生活でした。キリストは、両親と一しょに、勤勉な生活を送られました。

### 純潔は環境に左右されない

救い主よりも不利な環境の中で、クリスチャン品性を完成するように召されている人はいません。あんなところからよいものが出るはずがないと人々の考えるようなナザレで、キリストが三十年もお暮しになったという事実は、宗教的な品性は環境次第だと考えている青年たちにとって、一つの譴責です。青年たちの環境がおもしろくない、絶対に悪い環境である場合、多くの人は、そのことをもって、クリスチャンとしての品性を完成できない口実にします。キリストに従う者が、欠点

のない生活を送るためには、環境のよい場所や財産をもち、富裕な生活でなければならぬと考える者にとつて、キリストの模範は一つの譴責です。神のみこころによつて召された場所や地位が、どんなに卑しいものであると、私たちの忠誠によつてそれは尊いものとなることを、キリストは教えておられます。

キリストの生活は、純潔で不変な堅い原則は困難や貧乏や逆境を全然知らない生活から生れるものではない、ということを示すためでした。キリストは多くの青年たちが不平を言うような試練や欠乏を、黙々と耐えられました。そしてこの鍛練こそは、青年にとつて必要な経験であり、これによつて、彼らは品性の強固な者となり、キリストのように強い精神をもつて誘惑に抵抗するようになるのです。足を踏み迷わせ、靈性を墮落させるような影響から離れるとき、サタンの計略に負けるようなことはありません。毎日、神に祈ることによつて、神の知恵と恩恵をあたえられ、人生のきびしい現実と戦いに耐え、勝利者となることができます。落ち着いた誠実な心は、目をさまして祈ることによつてのみ保たれます。キリストの生涯は、非難や、嘲弄や、貧乏や困難などで弱ってしまうことのない不撓不屈の精神力の模範でした。

青年はこのようではなければなりません。もし試練がまし加わるなら、それは、神が自分の誠実を試みておられるのだと思うことができます。失意のもとに誠実な品性を保ちつづけることができます。それだけ勇氣と不変な心と忍耐力とは増し加わり、精神はますます健やかになるのです。

ザ・ユース・インストラクター・一八七二年三月



不名誉よりはむしろ死を

罪で魂を汚すよりは、むしろ貧乏でも、非難でも、友人の離反でも、どんな苦難でも受けることを選びなさい。不名誉なことをしたり神の律法を犯したりするよりは、むしろ死んだ方がよいというのがすべてのクリスチャンのモットーでなければなりません。

教会へのあかし・第五巻・一四七ページ

二〇 誘惑への抵抗

神のご性質にあずかる者は、誘惑に負けません。サタンは、クリスチャン生活に努力している者を征服するために、全力をあげて働きかけます。敵は、私たちを屈服させようと思つて、誘惑をもつてやってきます。こうして、敵は私たちを落胆させようと思つのです。しかし、永遠の岩であるキリストに足をしっかりとふまえているときに、サタンの計画に屈服するようなことはありません。神を父とし、キリストを助け主としていることを忘れてはなりません。キリストは、試練と誘惑を受けている魂に、ご自分が勝利されたように勝利する力を与えるために、この世においてになつたのです。私は誘惑の力を知っています。私は途中の危険を知っています。しかし誘惑と戦っている者には、必要に応じていつでも十分な力が与えられることもまた私は知っています。

## 不必要な誘惑は避けねばならない

「神は真実である。あなたがたを耐えられないような試練に会わせることはないばかりか、試練と同時にそれに耐えられるように、のがれる道も備えて下さるのである」(コリント第一・一〇ノ一三)。しかし私たちにも、しなければならぬ分があります。ことさらに身を誘惑の道においてはなりません。「彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。そして汚れたものに触れてはならない。触れなければ、わたしはあなたがたを受け入れよう。そしてわたしは、あなたがたの父となり、あなたがたは、わたしのむすこ、娘となるであろう」と、神は仰せになつています(コリント第二・六ノ一七)。世の人々と交わって歡樂を共にしたり、世の中の習慣にしたがつたり、未信者と利害関係を共にしたりなどして、足を誘惑と罪の道におきながら、墮落しないように神に守っていたらどうか、どうして期待できるでしょうか。

世の中の墮落の感化から遠ざかつていなければなりません。敵の軍勢が強力な陣地を築いている場所へ、自分から出かけていってはなりません。

誘惑されて、道を踏み迷うようなところへ行つてはなりません。しかし未信者に使命を感じ、自分が神と共なる生活を送っているために、彼らに時になうことばを語ることができるなら、彼らの助けになりまた神の栄えとなる働きをすることができます。キリストは「わたしがお願ひするのには、彼らを世から取り去ることではなく、彼らを悪しき者から守つて下さることでありませう」と言われました(ヨハネ一七ノ一五)。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇四年四月一四日

自分の考えよりもまず義務を第一に

若い人たちが、サタンの支配からのがれようとする、サタンは、その誘惑をさらに倍加します。彼は、若い人たちの無知と無経験につけこんで、正しいことと悪いこととの区別を、あいまいにしようとします。サタンは、身を光の天使に変装して、禁断の道の快樂を約束して欺きます。青少年たちが、義務に従わないで、自分のしたい放題のことをする習慣がつけば、誘惑に抵抗することは困難になります。禁じられた享樂にたった一度でもふけることがどんなに危険なことであるかということが彼らにわかっていません。サタンのそのかしは心の中でためらっている墮落の要素を刺激します。

ザ・サインズ・オブ・ザ・タイムズ・一八八二年一月一九日

一一一 罪の欺瞞性

罪の欺瞞性ほど人を裏切るものはありません。人を欺き、盲目にし、破滅に至らせるものはこの世の神です。サタンは、誘惑を一時に並べたててやってきません。彼は、誘惑をいつわって善に似させます。サタンが娯樂や愚かなことに、いくらか役にたつようなことを混ぜるので、だまされた魂はそういうことの中から、非常な益が得られるはずだと言いわけをします。それは欺瞞的な言い分にすぎません。それは、仮面をかぶったサタンの憎むべき手段です。だまされた魂は一歩進み、さらに次の一歩をふみ出すばかりになっています。彼らは、狡猾な敵から身を防御し、その最初の

しのび込みに抵抗し、敵がはいりこむのをしめ出すよりは、自分の心の好みに従う方がはるかに楽しいのです。

サタンは、自分が投げたえさに魂がやすやすとかかり、自分が備えた道に魂が歩むのを見ると、どんなによろこぶことでしょう。サタンは、人々が祈りをやめたり、宗教的な義務の体裁だけを維持することをやめたりするようには望みません。なぜなら、こうしてサタンは、人々を自分の働きのために、もっと有効に用いることができるからです。サタンは、詭弁と欺瞞のわなを、こういう人々の生活やことばと結びつけて、自分の働きを驚くばかりに進めます。

### 自己を吟味する

きびしく自己を吟味し、神のみことばに照らして、私の心は健全だろうか、腐敗していないだろうかと綿密に検討してみなければなりません。私は、キリストのうちに新たにされているでしょうか、それとも外面だけ新しい装いをつけながら、心はやはり肉欲的ではないでしょうか。神の審判に備えて、身をひきしめ、神の光に照らして、かくれた罪や不義、捨てきれない偶像がないかを調べなければなりません。サタンの計画に欺かれることのないように、また無頓着で、不注意で、虚栄的な精神に陥ることのないように、ただ良心を満足させるためだけに宗教的な義務を行うことのないように、かつてないほど祈りなさい。

世の終りのしるしとなっている罪惡の一つは、自分はクリスチャンであると称しながら、神よりも享樂を愛することです。自分自身の魂のほんとうの姿をみつめ、注意深くしらべなければならま

せん。忠実にしらべた後、天を仰いで、「私はそういう者ではありません。私は、神よりも快樂を愛するような者ではありません」と言い得る者が何人いるでしょうか。あるいはまた、「私は世に死んだ者です。私がいま生きているのは、神のみ子を信ずる信仰によるものです。私の生命はキリストとともに神のうちにかくれていて、私の生命であるキリストが現われるとき、私もキリストとともに栄光のうちに現われるのです」と言い得る者がどんなに少ないことでしょう。

神の愛と恩恵！そのとうとい恩恵は、黄金よりも価値があります。それは他のどんな原則よりも、人の心を高め、とうといものとします。それは人の思いと愛情を天に向けます。まわりの人々が、世俗的な虚栄と享樂と愚かなことにふけているときに、私たちの話題は待望の救い主のおられる天にあります。魂は、ゆるしと平安、義と真の聖潔をもとめて神に手をさしのべています。神と語り、天の事物について瞑想するとき、魂はキリストのみ像に変化させられます。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八八六年五月一日

## 一一一 懷疑への警告

私の心は青年たちのことを思って非常に痛みます。私は、危険を知っている者として、あなた方に警告したいのです。あなた方の得たわずばかりの科学知識によってサタンのわなにかかってはなりません。神をおそれる心を持たないであらゆる知識を得るよりも、純潔でけんそんな心をもつ方がまさっています。

今日の青年たちは、どこに行っても、懐疑論者と無神論者に当面することが多いので、いつでも自分たちの希望の根拠を柔和とおそれをもって述べることができるように準備していなければなりません。トーマス・ペインは墓に眠っていますが、彼の著書は生きて世のわざわいとなっています。神のみことばの真実を疑う者は、こうした不信仰の著書が無経験な青年たちの手に渡して彼らの心を有害な、懐疑的なふんいきで満たします。サタンの精神は、魂を滅ぼす計画を実行するために悪い人たちを通して働きます。

### 懐疑論者と交わることの危険

私たちは放縦な時代に生存しています。人々は罪を犯すことに大胆です。わが青年たちを、きよく守り、しっかりと原則で固め、その交友をえらび、心のかたととなる書物をえらぶことにもっと注意を払わなければ、彼らは、ソドムの住民と同じように道徳の腐敗した社会に身をさらさなければなりません。世の中には私たちの心をひきつけるような外観を持った人がいるかもしれませんが、しかし彼らがたえず聖書に反対の暗示を投げかけているなら、それは危険な友です。なぜなら彼らは、つねに信仰の根底を破壊しようとし、古い福音の宗教の良心を墮落させようと努めているからです。

青年たちが、よくこういう懐疑的な傾向の人たちに接しているのに、親は悪の恐るべき働きができてきた子供が破滅するまで、その事実を知らないことが多いのです。青年たちが、こういう人の真の性格について欺かれ、こういう種類の人々と友情をむすんだり、彼らのあてこすりのこと

はや詭弁に耳を傾けたりすることのないように、熱心に教えなければなりません。青年たちは、こういう人々の不信仰を発見したら、交際を断つだけの道徳的勇氣を持たなければなりません。さもなければ、彼らはそのわなに陥って、その交際仲間と同じようなものの考え方や言い方をし、宗教と聖書の信仰を軽んじるような口をきくようになります。

### 自信と盲目

欺かれている青年たちの目が開かれたら、彼らは、魂を滅ぼすことに成功したサタンの勝ち誇った流し目に気がつくでしょう。サタンは、この人間を迷わせようと思うと、その人の性質や境遇に応じて、あらゆる方法を考え出します。サタンはあらゆる方法を試みるので、これらの誘惑をうける人は、神を求めないならば、サタンの欺きがわからず、自信と自己満足に陥り、自分の状態や危険に気がつきません。そうして彼らは、かつて聖徒たちにあたえられた信仰を軽蔑するようになります。

私は、青年たちの道に伴う危険について、神から目を開かれ、これを知っている者として、語っているのです。自己に依頼するとき、敵のわなにかかってしまします。青年たちは、神に助言を求めず、神を避け所とし、また力としません。彼らは理性の力によつて、正しいことをえらび、神の奥義を悟ることができるといふ自信に満ちて、あたかも自分で真理を発見することができるかのように、絶対の確信をもつて世間に出て行きます。

自信に満ちた人は、他のどんな人よりも心配です。なぜなら、こういう人は必ず神と人類の大敵

たるサタンの張った網にかかってしまうからです。疑惑という腐敗に染まっている人を親しい友としてえらぶとき、彼の心には不信の念が少しづつ植えつけられます。彼は自分の才能やすぐれた知性についてみえすいたお世辞を言われ、高い地位への野心をおだてられてそちの方へ心を奪われ、ついには道徳的な衰退に見舞われます。高慢な意見をもっている人は、贖罪のいけにえの血を軽んじ、恩恵の霊をないがしろにします。

安息日を守っている親をもち、とうとい光をあたえられ、やさしい心づかいのまとであった子供たちが、恥辱という遺産を残し「風をまいて、つむじ風を刈りと」る者となるかもしれません（ホセア書八ノ七）。審判のときには、とうとい光にそむいて、罪を犯した者の名は、神の前から離れ、神の力の栄光から離れた者として、罪を宣告された者の名とともに書きしるされます。彼らは滅び、キリストの恩恵をあざける者たちの中にかぞえられます。

私は、自分の子供が死にいたる道を歩いているのを見るよりは、むしろ彼らが墓に横たわっているのを見る方がよいと思います。せっかく育てあげた子供たちが天の神にさからって戦い、終末時代の背信の仲間入りをし、サタンの黒旗の下に行進する悲惨な事実は、思っただけでも恐ろしい気がします。

### 道徳的勇気の必要

わが青年たちは、どちらを向いても誘惑に直面します。彼らは、人間が与えることができるよりもいっそう大きな力、いっそう高い教養に信頼することを学ばねばなりません。どこに行っても、



何かといえはすぐキリスト教の悪口を言い、神をあざける者がいます。彼らはキリスト教は子供のおもちゃだ、無知な者のばかり正直につけこむために発明されたものだと言います。

道徳的な勇気をもっていない者は真理を擁護することができません。彼らは、こう言いきるだけの勇気がないのです。「そういう話をやめなければ、私はここにいることはできません。世のあがない主であるイエスは私の救い主です。永遠の生命の望みはイエスに集中されているのです」こう言いきることができさえすれば、彼らを沈黙させることができます。議論をすれば、彼らはどこまでも理屈でもって私たちに迫りますので、どのように言っても彼らの心を動かすことはできません。しかし、キリストのために生活し、神に対して堅く忠誠を保つとき、それは理屈ではなし得ないところをなし、彼らの信条が誤っていることを敬虔のちからによって、悟らせることができます。

キリストの血によってあがなわれ、神の栄えをあらわすために才能をゆだねられている人々が、福音を通してあたえられている恩恵の使命をあざけるようになり、キリストの神性を否定し、自身への限りある理性と、根拠のない理屈に依頼するのを見ることがくらい悲しい光景はありません。苦難の試練をうけたり、死に直面したりすると、彼らのいだいていたすべての誤謬は太陽にあたった霜のように解け去ってしまいます。

神の恩恵の訴えをしりぞけた人のひつぎの前に立つことは、なんという悲惨なことでしょう。最高の標準に達し、不滅の生命を得ることができたかもしれないのに、生涯をサタンに屈服させ、人間のむなしい理論のとりことなり敵のなぐさみものになって、生命を滅ぼした人がここに横たわっていると言われることは、なんという悲しいことでしょう。クリスチャンの「望みは、わたしたち

にとつて、いわば、たましいを安全にし不動にする錨であり、かつ『幕の内』にはいり行かせるものである。その幕の内にイエスは、永遠に……わたしたちのためにさきがけとなつてはいられたのである』（ヘブル六ノ一九）。私たちは、目の前にある大いなる事件のために準備するために、なさねばならないそれぞれの働きを持っています。

### あらしは迫る

青年たちはもつと熱心に神を求めなければなりません。あらしはまもなくやってきます。私たちは、神に対して悔い改め、主イエス・キリストを信じて、荒れ狂うあらしに備えなければなりません。主は立ちあがって、恐ろしい勢いで地を揺り動かされるでしょう。四方に悩みが起ります。幾千の船が海の底にのみ込まれます。艦隊は沈み、幾百万の人命が失われます。不意に火災が起り、人間がどんなに努力してもその火を消すことができません。地上の宮殿はすべて怒りの炎の中に跡かたもなく消えてしまいます。鉄道事故はますます相次いで起り、大きな旅客輸送路に混乱や衝突や死が一刻の前ぶれもなく突発します。終末は近く、恩恵期は閉ざされようとしています。神の姿が見えているうちに神を求め、神が近くにおられる間に神を呼びもとめましょう。預言者はこう言っています、「すべて主の命令を行うこの地のへりくだる者よ、主を求めよ。正義を求めよ。けんそんを求めよ。そうすればあなたがたは主の怒りの日に、あるいは隠されることがある」（ゼパニヤ書二ノ三）。

ザ・サインズ・オブ・ザ・タイムズ・一八九〇年四月二一日

## 日々神によりたのめ

朝、目がさめると、あなたは自分の無力と、神の力の必要を感じますか。また自分の願いをへりくだって真心から天の神に訴えますか。もしそうなら天使たちはあなたの祈りに注目します。その祈りが偽りのくちびるから出たものでなければ、気がつかずに悪いことをしようしたり、他人を悪に導くような感化をおよぼす危険があると、守りの天使がそばに立ってあなたを正しい道にみちびき、語るべきことばを選び、とるべき行動を教えてください。

なんの危険も感じず、また誘惑に抵抗するために助けと力を求める祈りをささげないなら、必ず道を踏み迷います。義務を怠ったことは、天の神の書に記入され、審判の日に欠点のある者とされます。

教会へのあかし・第三卷・三六三、三六四ページ

## 一二三 一つの弱点

わたしたちは、自分は他の人たちのような悪いことは何もしないとうぬぼれることがあるかもしれませんが。しかし、たとえ品性の美点があってもそこに一つの弱点があれば、やはり魂と罪との間にはつながりがあるのです。そうして、心は二つに分れて自我と神との両方に兼ね仕えているのです。神の子たる者は、自分の心の中で甘やかしふけている罪をさぐり出し、その罪を神に心から切りとってもらわねばなりません。その一つの罪に勝利しなければなりません。それは神の御

目には、決して取るに足りない問題ではないのです。

ある人はこう言います、「私は少しもねたんでなんかいない。怒りに負けてしまったことはいつも残念に思うが、あの時はほんとうに憤慨させられて、ひどいことばを出したのだ」と。またある人はこう言います。「私にもこれこれの失敗はあった。しかしあの人が示したような卑劣さは軽蔑すべきだ」と。私たちには、等級のついた罪の一覧表を神から渡されていません。これは小さな罪だから、たいした害はあたえないとか、これは大きな罪だから非常な害を与えとかいうような見方をすることはできません。

鎖は、その中の一番弱い環の程度だけの強さしかありません。これなら大体丈夫な鎖だと言つても、一つでも弱い環があれば、その鎖は安心できません。どうしたら勝利できるかということとは、すべて神の国にはいる者の研究しなければならぬ問題です。今にも破裂しそうな短気なことばを抑えて言わないようにしなければなりません。自分の品性を正しく評価されていないという思いは取り去らねばなりません。それはあなたの感化力を弱め、その結果あなたは他人の心の中で軽くみられるようになります。自分は犠牲者だという考えにうち勝つて、キリストが、「わたしの恵みはあなたに対して十分である」と仰せになった約束にすぎらねばなりません(コリント第二・一二ノ九)。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八九三年八月一日

### 思いを抑制する

サタンの勢力範囲から遠ざかり、神への忠誠心がぐらつかないように気をつけなければなりません

ん。キリストを通して、幸福になることができ、またならねばならないのです。またキリストを通して、克己の習慣を身につけねばなりません。思うことも神のみこころに従わせ、感情を理性と信仰によって統制しなければなりません。抑制や訓練を加えることなしに、むやみに想像をたくましくしてはなりません。考え方がまちがっていると、感じ方もまちがいます。考え方と感じ方は共に一つになって道徳的品性を作りあげているのです。もしクリスチャンとして、ものの考え方や感じ方を抑制する必要がないと心にきめると、悪天使たちの影響を受け、彼らの存在と支配を招きます。自分の印象に屈服し、自分の思いが疑いや迷いやぐちにとらわれるとき、私たちは最も不幸な人間となり、一生は失敗に終わります。

教会へのあかし・第五巻・三一〇ページ



# 第三部

## 勝利の獲得

自分の無価値を感じて、救い主の功績に全的に寄り頼む魂は、無力に見えながら実はこれほど強いものはありません。神はこのような魂が打ち負かされるのをおゆるしにならないで、天のすべての天使をも助けに送ってください。

教会へのあかし・第7巻・17ページ



## 二四 上へ向かって前進

私は、クリスチャンの生活の美しさを描くことができたいと思います。人生の朝から、自然と神の律法に支配されて、クリスチャンは着実に上へ向かって前進し日々に天の家に近づいて行きます。そこには生命の冠と「受ける者のほか、だれも知らない新しい名」が彼を待っています（黙示録二ノ一七）。彼は、たえず幸福と聖潔と有用さの中に成長します。去年よりはことし、ことしよりは来年と、年々に進歩します。

神は青年にのぼるべきはしごとをお与えになっっています。それは、地から天に届いているはしごとです。この上には神がおられて、階段の一つ一つは栄光の輝きに照らされています。神ははしごをのぼって来る者を見守っておられて、手がゆるみ、足がよろめくときには、すぐに助けを送ってください。忍耐がよくはしごをのぼる者はだれでも天の都にはいることができることを、よろこびに満ちたことばで告げなさい。

サタンは、青年たちに多くの誘惑をしむけます。彼は青年たちの魂と人生の勝負をしているのです。彼はあらゆる方法を用いて、魂を誘惑し、滅ぼそうとします。しかし神は、魂が助けなしにひとりで誘惑者と戦うがままにしておかれません。彼らは、全能なる神を助け主として持っているのです。

この世の中において、また人の性質の中において今日の青年を襲うあらゆる誘惑に抵抗し、サタ

ンに対決してこれを征服されたキリストは、敵よりもはるかに強いお方です。彼は私たちの長兄であられます。彼は私たちに深い、やさしい関心を持っておられます。私たちがたえず見守っております。イエスをよるこぼせようと努力するときに、彼はお喜びになります。私たちが祈るとき、イエスは私たちの祈りにご自身の義の香煙を加えて、かぐわしいいけにえとして神の前にささげてくださいます。キリストの力を持っている青年は、十字架の戦士として、どんな困難にも耐えることができます。神に力づけられ、目前の高い理想に達することができます。カルバリーの犠牲は、私たちの勝利の保証です。

### 神は道理のないお方ではない

神の教会は大きな器や小さな器で成り立っています。神は何事も道理のないことをお求めになりません。彼は、小さな器に、大きな器ほどの容量を保つようにとは望まれません。神は私たちの持つていないものを標準にしてご要求なさらず、私たちの持つているものを標準にして、神にお返しするように望んでおられます。最善をつくすとき、神はその努力をうけ入れてくださいます。一番近くにある義務をとりあげて、忠実にこれを尽すとき、その働きは全的に神にうけ入れられます。何か大きなことをしようと思つて、手近にある比較的小さな働きを見のがしてはなりません。

ひとり静かに神に祈ることと、みことばを学ぶこととを怠っていないか否かに気をつけましょう。これこそ私たちが天国へ進むのを妨げようと努力しているサタンに対する武器です。祈りと聖書研究を一度怠れば、次に怠ることはいつそう容易になります。聖霊の訴えに一度さからえば、次にま

た逆らう道が開けます。こうして心はかたくなになり、良心は無感覚になります。

一方また、誘惑と戦うたびに、抵抗はいっそう容易になります。自己を抑制するたびに、克己はますます容易になります。勝利を得るたびに、新しい勝利への道が開けます。誘惑への抵抗、克己、罪への勝利の一つ一つは永遠の生命をむすぶためにまかれた種子です。無私の行為の一つ一つは靈性に新しい力をあたえます。キリストのようになりたいと努力する者はだれでも、必ずもっと高貴でもっと真実な者になることができます。

### 信頼心を増しなさい

あなたに対する神の理想に到達しようと努力するとき、神は、その努力の一つ一つを認めて下さいます。何か失敗したり、うっかりして罪を犯したときに、もう自分は祈ることができないとか、神の前に出る資格がないように感じてはなりません。「わたしの子たちよ。これらのことを書きおくるのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためである。もし、罪を犯す者があれば、父のみもとには、わたしたちのために助け主、すなわち、義なるイエス・キリストがおられる」(ヨハネ第一・二ノ一)。神は手をひろげて放蕩むすこを迎えようと待っておられます。神のみもとに行つて、まちがいや失敗を告白なさい。神があなたを力づけ、新しい努力をさせて下さるよう願いなさい。神は決してあなたを失望させたり、あなたの信頼を悪用するようなことをなさいません。

試練に会うこともありましょう。しかし神は、その試練を通して、あなたの品性の粗野なところをみがいてくださるのです。ぐちを言つてはなりません。ぐちは試練をいっそう苦しいものにしま

す。心からよろこんで服従することによって神をあがめなさい。重荷に辛抱よく耐えなさい。人から悪いことをされても、心の中に神の愛を持ちつづけなさい。「舌を制して悪を言わず、くちびるを閉じて偽りを語らず、悪を避けて善を行い、平和を求めて、これを追え。主の目は義人たちに注がれ、主の耳は彼らの祈りにかたむく」(ペテロ第一・三ノ一〇、一一)。「自暴自棄の歩みに気をつけよ。明日を待ちさえすれば、最悪の日は過ぎ去るのだ」「おだやかにして信頼しているならば力を得る」(イザヤ書三〇ノ一五)。キリストはあなたの誘惑の力と、これに抵抗するあなたの力とをご存じです。キリストの御手は、悩めるひとりびとりの子らのために、やさしいあわれみの中に、いつも差し出されています。試みをうけ、落胆している者に向かって、キリストは、「わが子よ、私はあなたのために苦難をうけて死んだのだ。それでもあなたは私に信頼することができないのか」と言われます。「なんじの力はなんじが日々にもとめるところに従わん」(申命記三三ノ二五・文語訳による)。

「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ、主はそれをなしとげ」(詩篇三七ノ五)。∴キリストはあなたにとって荒野の大いなる岩陰となってください。彼は、「わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう」と言われます。それは世の何ものも与えることのできない、また取り去ることのできない休息です(マタイ一ノ二八)。

神をみことば通りに信じる者に与えられる平安とよろこびは、ことばに言いあらわせません。試練も彼を妨害することができず、侮りも彼を苦しめることができません。自己は十字架につけられます。義務は一日一日重くなり、誘惑は強くなり、試練は激しくなっても、彼は、必要なだけの力

をあたえられるので、決してよろめきません。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇二年六月二六日

## 勝利の価

キリストは、人が天国にはいることができるように、人類のためにいつさいを犠牲にされました。そこでこんどは、墮落した人類の側において、キリストのために、永遠の栄光を得ることができるよう、自らの立場において犠牲を示さねばなりません。救いの重大さとその価値を正しくみとめる者は、涙のうちに種子をまかねばならないことや、戦いと克己がクリスチャンの人生の分け前であることに少しの不平も感じません。　　ザ・サインズ・オブ・ザ・タイムズ・一八八〇年三月四日

## 二五 品性の完成

キリストは、完全な品性に到達することが容易であるという保証をおあたえになっていません。とうとい円満な品性というものは、親ゆずりでもなければ、また偶然に得られるものでもありません。りっぱな品性は、キリストの功績と恩恵を通して、個人の努力によって得られるものです。神が、才能すなわち頭脳的能力をおあたえになり、私たちが品性を形成するのです。それは自我とのきびしい困難な戦いによって形づくられるのです。戦いに戦いを重ねて、先天的な性格を克服しなければなりません。自分をきびしく批判して、好ましくない傾向は一つでも改めないでいてはな

りません。

だれでも、自分は品性の欠陥を直すことができないと言ってはなりません。そう思いこんでしまふ人は、決して永遠の生命を得ることができません。不可能というのは、私たち自身の意志のうちにあるのです。私たちにその気がなければ、勝利することはできません。真の困難は、きよめられていない心の墮落と、神の支配に服従したくない気持から生じるのです。

### 目標を高いところに置きなさい

りっぱな働きをする資格を神からあたえられていながら、やろうとしないためにほとんど何もなしとげない人が少なくありません。人生のはつきりした目的もなく、到達の目標もないような生活を送っている人が幾千人あることでしょう。こういう人々は、その行為に相応した報いをうけます。自分自身が立てた標準よりも高いところに達することはできない、ということをおぼえてはなりません。ですから目標を高いところにおいて、一步一步、たとえそれが苦しい努力と克己と犠牲を伴うものであっても、進歩という階段を全部登り尽しなさい。何ものにも妨げられてはなりません。運命のわなは、どんな人間でも助かる望みもなく不安の中にとどまらねばならないほど強く、しばりつけてはいません。不利な境遇に直面することによって、それにうち勝つ堅い決心が生れなければなりません。一つの障害をうち破ることによって、もっと大きな能力と勇気をもって前進することができます。断固として正しい方向へ突き進んでください。そのとき境遇はあなたがたの妨害者となることなく、かえって味方となります。

品性のあらゆる徳を養いなさい

主の栄えのために、品性のあらゆる徳を養うという大望を持たねばなりません。品性の形成におけるあらゆる面に、神を喜ばせなければなりません。このことは私たちにとって可能です。エノクは道德の衰えた時代に生存していましたが、神を喜ばせることができました。今日もエノクのような人物はたくさんいます。

忠誠なる政治家であり、どんな誘惑にも墮落しなかったダニエルのように堅く立たねばなりません。私たちの罪を消すためにご自身の生命をあたられたほど私たちを愛してくださる救い主を失望させてはなりません。キリストは、「わたしから離れては、あなたがたは何一つできない」と言われます(ヨハネ一五ノ五)。このおことばを覚えなさい。もし過失を犯したら、その過失をみとめ、それを警告の標識と見なすなら、必ず勝利することができます。こうして私たちは、敗北を勝利に変え、敵を失望させ、救い主の栄えをあらわすことができます。

神のみ像にかたどってつくられた品性は、この世から天国まで持つて行くことのできる唯一の宝です。この世においてキリストの指導の下にある人は、すべてのきよい教養を天の邸宅にまで持つて行くことができます。天国に行っても、私たちは絶えず進歩することになっています。ですからこの人生における品性の発達は、まことにたいせつです。

神の命令はそれに従う力を与える

完全な行為となつてあらわれるべき品性の完成を堅い信仰をもつて求める人には、天が協力しま

す。この働きに従事するひとりひとりに対してキリストは、「わたしはあなたの右にいて、あなたを助ける」と言われます。

人の意志が神の意志と協力するとき、どんなことでもできないことはありません。神のご命令によつてなされねばならないことは、神の力によつて成し遂げられます。神のご命令はすべて、それに従う力を与えます。

自然と宗教・英文・三三一 三三三ページ

## 不断の依存

不断に神に依存しているということを認めない人は誘惑に征服されてしまいます。自分の足はしっかりと立っている、決して動かされることがないと、いまは思いかもしれません。「私は神を信じている。神と神のみことばに対する私の信仰は何ものによつても動かされることはない」と確信をもつて言うかもしれません。しかしサタンは、私たちの先天的、後天的な性癖に乗り、私たち自身の必要と欠陥に対して私たちを盲目にしようとたくらんでいます。私たちは、自分の弱点をみとめ、しっかりとイエスを見つめることによつてのみ、安全に歩むことができます。

各時代の希望・英文・三八二ページ

## 一一六 信仰の戦い

多くの青年たちは、神に仕える確固たる原則を持っていません。彼らはあらゆる暗雲におおわれ



忍耐力がありません。彼らは恩恵のうちに成長しません。彼らは神のいましめを守っているように見えながら、実際には神の律法に服従せず、また実際服従することもできないのです。肉の心は変化させられねばなりません。聖潔の美をみとめねばなりません。そのときしかが谷川を慕いもとめるように、聖潔の美しさをあえぎ求め、神とその律法を愛するようになります。こうして、キリストのくびきは安く、その荷は軽くなります。

愛する青年方よ。あなた方は、主から命じられた道を歩むとき、それは必ずしも外面的な平和と繁栄を約束された道ではないことを覚悟しなければなりません。永遠の日にいたる道は決して安易な道ではなく、時には暗黒といばらの道にみえることもあります。しかし神の永遠のみ手が私たちをかこみ、私たちを悪から守ってくださいさるという保証があたえられています。神は、私たちが神に対する熱心な信仰を働かせて、太陽の照っているときにもかかげているときにも、いつもかわらず神に寄り頼むように望んでおられます。

### 生きた信仰

キリストに従う者は、心に堅く信仰を持たねばなりません。この信仰がなければ神をよるこぼせることができません。信仰は無限の助けを掴む手であり、また新しくされた心がキリストの心と一致する手段です。

わしは巢に飛びかえろうと努力しているうちに、あらしのためによく狭い谷間にたたき落されることがあります。わしの巢のかけられてある太陽の輝く高い山の頂と、そのわしとの間は、荒れ狂

う黒雲にさえぎられてしまします。わしは初めはとまどつてあちらこちらへ突進し、厚い雲を払いのけようとするかのようにその強い羽根ではばたきます。閉じこめられた雲の中から出る道を求めてむなしい努力をつづけるわしの鋭い叫び声は山のはとを驚かせます。ついにわしは黒雲を上へと突き破つて、鋭い勝利の叫びとともに太陽の輝く静かな上空へ姿をあらわします。暗黒とあらしは、はるか下の方に去り、まわりには天の光が輝いています。高い断崖のわが家に帰りついたわしは、はじめて安心します。わしは暗黒をつき抜けて光明に達したのです。そのためには努力を払わねばなりませんでしたが、しかしその努力は報いられて目的を達することができたのです。

これこそキリストに従う者の追い求めなければならぬ道です。天の光をさえぎっている厚い壁のような雲をつき通すほどの生きた信仰を働かさねばなりません。聖霊のうちにすべてが平和とよるこびに満たされている高い信仰に達しなければなりません。

## 一生の戦い

たかが臆病なはとを追いかけているのを見たことがありますか。たかがえじきをつかまえるには、その上の方に飛び上がらねばならないことを、はとは本能的に知っています。そこではとは青空高く、上へ上へと飛びます。たかには有利な態勢をとろうとしてはとを追い続けますがむだです。はとは飛ぶのをやめさせられるか、地面へ追い落されなにかぎり安全です。しかしはとが一度でもひるむか、低い方へ飛ぶかすれば、抜け目のないたかはたちまちえじきに襲いかかります。私たちは、こうした光景を何度もかたずをのんで見守り、小さなはとに同情をそそいだものです。はとが残忍

なたかのえじきとなるのをみたら、どんなに悲しい思いがするでしょう。

私たちは目の前に戦いをひかえています。それはサタンとその魅惑的な誘惑に対する一生の戦いです。敵は魂を迷わすためにあらゆる議論、あらゆる欺瞞を用います。生命の冠を勝ち得るためには、熱心な忍耐強い努力を注がねばなりません。救い主の内にあつて勝利を得ることができるまでは、武器をとりはずしたり戦場を離れたりしてはなりません。「信仰の導き手であり、またその完成者であるイエス」に目を注ぎ続けるかぎり私たちは安全です（ヘブル二一ノ二）。私たちの愛情を地上のものに向けず、上なる天のものに注がなければなりません。信仰によっていよいよ高くのぼり、キリストの恩恵に到達しなければなりません。日々にキリストの比類なき美しさを瞑想することによって、キリストの輝かしいみ像に成長しなければなりません。このように天との交わりの中に生活しているとき、サタンがどんなに私たちを捕えようと網を張ってもむだです。

ザ・ユース・インストラクター・一八九八年五月一二日

## 二七 勝利をわがものに

すべての力の源である神に結合するときに私たちのものとなる力についての觀念がすこしも私たちにあります。私たちは何度も何度も罪に陥り、いつもこんな調子にちがいないと思っています。私たちは自分の弱さに執着して、しかもそれが何か自慢すべきことでもあるかのように思っています。勝利しようと思えば、顔を火打石のようにしなければならないと、キリストは仰せになつて

います（イザヤ書五〇ノ七参照）。キリストは、十字架の上でご自身の肉体に私たちの罪を負ってくださいました。イエスがお与えになる力によって、私たちは世に対し、肉体に対し、悪魔に対して、抵抗することができのです。ですから自分の弱さや無能を口にしないで、キリストとその力について語らねばなりません。サタンの力を口にするとき、敵はますますその力で私たちを堅くしめつめます。大能の神の力について語るとき、敵は撃退されます。私たちが神に近づくとき、神もまた私たちに近づいて下さいます。…

あたえられている特権を活用していない人が少なくありません。私たちは、正しいことをしようとほんの少しばかり努力して、それからまたもとの古い罪の生活に戻ってしまいます。神の国にはいるとすれば、「しみも、しわも、そのたぐいのものがいっさいなく」完全な品性を持つてはいらねばなりません（エペソ五ノ二七）。世の終りに近づくにしたがつて、サタンはますます活発に働きます。サタンは私たちに気づかれないようにわなをしかけて、私たちの心を捕えようとします。彼はすべてのことにおいて私たちの魂から神の栄光を消し去ろうとします。サタンに心と思いを支配されるか、それともアブラハムの嗣業の地たる新天新地にはいることができるかどうかを決定するのは私たち自身です。

神の力が人の努力と結びついて、それは私たちのためにかがやかしい勝利をなしとげました。この勝利を感謝しようではありませんか。天のすべての富は、イエスによって、私たちに与えられています。神は、悪の同盟者たちに、神はもつと多くのことを成し得たのだなどと言わせるようなことはなさいません。神の創造された諸世界や天使たちは、神がもうこれ以上成し難いことを立証す

ることができます。神は、私たちのまだ全然知らない力の源を持っておられて、私たちが必要の時には、そこから力をお与えになります。しかし私たちの努力はいつも天の力と結合しなければなりません。知性、知覚、私たちの知、徳、体のすべての力を働かせなければなりません。…危急に際して奮起し、主を待ち望む者にふさわしく武装するとき、自分の品性の欠点の一つ一つに勝利すべく努力するとき、神はもつと多くの光と力と助けを与えてくださいます。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇〇年一月四日

## 信仰と義務

信仰は感情ではありません。「信仰とは、望んでいる事から確信し、まだ見ていない事実を、確認することである」(ヘブル一ノ一)。世には宗教の形をとりながら利己主義以外の何物でもないものがあります。それは世俗的な享樂を愛します。それはキリストの宗教を心に思うだけで満足し、その救いの力については何も知りません。この宗教を持つている人々は、イエスを知らないのに、罪を軽く考えます。こういう状態にあるかぎり、彼らは義務を軽く評価します。しかし、義務を忠実に遂行することと、神のご品性の正しい評価とは並行します。

レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇七年二月二八日

## 二八 強くなるには

キリストは、私たちが強くなるために、あらゆる道をお備えになりました。キリストは私たちに

聖霊をおあたえになりました。聖霊の任務は、私たちが平安と罪のゆるしによる清い思いを持つことができるように、キリストのすべての約束を私たちに思い起させることです。救い主に目をそそぎ、キリストの力に寄り頼みさえすれば、私たちは安全感に満たされます。それは、キリストの義が私たちの義となるからです。…

自分の無能を口にすることはキリストを恥ずかしめることになります。自分自身をみないで、たえずイエスをみつめ、日々にあらずキリストのような者となり、もつともつとキリストのことを語ることができ、ますますキリストの親切と助けを無にしないで、私たちに提供される祝福を受けるのにふさわしい者となるうではありませんか。

このようにキリストとの交わりの中に生活するとき、私たちは、キリストの力によつて強くなり、まわりの人々の助けとなり祝福となります。キリストのみこころをなしさえすれば、心は聖なる立琴となり、その一つ一つの弦は、世の罪を除くために神からつかわされたあがない主に対する賛美と感謝の音をかなでます。

### キリストの栄光をみよ

誘惑におそわれるときが必ずありますが、その時に、また苦勞や心配にとりかこまれるときに、苦しみ悩み落胆し、絶望に陥るばかりのときに、あなたがそれまで光をみとめていたところを信仰の目をもってみなさい。そのとき、あなたをとりかこんでいる暗黒はキリストの栄光の輝きによつて、払いのけられます。罪が、魂を支配し、良心を苦しめようと働きかけるとき、あるいは不信が

心をくもらせるとき、救い主のみもとに行きなさい。キリストの恩恵は罪を征服するのに充分です。キリストは私たちの罪をゆるし、神にあってよろこびを与えてくださいます。…

自分の無能や力の足りなさについて語ることはやめましょう。過去のことを忘れて、天への道を進みましょう。活用すればもっと神への奉仕に役だつ者となれる機会をのがさないようにしましょう。そのとき私たちの生活には、黄金の糸のように聖潔が織りこまれます。また天使たちは私たちの献身をみて、「わたしは人を精金よりも、オフルのこがねよりも少なくする。(英訳・とうとくする)」との神の約束をくりかえします(イザヤ書一三ノ一二)。弱い、欠点の多い人間がイエスに献身し、キリストのような生活を送るとき、全天はよろこびます。

レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇八年一〇月一日

### 悔い改めのよろこび

人類の救いの条件は神によって定められています。おのれをむなしくして十字架を負うことは、悔い改めた罪びとにとって慰めと平安の見いだされる道です。イエスが、まだだれも耐えたことのないような屈辱と犠牲をうけられたことを思えば、どんなつばやきの声もしずまります。神の律法を犯したことを神に向かって心から悔い改め、イエス・キリストを罪びとのあがない主、また弁護者として信じるとき、最上の楽しいよろこびが与えられます。

ザ・サイNZ・オブ・ザ・タイムズ・一八八〇年三月四日

## 二九 勝利の生活

神の力に寄り頼むときに、平安があたえられます。与えられた光にしたがつて生活しようと魂が決心すると同時に、聖霊はもっと光と力をあたえます。聖霊の恩恵は決心した魂と協力するために与えられるのであって、それは決して本人の信仰の働きの代りに与えられるものではありません。クリスチャン生活の成功は、神からあたえられる光を、活用するか否かで決定します。どんなに多くの光や証拠があたえられても、それだけでは魂をキリストの内にあつて自由にすることはできません。そこには、「信じます。不信仰なわたしを、お助けください」と真剣に叫ぶ魂の能力と意志と精力のあらわれがなくてはなりません(マルコ九ノ二四)。

私は将来の明るい見通しをよろこびますが、皆さんもそうでしょう。明るい心をもち、神の慈愛を賛美なさい。理解できないことは神にまかせなさい。神はあなたを愛し、あなたの弱点をあわれんでくださいます。神は「キリストにあつて、天上で霊のもるもるの祝福をもつて、わたしたちを祝福し」て下さいます(エペソノ三)。み子イエスを愛している人々に、イエスよりも少ない祝福を与えることは、限らない神の心を満足させません。

サタンは、私たちの心をとうとい助け主から引き離し、私たち自身の魂の墮落に目を向けさせようとします。しかしイエスは私たちの過去の罪とがをごらんになります。ゆるしのことばを語られます。イエスの愛を疑うことによって、イエスを恥ずかしめてはなりません。罪悪感十字架の



もとに置かねばなりません。さもないければ、生命の泉は毒されてしまいます。サタンが私たちを脅迫するとき、私たちはそこからのがれて神の約束に魂の慰めを求めなければなりません。雲そのものは暗いかも知れませんが、しかし天の光に満たされるとき、それは黄金の光に変わります。そこには神の栄光が宿っているからです。

神の子らは感情のとりこになつてはなりません。彼らが希望と恐れの間を動揺するとき、キリストの心は痛みます。なぜなら、キリストはご自分の愛について、まちがえることのない証拠をあたえておられるからです。……彼らがキリストからあたえられた働きをするようにキリストは望んでおられます。そのとき彼らの心は、キリストのみ手にある聖なる立琴となり、一つ一つの弦は、世の罪を除くために神からつかわされたお方にささげる賛美と感謝の音をかなでます。

ご自分の子らに対するキリストの愛はやさしく強い愛です。それは死よりも強い愛です。キリストは私たちの救いをあがない、私たちを永久に神秘的にご自分と一つにするために死なれたのです。キリストはご自分の民を幸福にするためにご自身のあらゆる能力を傾け、天の莫大な富を用いられたほど強い愛を持っておられます。キリストの愛は変ることなく、回転の影もなく、きのうもきょうも永遠に同じです。罪は長年にわたって存在し、キリストの愛が地上へ向かつて流れるのをさえぎり、この愛をうち消そうとしてきましたが、キリストの愛は、今もなおキリストが生命をささげられた人々に向かつて、豊かな流れとなつて注がれています。

教役者へのあかし・五一八、五一九ページ

## 支配的な影響力

私たちの生活において、宗教は単に通り一ぺんの影響力ではなく、他のすべてを支配する影響力を持つていなければならないことを忘れてはなりません。

教師、親、生徒への勧告・四八九ページ

## 三〇 生きた信仰

聖潔な心と純潔な生活を真剣にもとめながら、困惑し落胆している人々が少なくありません。彼らはいつも自分自身をみつめて、信仰の足りなさを悲しんでいます。そして、自分は信仰がないから神の祝福を求める資格がないと感じています。こういう人々は信仰を感情ととりちがえています。彼らは真の信仰の単純さよりも以上のものをながめて、自分の魂に非常な暗黒を招いているのです。彼らは心を自分から転じて、神のいつくしみと恩恵を思いつづけ、神の約束をかぞえあげ、神がみことばを成就して下さることを単純に信じなければなりません。

自分の信仰をあてにしないで、神の約束に信頼しなければなりません。神の律法を犯した過去の罪を悔い改め、将来の服従を決心するとき、神は、キリストのために私たちをうけ入れ、私たちの罪をゆるしてくださいさることを信じなければなりません。

魂が時々暗黒と失望に捕えられ、いまにも押しつぶされそうに思えることがあります。しかし

確信を投げ捨ててはなりません。感じようが感じまいが、イエスにすっかり目をそそいでいなければなりません。わかっているかぎりの義務を忠実に尽し、あとは神の約束に安んじていなければなりません。

### 感情にたよるな

時々私たちはわが身の無価値なことを思つて、魂が恐れにうちふるえることがあります。しかしこれは私たちに対する神の態度が変わったとか、あるいは神に対する私たちの態度が変わったという証拠ではありません。心をいつもある強烈な感情にまで高めておくために努力する必要はありません。昨日心に感じられた平安とよろこびをきょうは感じる事ができないかもしれません。しかし信仰によつてキリストのみ手をにぎり、暗黒の中にあつても明るい時と同じように全的に主に寄り頼まねばなりません。

サタンは、「おまえはキリストの救いを受けられないほどの大罪人だ」とささやくかもしれませんが。しかし私たちは、自分が全く無価値な罪深い人間であることを認めるとともにまた、「あがないの力によつて私はキリストを救い主とすることができ。私は自分の功績にたよらず、私をきよめて下さるキリストのとうとい血に寄り頼むのだ。いまこの瞬間、私のたよりない魂はキリストによりすぎるのだ」との叫びをもつて、誘惑者に対することができます。クリスチャンの生活はいつても変らない、生きた信仰の生活でなければなりません。キリストに対する動かない信頼と堅い依存とによつて、魂に平安と確信が与えられます。

## 落胆するな

自分の心がたくなに見えるからといって落胆してはなりません。障害や心の中の敵はすべてキリストの必要を増すにすぎません。キリストは石の心を取り去り肉の心を与えるためにおいでになったのです。自分の特別な欠点に勝利するために特別な恩恵をキリストに求めなさい。誘惑に襲われたときには悪のそのかしに対してかたく抵抗し、自分の魂に向かって、「私はどうして救い主を恥ずかしめることができよう。キリストに献身しているのだから、サタンの働きはできない」と言わなければなりません。あらゆる偶像を犠牲にし、あらゆる罪の執着を断ちきるために、愛する救い主に助けを叫びもとめなさい。父なる神のみ座の前に立ち、その傷ついたみ手をさし出して私たちのために弁護しておられるイエスを、信仰の目をもってながめなさい。とうとい救い主を通して力があたえられることを信じなさい。

## キリストについて瞑想

勝利する者のために備えられている冠を信仰によってながめ、あがなわれた者たちが、「とうときかな、ほふられてわれらを神にあがないたまいし小羊はとうときかな」とうたう勝ち誇った歌をききなさい。このような光景を真実なものとしてみなすようにつとめなさい。クリスチャンとして最初の殉教者ステパノは「もろもろの支配と権威と……天上にいる悪の霊」との激しい戦いのさなかに「ああ、天が開けて、人の子が、神の右に立っておいでになるのが見える」と叫びました(エ

ペソ六ノ一二、使徒行伝七ノ五六。世の救い主は、深い関心をもって天からステパノを見おろしておられるお姿をあらわされました。キリストの笑顔から出る栄光の光はステパノの上に照り輝き、敵でさえ彼の顔が天使の顔のように輝いているのをみとめました。

キリストと天の世界のことを、もっと深く心に思うならば、主の戦いをたたかう上に強力な刺激と支持が与えられるでしょう。まもなく私たちの家郷となるべき美しい国の栄光を熟視するとき、世の誇りと執着は力を失います。キリストの美しさにくらべるとき、世のすべての魅力はなんの価値もないものにみえます。

### 思考の習慣の変化

自ら熱心な努力をしないで神の愛の保証を得ることができると思ってはなりません。心が長いあいだ世俗のことばかりにとらわれていると、思考の習慣を変えることが困難になります。人はとかく目に見、耳に聞えることに注意をひかれ、関心をうばわれ勝ちです。

しかし、神の都にはいり、栄光のイエスを仰ぐ者になりたいと願うなら、この地上にある間に信仰の目をもってイエスを仰ぎ見る習慣をつけないけません。キリストのみことばと品性をたびたび私たちの思考と会話のテーマとし、特に毎日一定の時間をこれらの聖なるテーマについて祈りかつ瞑想するためにささげなければなりません。

### きよめは日々の働き

罪からのきよめは日々の働きです。神のご要求の一つを踏みにじっていないながら、神のゆるしと祝

福が得られるという信念で自分をごまかしてはなりません。知っている罪を故意に犯すことによって、聖霊のあかしの声は沈黙させられ、魂は神からひきはなされます。どんなに信仰的感情の陶醉境にあるとも、神の律法を無視する人の心の内にイエスは住むことができません。神は神をあがめる人にだけ栄誉をおあたえになります。

「あなたがた自身が、だれかのしもべになって服従するなら、あなたがたは自分の服従するその者のしもべであって」(ローマ六ノ一六)。怒り、情欲、貪欲、憎悪、和己主義、その他の罪をほしのままにすると、私たちは罪のしもべとなるのです。「だれもふたりの主人に兼ね仕えることはできない」(マタイ六ノ二四)。罪に仕えながらキリストに仕えることはできません。クリスチャンは罪のそのかしを感じます。「肉の欲するところはみたまに反し」ますが、みたまは肉に逆らって絶えず戦いつづけます(ガラテヤ五ノ一七)。ここにキリストの助けが必要です。人間の弱さが神の力と結合するとき、信仰は「感謝すべきことには、神はわたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちに勝利を賜ったのである」と叫びます(コリント第一・一五ノ五七)。

神に受け入れられる品性を養いたいと思うなら、信仰生活に正しい習慣が形成されなければなりません。肉体の健康のためにこの世の食物が必要であるように、日々の祈りは、恩恵の中に成長するためにも、また霊的生命そのもののためにも必要です。たびたび祈って、自分の思いを神にまで高める習慣をつけなければなりません。もし心がさまよっていたら、それと呼び戻さねばなりません。忍耐強く努力することによって習慣がつけば、それはついには容易になります。一瞬間でもキリストから離れたら安全ではありません。キリストが自らお定めになった条件を守るときにだけ、

キリストは私たちの歩みの一步一步に同伴してください。

### 宗教を事業とせよ

宗教を一生の大事業としなければなりません。その他のことはすべてこれに従属させねばなりません。魂と肉体と精神のすべての力がクリスチャンの戦いに集中されなければなりません。キリストを仰いで力と恩恵を求めなければなりません。そのとき私たちは、イエスが確かに私たちのために死なれたのと同じように確実に勝利することができます。……

私たちはキリストの十字架にもっと近づかねばなりません。十字架の下で悔い改めることが、私たちの学ばねばならない平安の第一の教訓です。イエスの愛　だれがこれを理解し尽すことができるでしょう。それは母親の愛よりも無限にやさしい忍耐強い愛です。人間の魂の価値を知るには、生きた信仰をもつて十字架を仰ぎ、永遠にわたってあがなわれた者の学問であり歌であるところのものを学び始めねばなりません。私たちの時間と才能の価値は、私たちのあがないのために払われた大いなる身代金によつてのみ評価できます。私たちの愛情や奉仕を神にささげないことによつて神から神ご自身のものを盗むとき、私たちは神に対してなんという忘恩を示すことでしょうか。私たちのためにいっさいを犠牲にされた神に私たち自身をささげることにはあまりでしょうか。キリストが、「勝利を得る者には、わたしと共に、わたしの座につかせよう。それはちようど、わたしが勝利を得て、わたしの父と共にそのみ座についたのと同様である」と言われるその不滅の榮譽を前にしながら、私たちは、世俗の友情を選ぶことができるでしょうか（黙示録三ノ一二）。

## きよめは漸進的な経験

きよめは漸進的な働きです。ペテロのことばの中にこの一連の段階が私たちに示されています。

「それだから、あなたがたは、力の限りをつくしてあなたがたの信仰に徳を加え、徳に知識を、知識に節制を、節制に忍耐を、忍耐に信心を、信心に兄弟愛を、兄弟愛に愛を加えなさい。これらのものがあなたがたに備わって、いよいよ豊かになるならば、わたしたちの主イエス・キリストを知る知識について、あなたがたは怠る者、実を結ばない者となることはないであろう。」「兄弟たちよ。それだから、ますます励んで、あなたがたの受けた召しと選びとを、確かなものにしなさい。そうすれば、決してあやまちに陥ることはない。こうして、わたしたちの主また救い主イエス・キリストの永遠の国に入る恵みが、あなたがたに豊かに与えられるからである」(ペテロ第二・一ノ五八、一〇、一一)。

ここに、決してつまずくことがないと確信してよい道が示されています。このように加え算式にクリスチャンの徳を身につける者は、神が掛け算式に霊の賜物をおあたえになることを確信することができます。

ペテロは「わたしたちと同じ尊い信仰を授かった人々」に向かって「神とわたしたちの主イエスとを知ることによって恵みと平安とが、あなたがたに豊かに加わるように」と言っています。望む者はすべて、神の恩恵によって地から天へかけられた光り輝く階段をのぼり、ついには歌と永遠のよろこびをもって神の都の門にはいることができます(ペテロ第二・一ノ一、二)。



レビュー・アンド・ヘラルド・一八八七年一月五日

## 試練の価値

人生の試練は神の工人で、それは私たちの品性から不純物やあらい部分をとり去ります。切られたり、直角にされたり、のみで削られたり、みがきをかけられたりすることは苦痛の過程であり、車砥石におしつけられることは苦しいことです。しかし、その石はこうして、天の神殿に場所を占める準備が出来上がるのです。主は、役に立たない材料に、これほど入念な行き届いた細工を施されません。キリストのとうとい石だけが宮殿にふさわしくみがかれるのです。

祝福の山・二二、二三ページ

## 力の隠れたところ

人々は時々、「いと高き者のもとにある隠れ場に……全能者の陰に」立ち寄ります（詩篇九一ノ一）。彼らはひとときの間そこに宿り、その結果はとうとい行為になってあらわれます。しかしまもなく彼らの信仰は衰え、神との交わりが中断され、一生の働きが妨げられます。しかしキリストの一生は神とのたえざる交わりにささえられた、変ることのない信頼の一生でした。天と地に対するキリストの奉仕は、失敗することともぐらつくことありませんでした。

キリストはひとり人間として、神のみ座の前に祈りつづけられた結果、ついにはその人間性にて天来の能力が通じ、人性と神性とは結合されました。彼は、神から生命を受け、人々に生命をおあたえになりました。

教育・英文・八〇、八一ページ

### 三一 キリストとの結合

生きた信仰によるキリストとの結合はいつまでも続き、他のすべての結合は滅ぶべきものです。キリストがまず最初に私たちをえらび、私たちのあがないのために、無限の価を払われたのです。眞の信者は、すべてのものの中でキリストを最初のもの最後のものまた最上のものとして選びます。しかしこの結合に私たちは相当の代価を払わねばなりません。それは高慢な人間がはいらねばならない全く従属的な関係です。この結合を形成する者はすべて、キリストのあがないの血の必要を感じなければなりません。彼らは心の変化を持たねばなりません。彼らは自分自身の意志を神のみところに従わせなければなりません。外面的にも内面的にも妨害と戦わねばなりません。付着の作用と同様に分離の作用にも苦痛が伴うにちがいありません。キリストとの結合にはいりたいと思えば、高慢、利己主義、虚栄、世俗　　そうしたあらゆる形の罪のうち勝たねばなりません。多くの人々かなぜクリスチャン生活を嘆かわしいほど困難なものに感じるのか、あるいはなぜ彼らが移り気で変りやすいのか、その理由は彼らがまず自分自身を胸中の偶像から分離しないうちに、キリストに付着しようとするからです。

いったんキリストとの結合が形成されたら、それは熱心な祈りとたゆまない努力とによってのみ維持することができます。自我に抵抗し、これを否定し、これを征服しなければなりません。キリストの恩恵を通して、勇氣と信仰を持ち、目をさましていることによって、勝利を得ることができのです。

第四部

光  
の  
中  
に  
歩  
む

救い主はご自分の血潮であがなわれた者の上にかがみ  
こんで、言い尽しがたきやさしさとあわれみをもって、  
「なおりたいのか」と言われます。主はあなたに健康と  
平安の中に立てと命じられます。自分がいやされたと感じ  
るまで待ってはなりません。救い主のことばを信じな  
さい。あなたの意志をキリストの側に置きなさい。そう  
すれば、主のみことばを実行するときに力を受けます。  
たとえ悪い行為がどんなものであろうと、キリストは、  
長い間の放縦によって心もからだも束縛されている支配  
的な情欲から私たちを救うことがおできになり、また救  
いたいと熱望しておられます。キリストは、罪とがのう  
ちに死んだ魂に生命をお与えになります。彼は、弱さと  
不幸と罪の鎖につながれているとりこを解放されます。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・84、85ページ

## 三二 恩恵の中の成長

「わたしたちの主また救い主イエス・キリストの恵みと知識とにおいて、ますます豊かになりなさい」(ペテロ第二・三ノ一八)。イエスのうちに育つとき、靈的恩恵と知識に進むことが、若い人の特権です。興味をもって聖書をさぐり、そこに示されている真理と義の道に従うとき、私たちはイエスをもっとよく知ることができます。たえず恩寵のうちに成長する者は、信仰に堅く立つて前進します。

### 堅固な心に必要な成長

イエス・キリストの弟子たることを志す青年はみなキリストの協力者となり、クリスチャンの最高の標準に到達しようとの熱意を心のうちに持たねばなりません。神のみ座の前にとがなく立ち得る者の仲間にはいることをめざすとき、その人はたえず進歩します。堅固な立場を維持する唯一の道は天来の生命に日々進歩することです。疑惑や障害と戦って勝利するとき、信仰が増し加わります。真のきよめは漸進的です。イエス・キリストの恩恵と知識の中に進むとき、私たちはあらゆる特権と機会を活用して、キリストの生命と品性についてますます知識を得るようになります。

キリストのけがれのない一生と限りない愛を深く心に思い、一層よく救い主を知るにしたがつて、イエスを信じる私たちの信仰は成長します。キリストの弟子たることを告白しながら、キリストと

の間にへだたりをもち、キリストの聖霊によって養われないことくらい、神をはずかしめることはありません。恩恵のうちに成長するとき、宗教的な集会に出るのが好きになり、会衆の前でキリストの愛について喜んであかしをするようになります。神は、その恩恵によって若い人々を思慮深くし、ご自分の子らに知識と経験をおあたえになります。彼らは日々に恩恵のうちに育つことができます。信仰を感情で測ってはなりません。

## 心の吟味

自分の心と神に対する愛情のあり方を綿密に吟味なさい。きょうという尊い時間を自分自身をよるこぼせるために、自分の楽しみばかりを求めて過ごしはしなかったでしょうか。それとも他人を幸福にするために努力したでしょうか。自分に関係のある人々を神への献身にみちびき、永遠の事物を認識させるために努力したでしょうか。自分の信仰を家庭に持ちこみ、そこでことばと行為にキリストの恩恵を表わしているでしょうか。両親に従うことによって、両親を敬い、いましめの第五条を守ってきたでしょうか。日々の小さな義務をよるこんでひきうけ、それを誠実に果し、他人の重荷を軽くすることに努力してきたでしょうか。くちびるを悪から守り、舌を偽りから守ってきたでしょうか。私を永遠の生命に到達させるために、ご自分のとうとい生命をおあたえになった救い主キリストをあがめてきたでしょうか。こうしたことを心に問うてみなければなりません。

## 目をさまして祈れ

愛する青年方よ、敵がどんな形で誘惑してもこれに抵抗できるように、一日の初めにあたって、

キリストの力と恩恵を熱心に祈ることを忘れてはなりません。くだけた心と信仰をもって熱心に祈るとき、神はその祈りをきいてくださいます。しかし祈るとともにまた目をさましていなければなりません。イエスは「求めよ、そうすれば与えられるであらう。捜せ、そうすれば見いだすであらう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであらう。すべて求める者は得、捜す者は見いだし、門をたたく者はあけてもらえるからである。あなたがたのうちで、自分の子がパンを求めるのに、石を与える者があるうか。魚を求めるのに、へびを与える者があるうか。このように、あなたがたは悪い者であつても自分の子供には、良い贈り物を知っているとすれば、天にいますあなたがたの父は、なおさら、求めてくる者に良いものを下さらないことがあるうか」と言われました(マタイ七ノ七 一一)。

若い人たちも小さい子供たちも、重荷や苦しみを持ったままイエスのみもとに行くとき、イエスは、彼らの訴えを心に留め、彼らが必要とするものをおあたえになるということを知ることができません。熱心になりなさい。断固たる者となりなさい。神の約束をかぞえあげて、これを疑うことなく信じなさい。主が答えてくださると考える前に、何か特別な感情が起るのを待つてはなりません。神にお願いしたものをいただくことができると思ふ前に、神が自分のために働いてくださる一定の方法をきめてはなりません。ただ神のみことばに信頼して万事を神のみ手にゆだね、神は必ず自分の祈りをみ心に留め、自分のために最もよいと思ひになる時期と方法を通してお答えになることを心の底から信じ、またその祈りを実行なさい。けんそんに歩み、たえず前進をつづけなさい。

「主なる神は日です、盾です。主は恵みと誉とを与え、直く歩む者に良い物を拒まれることはあ

りません」(詩篇八四ノ一一)。

「主の聖徒よ、主を恐れよ、主を恐れる者には乏しいことがないからである。若きししは乏しくなって飢えることがある。しかし主を求める者は良き物に欠けることはない」(詩篇三四ノ九、一〇)。

「あなたの舌をおさえて悪を言わせず、あなたのくちびるをおさえて偽りを言わすな。悪を離れて善をおこない、やわらぎを求めて、これを努めよ。主の目は正しい人をかえりみ、その耳は彼らの叫びに傾く。主のみ顔は悪を行う者にむかい、その記憶を地から断ち滅ぼされる。正しい者が助けをさけび求めるとき、主は聞いて、彼らをそのすべての悩みから助け出される。主は心のくだけた者に近く、魂の悔いくずおれた者を救われる」(詩篇三四ノ一三 一八)。

悪いことをするのをやめ、正しいことをすることを学ぶという条件の下に、ここに豊かな約束があたえられています。その上で、ヨセフやダニエルやモーセのように、人生の目的を高いところにおき、品性形成の価値を考慮し、この世のためにまた永遠のために、品性を築きなさい。...

私たちは愚かで、知恵のない者です。しかし神は「あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず惜しみなくすべての人に与える神に願い求めるがよい。そうすれば与えられるであろう」と言っておられます(ヤコブ一ノ五)。

完全な者となることを学び、神によりすがって離れず、神の奉仕に励むとき、小羊キリストの血を通して勝利者となることができます。



### 善をなす無限の機会

自らこうした努力をつづけると、私たちは、交わっている他の多くの人々に感化をおよぼします。おりになつて語られることはどんなに尊く、望みと勇氣と正しい道を歩む決心を表わすこととは墮落の習慣に落ち込もうとしている人々にどんなに力をあたえることでしょうか。しっかりと目的をもって正しい原則を実行するとき、私たちは、魂を正しい方向にみちびく上に感化を及ぼすことができます。

善をなす機会は無限です。神のみことばを生活の法則とし、そのいましめによつて行為が支配され、義務を果すことにおいて、私たちの目的と努力が他人の災とならずに祝福となるとき、私たちの目的と努力は成功をもつて報いられます。私たちは神とつながり、他人に光を伝える器となつたのです。私たちはイエスの共労者となる光栄を与えられています。イエスの口から「良い忠実なしもべよ、よくやった。……主人と一緒によろこんでくれ」とのありがたい祝福を受けるくらい大きな榮譽は他にありません（マタイ二五ノ二一）。

ザ・ユース・インストラクター・一八八六年九月一日

### 自己を従わせること

救い主は分裂した奉仕をうけ入れられません。神の働き人は日ごとに自己を従わせることがどういうことであるかを学ばなければなりません。神のみことばを研究し、その意味を学び、そのいま

しめに従わなければなりません。こうして完全なクリスチャンという標準に到達することができません。神は日々私たちのために働き、最後の試みに耐えうるように私たちの品性を完成してくださいます。信者は、日々の人々と天使の前で崇高な実験をなしとげ、墮落した人間に福音がどんな力を及ぼすかを示しているのです。

福音宣伝者・一一三ページ

### 三三 世に従うな

狭い道を歩いている者は、旅路の果てに与えられるよろこびと幸福について語り合います。彼らは悲しい顔色をしていることがありますが、しかしまたよく清い聖なるよろこびに輝いています。彼らは広い道を行く人々と同じ服装をしたり、同じことを語ったり、同じふるまいをしたりしません。イエスという模範があたえられているのです。悲しみの人で、悩みを知りたもうたイエスは彼らのために道を開き、自らその道を歩まれました。イエスに従う者はイエスの足跡を見て、慰められ励まされます。イエスは安全に通って行かれました。彼らもまたイエスの足跡に従えば、安全に通って行くことができます。

### 広 い 道

広い道を歩いている人々はみな自分の容姿や着物や道中の楽しみに心を奪われています。彼らは陽気に笑いさざめき、旅路の果てに破滅が待ちうけていることなど思ってもみません。一日一日、

滅亡に近づき、ますます勢いよく突進して行きます。なんという恐ろしい光景でしょう。

私はこの広い道を歩いている人々の中に、「世に対して死んだ者。万物の終りは近い。なんじらもまた備えせよ」ということばを衣に書きつけている人々をたくさんみました。彼らはその顔色に悲しみの影がみとめられたほかには、周囲の放縦な人々と少しも異なったところはみえませんでした。その語ることばは、周囲の陽気な、無思慮な人々と少しも変わりませんでした。ただ彼らは衣に書きつけられた文字を時々指さして、他の人々にも同じことを書きつけるように呼びかけて自ら満足しているのです。彼らは広い道を歩きながら、狭い道を歩いている人々の仲間だと公言しています。彼らの周囲の人々は、「われわれと少しも変わったところがない。われわれはみな同じだ。同じような服装をし、同じように語り、同じようにふるまっている」と言うのでした。……

私は、安息日順守者たちの中に、世に従っている人々がいることを示されました。これは彼らの告白に対して、また神の働きに対して、なんとという恥辱でしょう。彼らは自らの告白を裏切っているのです。彼らは自分では世の中の人々と同じではないと思っていますが、服装においても、語ることばにおいても、行為においても世の人々とほとんど変らず区別が付きません。彼らは死ぬべきむなしい身体を着飾っています。それは神が指をお触れになっただけで、いつなんどき苦悶の床に横たわるかもしれない身です。彼らは最後の変化に近づくにしたがって、臨終の苦悶に身を引き裂かれ、「私は死ぬ準備ができていますか。神の前に立って審判をうけ、その大審査に合格する備えができていますか」という深刻な問を發します。

彼らは、身を飾ることをどう思うか、また神の前に立つ備えについてどう思っているかを尋ねら

れると、もし、もう一度人生をやり直すことができるものなら、今度は生活を改め、世の中の愚かなことや、むなしいことや、見えをやめて、慎み深い服装で身を飾り、周囲の人々の模範となり、神の栄えとなるような生活を送りたいと答えるでしょう。

自我にうち勝ち、つつましい生活を送ることは、なぜ困難なのでしょう。その理由は、クリスチャンと自称しながら、世に死んでいないからです。いったん世に死ねば生きることややさしいことです。しかし多くの人々はエジプトのらと玉ねぎを慕っています。彼らはできるだけ世の中の人々と同じような服装やふるまいをしたい気分を持ちながら、しかも天国に行く気になっているのです。こういう人々は他の道を登って行きます。彼らは天国にはいるのに狭い道と正門を通ろうとしません。...

こういう人々は弁解のことばかりありません。多くの人々は感化力を及ぼそうとして世の中の人々と同じような服装をします。しかし彼らはこの点において悲しむべき致命的な過失を犯しているのです。もし人を救う真実な感化力を及ぼしたいと思えば、言行一致の生活を送り、正しい行為によって信仰をあらわし、クリスチャンと世人との区別をはっきり示さなければなりません。ことばや服装や行為は神についてあかしをたてるものでなければならぬことを私は示されました。そのとき、聖なる感化をすべての人に及ぼし、人々は私たちがイエスと共なる者であることを知るようになります。未信者たちは私たちの告白する真理が聖なる感化力をもっていることと、キリスト再臨についての信仰が男女の品性に影響をおよぼすことを認めます。真理のために世に感化をあたえたいと望む者は、真理を生活に実践し、けんそんなイエスの模範に従わねばなりません。

### キリスト再臨の備え

神は高慢を憎まれ、「その時すべて高ぶる者と、悪を行う者とは、わらのように……焼き尽す」日がくることを私は示されました（マラキ四ノ一）。私はまた、第三天使の使命がこれを信じると告白する多くの人々の心に、パン種のように働き、高慢と利己主義と貪欲と世を愛する心とが取り除かれなければならないことを示されました。イエスはまもなくおいでになります。その時彼は世俗に従っている民をごらんになって、その民をご自分のきよめた民であるとお認めになるでしょうか。いいえ、決してそんなことはありません。イエスは、純潔で聖なる者だけしか自分の民としてご承認になりません。苦難を通してきよめられ、世俗から離れただけがない者だけを、イエスはご自分の民としてみとめられます。

神の民が世俗に従い、柔和で心のへりくだったイエスの弟子たることを告白する人々と不信者の間に名称以外にはなんの区別もないという恐るべき事実を示されて、私は魂に深い苦悩をおぼえました。そのことによつてイエスが傷つけられ、公然とはずかしめられることを私は示されました。天使は、神の民であると自称する人々が世俗を愛し、世俗の精神に従い、世俗の流行を追うのを悲しみの中にながめて、「都の外の偽善者や不信者と運命を共にしないように、世から離れなさい。離れなさい。神のみこころを知りながらこれを行わなかったので、あなた方の告白は苦悩を増し刑罰を重くするだけです」と言いました。

第三天使の使命を信じると告白している人々が、軽率さと冗談と軽薄さのために、神の働きを傷

つけることがあります。この悪は私たちの群れのどこにでも見つけられることを私は示されました。神の前にけんそんにならねばならないことが示されました。神のイスラエルは、衣を裂かず、心を裂かねばなりません。子供のような単純さはめったにみられません。神の不興ということよりも、人によく思われたいということの方が重視されています。

天使は、「神が審判をもつて臨み、もろい生命の緒が切れて、審判のために守護も準備もなく墓に横たわることのないように、心をととのえなさい。たとえ、墓に横たわることがないにしても、神と和らがず、世から身を引き離さないでいれば、あなた方の心はだんだんかたくなになり、偽りの支柱、すなわち、架空な準備にたより、自分の過失を発見した時には、すでに手遅れで、堅固な望みを確保することができません」と言いました。

教会へのあかし・第一巻・一二七 一三四ページ

## なんの得になろうか

キリストは、一人一人がよく考えて、正しい評価をするように求めておられます。秤の一つのさには、永遠の富、生命、真理、天国、救われた魂に対するキリストのよろこびを代表するイエスを置き、一方のさらにはこの世のあらんかぎりの魅力を置いて計ってみましょう。また一方のさらには自分自身の魂の滅亡と自分が救いの仲介となるべきだった他人の魂の滅亡を置き、一方のさらには神の生命に比すべき自分自身と他人の生命を置いて計ってみましょう。現世と永遠のために計ってみましょう。私たちがこのように物事の軽重を計ってみるとき、キリストは、「人が全世界を

もうけても、自分のいのちを損したならなんの得になるうか」と仰せになります(マルコ八ノ三六)。  
神は、私たちが地上のものよりも天上のものを選ぶように望んでおられます。神は私たちの目の前に天国に投資する機会をあたえておられます。神は、最高の目標に達するように励まし、私たちに最上の宝を保証しておられます。神は、「わたしは人を精金よりも、オフルのこがねよりも少なくする」と仰せになります(イザヤ書三ノ一二)。しみ食い、さび腐るこの世の富が吹きはらわれるとき、キリストのしもべたちは天の宝、すなわち朽ちることのない富を楽しむことができます。

自然と宗教・三七四ページ

### 三四 真のクリスチャン経験

青年たちに全的な変化と完全な悔い改めがないかぎり、彼らは天国を望めないことが私に示されました。私に示されたところによれば、信仰と真理を告白している青年の中で、真に悔い改めている青年は半分もいません。もし、悔い改めていたら、神の栄えとなるような実を結んでいるはずです。多くの者は、真実な根底のない仮定の望みに寄り頼んでいます。水源がきよめられていないので、その源から流れ出る川の水はきれいではありません。水源をきよめれば、流れは清くなります。心が正しければことばや服装や行為は正しくなります。真の敬虔さが欠けています。私は、不注意で、軽々しく、祈ることをしないような人をクリスチャンとみとめて主をはずかしめようと思いません。クリスチャンたる者は、罪の誘惑や情欲にうち勝つ者です。罪に悩む魂には、いやしがあ

ります。そのいやしはイエスのうちにあります。とうとい救い主の恩恵は、どんなに弱い者にも充分であり、またどんなに強い者もイエスの恩恵なくしては滅びてしまいます。

## 救いの恩恵

どうしたらこの恩恵を手に入れることができるかが私に示されました。ただひとり密室にはいつて「神よ、わたしのために清い心をつくり、わたしのために新しい、正しい霊を与えてください」と神に祈らねばなりません(詩篇五一ノ一〇)。熱心に、誠実に祈らねばなりません。熱烈な祈りには大きな力があります。ヤコブのように祈りのうちに格闘し、苦悶しなければなりません。ゲッセマネの園のイエスは血の汗を流されました。私たちも努力しなければなりません。神からの力を感じるまでは密室を去ってはなりません。目をさましていなければなりません。目をさまして祈っているかぎり、罪への誘惑を押える事ができ、また神の恩恵は私たちの内に現われることができます。私はあなた方に警告するのをやめようとは思いません。青年方よ、あなた方の全心全霊をもって主を求めてください。熱心に神のもとに行き、神の助けがなければ滅びるほかないことを真剣に感じ、「しかが谷川を慕いあえぐように」あなた方が神をしたいあえぐとき、主はたちまちあなた方を強めてくださいます(詩篇四二ノ一)。そのとき測り知ることのできない平安が与えられます。救いにあずかりたいと思えば、祈らねばなりません。時間をかけて祈りなさい。あわただしく軽率に祈ってはなりません。神があなた方のうちに徹底的な改革を生じさせ、神の霊の結ぶ実があなた方のうちにあらわれ、あなた方が世の光として輝くことができるように、神に祈り願いなさい。神



の働きにとって妨げや災となつてはなりません。あなた方は助けとなり、祝福となることができます。サタンは、あなた方が救いを思いのままに充分に受けることができないと告げてはいませんか。サタンを信じてはいけません。

## 第 一 歩

神の霊の深い感動を受けることはすべてのクリスチャンの特権です。天来の快い平安が心にみなぎるので、あなた方は神と天国について瞑想することが好きになります。神のみことばのすばらしい約束のもてなしにあずかることができます。しかしまず第一にあなた方はクリスチャンの道を歩み始めたことを知らねばなりません。永遠の生命にいたる道の第一步を踏み出したことを知らねばなりません。欺かれてはなりません。私はあなた方の中に信仰の何たるかを知らない人が多いことを恐れ、また実際に多いことを知っています。あなた方はある興奮や感情を経験したことがあります。すが罪の無法さをみとめたことがあります。あなた方は自分の滅ぶべき状態を感じて激しい悲しみをもつて悪の道から離れていません。あなた方は世に死んでいません。あなた方はいまでも世の享樂を愛し、世俗的な事柄について談話にふけることが好きです。しかし神の真理が話題にのぼると、なんにも言うことがありません。なぜ黙っているのでしょうか。世の中のことにしておしやべりをするくせに、あなた方にとって最も関係の深い問題、すなわち、あなた方の全心全霊をそがねばならない問題については、なぜ黙っているのでしょうか。神の真理があなた方の中に宿っていないからです。

教会へのあかし・第一巻・一五八、一五九ページ

## 神の祝福への道を開く

神の民があらゆる妨害物をとりのぞいて道をきれいにし、神が、衰えた教会のかたくなな会衆にみたまをそがれることくらいサタンの恐れることはありません。もしサタンがその希望を達すれば、世の終りまで大小にかかわらず信仰復興は起らないでしょう。しかし私たちはサクの計略に無知ではありません。サタンの力に抵抗することができのです。神のみたまの働く道が備えられるとき祝福がもたらされます。サタンは天の窓を閉じて雨が地上に降らないようにすることができないと同様に、祝福の雨が神の民の上にくだるのをとどめることができません。神の民が、従順な、くだけた心をもって罪を告白し、これを離れ、信仰によって神の約束を求めるときに、悪人と悪魔どもは、神の働きを妨害したり、神の民の集まりから、神のご臨在をしめ出したりすることはできません。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八八七年三月二二日

## 三五 修 養

「怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる」（箴言一六ノ三二）。このような人は、人の当面しなければならぬ最大の敵すなわち自我を征服します。クリスチャンの高潔について最大の証拠は自制心です。悪口のまったく中にあっても動揺しない人は神の英雄の一人です。

自分の心を治めるとは、自分を訓練し、悪に抵抗し、ことばと行為の一つ一つを神のとうとい正

義の原則によって規正することです。自分の心を治めることを学んだ者は、私たちが日々に直面する軽蔑や拒絶やわずらわしさに超越し、そうしたものによって自分の心を暗くさせられることはありません。

神の恩恵によって支配されているきよめられた理性という尊厳な能力によって、人間の生活が支配されることが神のみこころです。自分の心を治める者は、この能力を所有するのです。

### 自制の能力

品性は青少年時代に最も感化を受けやすいものです。この時代に自制力を養わねばなりません。家庭の炉辺や食卓において受けた感化は、永遠にわたってその結果をおよぼします。幼年時代に身についた習慣は、どんな生れつきの才能よりも、人生の戦いにおける勝利と敗北を決定します。

ことばづかいにおいて、おとも子供も軽く見過ごしている過失は、せっかちで短気なことばです。彼らは、「うっかりしていました。そんなつもりではなかったのです」と言い訳をすれば、それで済むと思っています。しかし神のみことばの中には、このことが軽々しく取り扱われていません。「ことばの軽率な人を見るか、彼よりもかえって愚かな者のほうに望みがある。」「自分の心を制しない人は、城壁のない破れた城のようだ」(箴言二九ノ二〇、二五ノ二八)。

生活のわずらわしさ、苦痛、いらだたしさの大部分は自制しない気分の原因があります。一瞬間の感情にまかせて、短気で不注意なことばを吐き出したために、一生後悔しても取り返しのつかない災がひきおこされることがあります。助けと慰めを与えうる立場にありながら、軽率なきびしい

ことばを吐いたために、どれほど人の心が傷つけられ、友人を疎遠にし、人の一生が台なしにされたことでしょうか。

過労のために自制心が失われることが時々あります。しかし神は決して急ぎの繁雑な行動を強制なさいません。多くの者は、いつくしみ深い天父から命じられもしない重荷を自分でかき集めます。神が負わせようとは決してお考えになっていないような義務に、次々と追いかけています。多くの重荷をひきうけて過労に陥り、心も頭脳も疲れ果てて、いらだち、あせり、ごごとをいうとき、神のみ名をあがめることにはならないということを、私たちがみとめるように神は望んでおられます。神からあたえられる責任だけを負うて、神に信頼し、純潔でやさしく、思いやりの深い心を持たねばなりません。

### 心を治めること

沈黙にはふしぎな力があります。短気なことばを浴びせられても、報復してはいけません。怒っている人に口答えすると、それはむちのように相手の感情を刺激し、ますます怒りを激しくするのが普通です。沈黙をもつて怒りに対するとき、それは、たちまち消え失せます。クリスチャンたる者は決して荒々しい気短かなことばを吐かないという堅い決心のもとに、口にくつわをはめていなければなりません。口にくつわをはめていれば、どんな忍耐の試練に会っても勝利することができず。

人は自分の力だけでは心を治めることができません。キリストによって自制心を持つことができます。

ます。キリストの力によって、思いとことばを神のみこころに従わせることができます。キリストの宗教は、感情を理性のもとにおき、舌を抑制します。その感化力によって軽率な性質は落ち着いたものになり、心には忍耐とやさしさが満たされます。

天地のいっさいの権力を持っておられる神に堅くよりすぎなさい。忍耐と冷静を示すことにたびたび失敗しても、その努力をあきらめてはなりません。どんな刺激をうけても忍耐するように、こんどはもつと固く決心なさい。どんなことがあっても天来の模範であるキリストから目を離してはなりません。

レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇七年一〇月三一日

### 罪の言い訳はゆるされない

ある悪い行為の言い訳として、誘惑者サタンの力をかぞえあげるべきではありません。キリストを信じると告白している者たちが自分の品性の欠陥について言い訳するのをきいて、サタンは凱歌をあげます。罪に至らせるのは、こういう言い訳です。罪を犯すことに言い訳はあり得ません。悔い改めてキリストを信じるすべての神の子らは、聖なる気質を持ち、キリストのような生活にはいることができます。

各時代の希望・英文・三一一ページ

## 三六 生きた経験

生命と栄光の主は、神性を人性によっておおひ隠し、神がキリストという賜物を通して人類をご

自分に結びつけておられることを実地にお示しになりました。神とのつながりがなければ、だれひとりとして幸福になることはできません。天父は、悔い改めた罪びとを、ご自身の愛のうちに抱擁し、しみなき神の小羊の功績によって生れ変らせるまでは満足なされないことを、墮落した人類は知らねばなりません。

天使たちはみなこの目的のために働いているのです。天使たちは罪のために天父から離れてしました人類を連れもどすために、キリストのご命令のもとに働くのです。キリストの驚くべき恩恵と愛を世の人々に表わすために一つの計画がたてられました。人類をあがなうために神のみ子キリストによって払われた無限の価の中に神の愛が表わされています。この輝かしいあがないの計画には全世界を救うことができるほど充分な用意がなされています。墮落した罪深い人間は、罪のゆるしとキリストによって着せられる義とによって、イエスのうちにあつて完全な者とされることができるとです。

## 十字架の力

イエス・キリストは人間としてのかいなで人類をかこむために人性をとらえられる一方では、性のかいなをもつて無限なる神のみ座をとられました。キリストは天と地の中間に十字架をうちたてて、「わたしがこの地から上げられる時には、すべての人をわたしのところに引きよせるであらう」と言われました(ヨハネ一三・三二)。十字架は人をひきつける中心となるのでした。

キリストの十字架は、すべての人に語りかけ、罪によってつくられた深淵を越えて彼らをひき寄

せ、限りある人間を限りない神に結びつけるのでした。人類を強力な罪の同盟からひき離すことができるのは十字架の力だけです。キリストは罪びとの救いのためにご自身をおあたえになりました。罪をゆるされ、イエスを愛する人々はキリストに結びつけられます。彼らはキリストのくびきを負います。このくびきは彼らを窮屈にしたり、信仰生活を不満な骨折りにしたりするためではありません。それはむしろクリスチャン生活をよろこびと楽しみに満ちたものとするものです。「み子を信じる者がひとりも滅びないで永遠の命を得るため」に、ひとり子を世に賜うて死におつけになった神のみこころを深く心に思って、よろこびに満たされなければなりません(ヨハネ三ノ一六)。

### キリストへの忠誠

イマヌエルの君の血染めの旗の下に立つ者は、キリストの軍隊の忠実な兵士でなければなりません。決して不忠実、不真実であってはなりません。多くの青年たちは自ら進んで生命の君たるイエスの側に立ちます。しかしイエスの側に立ちつづけたいと思うなら、隊長であるイエスをたえず仰いで、その命令を待たねばなりません。キリストの兵士でありながら、サタンと同盟し、サタンに加勢することはできません。もしそうするならキリストの敵となり、聖なる信頼を裏切ることになります。こういう人々は、サタンと真実な兵士たちとの間の橋わたしとなり、サタンはこれらの人を通して、キリストの兵士たちの心を盗み去るために絶えず働きかけます。

キリストの兵士たることを告白する愛する青年方よ、あなた方はどんな戦いをたたかってきましたか。どんなことに従事してきましたか。神のみことばがあなた方の働きをはつきり示したとき、

その働きが自分の好みにあわないからというので、その働きをすることを拒んだことはありませんか。世俗にひきつけられてキリストへの奉仕から離れるような誘惑を受けたことはありませんか。サタンはもつともらしい誘惑を工夫することに専念しています。そして大したことはないように思えるようなことに罪を犯させて、あなた方をイエスのもたらひつぱります。そしてさらにもっと大きな魅力を示してあなた方を完全に神からひき離してしまいます。

自分の名前は教会員名簿にのっているから自分は神の子であるとあなた方は主張するかもしれませんが、しかしあなた方の手本や感化はキリストの品性について誤った印象をあたえ、人々をキリストから離れさせます。クリスチャンと自称しながら神からあたえられた働きに全霊をそそいでいない人には、幸福も平和も、よろこびもありません。こういう人は罪を悔い改めて告白し、神に従従することをしないで、ますます世俗に服従し、戦いにおいてキリストの側よりもむしろサタンの側につくことによって、たえず教会の中に世俗をもちこんでいます。

### 経験による知識が必要である

行為と精神において世俗とつながっている最も強いきずなを断ち切るように、私は青年方に訴えたいのです。「だから、『彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。そして、汚れたものに触れてはならない。触れなければ、わたしはあなたがたを受けいれよう。そしてわたしは、あなたがたの父となり、あなたがたは、わたしのむすこ娘となるであろう。全能の主が、こう言われる』」（コリント第二・六ノ一七、一八）。



わが教会の青年たちはこの招きの声に耳を傾けるでしょうか。彼らは、若い友人たちに対して、自分の生活と品性のうちにキリストのような模範を示さねばならないことを少しもみとめていません。真理について理論を理解している青年は多いのですが、その真理が実際に自分の行為とどんな関係をもっているかということを経験的な知識によって理解している青年はなんと少ないことでしょう。大きな収穫の野において目の前にあらわれるどんな働きでもなそうとする若い伝道者はどこにいますでしょうか。日々にキリストの学校で学ぶ者はどこにいますでしょうか。自分はもう卒業の準備ができていますと決めているではありません。天使たちと一致協力して働くことができるように、主の宮にあつてみちびきを待ちなさい。愛する青年方よ、私はあなた方の救いを望んでいるので、断固として言いたいのです。もう一刻も猶予してはなりません。神と富とに兼ね仕えることはできません。あなた方はクリスチャンにみえますが、しかし誘惑がやってきて激しく試みられるとき、たいてい負けてしまうのではないのでしょうか。

### クリスチャンの交際

私たちが積極的に参加しなければならない戦いは日常生活の中にあります。試みの時に、聖書の側に置き、熱心な祈りのうちにイエスの助言を求めようではありませんか。祈禱会に出ることをなまけて音楽会に出かけたり、神のしもべたちによって天来の使命が叫ばれている集会を欠席したりしても格別の害はないと公言する人が少なくありません。しかし私たちは、キリストが共におられると仰せになったその場所にいる方が安全です。

キリストのみことばを真に認識している人は、祈禱会を休んだり、神の使者たちが永遠の問題について語るためにつかわされている集会を休んだりすることをしません。イエスは、「ふたりまたは三人がわたしの名によって集まっているところには、わたしもその中にいるのである」と言われました(マタイ一八ノ二〇)。楽しみをえらんで祝福を失ってよいでしょうか。こういうことにふけることは自分自身の生活や品性ばかりでなく、私たちの交わっている人々の生活と品性にまでいじらしい影響をおよぼします。

キリストの弟子たることを自称する者がすべて正真正銘のクリスチャンであるなら、彼らはキリストの心もち、神のみわざに励むでしょう。彼らは自分の好き勝手なことをしたいという誘惑に抵抗し、世俗的なくだらない楽しみを愛するよりはむしろあかし会などにおいてキリストと会う特権を楽しむことを示します。その時彼らは他人に決定的な影響をあたえ、自分の模範に人々を従わせるでしょう。

行為はことばよりも雄弁です。享樂を愛する者は、神の民の集まりに出席するこの豊かな祝福を受けることができません。彼らは友人と一しょに集会に出席して、その友人の心が神の聖霊に動かされるように望む特権をみとめることができません。世俗的な集まりにはだれが一しょに行くでしょうか。イエスは集まった人々を祝福するためにそこにおられません。かえって、サタンが人々の心に多くのことをもちこんで、永遠の問題を心から押し出してしまうます。サタンはこういう機会に悪を混ぜることによって正しいことを混乱させてしまいます。世俗的な集まりに出席することによって、刺激的な遊びの趣味が生じ、道德力が弱められます。享樂を愛する者は敬虔の形をよそお

っていても、神とのたいせつなつながりを持っています。彼らの信仰は死に、その熱意はうせてしまします。キリストから離れている人々におりにかなくなったことを語って、心を神にささげるように勧めなくてはならない重荷をすこしも心に感じません。

ザ・ユース・インストラクター・一九一二年四月二三日、一八九三年三月三〇日

### 宗教は感情ではない

純潔でけがれない宗教は感情ではなく、それは愛といつくしみの働きをすることです。このような宗教は健康と幸福に必要です。それは墮落した魂の宮にはいり、むちをふるって悪の侵入者を追い出します。それは心の王座を占めて、すべてを神にささげ、義の太陽なるキリストの輝かしい光によって心を照らします。それは心の窓を天に向かって開き、神の愛という日光を入れます。同時に心の平静と落ち着きがやってきます。知徳体の能力が増し加わります。なぜなら天のふんいきが、生きた活動的な力として魂を満たすからです。そこには栄光の望みであるキリストが心のうちに形づくられます。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇一年一〇月一五日

### 三七 小事に忠実な者

「小事に忠実な人は、大事にも忠実である」(ルカ一六ノ一〇)。

人生に成功する道は、世人がいわゆる小事と名づけていることに良心的に注意を払うことです。

小さな慈善行為、自己犠牲の小さな行動、人の助けとなるちょっとした言葉を語ること、小さな罪に注意を怠らないこと。こうしたことがキリスト教です。日々の祝福を感謝のうちに認めること、日々の機会を賢明に活用すること、ゆだねられた才能を勤勉に養うこと。こうしたことが主の要求しておられるところです。

小さな義務を忠実に行う者は、いつそう大きな責任の要求に応じる備えをしているのです。日々の生活において親切で丁寧な人、家庭にあつて寛大で忍耐強い人、いつも家庭を楽しくしようと心がけている人。こういう人は主がお召しになるとき、真つ先に自我を押えて犠牲を払う人です。

### 平均のとれた品性

神の事業のために所有物をささげる気持はあつても、愛と感謝の心を、同時に主にささげるのでなければ無益です。外国の伝道地において真の宣教師になりたいと思えば、まず国内において真の伝道者とならねばなりません。主のぶどう園に働きたいと願うなら、主が世話をゆだねられた小さなぶどう園を注意深くたがやすことによつて、その準備をしなければなりません。

人は、「その心に思うごとく、その人となりもまたしかればなり」です（箴言二三ノ七・文語訳による）。いろいろな心の思いによつて、一日の書かれない歴史が作られるのであつて、それらの思ひは、品性の形成と密接な関係があります。自分の思うことによほど気をつけなければなりません。というのは、たった一つの不純な思いも魂に深い影響をあたえるからです。こうして悪い思ひは、心に悪い印象を残します。人は純潔で聖なる思ひを宿すとき、ますます向上します。そうした思ひ

によつて、靈性の鼓動は活発になり、善をなす能力がまし加わります。一滴の雨粒につづいて雨がやつて来て地をうるおすように、一つのよい思想は他のよい思想のために道を備えます。

千里の道も一歩からと言われています。一歩一歩継続することによつて、道の終りに達することができるのです。どんなに長い鎖も、一つ一つの環によつて出来上がっているのです。もし一つの環が悪かったらその鎖は役にたちません。品性もこれと同じです。均整のとれた美しい品性は、一つ一つの善なる行為によつて出来上がるのです。たった一つの欠点も、これを克服しないで温存しておく、それは人を不完全な者とし、聖なる都の門は彼に対して閉ざされます。天国にはいる者は、「しみも、しわも、そのたぐいのものがいつさいない品性の持ち主でなければなりません（エペソ五ノ二七）。けがれた者はだれもここにはいることはできません。あがなわれた者の中には、欠点のある者はただのひとりもおりません。

### 日常生活における忠実

神の働きはどんなに小さな部分も完全ですから全体としても完全です。神は世界の創造の時と同じ注意深さをもつて草の葉を形づくられます。天父が完全であられるように私たちも完全になりたいてと望むならば、小事をなすことに忠実でなければなりません。いやしくもなす価値のあることなら、りっぱになしなさい。どんな働きも忠実になしなさい。どんな小さなことについても眞実を語りなさい。毎日、愛の行為をなし、明るいことばを語りなさい。人生の路上に微笑をまきちらしなさい。このように働くとき、神はあなたを嘉納し、いつかはキリストが、「良い忠実なしもべよ、

よくやった」とあなたに言われる日がきます(マタイ二五ノ二一)。

称賛や利益を念頭におかず、毎日の生活を忠実に送り、自分の働きを手ばやくみつけてこれをした人は、審判の日に「わたしの父に祝された人たちよ、さあ、世の初めからあなたがたのために用意されているみ国を受けつぎなさい」とのみことばを聞きます(マタイ二五ノ三四)。弁舌さわやかにしゃべったり、知的な能力を発揮したり、豊かな献金をささげたからといって、キリストのおほめのことばをいただくことはできません。一般に見過ごされているような小さいことをしたことによつて、彼らは報いられるのです。「あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせ」てくれた。「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである」とキリストは言われます(マタイ二五ノ三五 四〇)。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇一年一月一七日

## 三八 光に対する責任

青年男女方よ。あなた方は、神がおあたえになった光について責任があります。その光と警告に注意を払わないならば、審判の時に不利な立場に立つことになります。あなた方の危険がはつきり示されてきました。あなた方は注意を受け、四方八方を守られ、警告でとりかこまれて来ました。あなた方は神の家において、聖霊の感動を受けた神のしもべによつて示される最も厳肅な、心をためす真理をきいて来ました。それらの厳肅な訴えに接して、あなた方の心はどんな重荷を感じてい

るでしょうか。そうした訴えは、あなた方の品性にどんな影響を与えているでしょうか。あなた方はそうした訴えや警告の一つ一つについて責任があります。それらは審判の日に立ち上がって、虚栄と、軽率と、高慢の生活を追い求める者を罪に定めます。

愛する青年方よ。あなた方はまいたものをまた刈りとるのです。今はあなた方の種子をまく時です。収穫はどんなものでしょうか。あなた方は何をまいているでしょうか。あなた方の語ることは一つ一つ、あなた方のなす行為の一つ一つは、善かさもなければ悪の実を結ぶ種子であり、その結果はまく者にとってよろこびとなるか、悲しみとなるかのどちらかです。神はあなた方にとって光と多くの特権を与えておられます。この光が与えられ、危険が目の前にはつきり示されたからには、責任はあなた方にあります。神から与えられた光を、どう取り扱うか、その態度によって、あなた方の秤が幸福に傾くか、不幸に傾くかが決まるのです。あなた方は自分の運命を自分で造っているのです。

教会へのあかし・第三巻・三六三ページ

### 三九 まじめな目的

四人のヘブルの青年たちがバビロンの宮廷で教育を受けていた時、彼らは神の祝福が、自分たちに課せられているきびしい努力の代用になるとは思いませんでした。彼らは勤勉を学びました。それは、彼らが、自分たちの運命は神の恩恵によるとともにまた自分自身の意志と行為次第で決まることを認めていたからです。彼らは、あらゆる才能を学業に用い、その能力を注意深く、きびしく

働かせることによって、勉強と労働の機会を最善に利用しなければなりませんでした。

## 神との協力

この青年たちが自らの救いを達成していたとき、神は彼らの「うちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせる」ことをよしとされたのでした（ピリピ二ノ一三）。ここに成功の条件が明らかに示されています。神の恩恵を自身のものとするためには、自分の立場を尽さなければなりません。神は私たちに代って志をたてたり、わざを行ったりしようとは仰せになっていません。神の恩恵は、私たちが志をたて、わざを行うように私たちの内に働くために与えられるのであって、努力の代用として与えられるではありません。私たちの魂が目ざめて協力しなければなりません。聖霊は私たちが自身の救いを全うするように私たちの内に働かれます。これは聖霊が私たちに教えるように骨折っておられる実際的な教訓です。「あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである」（ピリピ二ノ一三）。

神は、ダニエルとその三人の同僚たちに協力されたように、忠実に神に奉仕しようと熱心に努力するすべての者に協力して下さいます。りっぱな知的素質と高い道德的品性とは偶然の成果ではありません。神は機会をお与えになります。その機会をどう用いるかによって成功がきまるのです。摂理のとびらが開かれた時に、すぐこれを見わけて熱心にそこにはいつて行かなければなりません。ダニエルのように、勝利者となるための恩恵と、働きをなすための力と能率を求めて神に信頼する



とき、偉大な人物となりうる人がたくさんいます。

### 全 心 全 霊 の 奉 仕

青年方よ、私は皆さんに忠実であれと言いたいのです。自分の働きに心を留めなさい。怠け者や、二心のある奉仕をする者をまねてはいけません。行為をくりかえすとき、それは習慣になり、習慣は品性を形成します。人生の小さな義務を忍耐よく果しなさい。小さな義務を忠実に果すことがどんなに大切であるかということを軽視しているかぎり、品性の形成は満足すべきものになりません。全能なる神の御目には一つ一つの義務が大事なのです。主は「小事に忠実な人は、大事にも忠実である」と言われました。真のクリスチャン生活にとって大切なものは何一つありません。

クリスチャンであると自称する人々の中に、神のみこころに反した行為をしている者がたくさんいます。多くの者は何か大きな働きが自分に与えられるのを待っています。彼らは神に忠実であることを示す機会を日々に失い、自分の興味をひかないような小さな義務だと全 心 全 霊 をもってこれを果すことを日々怠っています。自分のいわゆるすぐれた才能を働かせるような、またその野心的なあこがれを満足させるような何か大きな働きを待っている間に人生は過ぎ去ってしまいます。

愛する青年方よ、あなた方の手近にある働きをなさい。あなた方の手の届くところにある目だたない仕事に注意を向けなさい。頭と心を使ってそうした働きをなさい。家の中の仕事を賢明にやれるように思慮をそそぎなさい。そのとき、もっと大きなことに役立つ備えができます。ヒゼキヤ王について、「彼がその神を求めるために……始めたわざは、ことごとく心をつくして行い、これを

なし遂げた」と書かれていることを心におぼえてください（歴代志下三一ノ二一）。

### 集中力の価値

いま着手している働きに自分の心を集中できる才能は大きな祝福です。神をおそれる青年たちは、思慮深い注意をもって、おのこの責任を果し、自分の思いを正しい道に保ち、全力を尽さねばなりません。現在の責任を自覚し、心を迷わせることなく、その責任を果さねばなりません。このような精神的訓練は、一生涯を通じて助けとなりまた有益です。働きはどんなに小さく見えようとも自分の企てるすべてのことに精神をうちこむことを知っている人は、世の中で役に立つ者となることができます。

愛する青年方よ。熱心で忍耐強くあれ。「それだから心の腰に帯を締め（よ）」（ペテロ第一・一ノ一三）。神に真実を尽そうと志した忠実なヘブル人ダニエルのように立ちなさい。親や友だちを失望させてはなりません。もう一人忘れてはならないお方があります。私たちを神との共労者とするために、ご自分の生命をささげるほど、私たちを愛してください。さつたイエスを失望させてはなりません。

### 最高の動機

私たちにとって、すべての動機の中で、神をあがめる思いが最も強くなければなりません。この思いにみちびかれて、私たちは、自分に与えられている特権や機会を生かすためにあらゆる努力をし、神の恩恵をどうしたら最も賢明に用いることができるかを悟らねばなりません。この思いによ

って、私たちの頭脳、骨、筋肉、神経は最も健康な状態に保たれ、私たちは体力とはつきりした頭脳によって忠実な家づかさとならねばなりません。利己的な関心の活動する余地があたえられるとそれは精神を委縮させ、心をかたくなにします。もしこれに支配されるならば、道德的能力がほろぼされてしまい、失望が生じます。……

ダニエルに成功をお与えになった神は、青年男女に真の成功をお与えになります。ダニエルの心をお読みになった神は、ご自分のしもべの純粋な動機、神をあがめようとの決心をごらんになつてよろこばれます。自分の一生に神の御目的を成就しようと志す者は、神が自分にさせようとなさるどんなことにも、注意深く、熱心に従事し、これを成し遂げるように骨折って働かなければなりません。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇三年八月二〇日

### 永続するよろこび

永遠の生命にいたるけわしい道には、至るところに疲れた者をいやすよろこびの泉があります。知恵の道を歩む者は、どんな困難の中にあつても、大きなよろこびを持っています。それは、彼らの魂の愛するお方が、目には見えなくても、私たちのそばに共に歩いておられるからです。一歩一歩登るごとに神のみ手にささえられていることをますますはつきり認め、一歩ごとに目に見えない神の栄光から来る輝きがますます明るく道を照らします。そうして彼らの賛美の歌は、いよいよ高い調べとなつて絶えず天にのぼり、みくらの前にある天使たちの歌の一つになります。

## 四〇 意志の働き

純潔な宗教は意志と関係があります。意志は人の性質の中で支配的な力を持ち、他のすべての能力を支配します。意志は趣味や好みではなく、それは決定的な力であり、人の子らの内部に働いて、神に従うか、それとも従わないかのどちらかに至らせます。

### 意志薄弱と疑惑

あなたは知性をもった青年です。あなたは、最後には天にふさわしい者になれる一生を送りたいと望んでいます。あなたは自分が道徳的能力が弱く、疑惑のとりことなり、罪の古い生活における習癖や習慣に今なお支配されていることに気がついて落胆することがたびたびあります。感情的な性質が自分自身を裏切り、また最もよい決心や最も厳粛な誓いを裏切ることになります。どれ一つとして真実に思えるものはありません。自分の意志の弱さから、自分のために尽してくれる他人の誠意すら疑うことさえあります。疑いの中に、もがけばもがくほど何一つとして真実に思えるものはなく、ついには確固たる根拠はどこにもないように思えて来ます。あなたの約束は人からあてにされず、あなたも信頼すべき人々のことばや行為を同じような、真実でない光の中にながめます。

### 意志の克服による力

意志の真の力を悟るまでは、たえず危険があります。あなたはなんでも信じて約束するかもしれませんが、あなたの約束や信仰は、意志が信仰と行為の味方でなければ効果がありません。もしあなたが意志の全力をあげて信仰の戦いをたたかうなら、あなたは勝利します。感情や印象はあてになりません。それらのものは信頼するに足りません。もしあなたが誤った観念をもっている場合には特に信頼できません。あなたが約束を破り、誓いを破ったことを知るとき、自分自身に対するあなたの信頼は弱くなり、またあなたに対する他人の信用も弱くなります。

しかし決して失望するにはおよびません。たとえ何ものも自分にとって真実にみえなくても、断固として信じなければなりません。この望ましくない状態に至らせたのは、あなた自身であることは言うまでもありません。あなたは神と兄弟たちの信用を取り戻さなければなりません。あなたの意志をイエス・キリストの意志に従わせることが、あなたのなすべき分です。このことをなすときに、神は直ちにあなたを占領し、そのみこころを成さんがために、あなたに志を立てさせ、わざを行わせられるのです。そのときあなたのすべての性質はキリストの霊に支配され、あなたの思いさえキリストに従うのです。

あなたは自分の衝動や感情を思うように抑制できないかもしれません。しかし意志を支配し、一生を全く一変させることができます。意志をキリストに従わせることによって、あなたの生涯はキリストとともに神のうちにかれ、すべての「支配と権威」にまさる神の力と結合するのです。あなたは、あなたをご自身の力に堅く結びつけられる神から力を受け、新しい光、生ける信仰の光を持つことができます。しかしそれにはあなたの意志が神の意志と協力しなければなりません。サタ

ンがあなたをわなにかけて滅ぼそうとしてたえず働いている友だちの意志に従ってはありません。さつそくあなた自身を神との正しい関係に置こうではありませんか。「私は自分の意志をイエスにささげます。今すぐ実行します」と言って、この瞬間から全的に神の側に立つてはいませんか。習慣や食欲や情欲のやかましい声に耳を傾けてはいけません。サタンに、「おまえは哀れな偽善者だ」と言われる機会をあたえてはなりません。戸を閉ざして、サタンがこのようなあなたを非難したり落胆させたりしないようになさい。「私は信じる。私は、神が私を助けて下さることを信じる」と言いなさい。そうしたら神のうちにあつて勝利できることがわかります。意志を神の側に堅く保つときに、いっさいの感情はイエスの意志に従います。そのとき、あなたは自分の足が堅固な岩の上に立っていることを知ります。時には、あなたの持っている意志力を、ぎりぎりまで必要とすることがあるでしょう。しかしあなたのために働いているのは神であり、あなたは品性形成の過程から栄えある器として生れて来るのです。

### 神の意志と人の意志との結合

信仰について語りなさい。神の側に立ち、敵の側に足を踏み入れなければ、神はあなたを助けてくださいます。神はあなたが自分の力ではできないところを成してください。その結果あなたは「レバノンの香柏のように」なります。あなたの生活は尊くなり、あなたは神にあつてわざを行うようになります。あなたのうちには力と熱心と単純さがあつて、あなたは神のみ手のうちにみがかれた器となることができます。

神にあるよろこびと楽しみの秘訣を知りたいと思えば、毎日真理の泉から飲まねばなりません。しかし、あなたの意志があなたのすべての行為の泉であることを忘れてはなりません。人の品性を形づくる上に非常にたいせつな要素であるこの意志は、人類が墮落した時にサタンの支配に帰し、それ以来サタンは絶えず人のうちに働いて、サタンの思うがままに意志をもたせ、行わせ、人を全くの不幸と滅びに至らせているのです。

しかしとし子イエスを罪のいけにえとして与えられた神は、その限らない犠牲のゆえに、神の統治の一つの原則を破ることなく、こう仰せになることができます。『あなた自身を私に従わせなさい。あなたの意志をサタンの支配からとり去って私に与えなさい。そうしたら私はあなたの意志を占領し、私の思うがままにあなたのうちに働いて志を立てさせ、わざを行わせることができます。』と。神がキリストの心をあなたにお与えになるとき、あなたの意志はキリストの意志のようになります。あなたの品性はキリストのような品性に一変させられるのです。あなたは神のみこころをなそうと決心しているでしょうか。聖書に従おうと望んでいるでしょうか。『だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい』（マルコ八ノ三四）。

自分の好みを満足させることを拒み、神に従う決心をしないかぎり、あなたはキリストに従うということではできません。神の子となるのは、感情や気分によつてではなく、神のみこころを行うことによつてです。あなたの意志が神の意志となるときに、あなたの前途には有用な一生が待ち受けています。そのとき、あなたは神から与えられた人間性の中に、良きわざの模範として立つことが

できます。そのとき、あなたは訓練の法則を破ることなく、かえってこれを維持します。また秩序を軽んじたり、自分の行為によって不規則な生活を助長したりすることなく、かえって秩序を維持します。

意志を神の側に置くとき、あなたがどんな者になりうるかが私にはわかっています。そのことを私は神をおそれる思いをもってあなたに言いたいのです。「わたしたちは神の同労者である」(コリント第一・三ノ九)。審判に立ちうるように、あなたは現在と永遠のために働きをなすことができます。やってみようと思いませんか。今、回れ右をして向きを変えようではありませんか。あなたはキリストの愛ととりなしの対象となっているのです。今神に服従し、神の働きの利害を守るために哨兵として立たされている人々を悲しませたり落胆させたりすることなく、彼らを助ける者となるうではありませんか。

教会へのあかし・第五卷・五一三 五一六ページ

### 特別な努力の必要

神は手段を与えておられます。もし私たちがその手段を祈りのうちに忠実に用いるならば、どんな船も難破することなく、あらしを乗り切り、ついには祝福の港に錨をおろすことができます。しかしもし私たちがこれらの約束や特権を軽んじ、無視するならば、神は私たちを救うために奇跡を働かれず、私たちはユダやサタンのように失われてしまいます。

悪を宿し、罪を行っている愚かな魂を救うために、神が奇跡を働かれると思ってはなりません。また特別に努力もせず、特別に戦いもせず、自我を十字架につけることもしないで、何か超自然的



な要素が自分の一生に現われて、もっと高い境地、比較的容易な働きのできる境地に高められると思つてはなりません。なぜなら、そういうことを望んでサタンの陣地にうろついている者は、すべて悪をなす者とともに滅びるからです。彼らは突然に滅ぼされ、しかもそこに救いはありません。

教役者へのあかし・四五三ページ

## 四一 神のみちびき

神がみこころをあらわし、私たちをみちびかれるには三つの方法があります。……

神はみことば、すなわち聖書を通してみこころを表わされます。

神のみ声は、またその摂理の働きのうちに表わされます。私たちが自分自身の道を歩いたり、自分自身の意志によつて事をしたり、きよめられていない心の衝動に従つたりして、ついには感覚が混乱し、永遠の事物が見分けられなくなり、サタンの声と神の声をとりちがえて受け入れたりなどすることによつて魂が神から離れるようなことがなければ、私たちは神のみ声を聞きわけることができます。

神のみ声がきかれるもう一つの方法は、聖霊が私たちの心を感動させ、品性を形づくるために働かれるその訴えを通してです。

もし何かに疑いを持つようなことがあったら、まず第一に聖書を調べなければなりません。もしあなたが本当に信仰の生活を始めたのであったら、あなたは自分自身を全く神のものとして神にさ

さげたのであり、神はあなたが神の栄えの器となるように、みこころに従ってあなたを形づくるためにあなたを受け取られたのです。あなたは神のみ手にすなおに従い、神のみちびかれるどんな所へでも従って行こうという、まじめな願いを持たねばなりません。そのときあなたは神に信頼して、神のみこころを行い、同時にまた神に協力して、恐れとおののきをもって自らの救いを全うできるのです。

教会へのあかし・第五巻・五二一ペ ジ

## 四二 聖霊の無言の働き

クリスチャン生活は過去の生活の修正や改良ではなく、性質が一変することです。自我に死に、罪に死に、全く新しい生命に生きることです。この変化は聖霊の効果的な働きによつてのみもたらされます。

ニコデモがまだとまどっていたとき、イエスは風の例を用いてご自分の意味を説明されました。「風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞くが、それがどこからきて、どこへ行くかは知らない。霊から生れる者もみな、それと同じである」(ヨハネ三ノ八)。

風は木の枝の間に音をたて、木の葉や草花をさらさらと鳴らしますが、目には見えないので、だれも風がどこからきてどこへ行くかを知りません。聖霊が心に働くのもこれと同じです。それは風の動きと同じように説明できません。人は入信の過程について正確な時や場所、あるいはそのいつさいの事情を説明することはできないかもしれません。だからといってその人が悔い改めていない

証拠にはなりません。風のように目に見えない作用によってキリストは絶えず心に働きかけておられるのです。少しずつ、おそらく当人にはわからないくらい少しずつ感化が及ぼされて、魂をキリストに引きよせているのです。こうした感化は、キリストについて瞑想したり、聖書を読んだり、説教者からことばをきいたりなどすることによって受けるかも知れません。聖霊がもつと直接的な訴えをもって臨むとき、急にその魂はよろこんでイエスに服従します。多くの人々はこのことを突然の改心と呼ぶかもしれませんが、しかしそれは聖霊が長い間訴えつづけ、忍耐強く働きつづけた結果なのです。

風そのものは目に見えませんが、そこに生じた結果は目に見え、また感じられます。そのように魂に対する聖霊の働きも、救いの能力を感じた人のすべての行為にあらわれます。神の霊が心を占領するとき、生活は一変します。罪の思いは退けられ、悪の行為は放棄され、愛とけんそんと平和が怒りとねたみと争いにとって代ります。よろこびが悲しみにとって代り、顔色は天の光を反映します。だれの目にも重荷を持ちあげる手や、天の宮廷からくだる光は見えません。祝福は、信仰によつて魂が神に屈服するときくだります。…

有限な心が救いの働きを理解することは不可能です。その奥義は、人間の知識を越えるものです。しかし死から生へ移る者は、救いが天来の事実であることをみとめます。私たちは、この世において、個人的な経験を通して救いの一端を知ることができます。しかしその結果は永遠にわたって続いているのです。

各時代の希望・英文・一七二、一七三ページ

## 天の助けの証拠

もしあなたが自分の魂のうちに必要を感じ、義に飢えかわくならば、それはキリストを求めるように、キリストがあなたの心に働かれた証拠です。キリストはあなたが自分自身ではできないところを、聖霊の賜物を通してあなたのためにしてくださいます。

祝福の山・三六ページ

## 四三 内住のキリスト

愛に根ざし、愛を基とするとき、私たちは、「すべての聖徒と共に、その広さ、長さ、高さ、深さを理解することができ、また人知をはるかに越えたキリストの愛を知」ることができます（エペソ三ノ一八）。なんとこの尊い可能性と励ましでしょう。あらゆる道徳的な不純からきよめられた人の心には、とうとい救い主が住み、性質全体を高め、きよめ、その人を聖霊の宮としてくださるのです。

## 私たちの信仰に対するイエスの応答

私たちは生きた信仰によってキリストの内に住んでいます。個人的に信仰を働かせるときにキリストは私たちの内にお住みになります。私たちは聖なるご臨在による交わりをもっているのです。あつて、このご臨在をみとめるとき、私たちの思いはイエス・キリストのとりことなります。私たちの

靈的活動は、この交わりをはっきり意識しているかどうかにかかっています。エノクはこのように神と共に歩みました。キリストが私たちにとってどんな存在であられるか、また救いの計画においてキリストが私たちのためにどんな働きをなさったかを心に深く思うときに、信仰によってキリストは私たちの心に住まれます。この世と私たち自身に対する神のこの大いなる賜物についての意識を高めることに私たちは大きなよろこびを感じます。

こうした思いは品性の全体を支配する力をもっています。望みさえすれば、いつでも天来の友を持つことができることを私はあなた方に印象づけたいのです。「神の宮と偶像となんの一致があるか。わたしたちは生ける神の宮である。神がこう仰せになっている。『わたしは彼らの間に住み、かつ出入りをするであろう。そして、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となるであろう』と」(コリント第二・六ノ一六)。

### キリストの愛によって形づくられる

キリストを深く心に思うとき、品性は聖なる像にかたどって形成されます。心はキリストの恩恵と愛についての思いに満たされます。キリストのご品性について瞑想するとき、キリストは私たちのすべての思いのうちに存在されます。キリストの愛が私たちを包みます。真昼の輝く太陽を一瞬間みつめてから目をそらすとき、見るもののすべての上に太陽の像があらわれます。

このように、イエスをみつめるときに、見るすべてのものの上に義なる太陽、キリストの像が反映します。私たちは他のどんなものを見ることも他のどんなことについて語ることもできません。

キリストの像が魂の目に焼きつき、私たちの日常生活のあらゆる面に影響を及ぼし、私たちの性質全体を和らげしめます。みつめることによって、聖なる像、キリストのみ像に一致させられるのです。私たちは交わるすべての人にキリストの義という明るい気持のよい光を反射させます。私たちの品性は一変しました。なぜなら、心と魂と私は、私たちを愛し、私たちのためにご自身を与えられたキリストの反射によって輝いているからです。ここにもまた信仰によって私たちの心に内住する個人的な生きた力の実現が認められます。

キリストの教えのみことばが受け入れられ、これが私たちを占領するとき、イエスは私たちの内に永住して私たちの思いと考えと行いを支配されます。私たちは、この世に現われた最も偉大な教師であるイエスの教えを吹き込まれます。人としての責任と、人としての感化についての観念は、私たちの人生観や日常の義務についての考え方を性格づけます。

イエス・キリストは私たちにとって全部であり、すべてのことにおいて最初であり最後であり、そして最上です。イエス・キリスト、キリストの精神、キリストの品性はすべてのことを色どり、またそれは縦系となり横系となつて、私たちの全人格という織物をなすのです。キリストのみことばは、霊と生命です。その時私たちは、もはや自分に思いを集中することはできません。私たちが生きているのではなく、私たちの内にあって生きているのはキリストであり、そのキリストの栄光の望みです。自我は死に、キリストが生ける救い主です。キリストを見つづけることによって、私たちはそのみ像を周囲のすべての人に反射するのです。私たちは立ちどまって失望について考えたり、語ったりすることはできません。なぜならもっと楽しい光景、すなわちイエスのとうとい愛が

私たちの目をひきつけるからです。キリストは真理のことばによって私たちの内に住まれます。

教役者へのあかし・三八七 三九〇ページ

### 大いなる価の真珠

私たちは、自分をキリストにささげてキリストのすべての要求に自ら従った生活を送らねばなりません。私たちの全人格、私たちの持つてゐるすべての才能や能力などは、主のものとして主への奉仕にささげなければなりません。このように自分を全くキリストにささげるとき、キリストは天のすべての宝と共にご自身を私たちにお与えになります。私たちは大いなる価の真珠を手に入れるのです。

自然と宗教・英文・一一六ページ

## 四四 克 己

イエスはご自分をむなくされたので、イエスのなさったすべてのことには自我というものが見られません。イエスはすべてのことを天父のみこころに従わせられました。この世のイエスの任務がまさに終わろうとするにあたって、イエスは、「わたしは、わたしにさせるためにお授けになったわざをなし遂げて、地上でああなたの栄光をあらわしました」と仰せになることができました（ヨハネ一七ノ四）。イエスは、「わたしは柔和で心のへりくだった者であるからわたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。」「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て」なさい

と命じておられます(マタイ一ノ二九、一六ノ二四)。自我を心の王座から退けましょう。これに魂の主権を執らせてはなりません。

自己犠牲的で心のへりくだったキリストを仰ぎ見る者は、ダニエルが人の子のようなお方を仰ぎ見た時のように「わが顔の輝きは恐ろしく変って、全く力がなくなった」と言わないではいられません(ダニエル書一〇ノ八)。…人間の性質はたえず自己表現をしようとし、また競争しがちですが、キリストについて学ぶ者は自我や誇りや権勢欲を捨て、その魂には静けさがあります。自我は聖霊のなすがままに従います。そのとき私たちは最高の地位を占めようと望まなくなります。私たちは、人々を押しつけて割り込んで行ってまで、人目につく立場を占めようなどという野心を持たず、最高の地位は救い主の足もとにあるということを感じます。私たちはイエスを仰いで、その手にみちびかれるのを待ち、そのみ声のみちびきを聞きます。使徒パウロは、この経験を通して、こう言いました。「生きているのは、もはや、わたしではない。キリストがわたしのうちに生きておられるのである。しかし、わたしがいま肉にあって生きているのは、わたしを愛しわたしのためにご自身をささげられた神のみ子を信じる信仰によって、生きているのである」(ガラテヤ二ノ二〇)。

祝福の山・三〇、三一ページ

## 四五 神が嘉納される品性

青年たちが永遠の基の上に品性を築くように、注意深く祈りのうちに彼らを教えなければならま



せん。多くの者が悲しむべき失敗をするのは、彼らが経験の教えに注意しないからです。両親や教師の勧めは効力を失い、彼らは敵の誘惑に屈服します。神は青年を愛されます。彼らがキリストの必要をみとめ、堅固な基の上に築くときに、神は彼らのうちに善への大きな可能性をもらいになります。神はまた彼らの試練もご存じです。神は彼らが人の心を支配しようとする暗黒の勢力に対して戦わねばならないことをご存じです。そこで神は青年男女が神のご性質にあずかる者となりうるように道をお開きになりました。

### 忍耐強い努力が必要である

品性は偶然にはでき上がりません。それは一回の感情の破裂や悪い方向への一歩だけでは決定されません。くりかえされた行為が習慣となつて、善、もしくは悪のいずれかの品性が形づくられるのです。正しい品性は、たゆまない不屈の努力と、自分にゆだねられた才能や能力をことごとく神の栄えのために活用することによってのみ形づくられます。こうした努力をしないで、多くの者は一時の感情や境遇に身をまかせてどこへでも流されます。これは彼らがよい素質を持っていないからではなく、神が若い彼らに、全力をつくさせようと望んでおられることを彼らがみとめないからです。

今日の青年がダニエルのように立ちたいと思えば、彼らは霊的な神経と筋肉をことごとく緊張させなければなりません。主は彼らがいつまでも未熟な者であることをお望みになりません。神は彼らが最高の優秀さに到達するように望んでおられます。神は彼らが、はしごの頂上に達して、そこ

から神のみ国にはいるように望んでおられます。

## 交友の影響

家庭を離れ、親の目のとどかないところにいる青年たちは、大部分自分で友だちを選ぶがままにされています。彼らは、天父の御目が、自分の上にそそがれており、すべての必要とすべての誘惑をご存じであることをおぼえていなければなりません。どの学校にも、そのすることをみていると、知能が劣等に形成されているとは思えない生徒がいるものです。彼らは幼年時代の思慮のない訓練によってかたよった品性を発展させ、年が進むとともにそうした欠点が彼らの経験を台なしにしているのです。こうした魂は、ことばと行為によって、道徳力の弱い者たちを迷わせます。

愛する青年方よ、時は黄金です。あなた方は、放縦な生活を送って自分の魂を危険におとし入れてはなりません。友だちをえらぶことに不注意であってはなりません。他人の品性の尊い点を深く心に留めなさい。それらの特性は、あなた方が善と戦い善を選ぶ上に道徳的な力となります。あなた方の目標を高いところに置きなさい。神を愛しおそれるあなた方の親や先生たちは夜も昼も祈りの中にあなた方をおぼえ、あなた方に懇願したりあなた方を戒めたりするかもしれません。しかしもしあなた方が向こう見ずな友だちを選ぶなら、こうしたすべてのことはむだになるのです。真の危険をみとめず、よいことでも悪いことでも自分の好きなようにすればよいのだと考えるなら、悪のパン種が知らず知らずのうちにあなた方の心を汚し、墮落させていることにあなたは気がつかないのです。

### 唯一の望みキリスト

キリストは苦しめられ、侮られ、はずかしめられました。キリストは右からも左からも誘惑に攻められましたが、それでも罪を犯さず、神に対して全く満足すべき完全な服従をおささげになりました。キリストはこのことによって不服従のあらゆる口実のみせかけを永久に取り除かれました。キリストはどのように従うべきか、どのようにしてすべてのいましめを守るべきかを示すためにおいになったのです。キリストは神の力に寄り頼まれましたが、これこそ罪びとの唯一の望みです。キリストは人が世にある滅びの欲をのがれて、神の性質にあずかる者となるようにご自分の生命をお与えになったのです。

神は、神の栄えのために活用させるために青年たちに才能をお与えになりましたが、多くの者はこれらの賜物を清くない目的のために用います。

多くの人々は、もし涵養されるならば知、徳、体の教養という豊かな収穫を生ずべき才能を持っています。しかし彼らは立ち止まって考えてみようとしません。彼らは自分の行為の価をかぞえません。彼らは向こう見ずで愚かな行為を助長し、他人の勧めや戒めに耳をかしません。これは恐ろしい間違いです。神の御目が彼らの上に注がれており、神の天使たちが品性の発達を見守り、道徳的価値を測っていることを認めるならば、青年たちはまじめな気持になるでしょう。

ザ・ユース・インストラクター・一八九九年七月二七日

## 四六 キリストの常住

キリストの宗教は罪のゆるしを意味するだけではありません。それは私たちの罪をとり去って、その空白を聖霊の恩恵によって満たすことです。それは、天来の光に照らされ、神のうちによるこびを見いだすことです。それは自我をむなくし、キリストの常住によって祝福されることです。キリストの魂が支配されるとき、そこには純潔があり、罪からの自由があります。福音の計画の栄光と完全が生活のうちに成就されます。救い主を受け入れることによって、完全な平安、完全な愛、完全な保証の輝きが生じます。私たちの生活の中にあらわれるキリストの美しくかぐわしい品性は、神がこの世の救い主として、実際にみ子をお送りになったことの証拠です。…

忠実なクリスチャンにとってキリストは日々の伴侶であり、親しい友です。彼らは神と密接に接触し、たえず交わって生活してきました。彼らを主の栄光が照らしました。「キリストの顔に輝く神の栄光の知識」の光は彼らのうちに反映されました(コリント第二・四ノ六)。今や、彼らは御稜威を持たれる王なる神のくもりなき光明と栄光の輝きによるこびを感じています。彼らは心の中に天国を宿しているので、天と交わる備えができています。

## 第五部

### 一生の働きの準備

真の教育はある課程を修得するよりも以上のことを意味しています。それは広いものです。そこには体力と知力のすべての発達が含まれます。真の教育は神を愛し、おそれることを教えます。それは人生の義務を忠実に果たすための準備です。

—— 教師、親、生徒への勧告・64ページ

真の教育はすべての義務を遂行するために知、徳、体の能力を準備することです。それは神に奉仕するために身体と頭脳と魂を訓練することです。これこそ永遠の生命にいたる教育です。

自然と宗教・英文・330ページ

## 四七 クリスチャン教育

人の心はどんな高い教養でも受けることができます。神にささげられた一生は、無知の一生であってはなりません。イエスは、教育のない漁師を選んで福音をのべ伝えさせられたのだから、われわれも教育はいらないと言う人が少なくありません。彼らは、イエスが教育のない人たちを優先的に選びになったと主張します。学問もあつて、高い地位にあるたくさんの人々がキリストの教えを信じました。もしこれらの人たちが、良心の確信に恐れるところなく従ったら、キリストに従っていたにちがいありません。彼らがその才能をささげさえしたら、それは受け入れられてキリストの奉仕に用いられたのです。しかし彼らは、気むずかしい祭司たちや、ねたみ深い役人たちの目の前でキリストを告白し、卑しいガリラヤ人との関係に彼らの名声をかけるだけの道徳的な力を持っていませんでした。

すべての人の心を知っておられるキリストはこのことを理解されました。教育のある、身分の高い人たちがその能力に応じた働きをなさうとしないのなら、キリストは、従順に忠実にキリストのみこころをなさうとする人たちをおえらびになるのです。キリストは卑しい人々をえらんでご自身にむすびつけられました。それはキリストがこの地上の大きな働きを残される時に、それを前進させるために彼らを教育するためでした。

## 大教育者キリスト

キリストは世の光でした。キリストはあらゆる知識の根源でした。キリストは教育のない漁師たちを、ご自分が与えようとお思いになつてゐる最高の任務にふさわしい者となさることができました。身分の卑しいこの人たちにあたえられた真理の教訓には大きな意義がありました。彼らは世界を動かすはずでした。イエスがこれらの身分の卑しい人たちをご自身に結びつけられることは、大したことではないようにみえましたが、しかしそれはおどろくべき結果を生じる出来事でした。彼らのことばとわざは世界を革新することになりました。

イエスは教育を軽んじられませんでした。知性の最高の教養が、神を愛し神をおそれる思いによつてきよめられるとき、キリストはこれを全的に受け入れて下さいます。キリストから選ばれた身分のいやしい人々は、キリストと一緒に三年をすごし、天の大君の感化を受けて洗練されました。キリストは世に知られるかぎり最も偉大な教育家でした。

才能と豊かな愛情をもつた青年たちが献身するとき、神は彼らを受け入れて下さいます。彼らは知的偉大さの最高峰に達することができます。もし信仰の原則によつて調和がとれているなら、彼らはキリストが成就するために天からおいでになつたその働きを前進させることができ、そうすることによつて主と共に働く者となることができます。

わが大学の学生たちは、科学的な知識を得るばかりでなく、均整のとれた品性を築くにはどのようにに美德を養い、これを実行すべきかについて学ぶ特権があたえられています。彼らは神の責任あ



る道徳的代表者です。富、地位、知性などのタレントは、神から与えられたもので、それはその人が賢明に利用するために委託されているのです。神はご自身のしもべたちにその能力や才能に応じていろいろな責任をあたえ、ひとりびとりに働きをあたえておられます。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八七七年六月二一日

## 四八 真の教育

真の教育とは創造主である神と、贖罪主であるイエス・キリストについての知識を心と思いなきざみこむ思想を教えこむことです。このような教育は心を新たにし、品性を一変させます。それは魂の欺瞞的なささやきに対して心を強固にし、神のみ声を悟らせます。それは学問のある人をキリストと共に働く者としてふさわしくします。

わが青年たちがこの知識を得るとき、彼らはその他のすべての必要な知識を得ることができません。しかしもしこの知識を得ないなら、どんなに世の中から知識を得ても、神の兵卒の仲間に加わることができません。彼らは、書物からどんなに知識を得ても、神に承認される品性を与えることのできる義の第一原則について無知です。

世の学校で知識を得るために努力している人は、もう一つの学校、すなわちキリストの学校が彼らを生徒として要求していることを忘れてはなりません。生徒はこの学校から決して卒業する時がありません。生徒の中には年老いた者も若い者もいます。天来の教師であるイエスの教えを心に留

める人々は、たえずもつと多くの知恵と魂の気高さを身につけ、こうして永遠に進歩しつづける天の学校に入学する準備ができるのです。

限らない知恵であられる神は、私たちの前に人生の大教訓すなわち義務と幸福についての教訓を示しておられます。こうしたことについて学ぶことは時には苦しいですが、しかしこれなくしては真の進歩はあり得ません。それには努力と涙また苦しみさえ必要です。しかし私たちはたじろいだり、いやになったりしてはなりません。純潔で聖なる天使たちとの交わりにふさわしい者となるのは、この世の試練と誘惑のさなかにおいてです。あまり重要でもない勉強に熱中して、キリストの学校に学ぶのをやめる人は、無限の損失を被っているのです。神が人の子らにおさずけになったあらゆる能力、あらゆる特性は、神の栄えのために用いられなければなりません。このように用いられるときに、それは最も純粋に、最も高貴に、最も幸福に用いられたというべきです。天の原則は人生の最高位を占めるべきであり、知識の獲得や、知性の教養に向かって一歩前進するたびに人間的なものは神的なものへ向かって一歩ずつ同化してゆかねばなりません。

キリスト教教育の基礎・五四三、五四四ページ

### 教育における必要事

今日わが青年たちが身につけなければならない最も必要な教育、また天の学校の上級へ進むのにふさわしい教育は、神のみこころをどのようにして世にあらわすべきかを教える教育です。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇七年一〇月二四日

## 最高の教育

神のみこころと道を学ぶために全力を尽している人々は、人間の受け得る最高の教育を受けているのです。彼らは世の詭弁の上ではなく、永遠なる原則の上に経験を築きあげているのです。

教師、親、生徒への勧告・三六ページ

## 四九 クリスチャン教育の必要

神は知的能力を訓練するように要求しておられます。神のしもべたちが世の人々よりもすぐれた知性と、はっきりした識別力を持つことが神のみこころです。神は、不注意や怠惰のために、有能で知識のある働き人になれない人をおよろこびになりません。神は、心と魂と力の限りをつくして、神を愛するようにと私たちに命じておられます。このことによって、私たちはあらんかぎりの知能をつくして創造主である神を知り、かつ愛するように、私たちの知性を最高の能力にまで発達させなければならぬ義務を負わされているのです。

神の聖霊の支配下にあるとき、知性が十分にみがかれるにしたがって、それはますます有効に神の働きに用いられます。神は、教育がなくても神に献身し、他人の祝福になりたいと熱望する人を神の事業にお用いになることができ、また用いておられます。同じ献身の精神を持ち、しかも十分な教育を受ける特権をあたえられた人は、キリストのためにもっと広い働きをすることができます。

彼らは有利な立場を占めているのです。

### いつそう高い奉仕のための訓練

神は私たちが知識を他人に分け与えたいという目的をもつてできるだけ教育を身につけるように望んでおられます。神のために働いたり語ったりするために、どのようにまたどこに召されるかだれも知ることはできません。私たちがどういう人間になりうるかをご覧になることができるのは神だけです。私たちの前には私たちの弱い信仰では見わけることのできない機会があります。必要な地上の最高権威の前においても、神のみ名があがめられるように神のみことばの真理を示すことができるように知能を訓練しなければなりません。私たちは神のために働く知的な資格を得る機会を一つでも逃してはなりません。

### 円満な教育

教育の必要な青年は、堅い決断力をもつてそれを受け取るように決心しなければなりません。道が開かれるのを待っていないで自分で道を開かねばなりません。どんな小さな機会も捕えなさい。俟約を実行なさい。金銭を食欲や享樂の満足のために費してはなりません。神の要求にかなう有用で有能な者となるように決心なさい。どんなことを計画してもそれを徹底的に忠実になさい。知性を高めるためには、手の届くかぎりあらゆる便宜を利用なさい。書物からの勉強を有用な手の働きと結合させ、忠実に努力し、目をさまして祈ることによって、天からの知恵を得なさい。そのときあ

あなたは円満な教育を受けるのです。こうしてあなたは品性を向上させ、他の人々に感化を及ぼし、義と聖潔の道に人々を導くことができるのです。

もし私たちが自分にあたえられている機会と特権に目ざめるならば、自分で自分を教育する働きに、もつとずっと大きなことが成し遂げられます。真の教育は大学で与えられるものより以上のものです。科学の研究をおろそかにしてはなりません。一方神との生きた結合を通して一層高い教育が得られます。どの学生も聖書を手にして、大教師であるイエスとの交際の中に身を置かねばなりません。聖なる真理を探求するに当って、困難な問題と取り組むために知能を訓練しなければなりません。

### 知識と自己訓練

他人の祝福となるために知識を追い求める者は、神から祝福を受けます。神のみことばを学ぶことによって彼らの知的能力は活発に活動します。才能は発達し、拡大し、知能は力強く有用になります。神の働き人になることを望む人はだれでも自分を訓練しなければなりません。このことによって、雄弁やあるいは最もすばらしい才能によるよりも大きなことがなしとげられます。

自然と宗教・英文・三三四、三三五ページ

### 両親の期待に添う

正しいから正しいことをするという態度は常に最善でかつ安全です。今、まじめに考えてみまし

よう。正しい思考は正しい行為の根底です。両親があなた方について持つておられる期待に応じて忠実に努力してすぐれた者となり、あなた方のために費されるお金が悪用されたり乱用されたりすることがないように気をつけて、親の期待に答えるように決心なさい。両親や教師の努力に協力し知識と品性の高い標準に到達しようとの確固たる目的を持ちなさい。あなた方を愛し信頼している方々を失望させないように決心なさい。正しいことをすることは雄々しいことであり、イエスはあなた方が正しいから正しいことをしようとするときに助けてくださいます。

キリスト教教育の基礎・二四八ページ

## 五〇 永遠のための教育

ヨハネは、「若者たちよ、あなたがたに書きおくれたのは、あなたがたが強い者であり、神のこゝとばがあなたがたに宿り、そして、あなたがたが悪しき者にうち勝ったからである」と書いています(ヨハネ第一・二ノ一四下句)。パウロもまた「若い男にも……慎み深くあるように」とテトスに勧めています(テトス二ノ六)。万軍の主の忠実で堅固なしもべであつたダニエルのように、自分の魂を高めなければなりません。あなた方は聖なる地に立ち、まわりには神の天使たちがいるのですから、足もとの道をよく考えなさい。

あなたが教育というはしごの一番頂上まで登りたいと思うのは当然です。哲学も歴史もたいせつな研究です。しかしあなたの学問的な素養を神の栄えと人類の幸福のために用いないならば、その

ために払われた時間と金銭の犠牲はなんの役にもたちません。科学の知識は、それが最高の目的を達成するための踏み台となるのでなければ無益です。

永遠に続く知識をあたえる教育でなければ、どんな教育も目的のないものとなります。目の前にいつも天と未来、永遠の生命をみつめていないならば、あなたの身につけた学問的な素養は永続的な価値がありません。イエスを一週の中の一日だけでなく、毎日毎時、あなたの教師とする時、イエスは、あなたが教養を追い求めることをお喜びになります。

キリスト教教育の基礎・一九一、一九二ページ

## 五一 実際の訓練

有用な手仕事は福音の計画の一部分です。雲の柱に隠れておられた大教師イエスは、イスラエルの青年たちにひとりのこらず何か有用な職業を教えるようにと命令をお与えになりました。そこでユダヤでは、貧しい階級も富める階級もむすこや娘たちに何か有用な手仕事を教えて、万一逆境に陥った場合には他人にたよらず自分で自分の必要に備えることができるようにすることが一般の習慣でした。学問的な方面の教育と同時に何かの技術を教えこまねばなりません。このことは教育上欠くことのできない一部分とみなされました。

### 均整のとれた教育

今日どの青年もみなイスラエルの時代と同じように実際的な生活上の義務について教えられなけ

ればなりません。各人は何かの方面の手仕事について知識を得、もし必要ならばそれによって生活をたてることができるようでなければなりません。このことは、人生の浮き沈みに対する防壁としてばかりでなく、知、徳、体の能力の発達上からも必要です。手仕事によって生計をたてる必要がないことがはつきりわかっている場合にも、やはり働くことを教えなければなりません。身体を動かさなければだれも健全な体格と盛んな健康を持つことができません。同じように規則正しい労働の訓練は強い活動的な精神と高貴な品性を養うために必要です。

実際の働きについては何の知識も得ないで、ただ書物からの知識だけを得た学生は均整のとれた教育を受けたとは言われません。いろいろな方面の仕事に注がれるはずの精力が、なおざりにされているのです。教育とは、ただ頭脳だけを働かせることではありません。身体を使う仕事がこの青年にも必要です。有用な労働に従事することを学生に教えなければ、教育のたいせつな一面が欠けています。

知、徳、体の能力を健全に働かせることによって広く包括的な教育が得られます。どの学生も一日の幾時間かを活動的な労働に費すべきです。このようにして、勤労の習慣が形成され、独立独歩の精神が助長されるときに青年たちは、怠惰の結果である多くの悪と墮落した習慣から守られます。これこそ教育の第一義的な目的に添うものです。なぜなら活動と勤勉と純潔が助長されるときに、私たちは創造主と一致するようになるからです。

### 有用な働きからの利益



遊戯や単なる運動のための運動からは最大の益は得られません。新鮮な空気を吸ったり、筋肉を運動させることには相当の益がありますが、しかしこれと同じ量の精力を有用な働きに用いる時の利益はいっそう大きくなります。このような活動には人の助けになったという思いと、義務を果たしたという良心のよろこびが伴いますので、満足感が味わわれます。

生徒が社会に出て自分ひとりでやって行かねばならない時に用いることのできる知識、また人生の成功に必要な知識を持つことができるように、彼らは教育された才能をそなえて学校を出て行かねばなりません。勤勉な勉学も必要ですが、同時にまた勤勉な労働も必要です。遊戯はどうしてもなくてはならないものではありません。体力を娯楽に集中することは頭脳の均整を保つ上に一番よいとはかぎりません。一步一步過度に陥りやすい競技などのために費される時間が、キリストの働きのために用いられるならば、神の祝福はその働き人の上にとどまります。

頭の働きと肉体の労働とを結合させることによって得られる実際の生活の鍛練は、神が人になさせようと意図しておられる働きをよりよくなすために、心とからだを適応させるのだと思うことによつて楽しいものとなります。実際の生活の義務を果す道がわかればわかるほど、日々人の役にたつるこびが大きくなります。有用な労働をよるこんでなすように教育されるとき考えは広くなります。教育と訓練によつて頭脳は有用な働きに適するものとなります。なぜなら、こうした頭脳の持ち主は他人の祝福となるために必要な知識を得ているからです。

キリストの一生には、キリストが遊戯や娯楽のために時間を費された例は一つも見あたりません。キリストは現在と未来の生活のための大教師です。しかし、肉体の運動のために、娯楽にふけるよ

うに弟子たちに教えられた例は一つも見つけ出すことができません。……

### 料理法を習うこと

若い男も女もどしたら経済的にそして肉類をいっさい使わないで料理できるかを教えられねばなりません。肉類を少しでも使って食事を準備することを奨励してはなりません。なぜなら、このことは衛生改革の純潔よりは、むしろエジプトの暗黒と無知を示しているからです。

婦人は特に料理法を学ばねばなりません。女子の教育にこれほどたいせつなものはありません。これは人生のどんな境遇にあつても、実際に役だつ知識です。……

### 外国伝道地において

實際生活のあらゆる面における訓練はわが青年男女が学校を卒業して外国に出て行く時に役立ちます。彼らは外国へ行って、料理や裁縫や、住居を建てることなどについて、その国の人々に依存する必要があります。最善の方法で最善の結果を生じさせるにはどのように働いたらよいかを、何も知らない人々に教えることができれば、その感化力にはるかに増大します。彼らは学問と結合した有用で実際の働きに、肉体的な能力を最善に用いるので、こうした宣教師の生活を支持するためには大した資金がいりません。資金の調達の困難な伝道地ではこのことは価値のあることです。彼らは宣教師というものが労働を教えることによって教育家となりうるということをもつて示しているのです。彼らはどこへ行つても、このような身についた実際的な方面の知識によって、人の中にも足場を得ることができます。

教師、親、生徒への勧告・三〇七 三一四ページ

## 五二 学生 の 忠 誠

神を愛し真理に従うと公言する学生は、誘惑のさなかにも動揺することなく、大学の中でも寄宿舎の中でもどこにいても、イエスのために立ち上がるだけの克己心と、強い信仰的な原則を持たねばなりません。宗教は単に神の家にいる時にだけ身につける衣ではありません。宗教的な原則は一生の特徴となっていなければなりません。

### 品 性 と 行 状

生命の泉から水を飲んでいる人々には、世俗の人々のような変化や享楽に対する熱望がみられません。その品性と行状には、イエスの足もとに日ごとの悩みと重荷を置くことによって得られる落ち着きと平和と幸福がみられます。彼らは、従順と義務の道には満足があり、喜びさえあることを示します。こういう人々は学生仲間に感化を及ぼし、その影響は全校にひろがります。……

学校の中に熱心で良心的で忠実な青年がひとりいるということは測りしれない宝です。天使たちは愛のまなざしをもって彼をながめ、天の台帳にはすべての正しい行為、誘惑に抵抗したこと、悪に打ち勝ったことなどが漏れなく書きこまれます。彼は永遠の生命を掴むことができるように、来たるべき時代に備えて、よき土台を築いているのです。

神がご自身の事業を前進させる手段として計画された制度の維持と永続はクリスチャン青年に依

存するところが大きいのです。一世代の人たちにこれほど重大な結果が左右される時代は、かつてありませんでした。青年たちは、この大きな働きのために神の器として用いられるように、自らその資格を築くことがたいせつです。彼らをお造りになつた神は、彼らに他のすべてのものにまさる要求を持っておられます。……

### 学校訓練の価値

今の世の中の大部分の青年にみられる粗野で向こうみずな品性には、心を痛ませるものがあります。制度の法律や規則に従うことによって、社会的な立場が向上し、品性が高められ、心が高貴になり、幸福が増進されるということを青年たちが認めることができたならば、彼らは正しい法律や健全な規則に反抗したり、制度に対する疑いや偏見を起したりしなくなるでしょう。

わが青年たちは自分に課せられている要求を勇敢に忠実に果さねばなりません。このことは成功の保証です。この世の義務を果さない青年は同様に一層高い義務を果す備えができていません。信仰経験は戦いを通し、失望を通し、きびしい自己訓練を通し、熱心な祈りを通して得られます。天への歩みは、一時に一步步進められねばなりません。一步前進することに、それは次の一步への力となります。

教師、親、生徒への勧告・九八 一〇〇ページ

## 五三 学生 の 機 会

学生方よ、教師と協力なさい。そうすることによって、あなた方は教師に希望と勇気をあたえます。それは教師を助けると同時にまた自らの進歩に役立ちます。教師が有利な立場に立ち、その働きが成功とみとめられるかどうかは、大部分あなた方の態度にかかっているということを忘れてはなりません。あなた方は最高の意味において学ぶ者となって、教師の背後に神がおられ、教師が神と協力しているのを見なければなりません。

働きの機会は急速に過ぎ去っています。自分をよるこぼせるために費す時間はありません。成功しようと熱心に努力するときだけ真の幸福が得られます。あなた方が学校で過ごす月日の間にあたえられる機会は貴重です。学生生活ができるだけ完全なものになさい。道は一度しか通りません。働きが成功するか失敗するかは自分自身の責任です。聖書の知識を得ることに成功するとき、あなた方は分け与えるために宝をたくわえていることになるのです。

### 他人を助けること

勉強の遅れた人が仲間に入ったら、その理解の足りないところを説明してあげなさい。そうすることとはまた自分自身の理解の助けとなります。それにはやさしいことばを用いなさい。理解しやすいはつきりしたことばであなたの考えを述べなさい。

仲間の学生を助けることは同時に教師を助けることになります。頭のにぶい学生は、教師よりもむしろ仲間の学生から新しい考えをすばやくつかむものです。こういうことがキリストの勧めである協力です。大教師イエスがそばに立って、勉強の遅れた学生を手伝うあなたを助けてくださ

います。

あなたは学校時代に、貧しい無知な人々に神のみことばの尊い真理を語る機会があるかも知れません。こういう機会をのこらず利用なさい。神はこのようなに費されたすべての時間を祝福してください。

教会へのあかし・第七巻・二七五、二七六ページ

### 基礎的な事柄の完全な習得

低い標準に甘んじてはなりません。学校へ行くには、とうとい聖なる目的をはっきり念頭におかねばなりません。主のぶどう園で何かの奉仕にふさわしい者になりたいとの望みから学校へ行かなければなりません。この目的を達成するために全力を尽しなさい。どんな人があなたのために尽くしてくれるよりも、あなたのためにはあなた自身が一番よくつくことができるのです。もしあなたが自分で自分のために全力を尽すなら、校長や教師たちの重荷をどんなにか軽くすることでしょう。文学方面の高尚な知識を学ぶために努力する前に国文法(原文・英文法)の簡単な規則を完全に理解し、正しく読み、書きつづることを確実に覚えなさい。...

後年になって、あまり役にたたないようなことを学ぶために時間を費してはなりません。ギリシヤ語やラテン語の知識に手を出さずに、まず国語(原文・英語)を正確に話すことを学びなさい。簿記も習いなさい。どこにいてもそこで役だつ者になれるような方面の知識を身につけなさい。

教師、親、生徒への勧告・二一八、二一九ページ

## 五四 奉仕に備える訓練

神のおあたえになった光について考えてみると、「主よ、わたしは何をしたらよいでしょうか」とたずねる青年男女の多くないことが不思議に思われます（使徒行伝二二ノ一〇）。伝道者として立つ決心をしないかぎり、神の働きにふさわしい者となるために特別な努力をする必要がないと思うのは、危険なあやまちです。自分の天職がなんであろうと、熱心な勉強によつて自分の才能をみかくことが必要です。

よく訓練された、知性のある者となるために機会という天来の祝福をよく認識するように、青年男女に勧めなければなりません。彼らは、最上の知識を与えるために設けられている学校を利用しなければなりません。教育を身につけることをなまけたり、なおざりにしたりすることは罪です。時は短く、主はまもなく地上歴史の幕を閉じるためにおいでになります。そのために私たちはまず現在の機会と特権を活用しなければなりません。

### 才能を神にささげよ

青年男女は、知識と訓練を体得すべき場所であるわが学校で学ばねばなりません。誤った教理に対して固く身を守り、悪人の誤謬に迷わされることのないように、彼らは才能を神にささげ、熱心に聖書を学ばねばなりません。なぜなら私たちは熱心に聖書を研究することによつて、何が真理で

あるかを知ることができるようからです。私たちがすでに知っている真理を実践する時に、聖書から輝き出る光はいつそう増し加わります。

神に真に献身している人は世の中の人々が仕事に従事するような動機、すなわち単に生活費を得るために働くというような動機に動かされて働くものではありません。彼らは世俗的な考慮に支配されることなく、神の働きが聖なるものであることをみとめて働きにたずさわります。

### 将来の不慮に備えよ

世人に警告しなければなりません。だれも真理についての上すべりな知識に満足してはなりません。あなた方はどんな責任の地位に召されるかわかりません。またどこへ呼び出されて真理についてあかしをしなければならぬかわかりません。立法会議の前に立たねばならない人もたくさんいます。ある者は王たちの前や世の学者たちの前に立って、自分の信仰について答えをしなければならぬでしょう。

真理について皮相的な理解しかもっていない人は、聖書をはつきり説明したり、信仰についてはつきりした理由を説明したりすることができません。こういう人は混乱し、はずかしくない働き人となることができません。自分は講壇で説教するのではないから、聖書を学ぶ必要がないと考えてはなりません。神があなた方にどんなことを要求なさるかわかりません。

責任の地位に立つのにふさわしい備えのできた教育のある働き人が少ないために、神の働きの前進が妨げられていることは悲しむべき事実です。神はその大いなる収穫の野に幾千の働き人を受け



入れて下さいますがしかしこの働きをなすのにふさわしい準備をしている人が少ないのです。キリストの働きに参加し、主の軍隊の兵士として身をささげた人は、忠実な訓練を受けられる場所に身を置かねばなりません。口先ばかりのキリスト信者にとっては、信仰は全然無意味です。だれでも手の届くところに知恵と知識があるのに、無知なままにいるということは神のみこころではありません。

キリスト教教育の基礎・二一六、二一七ページ

### 正しい原則に支配される

頭のよい青年が必ずしも最大の成功をかちうるとは限りません。才能も教育もある人が、責任の地位に立たされながら、失敗する場合が少なくありません。彼らは一見黄金のように輝いてみえながら、いったん試みられるとそれはメッキかくずに過ぎなかったことがわかります。彼らは不忠実なために働きに失敗したのです。彼らは勤勉と忍耐を知らず、物事のどん底まで行くことをしなかったのです。彼らははしごの一番下から登り始めて、頂上に達するまで、忍耐強く骨折って一段一段登ろうとしなかったのです。彼らは自分自身から発する思想のひらめきという光輝の中を歩いたのです。彼らは神だけが与えることのできる知恵にたよらなかつたのです。彼らが失敗したのは機会がなかつたからではなく、まじめでなかつたからです。彼らは自分にあたえられている教育上の有利な立場がどんなに尊いものであるかを思わず、したがって宗教と科学の知識において、然るべき進歩をしなかつたのです。彼らの頭脳と品性は高い義の原則によって均整のとれたものとならなかったのです。

キリスト教教育の基礎・一九三ページ

## 五五 進歩への熱意

もし各人が自分の個人的な感化について神の前に責任をみとめるならば、彼はどんな場合にもなまけ者となることなく、ご自身の血で彼をあげた下さったキリストに奉仕するために、才能を養い、あらゆる能力を訓練するでしょう。

青少年はことに頭脳を訓練し、あらゆる機会を捕えて知性をみがき、彼らのために尊い生命をお与えになったキリストに受け入れられる奉仕をする者とならねばなりません。自分はまだ書籍や自然から学ぶ必要がないほど充分教育を身につけたと思ひこむような間違いを犯してはなりません。神が摂理の中にお与えになるあらゆる機会を活用し、聖書と科学からできるかぎりあらゆるものを得なければなりません。

神が私たちに与えられた能力を正しく評価しなければなりません。青年は、はしごの一番下から登り始めなければならなくても、落胆することなく、ついにはキリストが、「良い忠実なしもべよくやった。あなたはわずかなものに忠実であつたから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ」と言われるみ声をきくまで一段一段と登って行く決心をしなければなりません（マタイ二五ノ二一）。

キリスト教教育の基礎・二一三ページ

## 五六 真の知恵

この世の最高の教育を受けても、神の王国の臣民となる第一の原則については無知な青年男女がいます。人は人間の学問によつては天の王国に入る資格を得ることができません。キリストの王国の臣民はこのように形式や儀式やあるいは書物を長年研究することなどによつて造られるものではありません。「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることであります」(ヨハネ一七ノ三)。

### 聖書と科学

毎日旧新約聖書を研究しなければなりません。神の道とみわざについて絶えず学ぶとき、神の知恵と知識があたえられます。聖書はわたしたちの光となり、教師となるべきものです。神が天から雨や露や日光を送つて植物を繁茂させられることや、すべての恩恵が神からあたえられ、感謝と賛美は神に帰せられるべきものであることを青年たちがみとめる時、彼らはすべての道に神をみとめ、日々の義務を忠実に果すようになります。また神は彼らのすべての思いの中におられます。……

多くの青年たちは、科学について語るときに、聖書に書かれていること以上に自分が博識であると思います。彼らは自分の限りある理解力に応じた何ものかによつて神の道とみわざを説明しようとしています。しかしそうしたことはすべてみじめな失敗です。真の科学と聖書は一致しています。偽

りの科学は神とは無関係な何ものであり、それは外観を装った無知です。

知識の探求や科学の研究に伴う最も大きな弊害の一つは、こうした研究に従事する人々が純潔で偽りのない宗教の聖なる性格を見失っていることです。世の知者は人の心に働く神の霊の感化を科学的な原則に基いて説明しようとしてきました。この方面に一步でも足を踏み入れるときに、人は懷疑主義という迷路に迷いこむのです。聖書の宗教はただ神秘的な敬虔であって、人の心は、これを十分に理解することができず、生れ変っていない心には全然理解できないのです。

### 神から教えられる

青年は神の奉仕に献身することによって、意志薄弱や無能力にはなりません。多くの者にとって教育というものは書籍からの知識ですが、しかし「主を恐れることは知識のはじめである」とあります(箴言一ノ七)。神を愛し神を恐れる者は、どんなに年が若くても、神の御目には、才能や学問があっても、自分の救いの問題をなおざりにしている人々よりも尊いのです。心と生活を神にささげる者は、すべての知恵とすぐれた徳の源であられるお方につながるのです。

青年が、もしダニエルのように、天来の教師について学ぶならば、エホバを恐れることが知識のはじめであることを自ら知るようになります。このように堅い基礎を置くことによって、彼らはダニエルのように、あらゆる特権と機会を最善に利用し、どんなに高い知的教養にも到達することができます。神に献身し、神の恩恵の保護と聖霊の生かす力のうちにあるとき、彼らは単なる世俗の人々よりも深い知的な能力をあらわします。

人間の解釈を通して科学を学ぶことは、偽りの教育を受けることです。神について学び、神のおつかわしになったイエス・キリストについて学ぶことは聖書の科学について学ぶことです。心の清い者はあらゆる摂理の中に、また真の教育のあらゆる面に神を見ます。彼らは神のみ座から輝き出る光の一端をみとめます。霊的知識の最初のひらめきを捕える者には天との交通が開かれます。

わが学校の生徒は他のどんなことよりも神についての知識を高く評価しなければなりません。この知識は聖書を研究することによつてのみ得られます。「十字架の言葉は滅びゆく者には愚かであるが、救いにあずかるわたしたちには神の力である。すなわち聖書に『わたしは知者の知恵をほろぼし、賢い者の賢さをむなしのものにする』と書いてある。……神の愚かさは人よりもかしこく、神の弱さは人よりも強いからである。……あなたがたがキリスト・イエスにあるのは、神によるのである。キリストは神に立てられて、わたしたちの知恵となり、義と聖とあがないとになられたのである。それは『誇る者は主を誇れ』と書いてあるとおりである」(コリント第一・一ノ一八、一九、二五、三〇、三一)。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇三年・二四号

## 五七 高い目標を立てよ

神は私たちがあらゆる機会を利用して神のみ事業のために準備するように望んでおられます。神は私たちがあらゆる精力を神のみわざの遂行のためにそそぎ、その神聖さとおそるべき責任についていつも自覚するように期待しておられます。

りっぱな働きをなす資格を持ちながら、努力が足りないために、わずかなことしか成し遂げられない人がたくさんいます。生きるのに大した目的もなく、達すべき高い目標もないかのようにな人生を過ごしている人々が幾千となくいます。その理由の一つは彼らが自分自身を低く評価しているからです。キリストは私たちのために無限の価を払われました。その払われた価にふさわしく、私たちが自分自身を高く評価するようにキリストは望んでおられます。

低い目標に到達することに甘んじてはなりません。私たちは当然到達し得る目標に到達しておらず、神がお望みになるような人間になっていません。神が私たちに理性の能力をあたえられたのは、これを働かせずに置いたり、あるいは世俗的な卑しい業務のために悪用したりするためではなく、神の王国の利益を増進するために、最高度に発達させ、洗練し、きよめ、かつ、とうとくするためです。

## 個性を保つ

だれでも他人の頭脳によって動かされる単なる機械となってはなりません。神は考えかつ行う能力を与えておられます。神に知恵を求めながら注意深く行動することによって、重荷を負うことができるようになります。神からあたえられた個性を保ちなさい。他人の影となってはなりません。神はあなたのうちに、あなたによって、またあなたを通して働かれることを期待なさい。

十分に学んだからもう努力しなくてもよいと決って思ってはなりません。教養はその人のものです。教育は一生続くべきもので、毎日学んで得た知識を実際に用いなければなりません。

どんな地位にあつて働こうと、あなたは動機をあらわし、品性を発達させているということを忘れてはなりません。働きが何であつても、これを正確に、勤勉になさい。安易な仕事を求めようとする心の傾向にうち勝ちなさい。

### 全心全霊の奉仕

日々の働きに示されるのと同じ精神と原則が、全生涯に示されます。神は、きまつた分量の仕事やきまつた給料を望んだり、応用や訓練の苦勞なしに型通りの者になりたいと望むような人を神の働きにお召しになりません。どうしたら、知、徳、体の能力をできるだけ費さないで済むかということの研究するような働き人には、神は豊かな祝福をそぐことができません。こういう人々の例は他の人たちの間にひろがります。彼らを支配している動機は利己主義です。監視されていなければならなかったり、自分の仕事割当てられた時だけ働くような人は、良い忠実なしもべよ、との宣告を受けることができません。精力と誠実と勤勉をあらわす人や、しなければならぬことは何でも自ら進んでやつてのけるような人が働き人として求められています。

失敗を恐れるあまり責任を回避することによって無能になる人がたくさんいます。こうして彼らは経験から生れる教育、しかも読み書きやその他のどんな便宜によつても得られないような教育を受けそこなうのです。

人が境遇を作るべきであつて、境遇が人を作るようなことがあつてはなりません。境遇をつかまえて、これを働きの道具としなければなりません。境遇を支配すべきであつて、境遇に支配されて

はなりません。

有能な人とは、反対され、困惑させられ、妨害されている人のことです。精力をふるって行動する時に、彼らの出会っている障害は大きな祝福となります。彼らは自信を持ちます。戦いと困難を通して、彼らは神に対する信頼心を呼び起し、能力へと発達すべき堅い志を持つようになります。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・英文・四九八 五〇〇ページ

### 一生を活用する

教育が当人の献身と結合されるとき、それは大きな利益となりますが、高い学問的な教養を身につける特権を持たない人でも、自分は知的靈的な生活に進歩できないと考えるには及びません。もし自分のもっている知識をできるかぎり活用し、日々何ものかを知識のたくわえに加えるように努力し、キリストのような品性を熱心に育てることによって、ひねくれた性質にうち勝つならば、神は知恵の道を開き、古代のヘブル人について言われているように、彼らにも知恵と聰明をあたえられるとすることができます。

キリスト教教育の基礎・一九二、一九三ページ



第六部

奉

仕

正しく訓練されたわが青年たちによって提供されるような働き人の軍勢がいるならば、十字架につけられ、よみがえり、そしてまもなく来臨なさる救い主の使命はどんなにすみやかに全地にのべ伝えられることでしょう。どんなにすみやかに終り　苦しみと悲しみと罪の終りがやってくることでしょう。私たちの子供たちは、罪と苦しみにそこなわれたこの世の財産の代りに、「正しい者は国を継ぎ、とこしえにその中に住むことができる」ところ、「そこに住む者のうちには、『わたしは病気だ』と言う者はない」ところ、「泣く声と叫ぶ声は再びその中に聞えることはない」ところで、どんなにかすみやかに嗣業を受けることでしょう。

教師、親、生徒への勧告・555 ページ

## 五八 働き人として召された青年

キリストの学校で大教師イエスから教えを受けるならりっぱな働きをすることのできる青年がたくさんいます。たとえ牧師や伝道者や教師が失われた者をたずね求めることを怠っても、青年たちはみことばを行う者となることを怠ってはなりません。...

若い男女や子供たちはイエスのみ名によって働きに出て行かねばなりません。彼らに働きの計画と順序を立てさせましょう。伝道組を作り、主が恵みを与えて下さるよう一緒に祈る時間を定め、一致した働きをしようではありませんか。あなた方は、神を愛し恐れまた働きの経験のあるおとなたちと相談し、神の霊のみちびきのもとに熱心にそして確実な結果を生じるように働きの計画を立て、その方法を発展させなければなりません。神からゆだねられた才能を神のみ名の栄えのために用いる人を神は助けてくださいます。真理を信じるわが青年男女は生ける伝道者とならないでしょうか。...

### 信仰による働き

あなた方が人々のために働くとき、聖霊のきよい能力が彼らの魂に働きます。彼らは神のひとり子の血潮によって買われたからです。人々の心を罪について悟らせ悔い改めさせる働きをする神の恩恵と力に寄り頼むことによつてのみ、私たちは、キリストがそのために死なれた魂を救うことに成功します。あなた方が彼らに神の真理を示すときに、不信と不安が心を捕えようとします。しか

し神の御約束のことばによってあなた方の心の中から疑いを追い出さねばなりません。

神をみことば通りに信じ、信仰をもって働きなさい。サタンはあなた方のうちに天父のみことばに対する不信を起そうとして、そのかしをもつてやってきます。しかし、すべて信仰によらないことは、罪である。ことを思わねばなりません（ローマー四ノ二三）。サタンの暗い影の中でも信仰をもつて前進し、恩恵のみ座にすぎりなさい。そして一点の疑いも心の中に宿してはなりません。これはあなたが経験を得、心の平安と確信に必要な証拠を見いだす唯一の方法です。

あなたの経験が増すにしたがつて魂に対する熱心と神の奉仕に対する愛が増し加わります。なぜならあなたはイエス・キリストの御目的と一つだからです。あなたの同情は聖霊から生れます。あなたはキリストとくびきを共にし、神と共に働く者です。

ザ・ユース・インストラクター・一八九四年八月九日

## 義勇兵の召し

神は、神の側にしっかりと立ち、ナザレのイエスと一体となって、今しなければならぬ働きに携わることを誓う人々を召しておられます。

キリスト教教育の基礎・四八八ページ

## 五九 救霊の責任

青年たちには重大な責任が負わされています。神は光と知識の増した今の時代に住む青年に多くのことを期待しておられます。神は多くの人々の心を曇らせている誤謬や迷信を追い払うために彼

らを用いようと望んでおられます。どんなわずかな知識や経験も残らず集めて、自己を訓練しなければなりません。神は彼らにあたえられた機会について責任を求められます。彼らの目の前にある働きは時代の要求にしたがってここからかしこへと進められるように、彼らの熱心な努力を待っています。

青年が頭と心を神の奉仕にささげるとき、彼らは能率と有用の高い標準に達することができます。これは神が青年の到達を望んでおられる標準です。この標準に達しない働きは神からあたえられた機会を利用することを拒むことになります。これは神に対する反逆、すなわち人類の幸福のために働かなかつたことと同様にみなされます。

愛する青年方よ、あなた方は神のみことばを指針とし、エホバのいましめを守ることがどんなに大切であるかを人々に知らせるために何をしているでしょうか。人は神のみことばに従うことによつてのみ救われるということをおなた方は自分自身のことばと行為によつて宣言しているでしょうか。自分のできるかぎりのことをなすとき、あなた方は他人の祝福となることができます。自分の最善の能力をもって働くとき、もっと多くのことをなす道と機会があなた方の目の前に開けます。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇七年一月一日

## 六〇 キリストのための証言

神の側に立つ者はみなキリストを告白しなければなりません。「……あなたがたはわが証人で

ある」と主は言われる（イザヤ書四三ノ一二）。真の信仰は純潔で聖なる品性のうちにあらわれます。信仰は愛によって働き、魂をきよめます。信仰のあるところにはそれに相應する従順がありキリストのみことばの忠実な実行が伴います。キリスト教はいつも非常に实际的であつて、実生活のあらゆる境遇に適用されます。「あなたがたはわが証人である」（イザヤ書四三ノ一二）。だれに對してでしょうか。世の人々に對してです。自分の周囲に聖なる感化を与えねばならないのです。キリストがあなたの魂のうちに住み、あなたはキリストについて語り、キリストの美しいご品性をあらわさねばなりません。

### 私たちの会話

現代の流行宗教は、名前だけのクリスチャン青年たちが友人にキリストの名を言うことがほとんどないように、彼らの品性を形づくりました。彼らはいろいろな問題について語りますが、救いのおととい計画は話題にされません。もしあなたがたが実際のクリスチャンとして、物事のこの順序を変えて、「暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さった方のみわざを、あなた方が語り伝える」としたらどうでしょう（ペテロ第一・二ノ九）。信仰によつてキリストが心のうちに住まれるならば、あなたは沈黙してられません。あなたがキリストを見いだしたなら、あなたは真の伝道者になります。あなたはこの問題について熱心でなければなりません。イエスがあなたの魂にとつてとうといお方であり、あなたの口に新しい歌、神への賛美を入れて下さったことを、まだイエスの有難さを知らない人々に知らせねばなりません。

青年方よ。イエスの愛によって心をあたためられた者としてクリスチャン生活を始めようではありませんか。まだ神の子らになっていない人々に彼らの魂の救いについて厳粛で印象的なことはをおだやかに語るとき、あなた方はどんなによい働きをしているかわかりません。一方またキリストの証人となるべき多くの機会を活用しないままにどれだけ見過ごしたかは、審判の時までわかりません。あなた方の聖なる信仰と全く矛盾するようなくならない小さな行為や低級な話や軽薄さによって、あなた方はこの世のどれかの魂を傷けているかも知れないのです。

### 愛する者の救霊

あなた方はなるほど愛する者たちの魂のためにある心配を感じているでしょう。あなた方は彼らのために真理の宝を開こうと努力し、彼らの救いのために心から涙を流すかもしれません。しかし自分のことばが相手に印象を与えているように思われず、祈りのきかれた様子も見えないときに、あなたは自分の努力が実を結ばないことを神の責任でもあるかのように思いがちです。愛する者たちが特別にかたくなな心をもっていて、あなたの努力に反応を示さないように思われます。しかし失敗は自分自身の側にあるということをまじめに考えてみたことがありますか。一方の手で築きあげる努力をしながら一方の手でひき倒しているのだということを考えてみたことがありますか。

ある時は神の霊の能力によって支配してもらい、ある時は自らの行為によって信仰を否定することによって、あなたは愛する者たちのための努力を台なしにしてしまいます。彼らのためになされる努力はあなた自身の行為によって効果を失ってしまうのです。あなたの不気げん、口には出さな

いことば、態度、不満な心の状態、クリスチャンとしての薫の足りなさ、靈性の欠乏、顔の表情などがあなたにとって不利なあかしとなるのです。……

小事が大切であることを軽視してはなりません。小さい事によって生活上の実際的なしつけがなされるのです。魂が訓練されてキリストのみ像にまで成長するか、それとも悪の像に形作られるかは、そうした小さな事によって決定するのです。神は私たちが、思想やことばや表情や行為などの習慣を養い、そのことを通して私たちがイエスと共に歩みイエスについて学んだことをまわりのすべての人々にあかしするのを助けてくださいます。

ザ・ユース・インストラクター・一八九三年三月九日

## 熱 心 さ

神のための活動的な働きに費された一生はとうとい人生です。つまらないことやむだな後悔や、益のない不平の中に時をむなしく過ごしている多くの人々が、もし神からあたえられた光を認識し、これを人々に輝かすなら、全然異なった経験をするにちがいありません。多くの人々は安逸を愛する心と利己主義のためにみじめな人生を送っています。勤勉な活動によって、彼らの生活は死の暗い道にある人々を天への道にみちびく太陽の光のようになることができます。人々がこの道を歩むとき、彼らの心は、イエス・キリストのうちにある平安とよろこびに満たされます。

レビユー・アンド・ヘラルド・一八八一年一〇月二五日



## 六一 個人的な働き

キリストの働きは主として個人的な面接から成っていました。キリストはたった一人の聞き手でもおろそかになさいませんでした。そしてその一人の聞き手は自分の受けた知識を幾千人もの人に伝えたのでした。

最も成功する働き人は、小さなことにおいて、神に仕えるために楽しく働く人です。人間はひとりびとり自分自身の系で働き、それを織って織物とし、模様を完成しなければなりません。……青年たちが互いに助け合うように教育なさい。こうした働きをなそうと努力することによって各人はもつと広い分野における献身的な働き人になる資格を身につける経験を得ます。最も簡単な方法によつて幾干の人々の心を動かすことができます。

この世の偉大な才能ある男女として仰がれ称賛されている最も知識の深い人でも、神を愛するけんそんな人の語る単純なことばかり清新な気分を感じることがよくあります。世俗の人々が自分の考えていることや心の中にあることを自然に語るように、クリスチャンは神についての愛を自然に口にします。言葉というものは、それがどんなによく準備され研究されたものであっても、あまり力はありません。しかし神のむすこ娘たちがことばにおいても、小さい事の奉仕においても、自然の単純さをもつて真実に正直に働くときに、多くの魂を閉ざしていたとびらが開かれます。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八九九年五月九日

## 六二 救霊者としての青年

サタンは油断のない敵で、青年たちを神の承認される道と全然正反対な方向にひっぱるのに熱心です。サタンは、神に献身している青年男女くらい、りっぱな働きをする者は他にないことをよく知っています。青年は、もし正しければ、偉大な感化を及ぼすことができます。説教者や年令の進んだ信者は、神に献身した青年が同僚に及ぼす感化の半分も青年に感化を与えることができません。青年は同僚を救うためには自分の楽しみや自然な望みを犠牲にしてまでも最善を尽す責任があることを思わなければなりません。時間や、必要ならば金銭までも神にささげなければなりません。

神を信じると告白する者はすべてキリストを信じない人々の危険について思わなければなりません。彼らの恩恵期はまもなく終わろうとしています。神のみこころを行う立場にあつたら救霊の感化を及ぼしているはずなのに、利己主義や怠惰であつたり、キリストの十字架を恥じたために、自分の義務を果さなかつた人々は、自らの魂を失うばかりでなく、哀れな罪びとの血まで自分の衣に塗られます。こういう人々は、神に献身していたなら善をなすことができたのに、不忠実であつたために善をなすことができなかったことについて、神の前に報告しなければなりません。

救いの愛のうるわしさを本当に味わつた人は、自分の交際しているすべての人に救いの計画を知らせるまでは満足しないし、また満足できません。若い人たちは、「主よ、私に何をなさせようとしていらっしゃるのでしょうか。どうしたら私は地上であなたのみ名をあがめ、み名の栄えをあら

わすことができるでしょうか」と問わねばなりません。私たちの周囲に魂が滅んでいるとき、若い人たちは魂をキリストにみちびくためにどんな重荷を負っているでしょうか。

### 他人のための祈り

学生はキリストのために有力な者となることができるのに、友だちと心をあわせて熱心にキリストのみ名を呼び、罪の道を捨てて聖潔の道をえらぶことができるように祈り願う学生の姿はあまり見受けられません。

これは信仰を持つすべての学生のなすべきことなのに、彼らはそうしません。罪びとと一緒に運動したり遊んだりする方が彼らの性分に合っているのです。青年は広い方面に役だつのに彼らはそのことを理解しません。彼らがいま能力のかぎりをつくして、滅びつつある魂に近づく方法をさがし、その魂に聖潔の道を教え、祈りと願いによってひとりの魂でもキリストにみちびいてくれるように望みたいものです。

ひとつの魂が永遠に神を賛美するようになり、ひとつの魂が永遠の生活と幸福を楽しむようになるとはなんとという尊い事業でしょう。その時彼らの冠には一つの宝石が星のように永遠に輝くのです。ひとつの魂が誤謬から真理へ、罪から聖潔へみちびかれるだけではないのです。神は預言者を通して、「多くの人を義にみちびく者は星のようになって永遠にいたるでしょう」と言っておられます(ダニエル書二ノ三)。キリストや天使たちと共に、滅びゆく魂を救う働きにたずさわる者は、天国において豊かに報いられます。

青年たちが神と真理に身をささげ、自分の立場を果すならば多くの魂が救われるはずなのに、彼らはたいてい他から絶えず助けてもらわなければ世俗に陥ってしまうような立場に立っています。彼らは絶えまない心配と頭痛の種になっています。彼らのために涙が流され、彼らのために両親は苦悶の祈りを心の底からふりしぼっています。それでもなお彼らは自分の行為が人々に苦痛をあたえていることなどにかまわずに突進します。彼らを救い、彼らをキリストの血の功績によって神のみこころにかなう者とならせるためには自分は死んでもよいとまで思っている人々の胸に、彼らはいばらを植えつけているのです。...

### なすべき働き

青年方よ、神があなた方にしてもらいたい働きをもっておられることを、私は示されました。あなた方の十字架をとってキリストに従いなさい。冷淡な無関心さをつづけているかぎり、あなたがついての神のみこころがどうしてもしてわかるでしょうか。忠実なしもべとして神のみこころを果すことをしないでどうして救われることを期待できるでしょうか。永遠の生命をあたえられるのは自分の立場を忠実に果した者だけです。栄光の王は彼らを高めてご自分の右にすわらせ、「良い忠実なしもべよ。よくやった」と仰せになります(マタイ二五ノ一二)。自分自身の楽しみのために勉強することなく、主のぶどう園において自分のできる働きに携わるときに、あなた方はどれほど多くの魂を滅亡から救うことができるかわかりません。社交的な集まりや音楽の練習などでどれほどの魂を救い得たでしょうか。ひとりの魂でも救ったと言うことができないとしたら、全く新しい生活

にはいらねばなりません。魂のために祈ることを始め、キリストの血の流れる脇腹に近づきなさい。柔和な精神を生活の飾りとし、自分自身の魂ばかりでなく人の魂も救うことができるように、くだけた心、へりくだった心を持つように熱心に知恵を祈り求めなさい。

歌うこと以上に祈りなさい。歌うことよりも祈ることがもっと必要ではないでしょうか。青年たちよ、神はあなた方に働くように、神のために働くように要求しておられます。生活をすっかり変えなさい。ことばや教理で奉仕している人々のなし得ないところをあなた方は成すことができます。あなた方は牧師の力ではどうにもならない人々を動かすことができます。

教会へのあかし・第一巻・五一― 五一三ページ

### どこから始めるべきか

神のために働きたいと思えば、まず家庭から、自分自身の家族から、隣人から、友人から始めねばなりません。これは有望な伝道の分野です。この家庭伝道は私たちがもっと広い分野に奉仕する能力があるかないかをためす働きです。

教会へのあかし・第六巻・四二八ページ

### 最も成功する方法

私たちの働きにおいては、個人的な伝道によって測り知れない成績をあげることができます。魂が減じるのはこの個人伝道が足りないからです。ひとりの魂には無限の価値があります。カルバリはその価値を物語っています。ひとりの魂がキリストにみちびかれるとき、その魂を通してさらに他の魂がみちびかれ、祝福と救いの結果はたえず増加します。

福音宣伝者・一八四ページ

## 六三 各方面の奉仕

神は教役者、婦人伝道者、文書伝道者を召しておられます。教会の青年男女を文書伝道者、伝道者、婦人伝道者とし、上手に働く方法を教えることのできる経験を積んだ働き人と一緒に出て行かせなければなりません。文書伝道者は文書を携えて家ごとに訪問しなければなりません。機会があらわれるたびに、会う人ごとに現代の真理を語り、共に歌い、共に祈らねばなりません。私たちが神のために働き、正しい方法に従って精力をそそぐときに、多くの魂が収穫されます。

神の働きにおいては、自己犠牲の精神に満たされている人ならだれにでも働き場所があります。神は、人のために自我を捨て、神のために自分自身と所有物の一切をささげる男女を召しておられます。困難にぶつかるたびに、「私はくじけたり落胆したりなどしない」と言いながら着々と前進する人が必要です。他の人々がやろうとつとめている仕事を力づけ、築きあげる人が必要です。

レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇四年四月二八日

## 能力の養成

他のどんなことにおいてもそうであるように、私たちの働きにおいても働きそのものを通して技量を身につけることができます。人生の平凡な仕事と困窮者のための奉仕に訓練されるときに能力が養われます。

## 六四 無我の奉仕

できるだけ他人のためになる働きに従事し、人々への関心を実際に示すことは、人間生活の病弊を救い、人々の重荷を軽くするばかりでなく、同時にまた自分自身の霊肉の健康を保つ上に大いに役立ちます。善をなすことは、それをなす人にとつてもまたそれを受ける人にとつても益となる働きです。あなたが自分を忘れて他人への関心を示すときに自分の弱さにうち勝つことができます。善をなしたときに味わえる満足感健康な想像力を回復する上に大いに役立ちます。

善をなすよるこびによつて私たちの心は生き生きとなり、からだ中がうちふるえます。慈善心をもった人の顔は明るく輝き、高い徳義心がその容貌に現われていますが、利己的な人は元気がなく、下を向いて暗い顔をしています。彼らの道徳的な欠陥がその容貌に現われているのです。利己主義と自分を愛する心がそのまま外面にあらわれています。

真に利害を超越した慈善心に燃えている人は神のご性質にあずかる者であり、世にある滅びの欲をまぬがれる人です。一方、利己的で貪欲な人はその心の中の利己主義のためには社会の同情を失い、その容貌は純潔と聖潔よりはむしろ墮落した敵のかたちを反映します。

教会へのあかし・第二巻・五三四ページ

## 六五 勤勉の報い

日常生活の義務を忠実に果すことによって得られた非常にとうとい経験が怠惰のために失われることを青年たちはおぼえなければなりません。怠惰でことさら無知な者は自分で自分の進路にいつも障害物を置いているのです。彼は正直な骨折りによって得られる教養をこばみます。彼は人類のために助けの手を差しのべないことによって神のものを盗むのです。彼の一生は神が彼のために意図されたのとは全く異なつた一生となります。有用な働きを軽んじることによって低級な趣味が養われ、ついには最も有用な能力が麻痺させられます。

神のあわれみによつて与えられた恩恵を、ただ消費するだけのために生きている人が少なくありません。彼らは神が地の産物を生じさせて彼らに委託された富に対する感謝のささげ物を神にささげることが忘れていきます。彼らは、神から与えられた才能を賢明に活用して、消費者たると同時に生産者にならねばならないという神のみこころを忘れていきます。神の助手として神がなさせようと思望んでおられる働きについて認識をもつならば、自分では何一つ責任を負うことなく、なんでも人にしてもらうことを特権に思うようなことはなくなるにちがいありません。

### 労働の祝福

真の幸福は、善人になり善をなすことに見いだされます。自分に課せられた義務を忠実に果す人



には最も純粹で最も大きなよろこびがあります。まじめな働きにはずかしいものではありません。人が日常生活の平凡な義務を軽んじるようになるのは、卑しむべき怠慢の結果です。そうした義務を果すことを拒むときに、知的道德的欠陥が生じ、いつかはその欠陥が痛切に感じられるときがきます。怠慢な人は、生涯のある時期にその欠陥がはつきりとあらわれます。彼の生涯の記録には、生産者ということばはしるされず、消費者ということばだけがしるされます。

人生のあらゆる職業から有益な靈的教訓を学ぶことができます。土を耕す者は、働くときに「あなたがたは神の畑」であるとのことばの意味を学ぶことができます（コリント第一・三ノ九）。生活に靈の美しい実が結ばれるように、人の心の中に真理という種子がまかれます。神のみ像が印象づけられるときに心は均整のとれた品位の高いものに形作られます。知的に肉体的に粗野な能力は、神の奉仕のために訓練されねばなりません。……

キリストはすべての人に奉仕の働きをお与えになりました。キリストは栄光の主であられました。しかし、「人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるため」であると宣言されました（マタイ二〇ノ二八）。キリストは天の君でありながら、天父から負わされた働きをなすために地上にくだることをよろこんで承諾なさいました。キリストは労働を高められました。イエスは私たちに勤勞の模範を示すためにご自分の腕で大工の職業に励まれました。イエスは若い時から家族を養うためにご自分の立場をつくされました。イエスはご自分が家族という制度の一部であることをみとめ、ご自分の負うべき重荷をよろこんで負われました。

## 家庭における手助け

少年少女たちは、家庭の中にあつて無我の精神をあらわし、父母の心配を軽くすることによるこびを見いださねばなりません。子供たちが自分の負うべき重荷をよるこんでとりあげるとき、彼らは信用と有用の地位に立つのにふさわしい訓練を受けます。彼らは一年一年着々と進歩をとげ、徐徐にしかし確実に少年少女の経験からおとなの経験へ移っていきます。家庭の平凡な義務を忠実に果すことによって、少年少女たちは知的に道徳的に靈的にすぐれた品性の基礎を築きます。

## 運命の織物

愛する青年方よ、あなた方は日々に時々刻々に自分自身の運命の織物を織っていることを忘れてはなりません。梭が動くたびに糸が織り込まれ、それは美しい模様になるか、汚い模様になるかのどちらかです。もしあなたが不注意で怠惰だったら、神が明るく美しいものとなるように計画されたあなたの生活は台なしになります。自分自身の性情に従うとき、あなた方はクリスチャンらしくない習慣に鉄の帯をもつてしばられるのです。あなた方がキリストから離れるとき、多くの人々もあなた方のあとに従つて、まちがった道を歩むので、いつまでも天の栄光をうけることができません。しかし、利己主義にうち勝つために勇敢に戦い、機会をのがさず周囲の人々を助けるときにあなた方の模範の光によって他の人々が十字架にみちびかれます。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇一年二月五日

## 六六 労働の尊厳

人の不従順によってこの世にもたらされた悪を労働によって減らすことが神のみこころでした。労働はサタンの誘惑を無力にし、悪の風潮を防ぎます。労働には心配と疲労と苦痛が伴いますが、しかしやはりそれは幸福と進歩のみなものであり、誘惑に対する防壁です。労働による鍛練を通して、放縦が阻止され、勤勉と純潔と堅固な志が養われます。こうして労働は、私たちを墮落から救う神の大きなご計画の一端となります。

### 労働と競技

一般に労働は卑しいもののように考えられていますが、その一方人々はクリケットや野球や拳闘の試合などにはそんな観念をもたずに好きなだけ熱中します。サタンは人々が体力や知力を教育的なことや、役だつことや、助けを必要としている人々の祝福となるようなことに用いないのを見るとよろこびます。青年たちが自分自身にとっても他人にとっても、なんら真の価値をもっていない競技の専門家になるとき、サタンは神からあたえられている才能を彼からとりあげて、その代りにサタンの悪い性質をさずけます。彼はそうすることによって、彼らの魂のために人生のゲームをやっているのです。サタンは人々に神を無視させようと努力します。サタンは神のはいられる余地がないまでに人々の心を奪い、熱中させようとしています。

サタンは人々が創造主についての知識をもつことを好みません。競技や演劇などの活動を通して青年たちの感覚が混乱し、神と天国のことが忘れられるとき、サタンは大いに満足します。

悪に対する最も確実な防壁は有用な働きです。一方、怠慢は最大の害悪です。なぜなら怠慢の後には、悪徳、犯罪、貧乏がつづいていくからです。いつも忙しい人や、いつも楽しく日々の仕事に励む人は社会の有用な一員です。自分の道にあるいろいろな義務を忠実に果すことによって彼らの生活は自身のためにも他人のためにも祝福となります。勤勉な労働は、「なまけ者にも何か悪いことをさせようとする」サタンのわなから多くの人々を守ります。

よどんだ水たまりはすぐに腐ります。しかし流れる小川は土地に健康とよろこびをまきちらします。前者はなまけ者の象徴であり、後者は勤勉な者の象徴です。...

## キリストの模範

地上の住民に課せられた勤労の道は困難で、疲労が多いかもしれませんが、しかしこの道は救い主の足跡によってあがめられた道であって、この聖なる道を歩む者は安全です。キリストはことばと行為によって有用な働きを高めました。キリストは幼い時から勤労の生活を送られました。キリストの地上生涯の大部分はナザレの大工小屋で辛抱強い働きのうちに過ごされました。生命の主は、普通の労働者の服装をして、小さな町の通りを地味な仕事のために往復されました。イエスが人から認められることもなく人からあがめられることもなく、百姓や労働者たちと肩を並べて歩かれた時に、奉仕の天使たちがおそばにつきそっていました。...

賢明な働きは、人類の強壮剤です。それは弱い者を強くし、貧しい者を富ませ、不幸な者を幸福にします。サタンは、ひまのある者を滅ぼそうとして待ち伏せ、美しい変装をして彼らに近づく機会をねらっています。人が怠けている時が、サタンにとって最も成功しやすい時です。

### 勤労に安んじることについての教訓

富から生じる害悪の中で、最も大きなものの一つは、働くことが卑しいことであるという觀念の流行です。エゼキエルはこう宣言しています。「あなたの妹ソドムの罪はこれである。すなわち彼女と、その娘たちはたかぶり、食物に飽き、安泰に暮していたが、彼らは乏しい者と貧しい者を助けなかった」(エゼキエル書一六ノ四九)。ここに怠惰の恐るべき結果が示されています。それは精神を弱め、魂を墮落させ、理解を誤らせ、祝福としてあたえられたものを災とします。人生に何か偉大なもの善なるものを見、信仰と希望のうちに自ら進んで人生の責任をになうのは働く男女です。人生に必要な義務を果たすために心から満足して勤勉に働くことがどんなに大切であるかを多くのクリスチャンはもっと学ばねばなりません。技術者として、商人として、法律家として、あるいは百姓として、神のために働き、キリスト教の教えを世の一般の職業の中に実行するには、専門の伝道者よりももっと大きな恵みと、きびしい訓練が必要です。宗教を自分の職業の中にもちこみ、日常生活の細かいことをきよめ、すべての取引きを神のみことばの標準に従って正しくやってゆくには強い霊的な神経を必要とします。しかしこれこそ神の求められるところです。

使徒パウロは怠惰を罪とみなしました。彼は天幕製造の職業を習い、伝道の間、たびたびこの職

業にたずさわって自身や他の人々の生活をささえました。パウロはこのように費された時間を損失と思いませんでした。パウロはこのように働くことによって他の方法では近づくことのできない階級の人々に近づくことができました。彼は一般の工芸における技量は神の賜物であることを友人たちに示しました。彼は日々の勤労においてさえ神の栄えをあらわさねばならないことを教えました。パウロが仕事のために固くなった手をしていたことは、彼がキリスト教の伝道者として感動的な訴えをなす上に少しもその力を減らすことになりませんでした。

神はすべての人が働き人となるように意図しておられます。重荷を負って働く動物は、怠慢な人間よりも創造の目的にかなっています。神はたえず働いておられます。天使たちも働き人です。天使たちは人の子らにわかされる神の使者です。天国は働かないでよいところだと期待している人は失望させられるでしょう。なぜなら天国の制度には怠け者を満足させる余地がないからです。しかし疲れた者、重荷を負う者には休息が約束されています。働きから主のよるこびに迎え入れられる者は忠実なしもべです。彼はよろこびのうちに武装を解き、キリストの十字架によって勝利した者に備えられた輝かしい休息にはいつて、戦いの騒音を忘れます。

教師、親、生徒への勧告・二七四 二八〇ページ

## 六七 すべての水のほとりに種子をまけ

神はご自分の民が各方面の伝道の働きをとりあげて、すべての水のほとりに種子をまくように要

求しておられます（イザヤ書三二ノ二〇）。私たちは神が私たちに隣人や友人たちのために働くように望んでおられる働きのほんの一部分しかしていません。貧しい人々や病人や遺族などに親切をつくすことによって、私たちは彼らに影響をあたえ、神の真理を彼らの心に示すことができます。このような奉仕の機会を活用しないで見過ごしてはなりません。これは私たちができる最高の伝道の働きです。家ごとに訪れて愛と同情の心をもって人々に真理を示すことは、キリストが弟子たちを最初の伝道旅行に送り出された時の教えになっています。

## 歌の才能

歌の才能のある人が必要です。歌は霊的真理を心に印象づけるのに最も効果的な方法です。歌のことばによって改心と信仰の泉が開かれることがよくあります。教会員は、年寄りも若い者も、この最後の使命を世にのべ伝えるために出かけなくてはなりません。彼らがへりくだった心をもって出かけるとき天使たちは一しょにつきそって、どのように祈り、どのように歌い、どのように現代の福音使命を宣伝したらよいかを彼らに教えます。

青年方よ、神があなた方を召しておられる働きをとりあげなさい。キリストはあなた方がどうしたら才能をりっぱな目的のために用いることができるかを教えてください。生気をあたえる聖霊の力をうけて他人を教えるために努力するとき、私たちの心は生き生きとなり、聞く人に新しい、ふしぎな美しいことばを与えることができます。

## 医事伝道の働き

医事伝道の働きには奉仕の機会がたくさんあります。飲食に不節制だったり自然の法則に無知だったりするために、いまのような多くの病気がひきおこされ、神に帰せらるべき栄えが奪われていくのです。自我を抑制することをしないために、多くの神の民は神が示しておられる高い標準に達することができません。病気をいやすことよりも病気にからない方法を知ることが大切であることを人々に教えなさい。私たちは人々に賢く教え、放縦に陥らないようにすべての人々に警告しなければなりません。無知のためにこの世に不幸や醜さや病気がはいつてきたことを思うときに、私たちは無知な人々に教え、悩んでいる人々を救うために、私たちのなすべきことをなさないでいられるでしょうか。

偏見という暴君が魂への道筋を閉ざしているために、多くの人々は健康な生活の原則を知らないでいます。健康にいい食物を調理する方法を教えることはりっぱな働きです。この方面の働きは他の働きと同じように大切です。もっと多くの料理学校を設け、またある者は戸ごとに訪問して健康的な食物の調理法を教えなければなりません。そうすればもっと多くの人々が衛生改革のおかげで肉体的、知的、霊的な墮落から救われます。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九一二年六月六日

## 六八 多方面の働き



教会は奉仕のために組織されています。キリストへの奉仕の一生においては、教会とつながることが第一歩です。キリストに忠誠であるためには教会の義務を忠実に尽さねばなりません。これは教育の大切な一部分で、このことはイエスの生命のいぶきの通っている教会では、直接に外部の働きに通じます。青年たちは多くの方面に有用な働きをなす機会をみつけ出すことができます。

教育・三三四ページ

### 各自の持ち場

天の永遠の計画においては、各人にそれぞれの持ち場があたえられています。各々は魂の救いのためにキリストと協力して働かねばなりません。私たちのために天に住居が備えられているように、この世においては私たちが神のために働く特別な場所が定められているのです。

自然と宗教・英文・三二六、三二七ページ

### 安息日学校の働き

神は若い男女が安息日学校の働きに一生の間熱心に働く用意をするように求めておられます。：安息日学校の働きに全心全霊をうちこんで働き、才能を働かせてこれを増し加え、身につけた素養を活用する教師を神は望んでおられます。

安息日学校へのあかし・五三ページ

### 聖書研究の授け方

聖書研究を授けることは天から出た考えです。そこには幾百の若い男女のなすべき大切な働きの

分野へいたる道が開かれています。この大切な働きは、他の方法ではなすことができません。

聖書は鎖につながれていません。私たちは聖書をどこの家へでも持って行くことができ、その真理をどんな人の良心にも示すことができます。世間には感心なベレヤ人たちのように、真理が示されると、それが本当であるかどうかを調べるために聖書を研究する人がたくさんいます。イエスはこう仰せになりました。「あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである」(ヨハネ五ノ三九)。世の救い主イエスは聖書をただ読むばかりでなく「しらべよ」と言っておられます。聖書研究を授けることは大事な働きで、しかもそれは私たちにゆだねられているのです。私たちはこの働きをなすときに大いに益を受けます。なぜならキリストのご命令に従う者には、必ずその報いがあたえられるからです。キリストのみことばのうちに示されている光に忠実に従うこの行為には、特別な恩恵のしるしが表わされます。

安息日学校へのあかし・二九、三〇ページ

## 文 書 伝 道

神は、青年たちがまだ真理の伝えられていない土地で、文書伝道者や直接伝道者として家ごとに働くように求めておられます。神はわが青年たちにごう仰せになっています。「あなたがたは代価を払って買いとられたのだ。それだから、自分のからだをもって神の栄光をあらわしなさい」(コリント第一・六ノ二〇)。神のみちびきのもとにこの働きに出かける人は、ふしぎに恵まれます。

教会へのあかし・第八巻・二二九ページ

青年たちが伝道者としての資格を身につける最善の方法の一つは、文書伝道に従事することです。青年たちに町や都市へ行って現代の真理について書かれた書籍をもって文書伝道をさせなさい。この働きを通して彼らは生命のことばを語る機会を見いだします。こうして彼らのまぐ真理の種子はめばえて実を結びます。人々に会って私たちの書籍や雑誌を紹介することによって彼らは説教では得られないような経験が与えられます。…

真の伝道をする機会を望み、あますところなく神に献身する人には、文書伝道を通して未来の永遠の生命に係のある多くのことを語る機会があります。

福音宣伝者・九六ページ

### 教師としての働き

子供たちの頭脳を教育し、精神を形成するために、教会学校で教師のなさねばならない多方面の働きを巧みにやってゆくには最高の能力を持った人が必要です。…

特に、子供たちのために穏やかで親切な教師、また忍耐と愛を最も必要としている者のためにそれをあらわす教師が必要です。

わが教会学校には高い道徳的な資格を備えた教師が必要です。それは信頼のできる人、かたい信仰をもった人、気転と忍耐を備えた人、神とともに歩む人、「あらゆる種類の悪から遠ざか」る人でなければなりません(テサロニケ第一・五ノ二二)。

教会へのあかし・第六巻・二〇〇、二〇一ページ

## 事務の働き

神は、聰明な人、すなわちいろいろな方面の働きに適した人を神の働きに用いたいと望んでおられます。どんな事務的な仕事にも真理の大原則を織り込む事務家が必要です。その才能は周到な研究と訓練によって完成されなければなりません。どういう方面の働きであろうと、賢明で有能な働き人となる機会を活用しなければならぬ人があるとすれば、それはこの世に神の国を建設するために才能を用いている人です。ダニエルのすべての事務的な処理は、どんなに細かく検査されても非の打ちどころがなかったと言われています。ダニエルはすべての実務家の模範です。彼の一生は、頭脳と肉体と精神と生命の力を神への奉仕にささげる者は、どれほどのことを成し遂げ得るかということを示しています。

自然と宗教・英文・三五〇、三五―ページ

## 医者 の 働 き

神をおそれる忠実な医者 of 伝道領域ほど重要なものではありません。人がこれほどりっぱな働きをなしとげ、よろこびの冠に多くの宝石を輝かせることのできる領域は他にありません。医者は病室にはいる時に、かぐわしい香水のようにキリストの恩恵を持ち込むことができ、罪に悩む魂に真のいやしの香油をあたえることができます。医者は病める者や死の床にある者に世の罪をとり除いてくださる神の小羊をさし示すことができます。生命が危険にひんしている者に永遠の生命の問題について語ることはかえって病人を悪くするから危険だなどという考え方に同意してはなりません。

罪をゆるして下さる救い主を知ることによって、十人のうち九人までは心もからだもよくなります。イエスはサタンの能力を押えることができます。イエスは、罪に悩む魂が心と肉体の病気をいやして下さいと頼みうる医者です。

教会へのあかし・第五巻・四四八、四四九ページ

どこの社会にも、神のみことばの説教を聞いたこともなければ、伝道集会や礼拝などに出たこともない人がたくさんいます。こういう人たちに福音を伝えようと思えば、その家庭に福音を持ち込まねばなりません。それには、病気のいやしが彼らに近づくことのできる唯一の道であることがよくあります。伝道に働いている看護婦が病人の世話をしたり、貧しい人々が困っているのを助けたりするときに、ともに祈り、聖書を読み、救い主について語る機会がたくさんあります。彼らは、肉欲のために墮落した食欲を抑制する力のない無力な人々と一しょに祈ることができます。彼らは敗北して落胆している人々に希望の光をあたえることができます。彼らの無我の愛は利害を超越した親切な行為にあらわされ、悩める者にキリストの愛をたやすく信じさせることができます。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・一四四、一四五ページ

## 伝道

福音伝道を軽視してはなりません。どんな事業を実施するにもみことばの伝道が一段下の働きであるかのようにみられるようなことがあってはなりません。決してそうではないのです。伝道を軽んじる者はキリストを軽んじるのです。あらゆる働きの中で最高の働きはいろいろな部門をもった伝道の働きです。福音伝道者の働きほど神から祝福される働きはないということを青年たちはいつ

も覚えていなければなりません。

わが青年たちに、伝道に立つことをちゅうちょさせてはなりません。はなやかな話によって、青年たちを神が命じておられる道からひき離す危険があります。たとえば、伝道に立つ準備をすべき人が医者勉強をするように勧められることがあります。神はぶどう園で働く伝道者をもっとたくさん求めておられます。神は、「前進基地を強化せよ。世界の各地に忠実な見張りを置け」と命じておられます。広い大きな心を備え、キリストと真理を深く愛する青年の全軍を神は召しておられます。

教会へのあかし・第六巻・四一一ページ

## 外国伝道

青年が必要です。神は青年を伝道地に召しておられます。彼らは比較的心配や責任がないので、大家族の生活や教育のために心配しなければならない者たちよりも働きに従事するのに都合がよいのです。それにまた青年は新しい風土や環境にすぐ慣れ、不便や困難に耐えることができます。彼らは気転と忍耐によって相手の立場に応じて人々の心に触れることができます。

神が青年たちを通して救いの真理を他の国民に伝えることができるように、彼らは外国語を習得してその資格を身につけなければなりません。罪びとのために働いている間にも外国語の知識を習得できます。時間をじょうずに使えば知性を向上させ、もつと広く役だつ者となることができます。あまり責任のない若い女性たちが神に献身するとき、彼らは外国語を勉強し、これに上達することによって役にたつ者となることができます。彼らは翻訳の働きに献身することができます。

教会へのあかし・第三巻・二〇四ページ

## 少年たちの奉仕

子供たちは家庭や教会でみんなによるこばれる伝道者となることができます。子供たちは、ただ遊びのためだけでなく、役にたつ働きをするためにこの世にいるのだということを教えられなければなりません。家庭において子供たちを伝道の働きに訓練することができます。それはもっと広い方面に役だつ準備となります。両親方よ、子供たちが神の御目的を果すように彼らを助けなさい。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九一〇年一二月八日

## 六九 神によるこばれる奉仕

限らない愛とあわれみを持たれる神は、私たちにみことばの光をお与えになっています。キリストは「ただで受けたのだから、ただであたえるがよい」と仰せになっています（マタイ一〇ノ八）。神があなたにお与えになっっている光を暗黒の中にある人々に照らしなさい。そのとき天使たちはあなたのかたわらにあつて、あなたが魂をキリストに導くのを助けます。……

青年方よ、神に奉仕するには必ずしも按手礼を受けた長老になる必要はないということを覚えてください。キリストのために働く方法はたくさんあります。人間の手で按手礼が施されなくても、神はあなた方を神の奉仕にふさわしい者とされます。神はあなた方を通して魂の救いのために働く

ことがおできになります。あなた方がキリストの学校で学んで、心の柔らかなへりくだった者となるなら、神は、あなた方が神のために語るべきことばを授けてくださいます。

### 過失に対する態度

完全な者となるように最善の努力をつくしなさい。自分はまちがうから神の奉仕から除外されていると思つてはなりません。神は私たちの身体を知つておられ、私たちがちりに過ぎないことを覚えておられます。神からあたえられた才能を忠実に用いるときに、あなたは知識があたえられ、自分に満足ができなくなります。あなたは、悪いお手本によつて他人に害を与えることがないように、有害な習慣をふるい落さなければならぬことに気がつきます。

あなた方にとつて非常に尊い真理を他人にあたえるために勤勉に働きなさい。そうすれば、空席をだれかが占めなければならぬときに、あなた方に向かつて、「上座の方へお進み下さい」とのみことばが与えられます(ルカ一四ノ一〇)。これに応じるのは気が進まないかもしれませんが、しかし信仰をもつて前進し、神の働きに新鮮で正直な熱心さを注ぎなさい。

救霊の秘決は大教師であるイエスからだけ学ぶことができます。しばらく植物に露や霧雨がしずかに降るように、私たちのことばは、救おうとしている魂の上に、やさしく愛情に満ちて、注がなければなりません。機会がやってくるまで待つていてはなりません。機会を求め、適当な時に適当なことばを語ることができるように、神の助けを祈りながら心を高めるべきです。機会がやってきたら、言い訳をつくつてこれを見のがしてはなりません。その機会を活用することは、ひとりの



魂を死から救うことになるかも知れません。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇二年二月六日

## 最高の働き

どんな働きにもまさる働き  他のどんな仕事にもまして魂のエネルギーを要する仕事は、キリストがそのために死なれた魂を救う働きです。これをあなた方の一生の特別な働きとなさい。この大きな尊い働きにキリストと協力し、伝道者や宣教師となりなさい。国内においてあるいは遠い外国において、救霊のために働く準備をし、有能な者となりなさい。神のみわざのために働き、他人のために骨折って働くことによって、救い主への信仰を實際に示しなさい。若い人も年をとった人も、全く神に悔い改めて、目の前の責任を取りあげ、機会をみて働き、神と共なる働き人になりたいものです。

ザ・ユース・インストラクター・一八九三年五月四日

## 七〇 忠実な奉仕

この世の小さいことに不忠実な人たちは、もっと重要な責任にも不忠実です。彼らは神から奪い、神の律法の要求を満たすことを怠っています。彼らは、才能が神のものであって、それは神の奉仕にささぐべきものであることを認めません。自分がもう少し特別に努力すれば働きが繁栄することを承知していながら、雇い主から命じられたことだけしかしないような人は、忠実なしもべの一人

に数えてもらえません。特に明示されなくても、しなければならぬことや直接に雇い人の目につくことがたくさんあります。

骨身を惜しまない勤勉と無我の努力があらわされるならば、あるいはまたキリストのみ名を口にする者の生活にイエスのお命じになった愛の原則が実行されるならば、むだと損失が防止されるでしょう。しかし神の働きに「目先だけの勤めをするしもべ」としてゐる人々がたくさんいます。

### 不忠実は記録される

主の御目が直接に自分を見ていないからと言って働き人が時間の活用を怠ったり、財産を大事にしなかったりするようなら、それは最も憎むべき種類の利己主義です。しかしこのような働き人は自分の怠慢が気づかれないでいると考へたり、自分の不忠実が記録されないと考へているのでしょうか。彼らの眼が開かれさえすれば、監視者であられる神がごらんになっていて、すべての不注意が天の書に記録されていることがわかります。

神の働きに不忠実な者には主義が欠けています。彼らの動機には、どんな事情の下にあつても正しいことを選ぶというような性格がありません。神のしもべたる者は、主人の目が注がれていることをいつも感じていなければなりません。ベルシャザルの神聖冒瀆の酒宴をごらんになった神は、私たちの教会のどの伝道機関にも、商人の会計室にも、個人の職場にも同じようにご臨在になつています。そして白い手は、神を汚した王の恐るべき刑罰を記録したように、私たちの怠慢を正確に記録します。ベルシャザルの罪の宣告は火の文字で、「あなたが、はかりで量られて、その量

の足りないことが表われた」と書かれました(ダニエル書五ノ二七)。もしあなたが神からあたえられた義務を果たすことを怠るなら、これと同じ宣告があなたにくだされます。

### 奉仕における真の動機

口ではクリスチャンと称しながら、キリストと一体になっていない人がたくさんいます。彼らの日常生活や精神は、キリストが彼らの内部に栄光の望みとして形づくられていないことを証拠立てています。彼らをあてにすることも彼らを信頼することもできません。彼らは、奉仕は最小限の努力にとどめ、賃銀は最高を要求します。「しもべ」という名前はすべての人にあてはまります。なぜなら私たちはみなしもべだからです。私たちは自分がどういう型のしもべになるかということに気をつけなければなりません。私たちは不忠実な型のしもべでしょうか、それとも忠実な型のしもべでしょうか。

できるだけ多くの働きをするという傾向は一般にしもべたちの間にみられるでしょうか。むしろできるだけ早く、できるだけ簡単に仕事を片付けてしまつて、できるだけ犠牲を払わないで賃銀を得ようとするのが一般の流行ではないでしょうか。できるだけ完全に仕事をするのが目的ではなく、報酬をもらうのが目的なのです。キリストのしもべたることを自称する者は、使徒パウロのつぎの戒めを忘れてはなりません。「しもべたる者よ、何事についても、肉による主人に従いなさい。人にへつらおうとして、目先だけの勤めをするのではなく、真心をこめて主を恐れつつ従いなさい。何をするにも、人に対してではなく、主に對してするように、心から働きなさい。あなたがたが知

っているとおりに、あなたがたはみ国をつぐことを、報いとして主から受けるであろう」(コロサイ三ノ二二―二四)。

目先だけの勤めをするしもべとして働く者は、自分の働きが人や天使の検査に合格しないことに気がつきます。働きの成功に必要なものはキリストの知識です。この知識によって私たちは、自分が仕えていると告白している救い主のような、正しい健全な原則と、高貴な無我の精神をあたえられます。台所でも作業場でも印刷所の事務所でも衛生病院でも学校でも、主のぶどう園のどこに私たちが位置を占めていようと、そのあるところにおいて、すべての働きに忠実、節約、骨折り、徹底といったような特性がみられなければなりません。「小事に忠実な人は大事にも忠実である。そして小事に不忠実な人は、大事にも不忠実である」(ルカー六ノ一〇)。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八九一年九月二二日

# 第七部

## 健康 と 能 率

心と魂は、肉体を通して表現されるのですから、知的  
靈的な力は肉体の力と活動によって大いに左右されます。  
肉体の健康を増進するものはすべて強い精神と均整のと  
れた品性の発達を助長します。人は健康でなければ、自  
分自身に対する義務、また人類同胞に対する義務と創造  
主に対する義務を、はっきり理解することも完全に果す  
こともできません。したがって健康は品性と同様に忠実  
に保護されなければなりません。生理衛生の知識はすべ  
ての教育の働きの根本でなければなりません。

教育・249ページ

## 七一 生活の科学

人類を死と破滅に押し流してしまう病氣と犯罪の潮流をくいとめるにはどうしたらよいでしょうか。悪の大きな原因は食欲と情欲の放縱の中に見られるので、最初の大きな改革の働きは、節制と自制について教訓を学び、これを実行することです。

社会をよい方面に恒久的に変えるような影響を及ぼすには、大衆の教育を幼年時代から始めなければなりません。少年と青年時代に身についた習慣、幼年時代におぼえた好みや身についた自制や教えこまれた原則というのは、ほとんど確実に男女の将来を決定します。飲酒や不品行のために、ひきおこされる犯罪や墮落は、青少年時代の正しい教育によって防ぐことができます。

### 健康と自制

食欲を制し、墮落的な放縱を慎むように青少年たちを力づけ、彼らに純潔で高貴な品性を完成させるのに、最も大きな助けの一つは健全な肉体の健康です。しかも一方健康を維持する上には、こうした自制の習慣というものがどうしても必要なのです。

男も女も、生活の科学について、健康を獲得しこれを維持する最上の手段について、教えを受けることが最も大切です。特に青少年時代には、人生の日々の生活に応用する知識をたくわえる時期です。青年時代はよい習慣を確立し、既に身についた悪い習慣を矯正し、自制の力を獲得してこれ

を持ち続け、人生の一切の行為を神のみことと人類同胞の幸福に関連して定めるように計画をたて、これを実行するように自我を慣らす時代です。……

イエスは肉体の要求を無視なさいませんでした。彼は人間の健康状態を重んじ、病人をいやし、体力を失っている人々を回復されました。

### 委託されている人生

自分の好き勝手な生活を送ってもよい自由は与えられていないことを青年たちに示さなければなりません。今は委託されている日です。彼らの清算しなければならぬ日はだんだん近づいています。神のとうとい賜物を軽々しく取り扱うときに彼らは罪をまぬかれません。世の救い主が彼らのために無限の価を払われたのですから、彼らの生命も才能もキリストのものです。彼らは神が彼らの手に委託された資本を忠実に管理したかどうかによつて最後の審判をうけるのです。金銭や機会の賜物が大きければ大きいほど彼らに負わされている神の働きの責任はますます重く、もっと多くの働きが要求されるということを教えられねばなりません。青年たちがもしこのように創造主への責任と、自分自身の一生にあたえられている大切な委託を自覚して成長するなら、彼らは現代の前途有望な多くの青年たちをさらっている放縦と犯罪のうず巻きに飛びこむことをちゅうちょします。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八八一年一月二三日



## 七二 健康を守る

健康は一つの祝福であるにもかかわらず、その価値はあまり認識されていません。しかし、私たちの知のおよび肉体的な能力の効果は、大部分この健康によつて左右されるのです。衝動や情欲の根源は肉体にあるのですから、才能を最高に用いることができるためには、身体が肉体的に最上の状態にあることと、霊的な影響のもとにあることが必要です。肉体の力を低下させるものは、また知能も弱めます。そうなると善と悪との区別がつかなくなります。

肉体の力を悪用すれば、神の栄えのために生きる期間が短くなり、したがって神が私たちにさせようとしてお与えになっている働きを成し遂げるのにふさわしくなくなります。悪い習慣がつくのを放っておいたり、夜ふかしをしたり、健康を犠牲にしてまで食欲をほしいままにすることによって、私たちは病弱の原因を自分で作っているのです。…

自然の法則を無視したために生命をちぢめ、奉仕に適しなくなる人は、神に対して盗みの罪を犯すことになります。また人類同胞からも盗んでいることになります。そうした行為によつて、他人の祝福となる機会や、神から命じられた働きが中断されてしまうからです。しかもその短い期間においてさえ成し遂げられるはずの働きをなすことができません。私たちがこのようにして、自分の有害な習慣のために、この世から幸福を奪うときに、神は私たちを罪に定められます。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九一二年六月二〇日

## 七三 健康の神聖

サタンは、キリストの前に現われたときのように光の天使をよそおって、人のところへやってきて誘惑します。サタンは、誘惑によって人を敗北させ、人の滅びに凱歌をあげようとして、人を肉体的に靈的に衰弱の状態におとし入れるために働きかけます。しかもサタンは、人を誘惑し、結果はどうあるうとかまわずに食欲をほしいままにさせる働きに成功します。人が神から与えられた能力をそこなうときに、人は神と人類に対する義務を果たすことができないということを、サタンはよく知っています。頭脳は身体を中心です。どんな種類の不節制であろうと、そのために知覚能力が麻痺してしまったなら、永遠の事物がみわけられなくなります。

### 品性形成と健康の関係

神は人が知、徳、体の能力の法則を犯すことをお許しになっていません。ところが人間は、サタンの誘惑に負けてしまって、不節制をほしいままにし、とうとい能力を動物的な食欲や情欲に屈服させています。こうしたものが優位を占めるときに、天使よりは少し劣った者としてつくられて最高の教養を受け得る能力をもった人間が、サタンの支配に屈服するのです。サタンはこうして食欲の奴隷となっている者をたやすく手に入れることができます。不節制のために、ある者は知、徳、体の能力の半分を、ある者はその三分の二を犠牲にし、敵にもてあそばれています。

サタンの計略をみわけるのはつきりした頭脳を持ちたいならば、食欲を理性と良心の支配下におかなければなりません。クリスチャンの品性を完成するためには、高い精神力を道德面に活発に働かさなければなりません。私たちがこの世においてどれほど役にたつ人間となるか、また最後に救われる者となるかどうかは、精神力の強弱によるところが大きいのです。肉体の性質における神の法則が世間一般に無視されていることは悲しむべきことです。どんな種類の不節制も、知、徳、体の能力の法則の違反です。愚鈍は恐ろしいほど広範囲にいきわたっています。サタンは罪の上に光のおおいを投げかけ、これを美しく見せかけています。サタンは、クリスチャン社会の日常の習慣を異教徒たちのように慣習という専制の下におき、食欲に支配されるままにして置くことができさえすれば大喜びなのです。

### 不節制は墮落させる

知性のある男女が、どんな種類の不節制であろうと、そのために霊的な能力を麻痺させてしまうなら、彼らは多くの習慣において、異教徒よりも少しも高められた生活をしていないことになります。サタンは、知、徳、体の健康がどうであろうと、人々を救いの光から習慣や流行へと絶えず引きよせています。食欲と情欲が優位を占めると、肉体の健康と知能の力は欲望の満足という祭壇にささげられ、人は急速に破滅してしまうことをサタンはよく知っています。もし啓発された知性がたづなをとり、動物的な性癖を統御してこれを霊的な能力に服従させるなら、人はちよつとした力で誘惑に打ち勝つことができるということを、サタンは知っています。...

クリスチャンの世界の大部分の人は、自らをクリスチャンと称する資格がありません。彼らの習慣、彼らの浪費、彼ら自身のからだの一般的な取り扱い方などは、肉体の法則を犯し、聖書の標準に反しています。彼らは自分自身の生活の歩みによって、肉体的な苦痛と知的靈的な弱さを招いています。

レビユー・アンド・ヘラルド・一八七四年一月二日

## 克己の義務

肉体は服従させられなければなりません。知的、靈的な能力が支配しなければなりません。情欲は意志によって統御され、意志は神の統御の下になければなりません。神の恩恵によってきよめられた理性というすぐれた能力が私たちの生活を支配しなければなりません。

神の要求を良心に刻みこまなければなりません。男も女も克己の義務と純潔の必要をみとめ、あらゆる墮落的な食欲とけがれた習慣から身を守らなければならぬことを自覚すべきです。心身的能力はすべて神の賜物であって、神への奉仕のために最上の状態に保って置くべきであるという事実を心にきざまねばなりません。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・一三〇ページ

## 七四 均整のとれた教育

身体運動のために時間を用いることはむだではありません。大気の中で運動もしないで、始終机の上にかがみこんでいる学生は、身体に害を与えています。身体のいろいろな器官や機能に適度

の運動を与えることは、それらのおのものが最善の働きをするために必要です。いつも頭ばかり使って、他の器官を働かせないでよくと、肉体と知能の能力が失われてしまいます。肉体の能力からは健康な調子が奪われ、知能は新鮮さと力を失い、その結果病的な興奮が生じます。

均整のよくとれた精神を持つには、男も女もすべての能力を使ってこれを発達させることが必要です。世の中には、一つの才能だけを発達させて、他の方面の才能は使わないで委縮してしまったために、かたよった人間になっていく者がたくさんいます。多くの青年たちの教育は失敗です。彼らは實際生活に関係のあることをおろそかにしながら、過度の勉強をしています。知能のバランスを保つためには、肉体の働きの賢明な組織と知能の働きが組み合わされて、そこにすべての能力の調和的な発達がみられなければなりません。

教師、親、生徒への勧告・二九五、二九六ページ

## 七五 健康を犠牲にした教育

ある学生たちは、全能力を勉学に打ち込んで、ただ教育を受けるという目的に精神を集中しています。彼らは頭を働かせて勉強しますが、しかし肉体の能力は働かないままになっています。こうして頭の働きは過度になり、筋肉は働かないままに弱くなります。こうした学生たちが卒業すると彼らは生命を犠牲にして教育を受けたことがはつきりわかってきます。彼らは来る年も来る年も昼も夜も勉強し、たえず頭脳を緊張させながら、一方には筋肉を充分に運動させなかったのです。……

若い女性たちは、勉強に夢中になって、本の勉強よりももっと大切な実的な生活についての教育を怠ってしまったことがよくあります。こういう人たちは、学業が終ると、多くの場合、一生の間病人となります。彼らは、天のきれいな空気と、神から与えられる日光からさえぎられた室内に閉じこもって、健康のことなど考えなかったのです。これらの若い女性たちが勉強と共に家事の働きをし、戸外の運動をしていたなら、彼らは健康なからだをもつて学校を卒業できたのです。

健康は最大の宝です。それは人間の持つことのできる最も豊かな財宝です。もし健康を犠牲にして、富や名誉や学問を手に入れたのだしたら、それは高価なものになります。健康がなかったら、どんなに富や名誉や学問があっても、幸福にはなれません。

教師、親、生徒への勧告・二八五、二八六ページ

## 七六 高潔のしるし

ダニエルとその同僚たちは、三年の訓練期間中に節制の習慣と神への忠誠を変えず、たえず神の能力に寄り頼みました。才能と学識が王からためされる時になって、彼らは王国に奉仕する他の候補者たちと一緒に試験を受けました。しかし、「彼らすべての中には、ダニエル、ハナニヤ、ミシヤエル、アザリヤにならぶ者がなかった」としてゐるされています（ダニエル書一ノ一九）。彼らの鋭い理解力とすぐれた正確な言語と広い知識は、損じていない力と知力の強さを証拠だてました。そこで彼らは王の前に立ちました。「王が彼らにさまざまなことを尋ねて見ると、彼らは知恵と理解に

において、全国の博士法術士にまさること十倍であった」(ダニエル書一ノ二〇)。

神はいつも正しい者に栄えをお与えになります。バビロンには大征服者に征服された全地から、有望な若者たちが集められていましたが、その中でヘブルの捕虜たちに比べられるものはいませんでした。まっすぐな姿勢、しっかりした軽やかな足どり、美しい顔いろ、くもりのない感覚、けがれのない呼吸。こうしたことはみな自然の法則に従う者に自然があたえる高潔のしるしでした。

### 肉体の習慣が精神に及ぼす影響

ここによく考えてみなければならぬ教訓があります。聖書の要求に厳格に従うことは肉体にとっても魂にとっても祝福となります。みたまのむすぶ実は愛と喜びと平安ばかりでなく、節制もまたそうです。私たちの身体は聖霊の宮ですから、これを汚してはならないと命じられています。

ヘブルの捕虜たちは私たちと同じように肉欲を持った人々でした。バビロンの豪華な宮廷の誘惑的な感化の中にあつて彼らは堅く立ちました。今日青年たちは放縦への誘惑に取り囲まれています。特に大都会においては、あらゆる種類の肉欲の満足が容易であり、また人々を招いています。ダニエルのように自分の身を汚すことを拒む者は節制の習慣の報いを受けます。彼らの肉体の力はますます強くなり、耐久力は増し加わり、それらは応急の際に役立ちます。

正しい肉体の習慣によつてすぐれた知力が増進されます。知力と体力と寿命は不変の法則に左右されます。自然の神は、人間が自然の法則を犯してその結果を刈り取ってもこれに干渉なさいません。勝負を争う者は、すべてのことに節制しなければなりません。ダニエルの鋭い頭脳と堅固な目

的、身についた知識、誘惑と戦う力などの大部分は、彼が祈りの生活を送ると共に単純な食事をとったおかげです。

### 自分の運命を形成する

「人は自分の運命の設計者である」ということわざには、正真正銘の真理があります。親はむすこや娘たちの教育や訓練についてはもちろん、その品性の型にまで責任がありますが、一方、私たちが生世の中でどんな地位を占めどんなに役だつ人間になるかは、大部分私たち自身の行動次第であることも事実です。

ダニエルとその同僚たちは少年時代に正しい教育と訓練に恵まれましたが、しかし彼らをあのようにつばな人物にしたのは幼いころの恵まれた教育だけではありませんでした。自分で行動しなければならぬ時、すなわち彼らの将来が彼ら自身の行為で決する時がきたのでした。そのとき彼らは子供の時分に教えられた教訓に忠実に従う決心をしました。神をおそれることは知恵のはじまりですが、それはまた彼らの偉大さの基礎でした。

ダニエルと若い同僚たちの歴史はその後の各時代の若い人たちのために聖書のページに記録されています。彼らが節制の原則に従った記録を通して、神は今日の青年男女に語っておられます。そして青年男女がクリスチャンの節制という問題について神から与えられている尊い光を集めて健康の法則に正しく身を処するように命じておられます。



### 節制は豊かに報いられる

今日ダニエルのように決然と事をなす人物が必要です。今日の世界に必要なのは清い心と恐れることをしらないたくましい腕です。神は人が絶えず進歩し、完成という階段をすこしずつ高いところへ登って行くように望んでおられます。私たちが自ら努力すれば、神は助けてくださいます。この世と来世における幸福の希望は、この世における私たちの進歩にかかっています。私たちはあらゆる点に不節制への第一歩を警戒しなければなりません。

愛する青年方よ、神はあなた方が神の恩恵によってなしうるところをなすように求めておられます。「あなたがたのからだを神に喜ばれる生きた聖なる供え物としてささげなさい。それが、あなたがたのなすべき霊的な礼拝である」(ローマ二一ノ一)。男として女として神から与えられた人間性をもって立ちなさい。ダニエルと比べられるような純潔な趣味、食欲、習慣を示しなさい。神はおだやかな神経、はつきりした頭脳、正しい判断力、鋭い知覚をもって報いてくださいます。今日、青年たちが堅く揺るがずに原則に従うなら、彼らは健全な肉体と精神と頭脳を恵まれます。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇三年七月九日

### 信仰と健康

「主を恐れることは知識のはじめである」(箴言一ノ七)。悪い習慣や罪の行為の中にある人が天来の真理の力に屈服するときに、神のみことばは単純な心を持った者に光と理解を与えます。真理

が心に適応されます。そしてこれまで麻痺しているように見えた道徳的な能力が生きかえります。みことばを受け入れる者はこれまでよりもいっそう強くはつきりした理解力を持ちます。彼は魂を永遠の岩なるキリストにくぎづけにしたのです。キリストのうちにあるわが身の安全を意識することによって、健康は増進します。こうして信仰と健康の法則は並行します。

教会へのあかし・第四巻・五五三、五五四ページ

第八部

献身の生活

神のみことばの中には、人を教育する、聖なる神のみたまがあります。光、すなわち新しく、とうとい光がどのページからも輝き出ています。そこには、魂にお語りになる神のみ声として、真理があきらかにされ、折りにかなったみことばが光を放っています。

聖霊は青年たちに語りかけ、神のみことばの宝と美しさを彼らによろこんで示してくださいます。大教師イエスによって語られた約束は、天来の霊的な力をもって感覚をとりこにし、魂を生かします。実を結ぶ魂のうちには、聖なる事物に対する親近感が育ち、それは誘惑に対する防壁となります。

自然と宗教・英文・132ページ

## 七七 祈りは私たちの咎

この末の世の危険のさなかにあって、青年たちの安全は絶えず目をさまして祈ることにあります。聖書を読み、祈りに時を費やすことに喜びを感じる青年は、生命の泉から水を飲むことによっていつも清鮮な気持でいることができます。彼は他人の考え及ばないような高い道徳的完全と広い思想に到達します。神との交際によって、すぐれた思想、りっぱな抱負、真理のはっきりした理解、高い行為の目的が促進されます。このように神とむすびつく者は神からむすこ娘として認められます。彼らは絶えず高いところを目ざして進み、神と永遠についてます。はつきりした観念を持ち、ついには神から光と知恵を世につたえる器とされます。

### どう祈るか

しかし祈りは正當に理解されていません。私たちの祈りは、何か神のご存じないことを神に教えるためにするものではありません。神は一人一人の魂の奥底までご存じです。大きな声を出して長い祈りをする必要はありません。神はかくれた思いまで見抜かれます。ひそかに祈っても、ひそかに見ておられる神はその祈りをきいて、公然と報いてくださいます。

すこしも不幸を感じていないのに、不幸を神に訴えるような祈りは、偽善者の祈りです。神が聞いて下さるのはくだけた心の祈りです。「いと高いいと上なる者、とこしえに住む者、その名を聖

となえらる者がこう言われる、『わたしは高く、聖なる所に住み、また心くだけで、へりくだる者と共に住み、へりくだる者の霊を生かし、砕けたる者の心を生かす』(イザヤ書五七ノ一五)。祈りは神の態度に変化を起させる目的でささげられるべきものではなく、祈りによって私たちが神と一致するようになるのです。祈ってさえおれば私たちの義務が免れるというのではありません。どんなに数多く、またどんなに熱心に祈りをささげても什一の義務を尽さなければ神に受け入れられません。祈りは神に対する私たちの負債を支払ってはくれません。……

### 祈りは力をもたらす

神に祈ることによって私たちは力を得、日常の義務を尽す準備ができます。私たちは毎日誘惑にさらされていますので、祈りが必要です。信仰を通して神の力によって守っていたくためには心の願いがたえず無言の祈りとなって天へのぼって行かなければなりません。私たちが神から離れさせようとするような感化に取り囲まれた時には、うまずたゆまず助けと力を祈り求めなければなりません。そうしなければ私たちは高慢を打ち破ることも、私たちを救い主から離れさせる放縦な罪への誘惑の力にうち勝つこともできません。生活を清める真理の光によって、私たちは心の王座を占めようと争っている罪の肉欲を発見し、あらゆる神経を緊張させ、能力を働かせ、キリストの功績によって勝利を収めるためにサタンと戦うのです。

ザ・ユース・インストラクター・一八九八年八月一八日

## 七八 祈りの力

モーセが神の栄光のとどまる場所となるべき、とうとい建物の型を示されたのは、彼が神とともに山にいた時でした。私たちも山、すなわち神と交わるひそかな場所において、人類に対する神の輝かしい理想について瞑想しなければなりません。そのとき品性という建物が形づくられ、わたしは彼らの間に住み、かつ出入りをするであろう。そしてわたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となるであろう」との約束が果されます(コリント第二・六ノ一六)。

日ごとの働きにたずさわっているときに、私たちは祈りのうちに魂を天に向けなければなりません。無言の祈りは、香煙のように恩恵の座の前にたちのぼり、敵は敗北します。このように心をつも神にそそいでいるクリスチャンは敵にうち負かされることがありません。どんな悪魔のわざも彼の平安を滅ぼすことができません。彼の救いを確実なものとするために、神のことばのすべての約束、天来の恩恵のすべての力、神の一切の手段が保証されています。エノクはこのように神とともに歩みました。神はエノクとともにいまし、必要な時にはいつでも近くにいて助けてくださいました……

### 無限の神に触れて

祈りは魂の呼吸です。それは霊的な力の秘訣です。魂の健康を保とうとすれば、祈りの他には恩

恵の手段がありません。祈りによって心は生命の泉に直接つながり、また信仰生活の筋肉が強められます。祈りをささげることをおろそかにしたり、あるいは都合次第で時々思い出したように祈りをささげるようでは、神とのつながりが失われてしまいます。霊的な力は生命を失い、信仰生活は健康と力の欠けたものとなります。……

私たちが効果のある祈りをすることができるということ、すなわち誤りの多い、無価値な人間が、神に祈願をささげる能力をもっているということはふしぎなことです。無限の神とつながるということ、これよりも高いどんな能力を人間は望むことができるでしょうか。弱い罪深い人間が創造主に向かって語る特権を持っているのです。宇宙の統治者なる神のみ座に達することは私たちには語ることができるのです。道を歩きながらイエスと語ることができるのです。わたしはあなたの右側にいると、イエスは言っておられます。

### 真心からの祈りはみな答えられる

心の中で神とともに交わることができます。またイエスとつれだって歩むことができます。日ごとの働きにたずさわっているときに心の願いを声なきことばに出すことができます。それは人間の耳には聞えませんが、そのことばは忘れられたり、消えうせたりすることがありません。何ものも魂の願いをかき消すことができません。それは町の騒音や機械の音を圧してのぼってゆきます。私たちは神に語っているのであって、その祈りはきかれます。

「求めよ、そうすれば与えられるであらう」（マタイ七ノ七）。けんそんを、知恵を、勇気を、信



仰を、増し加えられるように願いなさい。真心からの祈りには応答があります。それは願った通りに、あるいは期待したその時に答えられないかもしれませんが、私たちの必要に最もよく適した方法で最もよい時期に答えられます。孤独の中に疲れ果て、試みの中にあつてささげられる祈りに神は答えてくださいます。それは必ずしも期待通りとは限りませんが、いつも私たちの益となるように答えられます。

福音宣伝者・二五四 二五八ページ

## 七九 祈りの態度

おおやけの礼拝においても個人の礼拝においても、神の前にひざまずいて神に祈願をささげる特権が私たちにあたえられています。私たちの模範であるイエスは、ひざまずいて祈られたとされています（ルカ二二ノ四一参照）。イエスの弟子たちもまた、ひざまずいて祈ったとするされています。パウロは、「わたしはひざをかがめて、天上にあり地上にあつて『父』とよばれているあらゆるものの源なる父に祈る」と宣言しています（エペソ三ノ一四、一五）。イスラエルの罪を神の前に告白するにあたって、エズラはひざまずきました。ダニエルは「一日に三度ずつ、ひざをかがめて神の前に祈り、かつ感謝した」とあります（ダニエル書六ノ一〇）。

神の無限の偉大さを意識し、神の臨在をみとめることによって神を敬う思いが心に吹きこまれます。目に見えない神をこのように意識するとき各人の心は深い感動をうけるはずです。祈りの時間と場所は神聖です。なぜなら、そこには神がご臨在なさるからです。態度と動作に敬虔さがあら

わされるときに、敬虔な感情はいっそう深められます。「……そのみ名は聖にしておそれおおい」と、詩篇記者は宣言しています（詩篇一ノ九）。天使たちは、エホバの名を口にするときには顔をおおいます。ましてや墮落した罪深い人間である私たちは、どんなにうやうやしく神のみ名を口にしなければならいことでしょう。

神の特別なご臨在があらわされている場所はとうみなさなければならいかについて書かれている聖書のことばを、年とった者も若い者も考えてみるのが大切です。神は燃えるしばの中からモーセに「ここに近づいてはいけない。足からくつをぬぎなさい。あなたが立っているその場所は聖なる地だからである」とお命じになりました（出エジプト記三ノ五）。ヤコブは天使たちの異象を見て「まことに主が、このところにおられるのに、わたしは知らなかった」と叫びました（創世記二八ノ一六）。

福音宣伝者・一七八、一七九ページ

## 八〇 信仰と祈り

キリストを信ずる信仰によって、品性のすべての欠陥が補われ、すべての汚れがきよめられ、すべての欠点が直され、そしてすべての美德が発達させられます。

「あなたがたはキリストにあつて、それに満たされているのである」（コロサイ二ノ一〇）。

祈りと信仰は密接な関係をもっていて、両方を一しよに研究する必要があります。信仰の祈りには天来の学問があります。人生の活動に成功したいと思えば、だれでもこの学問を理解しなければ

なりません。キリストは、「なんでも祈り求めることは、すでになえられたと信じなさい、そうすれば、そのとおりになるであろう」と仰せになっています。キリストは私たちの祈りが神のみにこころにかなったものでなければならぬことを明らかにしておられます。私たちは神の約束なされたものを求め、与えられるものはすべて神のみこころをなすために用いなければなりません。この条件が果されるときに、約束ははつきりしています。

罪のゆるし、聖霊、キリストのような性質、神の働きをなす知恵と能力、その他、神の約束されたどんな賜物でも求めることができます。つぎに私たちは、与えられることを信じ、そして与えられたことを神に感謝しなければなりません。

祝福の外面的な証拠を求める必要はありません。賜物は約束のうちにあります。神がお約束になったことは、神が成し遂げてくださるという確信と、すでに持っている賜物はそれが最も必要なきに実現されるという確信をもって働きにたずさわることができます。

教育・三二一、三二二ページ

## 八一 聖書研究の価値

聖書の研究は知能を発達させる上に他のどんな研究よりもすぐれています。青年たちは神のみことばの中に踏査すべきなんという尊い思想の領域を見いだすことでしょう。人はみことばの研究にどこまでも奥深くはいりこみ、真理を理解するためにあらゆる努力をかたむけますが、しかしその

研究はどこまでいっても果てしがありません。

神を愛し、聖なる事を尊んでいると告白しながら、浅薄で不真実なことに頭をつかっているような人は、サタンの立場を占めてサタンの働きをしているのです。青年たちが自然界における神の輝かしいみわざと、みことばのうちにあらわされている神の尊厳と力を学ぶときに、このような研究を通して、才能がめざめさせられ、高められます。彼らは活力をあたえられ、高慢とはおよそ縁遠いものとなります。天来の驚くべき力を深く心に思うときに、人の心はあらゆる教訓の中で最も困難なしかし最も有用な教訓を学びます。それは、限りなき神につながり、キリストの恩恵によつてきよめられないかぎり、人間の知恵は愚かなものであるということです。

### キリストのとりなしの働き

神のいとし子キリストは、神性を持っておられるご自身を通して、被造物を創造主に、有限な人間を無限な神にむすびつけようとして働いておられますが、この働きこそ私たちが一生考えなければならぬ問題です。キリストのこの働きは、この世界の失われ滅びゆく魂を救うためであることはもちろん、また他世界の聖者たちの純潔と忠誠心をますます堅くするためでした。キリストは神に従わない者が神への忠誠に立ち帰るように道をお開きになりましたが、同時にまた同じ行為によつて、すでに純潔な者が汚されることのないように、そのまわりに防壁を築かれました。

私たちは墮落したことのない他世界があることをよるこんでいますが、一方またこれらの他世界は墮落したアダムの子孫が贖罪の計画によつて救われ、同時にまたこれらの他世界の聖者たちの純

潔な立場と品性がますます堅くされたことに、賛美と栄誉と栄光をささげています。サタンが誘惑を通して人類にもたらした破滅から人類家族をひきあげてくださったキリストのみ手は、同時にまた他世界の住民を罪から守っているみ手です。広大な宇宙のどの世界も天父とみ子キリストの配慮と支持を受けていますが、墮落した人類の上には特にこの配慮が働いています。キリストは、人類のためにとりなしておられますが、目に見えない世界の秩序もまたキリストのとりなしの働きによって保たれています。私たちの思いはこのように雄大かつ重要なテーマに集中され、神への感謝と賛美の念が呼びおこされるべきではないでしょうか。

### 知的な成長

わが青年たちの前に聖書を開き、その中にかくされた宝に彼らの注意を向け、真理の宝石をさがすことを彼らに教えるときに、彼らは哲学に含まれているどんな学問もあたえることのできないような知的な力を得ます。聖書の中に取り扱われている雄大な主題、靈感の語調にみられる威厳のある単純さ、知性に訴える高尚なテーマ、神のみくらから輝き出て理解力を照らす明るく鋭い光これらによって知的な能力はほとんど理解することも説明しつくすこともできない範囲にまで発達します。

聖書には無限の想像の領域があります。それは、天が地よりも高いように、きよめられていない知性の浅薄な産物よりももっと高くもっと高貴な性格を持っています。靈感による人類の歴史は各個人の手もとにあります。だれでも今すぐにその研究を始めることができます。そして、人類の始

祖アダムとエバがエデンにあったとき、聖なる純潔さの中であって神と罪なき天使たちとの交わりを楽しんでいたことを知るようになります。罪がこの世にはいつてきて人類にどんな結果を及ぼしたかを探って行き、人類がどんなに神に従わずまた悔い改めようとしなかったかということや罪に対する正当な報いについて書かれている聖なる歴史の道を一步一步たどって行くことができます。

### 最高の教養

私たちは、父祖や預言者たちとまじわることも、最も感動的な場面をとおって行くこともできます。私たちはまた天の君でありかつ神と等しい位にあられたキリストが、人類をしばらくつけたサタンの鎖を断ち切り、人間がふたたび神に似た人格を取り戻すことができるようになったのを目にすることができます。人間を滅びるがままにしておかないために、キリストがご自身に人性をとり、三十年の間、人間としての水準を保った後に、ご自分の魂を罪のいけにえとしてささげられたことは、私たちの最も深い思想と、最も熱心な研究に値する主題です。...

天来の啓示による驚くべき真理を把握するときに私たちの知性はつまらないテーマに能力を費すことに満足できなくなり、今日の青年たちに道徳心を失わせるようなくだらない文学や怠惰な娯楽などは胸が悪くなるほどいやになります。聖書の中の詩人や賢人とまじわり、信仰の勇者のりっぱな行為に魂を感動させられた者は、名声高き世俗の著述家たちの書いた本の勉強に熱中したり、世俗のパロやヘロデやシーザーのような人たちの偉業について考えたりこれを賞賛したりするよりも、ずっと純潔な心と高められた知性をもって豊かな思想の領域から出てきます。

青年たちは神を敬うことが知恵の始まりであることを知らないで、彼らの能力は大部分眠っています。ダニエルは彼の信仰上の原則に干渉しようとするどんな勢力にも負けなかったので、神から知恵と知識をあたえられました。健全なとうとい知性をもった人が非常に少ないのは、人々が天とのつながりを持たないで偉大な者になろうと考えているからです。

人々は、神を敬うことも愛することもあがめることもしません。信仰は告白通りに実践されていません。人はともすれば自己をあがめ、自分自身を重大視しがちなので、神は人のためにあまり働いてくださることができません。神は私たちが才能を伸ばし、あらゆる特権を活用して理解力を深め、養い、強めるように望んでおられます。人間は現在送っている生活よりも一層高く一層とうとい生活のために生れてきたのです。この世における人間の生存期間は神の生命に比すべき生命への準備です。

### 最も偉大な教師としての聖書

聖書には、心に深く瞑想しなければならぬ驚くべき問題が示されています。思考すべきテーマとしてこれよりも尊いものがどこにあるでしょうか。これほど強く興味をひかれるテーマがどこにあるでしょうか。人間の科学の研究は何らかの意味で聖書の科学の崇高さと神秘にくらべられるでしょうか。深いまじめな思想の中からこれほど知性の力を生じさせるものがどこにあるでしょうか。もし聖書に語らせるならば、聖書は他のどんなものも教えられないものを私たちに教えます。しかし悲しいことに、人は他のことならどんなことにも意を留めるのに、神のことばにだけは意を用

いないのです。無価値な文学作品や架空の小説はむさぼるように読むくに、聖なる真理の宝を持った聖書だけはテーブルの上に置かれたまま顧みられません。聖書を人生の法則とするときに、それは人の心を洗練し、高め、そしてきよめます。それは人類に対する神のみ声です。これに留意しようではありませんか。

「みことばが開けると、光を放って、無学な者に知恵を与えます」（詩篇一一九ノ一三〇）。天使たちは聖書を研究する人のかたわらに立つて、その心を照らし、印象づけます。キリストが千八百年前に最初の弟子たちにお告げになった命令は、今日も変らぬ力をもって私たちに与えられています。「あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると信じて調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである」（ヨハネ五ノ三九）。

レビユー・アンド・ヘラルド・一八八一年一月一日

## 八二 自分自身のために聖書を調べよ

青年たちは、自分自身のために聖書を調べなければなりません。長年の経験を持った人たちに真理を発見してもらえばよい、若い者はそれを権威として受け入れるだけで充分である、と思つてはなりません。ユダヤ人は、祭司や長老や役人たちによつて聖書の真理からひき離されたために国家として滅んだのです。イエスの教訓を心に留めて、自分で聖書を調べていたら彼らは滅びなかつたにちがいありません。……



人は神のたった一つの御約束についてさえ、その奥深さと大きさを理解しつくすことができません。ある人は一つの見地から栄光を把握し、ある人は他の見地から美と徳とを見いだし、そうして魂は天来の光に満たされます。もし全部の栄光を見たら、私たちは気絶してしまうでしょう。しかし私たちは今うけているよりもっとはるかに大きな啓示を神の豊かな約束から受けることができます。神が与えようとお思いになっている祝福の全体を私たちが見失っていることは考えるだけに悲しいことです。神のご臨在の光のうちに日ごとに歩むことができるはずなのに、わたしたちは一時的な靈的照明の中に満足しているのです。

教役者へのあかし・一〇九、一一一ページ

### 八三 聖書研究における忍耐強い努力

「あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである」（ヨハネ五ノ三九）。この「しらべる」ということばの意味は、失ったものを一所懸命に探すという意味です。神のことばの中に隠されている宝をさがしなさい。みことばなくしては生きていかれません。むずかしい聖句は一句一句照らし合わせて研究なさい。そうすれば聖句を解くかぎは聖句であることがわかります。

祈りをもって聖書を研究する者は、研究するたびに賢くなります。そして困難な問題はたいいてい解決します。なぜなら、聖霊は、ヨハネによる福音書十四章に言われている通りの働きをしてくださるからです。「助け主、すなわち、父がわたしの名によってつかわされる聖霊は、あなたがたに

すべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであらう」(ヨハネ一四ノ一六)。

所有する価値のあるものは、熱心な忍耐強い努力によらなければ何一つとして手に入れることができません。事業においては、実行する意志を持った者だけが成功ある結果をみることができます。熱心に努力しなければ霊的な事物について知識を得ることはできません。真理の宝石を手に入れようとすれば、鉱夫が地にかくれた貴重な鉱石を掘るように、自分で掘らねばなりません。無関心に不熱心に働く者は決して成功しません。老いも若きも神のことばを読み、読むばかりでなく、祈り、信じ、さがし求めながら熱心に勤勉に研究しなければなりません。こうして神が理解力をめざめさせてくださるとき、私たちはかくれた宝を見つけ出すことができるのです。

### 偏見をすてて

みことばを研究するときには、先入観や先天的あるいは後天的な観念を、研究の門口に捨てなさい。自分の意見を擁護するために聖書を研究するのでは真理に達することができません。そうした考えは門口に捨てて、くだけた心ではいって行き、神がお語りになることばに耳をかたむけなさい。キリストの足もとにすわり、へりくだった心で真理を求め、キリストについて学ぶときに、みことばを理解することができまう。聖書研究に自信のある賢い人に向かつてキリストは、救いの知恵を得たいならば柔和で心のへりくだった者になりなさいと仰せになります。

既成観念に照らして聖書を読まないで、偏見を心からとり去って、注意深く祈りのうちに聖書を

調べなさい。読んでいて、ある確信に到達し、自分がこれまで抱いていた意見がみことばに一致していないことがわかったら、みことばを自分の意見に従わせようとしてはなりません。自分の意見をみことばに一致させなさい。過去の信念や習慣によって理解力が支配されてはなりません。心の目を開いて、おきての中から驚くべきことを見いだしなさい。そこに何が書かれているかを見いだし、永遠の岩の上にしつかりと立ちなさい。

### 神のみことばを知ること

救いは、みことばに含まれている神のみことばを知ることにかかっています。神をたずね求めることをやめてはなりません。あなたの義務を知らねばなりません。救われるためには何をなすべきかをあなたは知らねばなりません。神があなたに仰せになっていることを知るようというのが、神のみことばです。しかし信仰を働かさなければなりません。聖書を調べるときに、神がご臨在なさること、そしてまた熱心に神を求める者に神は報いて下さることを信じなければなりません。

霊的食物に飢えた心をもって聖書を調べなさい。鉱夫が黄金の鉱脈をみつけるために地中を掘るように、みことばの中を掘り進みなさい。神とあなたとの関係について、またあなたに対する神のみことばについて知ることができるまで探究をやめてはなりません。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇二年七月二四日

### 聖書研究における敬虔

神のみ前に居るといふ敬虔な気持で聖書を研究しなければなりません。軽率さやくだらないもの

はすべて捨てなければなりません。みことばのある部分は簡単に理解されますが、ある部分はその真の意味がなかなか容易にわかりません。忍耐強い研究と瞑想と熱心な祈りがなければなりません。聖書を開くときにはだれでも聖霊の教えを仰がねばなりません。そのとき、聖霊によって教えらるという約束は必ず実現します。

聖書を研究するときにどのような精神で研究するかによつて、あなたのかたわらにあつて、あなたを助けてくれる者の性格が決定されます。けんそんな心で天来の導きを求める者のかたわらには光の国からの天使がいます。しかし不敬虔な気持と自己満足の思いで聖書を開き、心が偏見に満たされているならば、あなたのかたわらにはサタンがいて、神のことばに、はつきり言われていることを偽りの光で照らします。

教役者へのあかし・一〇七、一〇八ページ

## 八四 忠実な聖書研究の報い

真理を捜し求める者は、いたるところで報いられ、一つのものを発見するたびに、より一層豊かな研究の領域が開かれます。心に思うことにしたがって人間が変わります。平凡な思いや事柄に心を奪われている人は平凡な人間になります。神の真理について浅薄な理解しか持たないような無とん着な人は、神がよるこんで与えようとなさる豊かな祝福を受けることができません。その親しんでいる事物の大きさにしたがって大きくもなれば小さくもなるのが頭脳の法則です。

頭的能力を根気よく活発に真理探究という働きに用いないと、それは必ず委縮してしまつて、神

のみことばの深い意味を把握する能力を失ってしまいます。聖句と聖句をくらべ、また霊的な事物を霊的な事物とくらべながら、聖書の中のいろいろな問題の関係を探り出すことに頭を働かせるときに、知的な能力が発達します。表面下深くはいつて行くときに、最も豊かな思想の宝が、巧みで熱心な探究者を待っています。

レビユー・アンド・ヘラルド・一八八八年七月一七日

### 案内者たる聖書

聖書を案内者とし、原則にかたく立つときに、生徒は高い学識に達しようとの大望をいだくことができます。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・四六五ページ

## 八五 教育者としての聖書

教育者として、聖書は比類のないものです。聖書は人間の所有している最も古い、最も広い歴史です。聖書は、永遠の真理の泉であられるお方から出た新鮮なものであり、各時代を通じて神の御手によってその純潔さが保たれてきました。聖書は人間がどんなに研究しても到達することのできない遠い昔を照らします。地の基をおき、もろもろの天をのべた力は、ただみことばのうちにだけ見られます。また諸国の民族の起原について信頼のできる記録はただみことばのうちにだけあります。また人間の傲慢や偏見に汚されない人類の歴史はここにだけあります。

## 永遠なる神の声

聖書の中には人類の頭脳にとって最も深い思想、最も高い望みにふさわしい問題があります。その中で私たちは父祖や預言者たちとまじわり、人類に語りかけられる永遠なる神のみ声にきき入ることが出来ます。そこに私たちは、御自ら身をひくくして人類の身代りまた保証人となり、ひとりで暗黒の勢力と戦って私たちのために勝利を得られた天の君を見ます。このようなテーマについて敬虔な思いを深くするときに、心は和らげられ、純粹になり、高められないではありません。同時に頭脳には新しい力と活気が吹きこまれます。

神のご要求に対して無とん着で輕蔑的な態度をとることを何か男らしい勇氣のあることのように思う人は、そのことによって自身の愚かさと無知を暴露しているのです。彼らは自由と独立を誇っています、実は罪とサタンの奴隷なのです。

## 人生の眞の哲学

神がどういうお方であるか、また神は私たちがどういう者になるように求めておられるかということをはつきり認識するとき、私たちは健全なけんそんさを持つようになります。聖書を正しく学ぶ者は、人間の知恵が全能ではないことを知ります。神だけが与えになることのできる助けがなければ、人間の力や知恵は弱く愚かなものに過ぎないことがわかります。

天来のみちびきに従っている者は、救いの恩恵と眞の幸福の唯一の眞のみなもとを見いだし、周

困のすべての人に幸福をあたえうる能力を獲得します。人はだれでも宗教がなければ真に人生を楽しむことができません。神を愛することによって、あらゆる趣味や希望が純粹になり、高められ、あらゆる愛情が強められ、あらゆる有益な楽しみが一層楽しいものとなります。神への愛によって、人はすべての真実なもの、良いもの、美しいものの真価をみとめ、これを受けることができます。しかし他にどんな理由があろうと、聖書を高く評価する一番の理由は、そこに人類に対する神のみこころが表わされているということです。聖書の中から創造の目的と、その目的が達成される方法を知らることができます。どうしたら現世を賢明に改善することができるか、またどうしたら来世を獲得することができるかを知ることができます。他のどんな本も知的な疑問や、霊的な求めを満足させることができません。神のみことばの知識を獲得し、それに注意を払うことによって、人はどんなに深い墮落の底からでも引き上げられて神の子となり、罪なき天使たちと交わることができるのです。

教師、親、生徒への勧告・五二 五四ページ

## 八六 敬 虔

愛する青年方よ、この地上に神のみ栄えをあらわすことはあなた方の特権です。そのためには、浅薄なことや、つまらないことや、重要でないことに心を向けしないで、永遠の価値のあることに心を向けなさい。

私たちはいま、「誘惑に陥らないように目をさまして祈っていないさい」との救い主のご命令に、

特に留意しなければならない時代に生存しています(マタイ二六ノ四一)。あなた方の強い誘惑の一つは、敬虔を欠くことです。神は高いところにいまして聖なるお方です。心のへりくだった信仰的な魂にとつては、民が礼拝のために集まる場所である地上の神の家は天国の門ともいうべきものです。賛美の歌やキリストの使者が語ることは、神が民を天の教会のために準備させるために与えられた方法です。天における崇高な礼拝には、不純な者や不潔な者は入ることができません。...

### 神の家における行状

現代の青少年にとって敬虔はまことに必要です。信仰の家庭の子供たちが、神の家において守らねばならない秩序と礼儀に全然無関心なのを見て、私はおどろきました。神のしもべらが人々に生命のことは伝えているときに、本を読んでいる者もあれば、小声で話したり笑ったりしている者もあります。周囲の人々の注意をそらせることによって彼らの目は罪を犯しているのです。このような習慣は放置しておけば次第にひろがって他人に影響を及ぼします。

神を礼拝する集会において、無とん着で不注意であることは何か自慢すべきことのように子供たちに思わせてはなりません。神は不敬虔な思いや行いを一つのこらずごらんになっていて、それは天の書に記録されます。神は、「わたしはあなたのわざを知っている」と仰せになります(黙示録三ノ一)。くまなく探られる神の御目には何一つ隠すことができません。神の家における不注意と無関心な習慣が少しでも生じたらそれを直すことに全力をつくし、自重してください。敬虔が身に着くまでそれを実行なさい。



神の家と礼拝において、説教の間に互に通信し合うような不敬虔な態度を示してはなりません。このようなまちがったことを犯している者が、もし神の天使たちが自分をながめその行為に目をとめているのを見ることができたら、自分自身についてはずかしさと嫌悪の思いに満たされるでしょう。神は私たちが注意深い聴衆になるように望んでおられます。敵が毒麦をまいたのは人々が眠っていた時でした。聖なることや神の礼拝に関したことを、不注意に無とん着に扱ってはなりません。生命のことばが語られるときに、あなたは神から派遣されたしもべを通して、神のみ声に聞き入っているのだということを覚えていなければなりません。不注意のために、それらのことばを聞き落してはなりません。注意していれば、それらのことばはあなたの足がまちがった道に迷い込まないようにしてくれます。

### 宗教的な事を軽視する

宗教を告白している青年たちの多くが、心の変化について知らないのをみて、私は残念に思います。品性の一変ということがみられません。クリスチャンたることを告白することが厳粛なことであることを彼らはみとめていません。彼らは、宗教的な心がまえとは全く矛盾した生活をしていきます。もし彼らが本当に神のむすこ娘であるなら、ばかげたことやふざけたことやつまらないことに心を奪われたり、他人の愚かな言葉や行為に感化されたりしません。賞を得るために、すなわち天国に行くために熱心な者は、宗教的な事物について、しゃれや冗談をとばすことは断固としてしりぞけます。

この問題について無とん着な態度をとることは非常な危険があります。思慮の足りなさや軽率さぐらい巧妙な愚かさはありません。軽薄な品性をもった青年がいたるところに見つけられます。こういう種類の青年たちは危険ですから、彼らを避けねばなりません。もし彼らがクリスチャンを名のつていたら一層恐れなければなりません。彼らの精神は劣等な型に形づくられているのです。私たちが彼らを高く尊い思想と正しい行為の道にひきあげるよりも、彼らが私たちを彼ら並の標準にまでひきさげる方がはるかに容易です。私たちはことばにおいてもふるまいにおいても礼節を守る人を友としなければなりません。

全力をつくして神への賛美を示すためには、あなた方の友だちは聖なることと卑俗との区別を心にはつきり感じさせてくれるような友だちでなければなりません。広い識見とすぐれた思想と抱負を持ちたいと思えば、正しい原則を助長してくれるような友だちをえらびなさい。永遠の幸福を伴った来世の獲得ということにすべての思いとすべての行為の目的を傾けなさい。

ザ・ユース・インストラクター・一八九六年一〇月八日

## 八七 堅い基礎をもった希望

あなたは神にうけ入れられているということはどうやって知りますか。神のみことばを祈りをもって研究なさい。聖書をおいて他の本を手にしてはなりません。聖書は罪についてさとらせます。そこには救いの道が明らかに示されています。そこには輝かしい報いがみられます。聖書は完全な

救い主を示し、キリストの限りないあわれみによってのみ救いを期待することができるとを教えてください。

密室の祈りは信仰の心髄ですから、これを怠ってはなりません。まじめで熱烈な祈りをもって魂の純潔を求めなさい。生命が危険にひんしたときのような熱心さと真剣さをもって祈りもとめなさい。救いに対する言いようのないあこがれが心の内に生じ、罪の許しについて喜ばしい確信が得られるまで神の前にすわりつつげなさい。

永遠の生命の望みは薄弱な基礎の上にたてられたものではありません。それは神とあなた自身の魂との間に永遠に定められなければならない問題です。仮空の望みから一步も出ないならば、それはあなたを破滅させます。あなたは神のことばによって立ちもすれば倒れもするのですから、自身のさばきのときに証言となるべきものはこの神のみことばです。クリスチャンとなるには何が要求されているかをそこにみる必要があります。勝利を獲得して救い主のうちに勝ち誇るまで、武装を解いたり戦場を離れたりしてはなりません。

教会へのあかし・第一巻・一六三、一六四ページ



第九部

読書と音楽

青年男女方よ、あなた方に真の知識を与え、家族全体を益するような書籍をお読みなさい。そして次のようにきっぱり言ってください。「わたしは、自分にとって益とならないような読書や、わたしを人々への奉仕にふさわしくないものとするに過ぎないような読書に一刻も費すまい。わたしの時間と思いを、神の奉仕にふさわしい者となるために用いよう。わたしはふまじめなことや罪深いことに目を閉じよう。わたしの耳は主のものであるから、敵の巧妙な議論を聞くまい。わたしの声は、神のみたまの影響のもとにない意志にはどんなことがあっても従わせない。わたしの肉体は聖霊の宮であるから、わたしの一切の生存能力を価値のある仕事にささげよう。

教会へのあかし・第7巻・64ページ

## 八八 読書の選択

教育とは、人生のあらゆる義務を最もよく果たすための知的、靈的、肉体的な能力の準備にすぎません。耐久力や頭脳の力と活動は、その使い方次第で減りも増しもします。頭脳のすべての能力が均整のとれた発達をするように、これを訓練しなければなりません。

多くの青年たちは読書欲が盛んです。手に入るものならなんでも読もうとします。聞くことと同様に読むものにも注意しなければなりません。いかかわしい読書によって毒される危険が多分にあるということをおしは示されました。サタンはさまざまな方法によって青年たちの心をぐらかせようとします。一刻も油断してはなりません。敵の誘惑に陥らないように、自分の心を見張っていないければなりません。

### 不健全な読書の影響

心はその食物によって大いに影響されることをサタンは知っています。彼は若い者にも成年の者にも小説や物語やその他の文学作品を読ませようとします。このような文学作品を読む者は、目の前におかれている義務にふさわしくなくなります。彼らは非現実的な生活の中に住み聖書を探って天来のマナを食物としようとする気持がなくなります。強められなければならぬ頭脳は弱くなりキリストの使命と働きに関連した大真理を学ぶ能力を失ってしまいます。この真理は頭脳を堅固に

し、想像力を喚起し、キリストが勝利されたように勝利しようという強い熱心な願いを起させます。

## 霊性の敵

現在出版されている莫大な分量の書籍が消滅されたら、頭脳と情操に恐るべき働きをしている災害がやみます。恋愛小説や軽薄で刺激的な物語や宗教小説と呼ばれているような類の書籍、すなわち著者がその物語の終りに、道徳的な教訓を付加しているような本などでさえも、読者にとっては災です。物語の本の中のいたるところに宗教的な感情を織りこむことはできますが、しかしたいいてい場合は、サタンが天使の衣をまとうてますます効果的に人を欺き惑わすだけにすぎません。自分分は正しい原則を堅く守っているから、あるいは絶対に誘惑に負けないから、そんな小説を読んで大丈夫だと言える人はだれもありません。

小説を読む者は霊性を滅ぼす悪にふけり、聖書の美をくもらせているのです。小説を読むことによって不健全な興奮が起り、想像が熱せられ、そのために頭脳は有用なことに適しなくなり、魂は祈りから離れ、霊的な勤めを行う能力が失われます。

神はわが多くの青年たちにすぐれた才能をさずけておられます。しかし、彼らは読書の選択を誤っているために、そのすぐれた能力を弱め、頭脳を混乱させて弱め、その結果、長年のあいだ恩恵に成長せず、また信仰の理由についての知識にも成長しません。主がまもなくおいでになることを待ち望み、「朽ちるものが朽ちないものを着」るその驚くべき変化を待ち望む者は、この恩恵の期間にもっと高い行動の面に立たねばなりません（コリント第一・一五ノ五四）。



青年方よ、刺激的な読書の影響について自分の経験に問うてみてください。あなた方は、そうした読み物を読んだ後で、聖書を開いて生命のことを興味をもって読むことができますか。神の本はおもしろくないものだと思いますか。あの恋愛小説のおもしろさが頭にあるために、健康な頭の調子がだめになり、永遠の幸福に関連する重大で厳粛な真理に注意を集中させることができなくなります。

くだらない読書はいっさい断固としてやめなさい。それは靈性を強めるどころか、かえって想像をまちがった方向へむけるような感情を心に持ち込み、そのために心はイエスとその尊い教訓からますます遠ざかるようになります。心をまちがった方向へ引っぱって行くようなものからいっさい離れなさい。知的な能力に何も与えないようなくだらない読み物に心をわずらわしてはなりません。思想は頭脳に与えた食物と同じ性格を持ちます。

### 書物の中の書物

人がひまな時間にどういう本をえらんで読むかによって、その人の信仰経験の性質があらわれます。青年たちが健康な精神状態と健全な信仰の原則を持つにはみことばを通して神との交際のうちに生活しなければなりません。聖書は、キリストを通して救いに至る道をさし示しているので、私たちにとってより高い、よりよい生活への指針です。聖書にはこれまで書かれたものの中で最も興味のある、最も教訓的な歴史と伝記が含まれています。小説を読んで想像の墮落していない人には、聖書が最も興味のある本であることがわかります。

聖書は書物の中の書物です。神のみことばを愛し機会のあるたびに聖書をさぐってその豊かな宝を自分のものとし、すべての良いわざに全き備えができるならば、それはイエスがあなたをご自身のもとに引きよせておられる証拠です。しかしキリストの教訓を理解して、その要求に一致しようと努めないで、ただ気まぐれに聖書を読むだけでは不十分です。神のみことばの中には、真理の鉱脈の深いところに堅坑を掘り進めることによってのみ発見することのできる宝があります。

肉の思いは真理をこばみます。しかし悔い改めた魂はふしぎな変化を経験します。聖書は罪びとの罪を立証する真理をあらわしているのです、これまでおもしろくなかったのが、こんどは魂のかてとなり、人生のよろこびまた慰めとなります。義の太陽であられるキリストが聖書のページを照らし、聖霊がそのページを通して魂にお語りになります。……

軽い読み物が好きだった人たちに、こんどは預言の堅いみことばに注意を向けさせなさい。聖書を手にとって、新鮮な興味をもって旧新約聖書の聖なる記録を研究しはじめなさい。熱心に幾度も聖書を研究すればするほど、それはますます美しいものに思われ、軽い読み物に対する興味がだんだん減ってきます。このとうとい書物をあなたの方の心にしっかりと結びつけなさい。それはあなた方にとって友人となり、また案内者となります。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇二年一〇月九日

## 八九 エペソ人の模範

エペソ人は改宗した時に、それまでの習慣と行為を変えました。彼らは神の霊のさとしに直ちに  
応じ、魔法の秘密を全部公開しました。彼らはやってきて自分たちの行為を告白しました。自分た  
ちがこれまで魔術に専念し、その魔法を行うようにサタンの考案した方法の書かれている本を尊ん  
でいたことについて、彼らの魂は聖なる憤りに満たされました。彼らは悪魔の奉仕から離れようと  
決心し、その高価な書物を持ってきて衆人の目の前で焼きました。こうして彼らは神に立ちかえる  
真心をひねきしたのでした。

エペソ人が福音に改宗した時に炎の中に投じた書物は、それまで彼らがよろこんで読み、また彼  
らの良心を支配し、その考えをみちびいていた本でした。その本は売ることでもできたでしょうが、  
しかしそうすれば悪はいつまでも絶えません。彼らは後になってサタンの奥義である魔術を憎み、  
これまで自分たちがその本から得ていた知識をいやな気持ちでみるようになりました。真理に結びつ  
いている青年たちに、私はたずねたいのです。あなた方は魔術の本を焼いてしまいましたか。

### 今日の魔術の本

エペソ人のおこなっていたような悪があるとあなた方を責めたり、彼らのやっていたような魔術  
や魔法をあなた方がおこなったというのではありません。あなた方が降神術の秘法をおこなったり、  
悪霊との交通をしたというのでもありません。しかしあなた方はあらゆる悪の本源であり、そうし  
たあらゆる秘法と憎むべきわざを考え出した本人であるサタンと交わってはいなかったでしょうか。  
この世の神であり、空中の権をとる者であるサタンのささやきに耳をかたむけていないでしょうか。

彼の虚偽に従い、彼の手先となって改宗前の生活にふさわしいことを働いていたのではないでしようか。サタンの代理者となって、広い意味において、墮落天使たちとまじわり、自分自身の魂と他人の魂を欺く術を、彼らから学んでいたのではないでしようか。

魔術の本はどうしましたか。あなた方は何を読んでいましたか。どんな時間の使い方をしていましたか。聖書を通して語っておられる神の声をきくために、みことばを研究していましたか。世の中には懷疑、不信、無神論などの種子をまく本がはらんしていて、あなた方は程度の差こそあれそうした本から教訓を学んでいたのですが、それこそ魔術の本なのです。そうした本は心の中から神を追い出し、魂を真の羊飼であるキリストから離れさせます。

### 厳粛な思想にふさわしくない頭脳

あなた方が読んでいた本は、サタンの代理者たちが考え出したもので、それは、人の心を魅惑し、どうしたら悪魔のような威厳をもってサタンに仕えることができるかを示すためにサタンの教会でつくり出した理論です。もっともらしい疑問で人の心を不安定にするようにもくろまれた不信な傾向の本が無数にあります。サタンはそれらの本に毒気を吹きかけていますので、それを読む者は致命的な霊的マラリヤにかかります。

この世の中には、なんと数多くの小説類があつて、人々の頭を空想と愚かな考えで満たし、真理と義のみことばをいやがる気持を起させていることでしょう。頭脳はこうして厳粛な思想にふさわしくなくなり、また神のパラダイスにあなた方をみちびいてくれる案内者である聖書を忍耐強く研

究することにも向かなくなります。

あたかもこの世の富によって天国への旅券が買えるかのように、地上の宝を手に入れることについて多くのことが書かれています。

天国にいたる道にただ一すじの光さえも投げていないような一生を送った人々の大胆不敵な業績ばかりを書いてある歴史の本がなんと多いことでしょう。

### 誤った道へみちびく本

青年たちを誤った道へみちびくような戦争と流血に関した本がなんと多いことでしょう。サタンはそれを読む人々のかたわらに立って書中の武人の精神を吹きこむので、彼らの血は体内に熱し、残酷な行為をなそうとわきたちます。清くない欲望を感じさせ、心の情欲を燃やし、純潔で聖なるいっさいのものからひき離すような不道德な本がなんと多いことでしょう。

あなた方はかつて魔術の本を持っていましたが、その中には、かつて天国で高い地位にあった天使のいぶきのかかった場面や絵があります。……

### サタンの魔力を打ち破る

あなた方にたずねたいのですが、魔術の本はすっかり焼きすてるべきでしょうか。サタンの会堂には、魅力的な場所があつて、そこでは放縦な心が養われ、ほしいままにされています。しかしそこには証人があつて、目に見えない訪問者が、暗黒の中で行われている行為を見えています。サタン

はむなしい、おごりたかぶった歓楽の交際をつかさどり、飲めや歌えの光景の扇動者です。彼は、仮面をかぶってそこにいます。私たちの周囲のいたるところに魔法が行われ、この世と教会は彼らが夢にしようとは思わなかったことをするようにさせる者の影響下にあります。彼らはもし自分たちがしようとしている行為について知らされたら、ちょうどハザエルが預言者から自分の将来を示された時のように驚いてしまうでしょう。……

神の霊のみちびきの下にない男女や子供は、サタンの魔法の影響下にあつて、しかも自分のことばや行為によつて他の者まで真理の道からひきはなします。人を生れかわらせるキリストの恩恵が心にのぞむとき、彼は罪びとが神から備えられている大いなる救いを長い間かえりみないことに對して正しい憤りを魂に感じます。そのとき彼は自分自身を、すなわち魂と心とからだを神に従わせ、神からあたえられる恩恵によつて、サタンとの交際から身をひきます。彼は、ちょうどエペソ人のように、魔術と絶縁し、サタンとの間をつないでいる最後の糸を断ち切ります。彼は暗黒の君の旗のもとを去つて、インマヌエルの君の血染めの旗の下にきます。彼は魔術の本を焼いてしまします。

ザ・ユース・インストラクター・一八八三年十一月一六日

## 九〇 正しい知的食物

子供たちに何を読ませたらよいかということは重大な問題で、これにはまじめな解答が必要です。頭に何もよい印象を残さないような続き物の話の載っている雑誌や新聞をクリスチャンの家庭に見

かけるのは困ったことです。こうして小説への愛好心がつかわれた人々を私は知っています。彼らは、神のみことばをきいて、信仰の理由について知る特権を持っていたのに、真の敬虔を欠いたままおとなになっています。

こうした愛する青年たちは、品性をきずくのに最上の材料を用いることが大いに必要です。すなわち、神を愛しおそれる思いとキリストを知る知識を持たねばなりません。ところがイエスのうちにある真理をさとする知恵のない者が多いのです。彼らの頭脳は扇情的な物語で養われています。彼らは非現実的な世界に住み、人生の実務に向きません。

### 小説を読む結果

私は、このように育った子供たちを観察してきました。彼らは、家の中でも外でも、じっと落着いていられないか、ぼんやりしているかのどちらかです。そしてごく普通の話題以外のことは話できません。くだらない思いにふけったり、くだらないことよりもっと悪いことばかりを考えているために、りっぱな仕事や研究に向くようにできているすぐれた能力が墮落し、ついにはそういう話題だけに満足してしまつて、よりいっそう高い何ものかに達する能力がほとんど失われてしまいます。信仰的なことを考えたり語ったりすることはおもしろくなりません。

このような知的食物の味をおぼえると、その効果は墮落的です。そして不純で肉欲的な思いを持つようになります。永遠の生命の望みが集中されているキリストを知る知識を得る機会をないがしろにしたために、どれほど多くの損失があるかを考えるときに、私はそうした魂に心からの同情を

おぼえます。真に善の模範であるキリストについて学ぶべきとうい時間が浪費されています。

まちがった読書の習慣のために、健全な精神状態の失われている人々を、私は個人的によく知っています。彼らは病的な想像力をもって人生を渡り、どんな小さな苦しいことでも大げさに考えます。健全な常識のある頭なら、なんでもないようなことでも彼らにとっては負いきれない試練であり、また乗り越えることのできない障害となります。人生は、彼らにとつてはいつも暗い日陰です。刺激的な話ばかりを読みあさる習慣にふけっている人は、知能的にかたわになり、活発な思想や研究には向かなくなります。人生の晩年になつても、でたらめな読書の結果から回復できない男女がいます。

少年少女時代に身についた習慣は、当人の成長と共にますます力が加わり、どんなに決心してこれを打ち破ろうと努力してみても、部分的にしか成功しません。多くの者は本来持っていた頭腦の力を回復することができません。実際のなクリスチャンになろうとどんなに努力してみても、それは希望だけに終つてしまします。彼らは本当にキリストのようになれないのです。そして相変らずこうした種類の読み物を心のかてとしています。

身体に及ぼされる結果もまた同じように不幸です。読みたいという欲望のために神経組織には必要なまでに負担がかかります。青年あるいはおとなでさえも麻痺の原因が、ほかならぬ過度な読書にあったという例があります。頭腦をたえず緊張させておくと、ついには微妙な頭腦の機械がにぶくなつて動かなくなり、その結果麻痺してしまうのです。



## 知的酔っぱらい

刺激的で扇情的な話に対する食欲がつかわれると、道徳心がゆがめられてしまつて、いつもくずのような不健康な食物を食べていないと満足できなくなります。キリストに従う者であることを告白しながら、何か新しい小説の本や雑誌を手にしていないと心から楽しくならないという若い女性たちを見えています。ちょうど酔っぱらいがお酒を飲みたくて仕様がないうちに、彼らの心は刺激を求めます。このような若い人たちには献身の精神がみられません。その仲間も彼らを知識の泉にみちびくような、天来の光に照らされていません。彼らは宗教的な深い体験を持つていません。もしこのような種類の読み物がいつも目の前におかれていなければ、回復の望みが幾分あるかも知れませんが、彼らはそうした読み物をほしがって手に入れてしまふのです。

若い男女がこのようにして有用な人生を台無しにし、天国の永遠の生命を受ける準備となる経験を身につけることを怠るのを見て、私は心が痛みます。彼らには、「知的酔っぱらい」という名前が一番ふさわしいでしょう。

不節制な飲食と同じように、でたらめな読書の習慣は、頭脳に悪影響を及ぼします。

## 治療

悪の芽ばえを防ぐ一番よい方法は、心を先に占領してしまうことです。心をたがやして、そこに聖書の真理というとうとい種子をまくには、最も綿密な注意と見張りが必要です。あわれみに富まれる神は、私たちのために清い生活の原則を聖書の中に示しておられます。……

神は、私たちの道を四方から取り囲んでいる危険について、またその危険からのがれる方法について、聖なる人々に靈感をあたえて私たちのために書きしるさせられました。神のご命令にしたがつて聖書を研究する者は、そうしたことについて無知ではありません。終末時代の危険のさなかにある教会員のひとりびとりは、自分の望みと信仰の理由を知っていなければなりません。その理由は理解できないようなむずかしいものではありません。恩恵と主イエス・キリストを知る知識に育つときに、私たちの心はあますところなく占領されます。

クリスチャンの節制と聖書の衛生・一二三 一二六ページ

## 罪の第一歩

クリスチャンが公然たる罪を犯すまでには、心の中に、世の人々には知られない長い予備的な段階があります。人間の心は、純潔と聖潔から突然に墮落、腐敗、犯罪へ落ち込むものではありません。神のみ像につくられた人間の心が動物的、悪魔的なものになるまでには時間がかかります。見ることによって私たちは変化します。不純な思いにふけることによって、かつてはいやだった罪がこんどは楽しく思えるように心が教育されます。

創世時代と父祖の生活・英文・四五九ページ

## 九一 最も興味のある本 聖書

老いも若きも聖書をないがしろにしています。彼らは聖書を研究もしなければ、人生の原則とも

しません。若い者はことにこのような怠慢の罪を犯しています。たいていの若い人は、他の本を読む時間があっても、永遠の生命をさし示している本を毎日勉強しようとしません。聖書をないがしろにしておいて、くだらない小説を熱心に読んでいます。この聖書は私たちをより高い、より清い生活へ案内してくれるものです。青年の想像力が、小説を読んでゆがめられていなければ、彼らはこれまで読んだ本の中で聖書が一番おもしろい本だと宣言するでしょう。

知恵の最高の源である神のみことばをないがしろにするときに、若い人たちの頭脳は最も高貴な発達を遂げることができません。私たちが神の世界にいる、すなわち創造主の前にいるということ、私たちが神のみ像につくられたということ、神が私たちを見守り、愛し、心配してくださるということ、すべてこうしたことは、ふしぎな思考のテーマであって、心は広い高い瞑想の段階にみちびかれます。このような瞑想のテーマに心と思いを向ける人は、くだらない扇情的な話題には満足できなくなります。

聖書の知識を徹底的に求めることがどんなに大切であるかは、測り知ることができません。聖書は「神の靈感を受けて書かれたものであって」「人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益で」「神の人が、あらゆる良いわざに対して十分な準備ができて完全にととのえられた者になる」「ようにさせます(テモテ第二・三ノ一五 一七)。ですから聖書は私たちの敬虔な考慮を要求する最高の権利を持っています。私たちは表面だけの知識に満足しないで、真理のみことばの深い意味を学び聖書の深い精神を汲みとるように努力しなければなりません。

## 罪の描写

青年たちは、金もうけの事業として出版され配布されている煽情的な話題の本を、決して読まない方がよいのです。こういう本には悪魔的な魅力があります。犯罪や凶行についての心の痛むような描写は、多くの人々を魅惑する力を持っています。彼らは興奮のあげく、たとえそれがどんなに悪い行為であろうと、何か一つ世界の注目をひくようなことをやってみようと考えさせられます。純然たる歴史物の中にも、凶悪なことや残忍なことや放縦な行為が描かれているものがあって、そうした描写は多くの人々の心にパンだねのような作用を及ぼし、同じような行為を犯させます。

人間の悪魔的な行為を描写している本は、悪の宣伝をしているのです。そうした恐ろしい事件の顛末はいつまでも記憶されるべきものではなく、現代の真理を信じる者はそれらの記憶の保存に役割を演じるようなことがあってはなりません。知性がこのような墮落した食物を食べて興奮する時、思想は不純になり肉欲的になります。

教師、親、生徒への勧告・一三三、一三四ページ

## 九二 魂の道を守れ

「油断することなく、あなたの心を守れ、命の泉は、これから流れ出るからである」と賢人ソロモンは勧めています(箴言四ノ二三)。人は「その心に思うごとくその人となりもまたしかればなり」

(箴言二三ノ七・文語訳による)。心は天来の恵みによって新たにされなければなりません。さもなければ、純潔な生活をしようとしてもむだです。キリストの恵みによらないでりっぱな美しい品性を築こうとする者は、くずれ去る砂の上に家を建てるようなものです。はげしい誘惑のあらしに会えば、必ず倒れます。「神よ、わたしのために清い心をつくり、わたしのうちに新しい、正しい霊を与えてください」というダビデの祈りは、すべての魂の祈りでなければなりません(詩篇五一ノ一〇)。私たちは天の賜物にあずかる者となったのですから、「信仰により神のみ力に守られ完全をめざして進まねばなりません(ペテロ第一・一ノ五)。

しかし誘惑と戦うために、私たちにも、しなければならぬ働きがあります。サタンの計略のとりこになりたくなければ、魂の道をしっかりと守らなければなりません。読むもの、見るもの、聞くものにおいて不潔な思いをそえられるようなものを避けなければなりません。魂の敵がそそのかすあらゆる問題について、頭をでたらめに使ってはなりません。「それだから心の腰に帯をしめ……無知であつた時代の欲情に従わず、むしろあなたがたを召して下さつた聖なるかたにならつて、あなたがた自身も、あらゆる行いにおいて聖なる者となりなさい」と、使徒ペテロは言っています(ペテロ第一・一ノ一三 一五)。パウロは、「すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあること、また徳といわれるもの、称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい」と言っています(ピリピ四ノ八)。これには熱心な祈りと絶えまない見張りが必要です。聖霊の内住による感化力に助けていただかねばなりません。そのとき私たちの心は上の方へひきつけられ、きよく聖なる事だけを思うように習慣

づけられます。神のみことばを熱心に学ばなければなりません。「若い人はどうしておのが道を清く保つことができるでしょうか。みことばにしたがって、それを守るよりほかにありません。」「わたしはあなたに向かつて罪を犯すことのないように、心のうちにみことばをたくわえました」と詩篇記者は言っています(詩篇一一九ノ九、一一)。 創世時代と父祖の生活・英文・四六〇ページ

## ぬ か と 麦

青年方よ、小説の載っている雑誌を読むのをやめなさい。どんな小説も片づけなさい。……家中からばかしい絵のついている雑誌その他の印刷物を全部片づけた方がよいのです。それらはサタンの代理者どもがつくり出した見せ物です。青年たちは、こんなもので、自分の頭脳を毒するようなことをしてはなりません。「わらと麦とをくらべることができようか」(エレミヤ書二三ノ二八)。キリストに従う者と称している人は、だれでもみな真実で永遠の価値のあるものだけを読まねばなりません。

わたしたちは非常に厳粛な責任のために準備しなければなりません。一つの世界を救わねばならないのです。……しなければならぬ働きを考へてみるときに、貴重な時間と神から与えられた資力を、自分のために最も役だつものでもなければ、神の栄えになるものでもないことに浪費することがどうしてできましょう。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇六年八月一四日

## 九三 クリスチャンの品性を築く

（注・本文は、ホワイト夫人が最後の病床にあって青年たちのために書かれた最後のメッセージとなった）

わが青年たちの目にとまらない本の中に非常に重要なものがあります。そうした本は、軽い読物よりもおもしろくないので顧みられません。

クリスチャン品性を高めるのにためになる読み物を手にするように青年に忠告しなければなりません。私たちの信仰の最も大切な点を青年たちの記憶に刻まねばなりません。彼らはそうした真理の一端を知っていますが、よるこんでそれを研究するほどにはよく知っていません。わが青年たちは、頭脳を健全にし、きよめる影響を与えるようなものを読まなければなりません。真の宗教とはどういうものであるかを見分けることができるためにはこのことが必要です。よい読み物でも、きよめる力のないものがあります。

今こそ、青年たちのために働く時、また機会です。今、私たちは危機にあって、真の敬虔をみわけることを知らねばならないということを彼らに告げましょう。わが青年たちを助け、高め、励まされねばなりません。それも正しい方法でなされねばなりません。それはたぶん彼らの望まない方法かもしれませんが、彼らにきよめられた心を持たせるのに助けとなる道です。彼らは他のどんなものよりも、りっぱな、きよめる力をもった宗教を必要としています。

私はもう長く生きられるとは思いません。私の働きはほとんど終わりました。青年たちが、天使たちにとって魅力があり、また他人にも尊い感化をあたえるような生活態度をとるように、私のことばが彼らの励ましとなるように望んでいるということを告げてください。

## 選択された読書コースのすすめ

夜の異象の中で、私は本を選択し、若い人たちの役にたたない本をとりのけていました。彼らをはげまして誠実な人生を送らせ、聖書を開かせるようになる本をえらばなければなりません。このことはずっと前に示されたのですが、いまそれをあなた方の前に持ち出して、はっきりしておきたいと思うのです。若い人たちに価値のない読み物を与えてはなりません。心と魂に祝福となる本が必要です。このことは、軽く見過ごされていますので、兄弟姉妹方に私の言っていることをよく知ってもらいたいのです。

わが民のために、私にはもうこれ以上のあかしはないと思います。しっかりした心を持った方々は、働きを高め、築くために役だつものを知っています。しかし心に神の愛を宿して、もっともつと深く神に関することを研究しなければなりません。私はわが青年たちが正しい読書をするように切に望んでいます。その時おとなたちも同じように良い読書をするようになります。真理の宗教的な魅力に目を開かねばなりません。神のみことばの真理にたえず心と頭脳を開いていなければなりません。サタンは人の気がつかないまにやってきます。警告の使命を一度伝えたからといって、それで満足してはなりません。何度も何度も伝えなければなりません。

多くの人たちの心をひきつけ、感化するような非常におもしろい読書コースを始めたいものです。もし私の生命が長らえてもつと働くことができたなら、私は若い人たちのためによりこんで本を準備する助けをしたいと思えます。



若い人たちの心を神のきよめの真理によって印象づけ、形づくる働きがなされなければなりません。永遠の生命の準備となるべき信仰による義と品性の完成ということについて、若い人たちがその真の意味を知るように、私は心から願っています。私はもう長く生きられないと思います。そこで若い人たちに残したいメッセージは、自分のたてた目標を誤った方向へ狂わせないようにということです。

兄弟姉妹方よ、若い人たちがたえず神の恩恵ととうとさを高く評価するように励ましなさい。真の宗教のとうとさを意識するように、たえず働き、祈りなさい。神の聖潔と恩恵についての祝福と魅力をもたらしてください。このことがなおざりにされていることを知って、私は重荷を感じています。

私は、自分の生命がこれ以上長くつづく確信はありませんが、自分が主に受け入れられていると感じています。主は私がいわゆるクリスチャンの送っている低い生活の標準を見てどんなに苦しんだかをご存じです。私は真理が私の生活にみられ、私のあかしが民の間に伝わるようにすることが絶対に必要だと感じました。どうかあなた方が私の書いたものを外国の人たちの手に渡すために最善の努力をしてくださるように希望します。

若い人たちに、彼らが多く霊的特権を持っていることを知らせてください。彼らが真理を人々に伝えるために、まじめに努力するように神は望んでおられます。私は以上述べたようなことを言うことが私の特別な義務だと印象づけられたのです。

## 九四 小説の影響

多くの青年は、「教課を研究する時間がない」と言います。しかし、彼らは何をしているのでしょうか。ある人たちは、もう少し余分にもうけるために寸刻を惜しんであくせくしています。働きにつきこまれるこの時間が、聖書の研究に向けられ、その教訓が実行されるなら、時間外労働によって得られるより、以上の金額が節約されるのです。その時、不必要な装飾に費される多くの金が節約され、敬虔の奥義を理解するために頭脳の力が保存されます。「主をおそれるのは知識のはじめである」(箴言一ノ七)。

しかし、クリスチャンたることを自称しているこれらの青年たちは、自分自身の本能に従って肉欲的な心の欲望を満足させています。そして聖書のとうとい真理を知るように神から与えられている恩恵の時を、小説類の読書に費しています。一度この習慣がつくと、これにうち勝つことが困難です。しかし、天国に入ることを望んでいる者は、これに勝利できるのであり、また勝利しなければならぬのです。

小説を読むのに夢中になっている頭脳は破滅してしまいます。想像力は病的になり、頭脳はセンチメンタルになり、漠然とした不安、すなわち精神をたえず不安定にするような不健康な知的食物を奇妙にほしがるようになります。小説の読書によって精神のバランスが失われ、妄想狂と恋愛病にとりつかれた者が今日幾千となく精神病院にはいつています。

ザ・サインズ・オブ・ザ・タイムズ・一八八一年二月一〇日

## 九五 音楽の利益

賛美の調べは天のふんいきです。天が地に交わるときに、そこには音楽と歌 「感謝と歌の声」  
があります（イザヤ書五一ノ三）。

神のほおえみのもとに、美しくけがれなくひろがっている新しい地に、「明けの星は相共に歌い、神の子たちはみな喜び呼ばわった」とあります（ヨブ記三八ノ七）。このように、天と想いを一つにする人間の心は、神の恵みに賛美の歌をもって答えてきました。人間の歴史上のいろいろな事件には、歌にうたわれているものが少なくありません。……

### 音楽はとうとい賜物

聖書に記録されている歌の歴史は、歌や音楽がどんなに有用であり、また有益であるかということを示しています。音楽はしばしば悪用されて悪い目的に使用され、したがって人の心を誘惑する上に最も力のあるものとなっています。しかし音楽が正しく用いられるならば、それは神のとうとい賜物となります。音楽が人の思いを高貴なテーマに高め、魂に靈感をあたえ、これを向上させるようにと、神は意図されたのです。

イスラエルの民が荒野の旅をつづけている時、聖歌の音楽によって道中を励まされたように、神はご自分の民が今日も人生の旅を楽しくするように命じておられます。神のみことばを記憶するに

は、それを歌にしてくりかえすことが何よりも効果的な方法です。このような歌はふしぎな力をもっています。それは粗野で無教養な性質をやわらげる力をもち、また人の思いを活気づけ、同情心をめざめさせる力をもち、行動の一致をうながし、勇気を失わせたり、努力を弱めたりするような暗い思いや胸さわぎを払いのける力をもっています。

歌は霊的な真理を心に印象づけるのに、最も効果的な方法の一つです。おしつぶされて絶望しかかっている魂が、神のみことばすなわち長い間忘れていた子供時代の歌の歌詞を思い出し、そのために誘惑にうち勝ち、人生に新しい意義と目的が生れ、勇気とよろこびを他人にわけ与えるようになった例がどんなに多いことでしょう。

教育の一つの手段として、歌の価値を見落してはなりません。家庭で、美しい純潔な歌がうたわれるときに、人をとがめだてる言葉が少なくなり、快活さと希望とよろこびのことばが多くなります。学校で歌をうたいましょう。そのとき、生徒たちは神と教師にますます近づき、また互に親しみを加えます。

宗教的な行事の一部として、歌をうたうことは、祈りをささげることと同じに礼拝の行為です。事実、多くの歌は祈りです。このことを認めるように子供に教えるとき、その子供は、自分がうたうことばの意味をもっと深く考え、そのことばの持つ力にもっと心を動かされます。

救い主が私たちを、神の栄光の照り輝いている天国の入口にみちびかれるとき、み座のまわりにある天の合唱隊のささげる賛美と感謝の調べがきこえてきます。この天使たちの歌声が地上の家庭に反響するとき、心は天の歌手たちにひきつけられます。天のまじわりは地上に始まります。私た

ちは、この世にあって天の賛美の基調を学ぶのです。

教育・二〇三、二一四 二一六ページ

## 九六 音楽の用途

音楽は神聖な目的に奉仕し、純潔で高尚な思いを高め、魂の中に神への献身と感謝の念をめざめさせるためにつくられたものです。昔の習慣と、現在の音楽の用途との間には、なんという相違がみられることでしょうか。この賜物を、神をあがめるために用いないで、自分自身を高めるために用いている人がどんなに多いことでしょうか。不用意な人は、音楽を愛するあまり、神がその民に行くことを禁じておられるような享樂的な集まりに世俗的な人たちと一しょになります。こうして、正しく用いられると大きな祝福となるべきものが、人の心をまどわして義務と永遠の事物についての瞑想からひきはなすのに最も有力なサタンの手段の一つとなります。

音楽は天の宮廷における神の礼拝の一部分です。ですから、賛美の歌をうたうときには、できるだけ天の合唱隊のハーモニーに近づくように努めなければなりません。声の正しい訓練は、教育における重要な一部分で、これをなおざりにしてはなりません。

創世時代と父祖の生活・英文・五九四ページ

### 有力な才能

歌の特別な才能を持っている人たちがいます。独唱や数人の合唱によって特別な使命が伝えられ

る場合があります。しかし少人数で歌われることがありません。歌う才能は、一つの有力な才能で、神はすべての者がこの才能をみがいて神のみ名の栄えのために用いるように望んでおられます。

教会へのあかし・第七巻・一一五、一一六ページ

### 天の音楽家たちと調べをあわせる

人間が霊と悟りをもって歌うときに、天の音楽家たちは調べをかなでて感謝の歌にあわせます。神と共に働く者となることができるように、すべての賜物を私たちに与えておられる神は、ご自分のしもべたちが声を訓練して、だれにもわかるように語ったり歌ったりするように望んでおられます。必要なのは大声で歌うことではなくて、はっきりした抑揚と正しい発音と明瞭な口調です。みんな時間をかけて声を訓練し、神への賛美が、耳ざわりな荒々しい声や金切り声でなく、やわらかな、はっきりした調子で歌えるようにしましょう。歌う才能は神の賜物です。この才能を神のみ栄えのために用いなさい。

集会の時には、幾人かをえらんで賛美歌礼拝を受け持たせなさい。歌の伴奏には楽器をじょうずにひきましょう。私たちの働きにおいて楽器を用いることに反対すべきではありません。礼拝のこの部分を注意深く行わねばなりません。これは歌による神への賛美だからです。

歌は必ずしも少人数によるものとは限りません。できるだけ、全会衆が一緒に歌うようにしましょう。

教会へのあかし・第九巻・一四三、一四四ページ

### 歌によって神をあがめる

神への愛と献身に満ちた純粋な心から出る賛美の歌によって、神はあがめられます。

教会へのあかし・第一巻・五〇九ページ

## 九七 音楽の悪用

あそこの住居のあたりには天使たちが舞っています。ところがそこには青年たちが集まっていて、彼らの歌う声や楽器の音がきこえてきます。集まっている人たちはクリスチャンですが、そこからきこえてくるものは一体なんでしょうか。それはダンスホール向きの歌、くだらない歌です。ごらんなさい。純潔な天使たちは光をおさめ、暗黒がその住居にいる人たちを包みます。天使たちはその場から去って行きます。彼らの顔には悲しみの影がさしています。ごらんなさい、彼らは泣いているのです。私は安息日を守る人々の間に、ことに においてこうしたことを何度か何度もみましました。祈りにささげられるべき時間が音楽に占領されています。安息日を守るクリスチャンたることを自称する多くの人々が音楽を偶像として礼拝しています。サタンは音楽を通して若い人たちの魂にはいりこむことができるなら、あえて音楽に反対しません。人々の心を神からひきはなし、神の奉仕にささげられるべき時間を費してしまうようなものなら、なんでもサタンの目的にかなうのです。彼はできるだけ多くの人々を享樂的なことにおぼれさせておくために最も大きな影響をおよぼすような手段で働き、一方、人々はそのサタンの力に麻痺させられています。音楽は、よいことのために用いられるときに祝福となりますが、しかしサタンによって魂を迷わせるための最も魅力的な手段とされることが多いのです。音楽が悪用されると、それは神に献身していない人々を誇り

と虚栄と愚かさに陥らせます。音楽が献身と祈りに入れ代るようになると、それはおそるべき災となります。若い人たちがよく歌うために集まりますが、クリスチャンたることを自称している人でさえ、くだらない会話や音楽の選択によって、神と信仰をはずかしめています。聖樂は彼らの趣味にあわないのです。わたしはこれまで人々の注意をひかないで見過ごされていた神のみことばの率直な教えをさし示されましたが、これに注意しない人々は、審判の時に、すべてこれらの靈感のこゝとばによつて罪を定められます。

教会へのあかし・第一巻・五〇六ページ

## 音楽は善の力

音楽は善の大いなる力となることができます。しかし、私たちは礼拝のこの部門を十分に利用していません。歌うことはたいいてい気分次第やまた特別な場合にかぎられています。またあるときは、人々がしどろもどろに歌うのをそのままにしておくために、出席している人々の心に音楽が有力な効果を及ぼすことができません。音楽には美しさと感動と力がなければなりません。声をあげて賛美と献身の歌をささげなさい。もしできるなら樂器を用いて、美しい調べを神のおよろこびになるささげ物として神のみもとへ上らせましょう。

教会へのあかし・第四巻・七一ページ



第一  
〇  
部

家  
つ  
か  
さ  
の  
務

あなたのタレントがどんなに小さくても、神はそのタレントを働かせる場所を備えておられます。その一つのタレントを賢明に用いるならば、定められた働きを成し遂げることができます。小さな義務を忠実に尽すことによって、私たちが加え算式に働くときに、神は私たちのために掛け算式に働いてくださいます。こうした小さなことが神の働きにおいては最も尊い力となるのです。

自然と宗教・英文・360ページ

## 九八 經濟上の教訓

經濟と自製の教訓を學んで神の事業を助ける特權について、青年たちに多くのことを言うことができます。多くの人々は、あれこれと楽しみにふけらねばならないかのように考えて、そのために収入一ぱいの生活を送ることに慣れていきます。神は私たちがこの点にもつと賢明であるように望んでおられます。食べるもの飲むもの着るものが充分にあることに満足していることは自分自身に対する罪です。神は私たちの前にそれよりもつと高い何物かを置いておられます。自分から進んで利己的な欲望を捨て、頭と心の力を神のための働きにささげるときに、天来の力が私たちと協力し、私たちを人類の祝福とします。

## 外国伝道のために貯金する

たとえどんなに貧しくても、若い人が勤勉で儉約するなら、神の働きのために幾分か貯金をすることが出来ます。私はたった十二才のころから儉約することを知っていました。姉と一しょに手仕事をおぼえ、一日に二十五セントしか得られなかったのですが、それでもその中から幾分かをたくわえて外国伝道に献金することができました。私たちが少しづつたくわえたお金は三十ドルになりました。そのとき、主がまもなくおいでになるという使命と同時に、人や金銭を求める声をききました。私たちは、そこでその三十ドルを父に手渡して、暗黒の中にある人々に使命をつたえる

トラクトやパンフレットのために、そのお金をささげてもらうように頼みました。私たちはこうする事を特権に思いました。

時間と金銭の俟約をおぼえることは、神の働きにたずさわっているすべての者にとって一つの義務です。なまけぐせのついている人は自分たちの手に任されているすばらしい真理をすこしも重要なものに考えません。こういう人は勤勉な習慣がつくように、また神の栄えのためにのみ働くように教育されなければなりません。

## 自制

時間と金銭について判断力のない人は、経験のある人と相談しなければなりません。私と姉とは、手仕事で得たお金で自分の着物を買いました。私たちは、お金を母に手渡して、「これで買ってください。衣類を買ったら、伝道の働きにささげる分が残るようにしてください」と言ったものです。母はその通りにしてくれて、私たちの間に伝道心を燃やしてくれました。

自制して得たお金をささげることは、当人にとってすばらしい助けとなります。それは、歩きまわって善をなし、病人をいやし、乏しい者に必要なものを与えられたイエスの働きをより一層深く理解させるような教育を私たちに授けます。救い主は自分自身をよるこぼせるために生活されませんでした。イエスの生活には利己心の影がありません。ご自分がおつくりになった世界に住みながら、ご自分の住居としてどこも要求されませんでした。「きつねには穴があり、空の鳥には巢がある。しかし人の子にはまくらす所がない」とイエスは仰せになりました(マタイ八ノ二〇)。

## タラントの正しい使用

タラントを最もよく使用すれば、神の霊は私たちの能率がますます上がるように絶えずみちびいてくださいます。自分のタラントを用いて忠実に商売をした者に向かって、主は、「良い忠実なしもべよ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒によろこんでくれ」と仰せになりました(マタイ二五ノ一二)。一タラントの男もまた最善をつくすように期待されていたのです。もし彼が主の財産をじょうずに運用していたら、主はそのタラントを増し加えてくださったのです。

神はすべての人に「それぞれの能力に応じて」それぞれ働きをお与えになっていきます(マタイ二五ノ一五)。神は私たちの能力を量る物さしを持っておられ、私たちにどれだけの働きを負担させるべきかをご存じです。忠実なしもべであると言われた者に、もっと大きな責任を負わせるようにという命令が与えられています。彼がこの信任に対して忠実であることがわかると、もっと重い責任を負わせるようにというおことばが再び与えられます。こうして彼はキリストの恩恵によって、イエス・キリストのうちにある全き人にまで成長するのです。

あなたは一タラントしかないでしょうか。もしそうならそれを銀行にあずけ、賢明な投資によって二タラントにふやしなさい。あなたの手のなすべきことを、できるだけ力をつくしておやりなさい。タラントを賢明に用いて定められた任務を果しなさい。最後に「よくやった」とのみことばを聞くことには何ものにも代えがたい価値があります。しかしこのことばは本当によくやった者に

だけ与えられるのです。

### むだに費す時間はない

青年男女方よ、むだに費す時間はありません。品性の建設に丈夫な材木を使うように熱心に努力なさい。キリストの名によってあなた方に願いたいことは、どうか忠実であってほしいということです。時間を生かしなさい。毎日自分を神の奉仕にささげなさい。そうすれば、何もしないで過ごしてしまうような休日をもっと多くほしがったり、自分を満足させるために費してしまうようなお金をもつとほしがったりする必要がないことがわかります。天は、自分自身を向上させ、キリストに似たかたちに形づくられる者に注目しています。人間の器がキリストに屈服するときに、聖霊はその人のために偉大な働きをしてくださいます。

神のために真実で、自己犠牲的な働き人は、よろこんで他人のために費し、また費されます。キリストは「自分の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至るであろう」と仰せになっています(ヨハネ一ニノ一五)。助けを必要としているところを、熱心な思慮深い努力で助けることによって、真のクリスチャンは神と人類同胞に対する愛をあらわします。奉仕のために生命を失うようなことがあるかもしれませんが、しかし、キリストが、ご自身のために宝を集めになるときに、その人は再び生命を受けるのです。

### 犠 牲 の 報 い

人を恵むために用いられる金銭は報いをもたらします。正しく用いられる富は偉大な善をなします。魂がキリストにみちびかれるのです。キリストの定められた人生の計画に従う者は、自分がこの地上において労し犠牲をはらった当人たちと神の庭において会うのです。これらのあがなわれた人々は、自分たちの救いの仲介となってくれた人々を感謝の思いのうちにおぼえています。魂の救いの働きに忠実に働いた人にとって、天国はとうといものとなります。

自然と宗教・英文・三七三ページ

## 九 九 犠 牲 の 精 神

世の中には、貪欲な精神、すなわち最高の地位と最高の給与を得たいという精神がみなぎっています。昔のような克己と犠牲の精神はめったにみられません。しかしこの精神こそ本当にイエスに従う者の活動の動機となるべきものです。天来の師であられるイエスは、私たちがどのように働くべきかについて模範をお与えになりました。イエスは、「わたしについてきなさい。あなたがたを人間をとる漁師にしてあげよう」とお命じになった人々に、奉仕の報酬としてきまった金額を約束なさいませんでした（マタイ四ノ一九）。彼らはイエスと一しよにその克己と犠牲にあずからなければなりませんでした。

イエスに従い、神の共労者としてイエスの奉仕にたずさわる者であると自ら称している者は、神が地上の幕屋の建設に要求された正確と技術、機転と知恵をその働きに取り入れなければなりません。

ん。いまでも、その当時と同じように、またキリストのこの地上における奉仕の時代と同じように、神への献身と犠牲の精神を、神のおよるこびになる奉仕の第一条件とみなさなければなりません。神の働きに利己主義という糸が一本でも織りこまれてはならないというのが、神のみこころです。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇六年一月四日

### 心の中における恩恵のしるし

けんそん、克己、慈善、什一を忠実にささげることなどは、神の恩恵が心のうちに働いている証拠です。

健康についての勧告・五九〇ページ

## 一〇〇 什 一

イエスはご自分が大きな働きをするためにきたと宣言されましたが、その働きは、この地上においてイエスに従う者にゆだねられました。私たちの首長であるキリストは、救いの大いなる働きを指導し、ご自分の模範に従うように命じておられます。彼は私たちに世界的な使命をお与えになりました。この真理はあらゆる国民、部族、民族にのべ伝えられなければなりません。キリストとその民はサタンの勢力と争い、これにうち勝たねばなりません。暗黒の勢力に対して大規模な戦いを続けなければなりません。この働きを成功のうちに進めるためには、金銭が必要です。神はその金銭を直接に天からお送りにならず、神に従う者の手に金銭的な能力をさずけて、この戦いを支持す



る目的のためにその金銭をお用いになります。

神は、この事業が自給できるのに充分な金額を集める方法をご自分の民にお与えになりました。什一制度における神の計画は、その単純さと平等という点において美しいものです。その起源は神にあるのですから、だれでも信仰と勇気をもってこれを把握できます。その中には単純さと有用性が結合されており、これを理解し実行するのに深遠な学問はいりません。だれでも自分はこの救いのとうとい働きを前進させる上にその一端を負っているのだと感ずることが出来ます。男も女も青少年も主の会計となつて、財政上の要求に応じる一手段となることが出来ます。使徒パウロは「あなたがたはそれぞれ、いくらでも収入に応じて手もとにたくわえてお……くようにしなさい」と言っています(コリント第一・一六ノ二)。

この制度によつて大きな目的が達成されます。すべての人がみなこの制度をうけ入れるならば、各々神のために用心深い忠実な会計係となることができます。そうすれば、世界に最後の警告使命を叫ぶこの大いなる働きを前進させるための費用に欠乏することがありません。みんなが、この制度を採用すれば、金庫は一ぱいになり、献金者もそのために貧しくなることはありません。神の事業に投資するたびにますます現代の真理と密接な関係を持つようになります。私たちは、「こうして、真のいのちを得るために、未来に備えてよい土台を自分のために築き上げるように」なるのです。

教会へのあかし・第三巻・三八八、三八九ページ

## 神の所有権を認める

果樹園や田畑の収穫物であれ、家畜であれ、手や頭腦の仕事による収入であれ、あらゆる収入の十分の一を神にささげ、さらにまた第二の十分の一を貧民の救済やその他の慈善的な用途にあてることによって、人々は、万物が神の所有であるという真理と、人は神の祝福をとりつぐ機会を与えられているという事実を、たえず心に新たに感じさせられました。それは狭い利己心を殺し、広い高潔な品性を養うための一つの訓練でした。

教育・英文・五二ページ

## 神のもの

「地の十分の一は……すべて主のものであつて」（レビ記二七ノ三〇）、ここに安息日についての律法と同じ表現形式が用いられています。すなわち「七日目はあなたの神、主の安息であるから」（出エジプト記二〇ノ一〇）。神が、人の時間と金銭の特定の部分をご自身のためにとおかれたのですから、だれでもこれを自分自身のために使う者は罪を犯すことになります。

創世時代と父祖の生活・英文・五二五、五二六ページ

## 一〇一 あなたの財産……をもって主をあがめよ（箴言三ノ九）

「あなたは、わたしの主人にどれだけ負債がありますか」（ルカ一六ノ五）。私たちは神の手からあらゆる祝福をいただきながら、神に何もお返ししなかったり、神がご自身のためにとっておかれ

た部分である。――さへも神にささげようとしなかったりしてよいものでしょうか。眞の自己犠牲の道から、自分を喜ばせる道にあらゆるものの向きを変えることが習慣となつています。たえず神の恵みを受けながら、無関心だったり、神の愛に反応を示さないでよいでしょうか。

愛する青年方よ、神のために伝道者となりなさい。神があなた方に惜しみなく与えて下さったものの一部分を、主の倉に納めるといふこのささげ物についての尊い教えを、かつてなかつたほどよく学んでください。何をもらつてもその一部分は感謝のささげ物としてこれを与えてくださった主にお返ししましょう。他の一部分もまた国内と外国における伝道事業のために金庫へ納めなければなりません。

## 天の財宝

神の働きが、いつも私たちの心を占めていなければなりません。一つの家庭に祝福を与えた眞理の光は、親と子供たちを通して伝えられるときに他の家庭にとつてもまた大きな祝福となります。しかし神がゆたかにお与えになつた恵みを神にお返ししないで、利己的に自分のためだけに取つておくなら、祝福ではなく神の呪いが経験されることは確かです。主はそのことを宣言しておられます。神のご要求は他のどんな要求にも優先すべきもので、神のご要求を第一に果さなければなりません。その次に、貧しい者や困っている人々の世話をしなければなりません。どんな負担や犠牲があろうとも、これらのことをなおざりにしてはなりません。

「わたしの宮に食物のあるように」(マラキ書三ノ一〇)、飲むにも食べるにも着るにも、すべて

のことにおいて節制を守ることが、私たちの義務です。家や調度品などをつくる時には、什一にかぎらず、できるだけ、献金において神ご自身のものは神にお返ししなくてはならないという心の願いをもって、注意深く考慮してみなくてはなりません。神がご自身のものとして要求なさる部分とささげ物を、主の倉に納めることによって多くの人々は、自分のために天の財産をたくわえることができます。

人間が自分自身のものだと考えている財産に関して神がどんな要求をもっておられるかを正直に調べたずねたいと思えば、旧約聖書を開き、荒野の長い旅においてイスラエル人の目に見えない指導者だったキリストが、この点について民にお与えになった指示を見なければなりません。神の家に納めるべき分を神から盗むよりは、むしろどんな不便や窮乏にもよるこんで耐えなければなりません。聖書を読み、聖書を信じている者は、この問題について主の言っておられることについて賢明な知識を持つようになります。

### 言い訳の余地がない

すべての人間がひとりのこらず自らの行為に従ってさばかれるその日には、現在、什一や、ささげ物を神にささげないための利己的な言い訳は、太陽の前の露のように解け去ってしまいます。もしまだ永遠に手おくれにならないのだったら、もう一ぺん立ち帰って品性をつくり直したいと思う人がどれほど多いことでしょう。しかしその時には、毎週、毎月、毎年、神から盗んだ者の記録を変えることは、もう手遅れです。彼らの運命は定まり、もう変えられないのです。...

利己主義は致命的な悪です。自分を愛し、神と人との間の契約の特定条件に無関心で、忠実な家つかさとして行動しようとしなかったために、彼らの上には前もって神が宣告しておられた通りのろいが下されます。このような魂はわれとわが身を神から引き離れたのです。彼らはまた自らのことばと行為によって、他の人々に明白な神のいましめを無視させたので、神は彼らの上に祝福をお与えになることができなかったのです。

什

一

主は、あなた方のすべての所有の十分の一はわたしのものと仰せになり、わたしの働きを前進させ、また暗黒のうちにある人々に聖書を開いてみせる説教者を送るのに用いるために、あなた方のささげ物を持参せよと明示しておられます。

それでもなお主のお金を地中に隠したあの不忠実なしもべがしたように、神ご自身のものを自分の手もとにとどめておくような危険を冒す人がいるでしょうか。このしもべは、神に向かってつばやき「ご主人さま、わたしはあなたが、まかない所から刈り、散らさない所から集める酷な人であることを承知していました。そこで恐ろしさのあまり、行って、あなたのタラントを地の中に隠しておきました。ごらんください。ここにあなたのお金がございます」と言って、自分の不忠実を正当化しようとしたが、私たちもこの男のやったようなことをすべきでしょうか(マタイ二五ノ二四、二五)。それよりもむしろ、感謝のささげ物を神にささげるべきではないでしょうか。

ザ・ユース・インストラクター・一八九七年八月二六日

## 一〇二 個人の責任

天父は、神から与えられている能力以上のことをするようにとも、あるいはそれ以下のことをするようにとも、要求しておられません。神はしもべたちに負いきれないほどの重荷を負わせようとはなさいません。「主はわれらの造られたさまを知り、われらのちりであることを覚えていられるからである」(詩篇一〇三ノ一四)。神が要求されることはすべて、天来の恩恵を通してなすことができるのです。

「多く与えられた者からは、多く求められ」(ルカ二二ノ四八)、すこしでも能力以下のことをしていると個人的に責任を問われます。主は、奉仕の機会を一つ残らず正確に計っておられます。みがかれた能力と同じように、用いられなかった能力もまた勘定に持ち出されます。神は才能を正しく用いて到達すべきだったすべてのことについて責任を問われます。なすべきであったにもかかわらず、神の栄えのために自分の能力を用いなかったために成し得なかったことによつてさばかれるのです。たとえ自分の魂は失われなくても、自分が才能を用いなかった結果を永遠に認めさせられます。達すべくして達し得なかったすべての知識と才能は、永遠の損失となります。

しかし、主は全的に献身し、神の指示に従つて働くときに、神はその働きの完成についてはご自身が責任を持たれます。一所懸命に努力したことが成功するかどうかについて推測することは、神のみこころではありません。失敗については、一度でも考えてはなりません。失敗ということをご

存じないお方と協力しなければなりません。

自分自身の弱さや、無能力を口にしてはなりません。そうすることは、神への明らかな不信であり、神のことばを否定することです。重荷について不平を言ったり、神が要求なさる責任を拒むことは、実質的には神が過酷な主人で、能力の及ばないことを要求しておられると言っているのと同じです。

自然と宗教・英文・三六二、三六三ページ

## 金 銭 の 価 値

金銭というものは、自分自身を高めたり、あがめたりするために与えられているではありません。忠実な家つかさとして、神を高め、あがめるために金銭を用いなければなりません。自分の財産の一部だけが神のものだと考えている人がいます。彼らは、宗教的慈善的用途のために財産の一部をとり分けると、残りは全部自分自身のもので、適当に用いてもよいのだと考えます。しかしこの点において彼らはまちがっています。私たちの所有しているものは全部主のもので、その使い方について、私たちは主に対して責任があります。一円一円の使い方に、私たちは神を第一に愛しているか、隣人を自分と同じように愛しているかどうかがあらわれます。

金銭は、偉大な善事を行うことができるという点において、大きな価値があります。これが神の民の手にあるときに、それは飢えた者への食物となり、かわいた者への飲み物となり、裸の者への衣類となります。それはまたしいたげられた者を保護し、病める者を助ける手段となります。しかしそれが生活の必要に備え、他人への祝福となり、キリストのための働きを進めるために用いられ

るのでなければ、砂と同様、なんの価値ありません。

自然と宗教・英文・三五一ページ

## 一〇三 クリスマスのプレゼント

クリスマスが近づいています。このときにあたって考えてみたいことは、必要のない人々に対して毎年どれほど多くのプレゼントがなされているかということです。習慣というものは強いもので、こういう機会に友だちにプレゼントをしないと相手をうとんじているかのように思われがちです。しかし覚えていなければならないことは、恩恵を与えて下さるやさしい天の父は地上のどんな友だちにもまさる権利を持つておられるということです。こんどのクリスマスの期間に神にささげ物をささげようではありませんか。この働きには子供でも参加することが出来ます。衣類やその他の役立つ品物を、貧しい正直な人たちに与えることによって主のために働きをなすことができます。

## 放 縦 の 悪

クリスマスは世の救い主の誕生を記念するために祝うのだということをおぼえましょう。この日はたいてい飲み食いの道楽に費されてしまします。多額のお金が不必要な放縦のために費されます。人々は、肉体的、知的、霊的能力を犠牲にして食欲と官能的享楽にふけります。しかも、これは一つの習慣となっています。誇りと見えて、口の満足のために、莫大な額のお金が湯水のように使われますが、それは実質的にはだれにとっても益とならず、かえって神のみこころにかなわない金銭



の浪費を増すだけです。クリスマスの期間は神よりも自己を高めるために費されます。健康は害され、お金はただ捨てるよりももっと悪いことに使われ、過食や墮落的な浪費によって生命が失われ、こうしたことによって魂が失われる場合が多いのです。

神の民が単純な食事を楽しみ、自分の手に任されている金銭の多少にかかわらずささげ物として神の倉に納め、誤謬という暗黒の中にある魂に真理の光を伝えるために用いるならば、神の栄えがあらわれます。やもめとみなし子は、贈り物によって慰めが加えられ、飢えが満たされるので、その心にはよろこびを与えられます。

### 神へのささげ物

現代の真理を信じると公言している者はみな、ことにクリスマスが来るたびに、利己的で清くない欲望を満足させるために、また放縱な食欲のために、あるいは他人とクリスチャンらしくない見えを競うために、毎年、一体どのくらい費しているかを計算してみましよう。このように全然不必要なこのために費された額を合計し、つぎに魂も肉体もそこなうことなく神の働きのためのささげ物として、どれほど倏約することができたはずだったかを見積ってごらん下さい。

神にささげられた教会の負債を返す助けとして、それぞれの能力に応じてレプタやもっと多くの献金をささげることができます。そのとき新しい伝道地に宣教師が送られ、あるいはそれぞれの伝道地における伝道者の生活が維持されます。これらの宣教師たちは最もきりつめた経済を実行し、本国の人々が生活上どうしても入用と思っているものでさえ買わないですまさねばなりません。彼

らはぜいたく品はほとんど持っていないません。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八七八年十一月二二日

## 一〇四 服装における経済

神の民は、金銭の支出についてきりつめた経済を実行し、「主よ、あなたのものをおささげします」といつて、いくらかのものを神に持参しなければなりません。こうして、神から受けた祝福に対する感謝をささげなければなりません。こうして、自分のために神のみ座のまわりに宝を積むこととなります。

飢えと寒さに悩む人々に食べさせ、着せるために用いるべき多額の金銭を、俗人は衣類に費しています。キリストがご自身の生命をお与えになった人々の多くは一番安い物や、ごく日常の衣服にさえ不自由しているのに、一方では流行のやむことなき要求を満足させるために幾千ドルが費される有様です。

主は、ご自分の民に世から出て離れよと命じておられます。恩恵期の最後の時代に生存していると信じている者にとって、華美な、高価な衣類はふさわしくありません。使徒パウロはこう書いています。「男は怒ったり争ったりしないで、どんな場所でも、きよい手をあげて祈ってほしい。また、女はつつましい身なりをし、適度に慎み深く身を飾るべきであって、髪を編んだり、金や真珠をつけたり、高価な着物を着たりしてはいけません。むしろ良いわざをもって飾りとすることが、信

仰を言いあらわしている女に似つかわしい」(テモテ第一・二ノ八)。

神の民と公言する人々の中にさえ、必要以上に衣服のためにお金をかける人があります。きちんとした趣味のよい衣服を着なければなりません。しかし姉妹方よ、自分のために、あるいは子供たちのための衣服を買ったり作ったりするときに、どうか主のぶどう園にはまだなすべき働きが待っているということを思ってください。よい材料を買ってこれを念入りに仕立てることは結構です。そうすることは経済的です。しかしあまり豪華な飾りをつけることは不必要であり、またそういうことにふけることは、神の働きのために用いるべき金銭を自己満足のために費すことになります。主の目に価値あるものとして映るのは衣服ではありません。神がとうとばれるのは心の飾り、みたまの恩恵、親切なことば、他人への深い思いやりです。不必要な飾りをやめ、こうして俟約された分を神の働きの前進のために取り分けてください。

### 神によるこばれる自制

自製の教訓を学び、これを子供たちに教えなさい。自制することによって俟約されたお金はすべて今なすべき働きに必要です。悩める者を救い、裸の者に着せ、飢えた者に食べさせねばなりません。現代の真理をまだ知らない人々に語らねばなりません。

私たちはキリストの証人です。神が、第一義的なものとしてあげておられるものに注意を向けられないほど、時間と注意を世的な利害に集中させてはなりません。もっと高い利害が危険にひんしています。「まず神の国と神の義とを求めなさい」(マタイ六ノ三三)。キリストは、ご自分がなす

ためにおいになった働きに全部をお与えになりました。私たちに対するキリストのみことばはこうです。「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。」「そして、わたしの弟子となる」(マルコ八ノ三四、ヨハネ一五ノ八)。キリストは、自分からよるこんで神のみ旨を行うために、ご自身をおささげになりました。彼は死にいたるまで 十字架の死にいたるまで従順でした。私たちは自制に困難を感じるでしょうか。キリストと苦難を共にすることをちゅうちよするでしょうか。彼の死によって、私たちの全神経は刺激され、自分自身と所有物の一切をよるこんで、彼の働きのためにささげるようにならなければなりません。キリストが私たちのためにしてくださったことを思うときに、心は愛に満たされねばなりません。

真理を知っている者が、神のみことばの中に命じられている自制を実行するときに、使命は力づくよく前進します。主は魂の悔い改めのためにささげられる祈りをきいて下さいます。神の民が光を輝かすときに、未信者はその良いわざを見て天父をあがめます。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九一〇年一月一日

## 見えを愛する心

見えを愛する心から浪費が生じ、多くの若い人たちの心からは、尊い生活への抱負が失われます。彼らは教育を求めようとしなくて、衣服への欲望をほしいままにするためのお金をかせぐために年若い時から何かの職業に従事します。そして、この欲望のために、多くの若い女性がだまされて滅

びます。

教育・三〇九ページ

## ピュ リタンの簡潔

現代の厳肅な真理を信じるすべての人の住居と服装には清教徒的な簡潔と単純が見られなければなりません。家屋の飾りや衣服に金銭を不必要に費すことはすべて主のお金を浪費することです。それは誇りを満足させるために神の働きから欺き取ることです。

教会へのあかし・第一巻・一八九ページ

## 一〇五 自我の満足

信者の家庭や学校を訪問してみますと、テーブルや炉辺などのあいている場所に写真が一ぱいかざっております。右にも左にも人間の顔の写真がみられます。神はこうした物事の順序を変えるように望んでおられます。もしキリストがこの地上におられたら、「こんなものは取り去ってしまいなさい」と仰せになるでしょう。私は、こうした写真が、神にささげらるべききよい時間と意思を占めている偶像だということを教えられました。

こうした写真にはお金がかかります。今日果さなければならぬ働きを知っている私たちが、自分の顔や友だちの顔の写真をつくるのに神の金を費すことに、矛盾はないでしょうか。余分なお金は一ドルでも神の働きの建設に用いらるべきではないでしょうか。こうした写真はきよいものとして神の奉仕にささげらるべきお金を奪い、人の心を神のみことばの真理から離れさせます。

## 一種の偶像礼拝

写真をとって交換することは一種の偶像礼拝です。サタンは天国を私たちの目からおおい隠そうと全力を尽しています。写真という偶像をつくることによってサタンを助けないようにしましょう。人間の顔が示唆するよりもっと高い標準に達しなければなりません。主は「あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない」と仰せになっています(出エジプト記二〇ノ三)。キリストを信じると公言している者は、キリストの像を反映しなければならぬことを認めなければなりません。キリストのかたちを、絶えず念頭におかなければなりません。語ることばに天来の靈感が満ちていなければなりません。……

## 第一のことを第一に

バプテスマのおごそかな儀式にあずかった者は、キリストが神の右に座しておられる上なる天にあるものを求めることを、また罪びとの救いのために熱心に働くことを誓ったはずです。神はご自分の名を持っている者に向かって、あなたは、わが子の死によってあがなわれた能力をどう使っているかとお尋ねになります。あなた方は、靈的理解の一層高いところに到達するために全力をつくしていますか。あなた方は自分の関心と行動を、永遠の重大な要求と一致するように調節していますか。

神の民の中に改革が見られなければなりません。「だから飲むにも食べるにも、また何事をする

にも、すべて神の栄光のためにすべきである」(コリント第一・一〇ノ三二)。主の働きの重荷を負わせられた人々は、無知の中に滅びつつある魂に警告を与えるように、使命の宣伝に労苦しています。あなた方は、自制することによって、そうした人々を何らかの方法で助けることはできないでしょうか。立ちあがって、自分が悔い改めたことを無我の熱意と熱心を通して示しなさい。

どの一ドルもみな救霊の働きに必要です。神の民たることを公言する人々が、人間の顔をつくるのに費す金銭は、伝道地の数人の宣教師を維持することができるだけです。多くの小さな流れが一つに集まれば大きな川となります。最後の警告の使命をのべ伝えるために用いられるべき金銭を利己的な楽しみのために用いるときに、主の財産を着服していることとなります。主の金銭を、自我を満足させるために費しながら、主が物質的恩恵をつづけてお与えくださるなどとして期待できるでしょうか。金銭を写真のために利己的に投資する人々を主はどうごらんになるでしょう。無知という暗黒の中にある人々に送るために、その金で福音文書を買うことができたはずです。

神が私たちに与えられた真理を世に伝えねばなりません。私たちにはこの働きをなす特権が与えられているのです。すべての水のほとりに真理の種子をまかねばなりません。主は自制と犠牲を実行するように求めておられます。福音は全的献身を要求しています。働きの必要のために、ささげられるだけのものが要求されています。写真にふけることは、利己的な満足であって、それは無言のうちに私たちに不利な証言をします。このようなことにふけることによって、大量の木や草やわらが土台に持ちこまれ、終りの日に火で焼きつくされます。

## 自 制 の 義 務

どの家に行っても、たくさんの写真があるのを見て、私はこの悪についてわが民に警告するように教えられました。

私たちは神のためにこれだけはすることが出来ます。すなわち、こうした写真の偶像を目に見えないところに片付けることが出来ます。それらは善のためになんの力も持たず、ただ神と魂の間をじゃまするだけです。それらは真理の種子をまく上になんの助けにもなりません。キリストは、彼に従うと公言する人々が神の武具を全身にまとうように要求しておられます。

私たちの教育機関は神のみたまの革新力を感じなければなりません。「あなたがたは地の塩である。もし塩のききめがなくなったら、何によってその味が取りもどされようか。もはや、なんの役にも立たず、ただ外にすてられて、人々にふみつけられるだけである」(マタイ五ノ一三)。学校や病院で教師として働いている者は、献身の高い標準に達しなければなりません。また、宣教師として出て行くのにふさわしい者となるように準備しているこれらの機関の生徒たちは、自制を実行することを学ばなければなりません。

私たちは神の家づかきで、「管理者に要求されているのは、忠実であることである」と言われています(コリント第一・四ノ二)。神が私たちにゆだねておられる金銭を注意深く節約しなければなりません。自分に与えられている才能を最もよく用いることによって、能率を増進し、主がおいでになる時に、神ご自身のものに利息をつけてお返ししなければなりません。



## 何度も写真をとることについて

若い人たちは、自己を愛する思いで心が一ぱいです。このことは、写真家によって撮影してもらった自分の顔を見たいという思いにあらわれています。彼らは一度撮影してもらうだけでは満足しないで、何度も何度も写真機の前にすわり、そのたびにこんどは前よりもっとよい写真がとれて本物よりずっと美しく見えるようにと願うのです。主のお金はこうして浪費されます。そしてそこに何が得られるでしょうか。

教会へのあかし・第一巻・五〇〇ページ

## 一〇六 経済と慈善

多くの者は、経済ということを軽蔑し、これを吝嗇や偏狭と混同しています。しかし、経済ということは、広い慈善と両立するものです。実際、経済なくして真の慈善はあり得ません。私たちは与えるために節約しなければなりません。

自制なくして真の慈善を実行することは、だれもできません。単純な生活と自制と細心の経済によつてのみ、私たちはキリストの代表者として私たちに定められている働きをなしとげることができるのです。高慢と世俗的野心とが、心から取り除かれねばなりません。すべての働きにおいて、キリストの生活にあらわされた無我の原則が実行されなければなりません。私たちの家庭の壁に、

写真に、家具に「さすらえる貧しい者を、あなたの家に入れ」とのことばが読まれなければなりません。私たちの衣服には神の手で、「裸の者を見て、これに着せ」と書かれてあるのが見られなければなりません。食物の一ぱいのついている食堂のテーブルには、「飢えた者に、あなたのパンを分けあたえ」と書かれてあるのが見られなければなりません（イザヤ書五八ノ七）。

### 有用の戸が開かれる

私たちの前には、有用の多くの戸が開かれています。私たちは、財源が乏しいと言ってよく嘆きますが、もしクリスチャンが完全に熱心だったら、財源は幾十倍にもふやすことができます。有用の道をふさいでいるのは、利己主義、わがままです。

ただの偶像にすぎない物、もつと高尚なことに用いられるべき思いと時間と力を占めている物のために、どれほど多くの金銭が消費されていることでしょう。高価な家屋や家具や利己的な楽しみや、ぜいたくや、不健康な食物や、有害な放縱のために、どれほど多くの金銭が浪費されていることでしょう。だれの益にもならないプレゼントのためにどれほど浪費されていることでしょう。必要な、しかもしばしば有害でさえある事柄のために、今日いわゆるクリスチャンは、魂を誘惑者から救うために費すよりも幾倍もの金を使っています。

クリスチャンと自称する多くの人々は、衣服のためにお金を使いすぎて、他人の必要のために費す余裕がありません。ごく粗末な衣服を買うのにさえ困難をおぼえている人々があるにもかかわらず、彼らは高価な装飾品と衣服を手に入れなければ承知しないのです。

## むだをはぶく

姉妹方よ、あなた方が服装の様式を聖書に与えられている法則に一致させるならば、もっと貧しい姉妹方を助けるために十分なものを持つことができます。お金だけでなく時間もです。時間が最も必要なことがよくあります。あなた方の意見や機知や技術で助けてあげられる人がたくさんいます。質素でしかも趣味のよい服装をするにはどうしたらよいかを彼らに教えてあげなさい。自分の着ているものが他の人たちの衣服とくらべてあまり目立ってみすばらしく不適当だからという理由で、神の家によりつかない婦人がたくさんいます。感じやすい心を持った人たちは、この対照に苦しいはずかしさと不公平の思いを心にいただきます。そしてそのために、信仰の事実を疑い、福音に対して心を堅く閉ざすようになります。

キリストは、「少しでもむだにならないように、パンくずの余りを集めなさい」と命じておられます(ヨハネ六ノ一二)。幾万の人々が飢饉と流血と火事と疫病で毎日滅んでいるときに、何一つ浪費されることのないように、何一つ不必要に消費されることのないように、そしてそのことによって、人類を益するように気をつけることが、人類を愛するすべての者にとってふさわしいことです。時間を浪費することは悪いことです。また思いを浪費することも悪いことです。自己中心的なことに時間を用いるときに、その一刻一刻は損失です。もし一刻一刻を大事にし正しく用いるなら、自分自身のために、あるいは世のためになさねばならないすべてのことのために時間を持つことができます。金銭の消費に、時間と力と機会の用い方に、すべてのクリスチャンは神にみちびきを求

めねばなりません。「あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず惜しみなくすべての人に与える神に願ひ求めるがよい。そうすれば与えられるであらう」(ヤコブ一ノ五)。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・二〇六 二〇八ページ

## 経済の指針

一つ一つのことについてどのように経済を実行すべきか、細かく述べる必要はありません。心を全く神に降伏させ、神のみことばを指針としている者は、人生のすべての義務において、どのようにふるまわねばならないかを知っています。彼らは柔和でけんそんなイエスについて学び、キリストの柔和を心に養うことによって、無数の誘惑に対して、戸を閉ざすのです。

キリスト教教育の基礎・一五二ページ

第一部  
家庭生活

人類の回復と向上は家庭に始まります。親の働きは他のすべてのことの基礎となります。社会は家庭から成り立っているのですから、家庭の長たる者のつくるとおりのもものとなります。生命の泉は心から流れ出ます。社会の心、教会の心、国家の心は家庭です。社会の幸福、教会の成功、国家の繁栄は、家庭の感化に左右されます。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・349ページ

## 一〇七 クリスチャンの家庭

神を愛すると告白している人々は、古代の父祖たちと同じように、どこに天幕を張ろうと主に祭壇を築かねばなりません。どの家も祈りの家にならねばならない時代があるとすれば、今こそその時です。父親も母親も、自分自身と子供たちのために、へりくだった祈りのうちに心を神にささげねばなりません。父親は家族の祭司として、朝に夕に神の祭壇にいけにえをささげ、妻や子供たちも一しょに祈りと賛美をささげなさい。このような家族の中にこそ、イエスは宿りたいとお思いになるのです。

どのクリスチャン家庭からも、聖なる光が輝き出なければなりません。愛が行為の中にあらわれなければなりません。家族の者たちのまじわりに愛が流れ、それは思いやりの深い親切、おのれを忘れたやさしい礼儀となつてあらわれねばなりません。この原則の實行されている家庭、神を礼拝し、最も真実な愛によつて支配されている家庭からは、朝夕の祈りがかくわしい香煙となつて神のみもとにたちのぼり、祈りをささげる人の上に神のあわれみと祝福が朝露のようにくだります。

きちんとしたクリスチャン家庭は、キリスト教の真実性のために一つの力強い証拠となります。それは無神論者の否定できない一つの証拠です。その家庭には、子供たちに感化を及ぼす一つの力が働いていて、アブラハムの神がその家族と共にいますことを、すべての人々から認められます。

## 一〇八 家事に忠実なこと

青年に負わされている最高の義務は、自分自身の家庭において、愛情と真心からの関心によつて父母兄弟のためにつくすことです。若い人たちは、家庭の中において克己とおのれを忘れる精神をあらわし、家族のためにつくし、家族の者の世話をすることが出来ます。この働きは、決して女性の立場を低くするものではありません。これこそ女性の占めることのできる最も聖なる、最も高い地位です。姉や妹は、兄や弟に対してどんなに大きな影響を与えることができることでしょうか。彼女が正しければ、兄弟たちの品性を決定することさえあります。彼女の祈り、やさしさ、愛情は、家族のために大きなことをすることが出来ます。

姉妹よ、このような尊い特性は、まずあなた自身のうちになければ、これを他人に伝えることができません。心の満足、愛情、やさしさ、明るい性格は、ひとりびとりの心に伝わります。そしてあなたの心が他の人に与えるものはそのまま、またあなたの上に返ってきます。もし心がキリストによつて支配されていなければ、そこには不満と道德的欠陥がみられます。利己心というものは、自分自身が他人に与えたくないものを他人に要求します。……

魂をこころみ、勇気を要するのは、大きな働きや大きな戦いばかりとはかぎりません。毎日の生活に困ったことや、試みや、落胆させられることなどがやってきます。忍耐と堅実な心が幾度も必要なのは、日常の平凡な働きにおいてです。すべての困難に出会ってこれを征服するには、自分で



事をやりとげる堅い心と決意が必要です。必ず主に共にいていただいて、どこにおいても、あなた方の慰めとなっていただきなさい。

教会へのあかし・第三巻・八〇、八一ページ

## 一〇九 家庭における宗教

家庭における宗教が大いに必要です。家庭内において私たちの語ることばが正しい性質のものであれば、教会でどんなあかしをたててもなんにもなりません。家庭において柔和と親切と礼儀を示さなければ、私たちの宗教は無意味です。家庭における宗教がもっと真実なものであれば、教会にはもっと力があるでしょう。

### 家庭における不親切なことば

気短かなことばを出すときに、家庭にどんなに害が及ぼされることでしょうか。というのは、ひとりの人の気短かなことばは、他の人に同様な精神と態度を引き起すからです。こうなると、仕返しのことば、自分を正しいとすることばが出されるようになります。そしてこのようなことばによって、重い痛いくびきが自分の首に掛けられるのです。というのは、こうしたきびしいことばは、苦痛の多い収穫となって魂に返って来るからです。

始終、このようなことばを吐きちらす者は、恥辱や、自尊心と自信の喪失を経験し、自分をおさえる力を失って、このようなことばを出したことをはげしく後悔します。こういうたぐいのことばは絶対に出さない方がどんなにか良いでしょう。恵みの油を心に宿し、腹が立つようなことはみな

見過ごし、キリストのような柔和と寛容をもってすべてのことに耐える方がどんなに良いことでしょうか。

神の約束の条件を満たすときに、その約束はあなたに成就されます。心が神にそそがれているなら、こころみと誘惑がやってきたとき、歡喜の状態から絶望の谷に落ちこむようなことはありません。疑いと陰気なことばを他人に語るようなことをしません。

サタンは、私たちの思いを読むことはできませんが、行為を見、ことばをきくことができます。そして人類家族についての長年の知識から、サタンは、私たちの品性の弱い点につけこんで、誘惑をしむけることができます。サタンが私たちに勝利するにはどうしたらよいかその秘決を私たちは、サタンに教えてしまうことがしばしばあります。自分のことばと行いを抑制することができるようになりたいものです。もし私たちのことばが、さばきの日に記録を見てもはずかしくないようなことばであったら、私たちはどんなに強くなれることでしょう。私たちはいま何気なくしゃべっていますが、神の日にはそれらのことばがどんなに重大に思われることでしょう。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九一三年二月二七日

## 実物教訓としての家庭

家庭の使命は、その家庭の外にまで及ぼされます。クリスチャンの家庭は、実物教訓となつて、人生の真の原則を例示しなければなりません。このような実例は世の中にとって、善への力となります。どんな説教よりも力強いのは、真の家庭が人間の心と生活に及ぼす影響です。青年たちがこ

のような家庭から出て行くとき、彼らの学んだ教訓は他の人々に与えられます。人生のもっと尊い原則が他の家庭に紹介され、人を高める感化力が社会に働きます。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・三五二ページ

## 一一〇 家庭は訓練の学校

青年が神への奉仕に献身するとき、彼らは弱い心や、無能力な者となるようなことがありません。主をおそれることは知恵のはじまりです。どんなに幼い子供でも、神を愛しおそれるならば、才能や学問がどれほどあっても尊い救いを省みないような人よりもえらいのです。心と生活を神にささげている青年はそのことによって、自分自身をすべての知恵と美質の源でいます神に結びつけているのです。

## 日常の義務

もし子供たちに、日常の義務の目だたないくりかえしを、主が彼らのために定められた道として、また忠実で有力な奉仕をなすための訓練をうける学校としてみなすように教えるなら、彼らは、自分の働きをどんなに楽しく名誉に思うことでしょう。神に対して義務を果すような気持ですべての義務を果すことは、どんなに目だたない仕事にも魅力を生じさせ、地上の働き人を天において神のみこころを行っている聖者たちに結びつけます。

天使が高いところで忠実に義務を果しているように、私たちも自分の定められた立場で、同じ忠実さをもって自分の義務を果たさねばなりません。自分は神のしもべであると自覚している人は、どこに行っても信頼される人です。天の市民は、地上でも最もよい市民となります。神に対する義務を正しくみとめるとき、人類に対する義務もはっきり認識されるようになります。

## 母親の報い

審判が始まり、天の書が開かれ、さばき主から「よくやった」との宣告がくだされ、不滅の栄光の冠が勝利者のひたいに置かれると、多くの者は宇宙の聖者たちの集まっている中で、その冠をさしあげて、母親を指さし、「おかあさんが、神の恵みによって、私をこれまでにしてくださいました。おかあさんの教えと祈りが祝福されて私の永遠の救いとなったのです」と言います。……

青年は、不義がひろがっているただ中であって、正義のために堅く立ち、悪の進展を食い止めるために全力をつくし、美德と純潔と真の男らしさを増進するように訓練されなければなりません。幼いころに心と品性に植えつけられた印象は深く、それはいつまでもつづきます。無思慮な訓練や悪い友だちづきあいは、子供たちの心に、後年になってどんなに努力しても消し去ることのできない悪の感化を及ぼします。

ザ・サインズ・オブ・ザ・タイムズ・一八八一年十一月三日

## 家庭教育の可能性

明日の社会は、今日の子供たちによって決定されます。そしてこの子供たちがどんなものになる

かは家庭次第です。人類にとって災となっている病気や不幸や犯罪の大部分は、正しい家庭教育が与えられなかったことによります。家庭生活が純潔で真実なら、また家庭の保護を離れた子供たちに人生の責任と危険に対する準備ができていたら、なんという変化が世の中にみられることでしょう。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・三五一ページ

## ―― 父母を敬い愛せよ

真にキリストに従う者は、キリストに心のうちに住んでいただき、心の王座についていただかねばなりません。彼らは、家庭においてキリストの精神と品性をあらわし、自分の接するすべての人に親切と礼儀を示さねばなりません。

真理を知っていると称しながら、父母にしかるべき尊敬と愛情をささげず、父母に愛を示さず、父母の意向に服従しようとせず、父母の心配を軽くしようとしない子供たちがたくさんいます。クリスチャンたることを自称している人々の多くは「あなたの父と母を敬え」ということがどういうことか、また「これは、あなたの神、主が賜わる地で、あなたが長く生きるためである」ということが、どういうことであるかを知っていません(出エジプト記二〇ノ一二)。

わが教会の青年たちは、神のいましめを守っている人間であることを告白しながら、多くの者が、第五条のいましめを無視し、破っています。そのためにこのいましめを守り、父母を敬う者に約束されている豊かな祝福が彼らの上に成就されていません。罪を悔い改め、キリストの恩恵によって

行為と品性が改革されないかぎり、永遠に生きることのできる新天地にはいることができません。自分の父母を敬い愛することのできない者は、神を敬い愛することができません。この試みに耐えることができず、神をおそれる両親を敬わない者は、神に従わず、したがって約束の地にはいることを期待できません。

### 服従の中にある運命

若い人たちは、いま自分自身の永遠の運命を決定しています。神が「あなたの神、主が賜わる地で、あなたが長く生きるためである」との約束をつけ加えておられるいましめをよく考えていただきたいのです（出エジプト記二〇ノ一二）。青年方よ、あなた方は永遠の生命を望んでいますか。もしそうなら、あなた方の両親を尊敬なさい。…

父母を愛さず、父母に従わないという点で罪を犯していたら、いまその過去のつぐないを始めなさい。それ以外に方法はありません。なぜなら、そうした罪によってあなた方は永遠の生命を失うからです。人の心を探られる神は、父母に対するあなた方の態度を知っておられます。なぜなら、神は天の聖所の黄金のはかりで道德的品性を計っておられるからです。親を無視したことを、また親に対して冷淡だったことを、神の聖なるいましめを軽んじたことを告白なさい。…

父母の心は、やさしい同情となつてあなた方にそそがれています。その愛にあなた方は冷たい忘恩をもって報いることができるでしょうか。父母はあなた方の魂を愛し、あなた方が救われるのを望んでおられます。それなのに、あなた方はその忠告を軽んじ、自分勝手な考え方をし、勝手な道

を歩んだことが何度あるでしょう。こんな強情なやり方は神に嘉納されないことを知っていながら、自分勝手な判断に従ってはいなかったでしょうか。子供たちが親に対して恩知らずで、親を尊敬しないために心を痛めながら墓にくだっていった父母がどんなに多いことでしょう。

——ザ・ユース・インストラクター・一八九三年六月二二日

## 一一二 家庭における祝福

主は若い人たちに「わが子よ、あなたの心をわたしに与え」よと仰せになります(箴言二三ノ二六)。この世の救い主は、若い人々や子供たちが心を主にささげるのを喜びになります。神に忠実な者として認められる子供の大軍がいます。キリストが光の中にあられたように、彼らも光の中を歩んでいるからです。彼らは主イエスを愛しますので、主をよろこばせまることが自分のよろこびとなります。彼らはしかられても腹をたてず、親切と忍耐をつくし、日常生活の重荷を負う助けになるように全力を尽すことによって、父母の心をよろこばせます。少年時代からすでに彼らは主の忠実な弟子とみとめられます。

青年方よ、あなた方は幼い時から、家庭における祝福となることができます。神をおそれる父母の子供が、不従順で、手に負えず、感謝することを知らず、わがままで、親に苦痛や悲しみを与えるのもかまわずに自分自身の道を歩もうと堅く心にきめているのを見ることくらい悲しいことはありません。サタンは子供たちの心を支配することをよろこびます。もしできるなら、サタンはその

憎むべき精神を子供たちに吹き込もうとします。

## 父母に従うこと

両親は、子供たちが心を神にささげるようになるために、全力を尽してあらゆる機会と教えをあたえようとしています。しかし子供たちは光の中に歩むことをこばみ、悪い道を歩むことによって、その子供たちを愛し、その救いを心から願い願っている父母に暗い影を投げかけます。

罪と不従順の道を歩むように子供たちを誘惑するのはサタンです。彼は、もし許されるなら、子供たちの救われる望みを全く断ちきり、神をおそれる父母の心を剣のように刺し通し、子供たちが最後まで悔い改めないで神に反逆したために父母が悲しみにおしつぶされて二度と顔をあげられないように、子供たちがまだ罪の中にあるときに彼らの生命を奪い去ろうとします。……

青年方よ、どうか、キリストのために光の中を歩んでください。あなた方の意志を神の意志に従わせなさい。「悪者があなたを誘っても、それに従ってはならない」(箴言一ノ一〇)。主の道から離れないでください。罪の中に平和はありません。悪い行為によってあなた方は父母の信用を落とし、キリストの宗教を汚すのです。自分の生活が天の書に記録され、宇宙の人々の集まっている前で開かれるのです。永遠の生命を失うという不幸な運命になったら、どんなにはずかしいか、またどんなに残念かということを考えてください。「わたしのいましめに心をとめよ、見よ、わたしは自分の思いをあなたがたに告げ、わたしのことばを、あなたがたに知らせる。……そのとき彼らはわたしを呼ぶであろう。……しかしわたしに聞き従う者は安らかに住まい、災に会う恐れもなく、



安全である」(箴言一ノ二三、二八、三三)。「光がある間に歩いて、やみに追いつかれないようにしなさい」というキリストの教えに耳をかたむけましょう(ヨハネ一二ノ三五)。

——ザ・ユース・インストラクター・一八九三年八月一日

### 一一三 家庭における品性建設

サタンは、子供たちが両親にうちとけないで、若い未経験な仲間を親友としてえらぶように仕向けます。こういう友だちは、彼らの役にはたえず、かえって悪い助言を与えるにすぎません。...

子供たちが、もっと両親に親しむなら、多くの悪いことからまぬかれます。親は子供たちがもっと親に対して心を打ち明け、どんな困ったことも相談にくるような気持ちを彼らの中に植えつけなければなりません。そうすると子供たちは、どの道が正しいか判断にまよった時に、事情を親に打ち明けて自分の考えをのべ、その助言を請うようになります。子供たちの危険をみて指摘するのに、神を敬う親ほど考え深い人は他にありません。親ほどよく子供の特殊な気質を理解できる者は他にありません。幼いころから子供の心の動きを見守り、その生れつきの性質をよく知っている母親こそ、子供にとって最上の助言者なのです。父親の助けを受けた母親ほど、子供の品性のどのような点を伸ばすべきか、またどういう点を直さねばならないかをわきまえている人は他にありません。

#### 親をよろこばせる

クリスチャンたる子供たちは、この世のどんな良いものをもらうよりも、神を恐れる両親から愛

されほめられることを一ばん喜びます。彼らは親を愛し尊敬します。どうしたら親を喜ばせるかということが子供たちの人生の主要な課題の一つです。いまの反抗的な時代に、正しい教えと、しつかけを受けなかった子供たちは、親に対する義務観念がほとんどありません。親がよくしてやればやるほど感謝することを知らず、親を尊敬しなくなることがよくあります。

甘やかされて何でもしてもらっている子供は、いつでもそれを期待します。そして、もし期待通りにしてもらえないと、失望落胆します。この傾向は一生ぬけきれません。こういう子供は無力で、人の助けによりかかり、いつでも人が自分に好意をもつて自分の言うことをきいてくれるものと思いい込んでいます。そしておとなになってからでも、自分が反対されると裏切られたかのように思い、くよくよして世の中をわたり、自分で自分の重荷を負うことができず、何もかも自分の思うようにゆかないと言ってつぶやき、いらだつことが多いのです。...

子供たちは、自分を幼い時から見守り、病気の時に看護してくれた親の恩を思わなければなりません。自分のためにどんなに親に心配をかけたかをみとめなければなりません。特に、良心的で敬虔な親は、子供たちが正しい道を歩むように深い関心をそいできたのです。子供の欠点を見て、親はどんなに心を痛めてきたことでしょう。こういう心配をかけた子供が、自分のしたことの結果をみることができたら、たしかに親に対してやさしい気持になるでしょう。母親の涙を見、自分のために母親がささげる祈りをきき、母親の人知れぬなやみの、ため息をきくことができれば子供の心は動かされ、たちまち悪いことを悔い改めて許しを請うようになるでしょう。...

## 戦いの力

今は子供たちのためには不幸な時代です。悪の風潮が滅びに向かって流れています。この風潮を押しきって進み、これに負けないためには、子供時代の経験や力よりも以上のものが必要です。一般の若い人々はサタンのとりことなっているようです。サタンと悪天使が彼らを確実な破滅へとみちびいています。サタンとその軍勢は、神の統治権と戦っています。サタンは、神に心をささげ神のいましめを守ろうとする者を困らせ、誘惑で打ち負かして彼らを落胆させ戦いをあきらめさせようとします。

熱心な祈りと生ける信仰によって、大いなる勝利が獲得されます。親に負わされている責任をみとめず、子供の宗教教育をなおざりにしている人々がいます。クリスチャンにとって朝の第一の思いは、神についてでなければなりません。この世の働きと自己への関心は第二でなければなりません。祈りの時を尊重すべきことを子供たちに教えなければなりません。働きに家を出る前に家族全員が集まって、父親が、父親のいない時には母親が一日の守りを熱心に神に祈らねばなりません。……

## 束縛に耐えられない

安息日を守る子供たちは、束縛に耐えられないことがあります。親があまりに厳格すぎると考え、心に冷たい感情が生じ、彼らの現在と未来永遠の幸福のために努力している者に対して、不満なおもしろくない思いが宿るようになることがあります。しかし数年後になってみれば、彼らは親が未

経験な子供時代を厳格に注意し、忠実に見守ってくれたことをありがたく思うようになります。……

## 個人の責任

子供たちよ、神はあなた方を親の守りにゆだね、親があなた方を教えしつけ、こうして天にふさわしい品性を形成する上に親としての役割を果たすようになさったのです。それにしても、敬虔で忠実に、あなた方のために祈っている親から与えられる恩典を最上に用いて、よきクリスチャン品性を養うかどうかはあなた方自身の責任です。親が子供たちのためにどんなに心配し骨折っても、それだけでは子供たちを救うことができません。子供たち自身がなさねばならない働きがあります。どの子供もそれぞれに、自分で自分のことをしなければならぬ分があります。

神を信じる両親方よ、あなた方は子供の歩みを、しかもその信仰生活をみちびく責任があります。子供たちが真に神を愛するときに、彼らは親が自分に示してくれた守りや自分の欲望を制し、自分のわがままを押えてくれた骨折りに対して、感謝と尊敬をもつようになります。

教会へのあかし・第一巻・三九一 四〇三ページ

## キリストの義を着せらる

キリストの義を着せられるときに、私たちは罪に心をひかれなくなります。キリストが共に働いてくださるからです。私たちはまちがいをしでかすこともあります、しかし神のみに苦難を与えた罪を憎みます。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八九〇年三月一八日

## 一一四 責任を負うべき青年

(注・ふたりの青年にあてたメッセージ)

この青年たちは、家庭における責任をみずごしにしています。彼らは、義務をとりあげて、家庭の責任を負うことを学んでいません。これらの責任を負うことは彼らの義務です。彼らには、忠実で実際のな母親があります。この母親は子供たちが彼女に負わせるべきではなかった多くの重荷を負ってきました。この点において、彼らは母親を尊重することに欠けていました。彼らは父親の重荷を分担しなければならないのに、そうしませんでした。彼らは義務よりも自分の好き勝手な気持ちに従っています。

彼らは利己的な人生の道を歩み、重荷と骨折りを避け、人生の成功になくてもはならない貴重な経験を体得しませんでした。小さな事に忠実であることがどんなに大切であるかを感ぜませんでした。また彼らは、自分の歩む道に横たわっているどんなに小さな、またどんなに卑しい義務においても、親に対して真実で、絶対的で、忠実でなければならぬということを感じませんでした。彼らの目は、實際生活に必要な普通の知識よりも他の方に向いています。

### 家庭を楽しむ

この青年たちは、他のどこにおけるよりも家庭において祝福とならねばなりません。穏健な理性と健全な判断と曇りのない良心による慎重な決定に従わないで、ただ自分の好むがままにおもむくときに、彼らは社会や家庭にとって、祝福となることができなばかりか、その前途はこの世にお

いても来世においても危険です。

若い時代には、ただ遊んだり、ふざけたり、冗談を言ったり、ばからしいことに熱中したりなどして時間を費してもかまわない、重荷など負う必要がないと考えている青年が少なくありません。彼らは、愚かなことや感覚的な享楽にふけりながら、そうしたことに関連した瞬間的な満足だけしか考えません。娯楽を求め、社交とおしゃべりと笑い興じることを愛する心は、そうしたことにふけることによって、ますます助長され、まじめな人生の現実に対する気持が失われ、家庭における義務はおもしろくないものに思われるようになります。自分の気に入るようないろいろなおもしろいことに種が尽きると彼らはいらいらしてわがままで、気短かになります。この青年たちは家庭を楽しく愉快にすることを義務と感じなければなりません。

肉体の力をはげしく要するような働きから解放されることは一時必要かもしれませんが。そのことによってふたたび力をつくして働きの従事し、より以上の成功をおさめることができるでしょう。しかし、何もしないで、全く休んでしまうことは必ずしも必要とはいえません。また、肉体の力に関するかぎり必ずしも最上の結果を伴うとはかぎりません。

ある一つの仕事に疲れたからといって、貴重な時間を空費する必要はありません。そういう時には余り疲労しないような他の仕事で、母親や姉妹たちをよろこばせるようなことをすることができま

す。負うべき最も困難な重荷を自ら負って、母親たちの苦勞を軽くすることにより、クリスチャン原則から生じるよろこびを見いだすことができ、そこに真の幸福が生じ、くだらないことや、利己的な放縱に時間を費すことがなくなります。

教会へのあかし・第三卷・二二一 二二三ページ

## 一一五 礼拝の時間

聖書研究に対する興味を起し、これを高めることができるかどうかは、礼拝の時間の用い方で大いに左右されます。朝夕の礼拝は、一日のうちで最も楽しく、また最も有益な一時でなければなりません。礼拝の時には心配事や不親切な思いに妨げられてはならないということや、イエスと会うために、また聖天使たちを家の中に迎えるために親子が集まっているということを理解しなければなりません。礼拝は簡単で、活気に満ち、おりにかない、時々変化のあるものでなければなりません。聖書研究にはみんなが加わり、神の律法を学んで幾度もこれを繰り返さなければなりません。子供たちに聖書の読む個所をえらばせると、彼らの興味が増します。読んだところを子供たちに質問し、また子供たちに質問させます。その意味をわからせるのに役立つような例を話して聞かせます。礼拝がこのようにあまり長くならなければ、子供たちにも祈りをさせ、一節でも賛美歌を一しよにうたいます。

礼拝を正しく行うためには、準備に心を用いなければなりません。親は毎日子供と一しよに聖書を研究する時間を持たねばなりません。これを実行するためには、努力と計画と、ある程度の犠牲が確かに必要ですが、しかしその努力は十分にむくいられます。

教育・二三八ページ

## 一一六 信仰のもてなし

家庭生活と社交的なまじわりがキリストの柔和と単純に支配されるならば、私たちはもっと幸福に、もっと有用になります。見えのためや、あるいは来客の感嘆や羨望をひきおこすために骨折らないで、明るさと同情と愛によって、周囲の人々を楽しくするように努力しなければなりません。私たちがキリストのみこころに一致しようと努力していることを来客に認めさせねばなりません。たとえば身分は低くても、私たちの中には感謝と満足の精神があることを彼らに認めさせなければなりません。真のクリスチャン家庭のふんいきは、平和と平穩のふんいきです。こういう模範は、必ず効果を及ぼします。……

お客をもてなし楽しませる努力をする時に、神への義務を見過ごしにしてはなりません。どんなことがあっても、祈りの時間をおろそかにしてはなりません。おしゃべりや遊びに疲れてしまつて、みなが礼拝の時間を楽しめなくなるような事があつてはなりません。こういうことは、神に不完全なさげ物をするようになります。夕方早く、あわただしくなく、はつきりした頭で祈ることのできる時に、神に祈願をささげ、感謝と喜びの声をあげなければなりません。

祈りの時間は、一日のうちで最も大切で、最も神聖で、そして最も楽しい時間であるということ、クリスチャンを訪問するすべての人に認めさせなさい。こうした礼拝の時間は、これに加わるすべての人の心を高め、洗練する効果を及ぼします。そのことによって精神に平和と感謝の思いが生れます。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八八七年十一月二十九日



## 第二部

## 衣服と飾り

服装によってその人の品性が判断されます。洗練された趣味や教養のある知性は、単純で似つかわしい服装の選択にあらわされます。質素で清楚な衣服は、けんそんな態度と相まって、若い女性を気高い慎み深いふんいきに包み、その人を多くの危険から守るのに非常に役立ちます。

教育・311 ページ

## 一一七 品性形成の要素

言葉と行いに気をつけるように子供や若い人々を教育することは大事なことです。彼らの行為は、自分の家の人々にばかりでなくまた接触するすべての人に暗さが明るさを感じさせるからです。しかし若い人たちが注意深くまた思慮深くなり、あらゆる種類の悪から遠ざかるには、まず天来の知恵と、イエスだけが与え得る力を求めなければなりません。……

### 真の飾り

顔かたちがよくて、派手な服装をしていれば、世間の人々から重んじられると考えがちをして、いる人々が少なくありません。しかし外面的な装いだけの魅力というものは、浅薄で、あてにならず、長つづきしません。キリストがご自分に従う者たちに命じておられる飾りこそ、決して色のあせることのない飾りです。

「あなたがたは髪をあみ、金の飾りをつけ、服装をととのえるような外面の飾りではなく、かくれた内なる人、柔和で、しとやかな霊という朽ちることのない飾りを、身につけるべきである。これこそ、神のみまえに、きわめて尊いものである」と言われています（ペテロ第一・三ノ三、四）。もし若い人たちが外観を美しくするために費す時間の半分でも心の修養すなわち内面的な飾りのために用いたら、彼らの態度や言葉や行いはどんなに違ったものになるでしょう。ほんとうにキリ

ストに従おうとしている人たちなら、自分の着る衣服について良心的なためらいを感じます。そして彼らは、主がはつきりとお与えになっている命令の要求に添うように努力します。衣服のためには浪費されている金銭は、神のみわざの発展と、有益な知識を心にたくわえ、信任される地位につく資格を身につけるために用いられます。こうして彼らは無限の価をもつて彼らを買ってくださったイエスの期待に添うように努めます。

愛する青年方よ、イエスは、この世においてイエスを愛しイエスに仕える者のために備えておられる家に、あなた方を迎えるために全力を尽してくださいました。イエスは天の住居を捨てて、罪に傷ついたこの世においでになりました。イエスのありがた味のわからない人たち、イエスの純潔と聖潔を好まない人たち、イエスの教えを軽んじ、ついには、イエスを最も残酷な死に渡した人たちのところへ彼はおいでになったのです。「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それはみ子を信じる者がひとりも滅びないで永遠の命を得るためである。」

## 外 観

神はあなたのために払われたこの大きな犠牲の代りに何かを望んでおられます。神がご望みになれていることは、あなたが、名前だけでなく、服装においても会話においても、クリスチャンであるようにということです。神は、あなたがひだ飾りや羽毛や不必要な飾りをつけた服装でなく、つましい服装に満足するように望んでおられます。神はあなたの態度が、神の承認されるような魅力のあるものとなるように望んでおられます。愛する青年方よ、この期待を裏切つてよいでしょうか。

外觀はしばしば心の表示となります。世の人々は私たちのかかげている看板を見て、私たちの信仰を判断するのですから、注意しなければなりません。どうか愛される子供としてイエスに従い、すべてのことにおいてイエスのみこころの現われに服従していただきたい。心の飾りを熱心に求め、救い主をよるこばせてください。こうして日に日に、イエスの助けによって、自我にうち勝つことができず。高慢と見えの欲は、あなたの心と生活から払いのけられます。そして、柔和な心と簡素を好む心が生れます。こうして、若い人たちはキリストの忠実な兵士となることができます。

私たちは危機の時代に生存しています。神を愛し神に従うと告白している人々が日常生活において神を否定しています。「人々は自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、高慢な者、神をそしめる者、親に逆らう者、恩を知らぬ者、神聖を汚す者、無情な者、融和しない者、そしめる者、無節制な者、粗暴な者、善を好まない者、裏切り者、乱暴者、高言をする者、神よりも快樂を愛する者、信心深い様子をしながらその実を捨てる者となるであろう」(テモテ第二・三ノ二)。愛する青年方よ、神はあなた方がこうした者の仲間になる事をお望みになりません。神のみことばを通して、どうしたらこれらの悪を避け、ついには勝利者となることができるかを学ぶことができます。……

「兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしのことばとによって彼にうち勝ち、死にいたるまでも、そのいのちを惜しまなかった」(黙示録一一ノ一)。「その時、主を恐れる者は互に語った。主は耳をかたむけてこれを聞かれた。そして主を恐れる者、およびその名を心に留めている者のために、主の前に一つの覚え書きがしるされた」(マラキ書三ノ一六)。

## あかし

悪のみかけを避けるだけでは十分ではありません。それ以上のものでなければなりません。「善を行うことをなら」わねばなりません（イザヤ書一ノ一七）。あなたは世にキリストを代表しなければなりません。神のみわざに働くことを学ぶことがあなたの日課でなければなりません。キリストに従う者は「すべての人に知られ、かつ読まれている」生きた手紙でなければなりません（コリント第二・三ノ二）。

ただ心に願うだけではよい品性を得ることはできません。よい品性は努力することによってのみ得られます。よい品性を得たいという願いは、熱心で正直な努力と忍耐強い骨折りとなって現われなければなりません。進歩のはしごを毎日一段ずつ登って行くときに、最後には勝利者として、頂上に立つことができます。そうです、あなたを愛してください。イエスを通して、勝利者以上のものとなることができます。

ザ・ユース・インストラクター・一八九六年一月五日

## 衣服によって判断される信仰

若い方々よ、流行の衣服を着、首飾りや金の細工物を身につけて見えをよくしたいという気持ちがあると、あなた方の信仰、すなわちあなた方が口にしている真理は、他人に対してききめがありません。思慮のある人々には、外面を飾ろうとするあなた方の努力は弱い心と虚栄心の証拠として受け取られます。私は若い姉妹方に、単純で簡素で、つつましい衣服をおすすめしたい。あなた方の

単純な衣服と態度ぐらい光を輝かすものは他にありません。永遠の事物とくらべて、この世のものにはそれだけの評価をしているということを、すべての人に示すことができます。

教会へのあかし・第三巻・三七六ページ

## 一一八 衣服と品性

キリストに従う者は、地の塩であり、世の光であるとキリストは仰せになりました。クリスチャンによる救いの感化がなければ、世は自らの墮落のうちに滅びてしまいます。クリスチャンたることを公言している人々の中には、衣服や風彩におかまいなしだったり、衣服と同じように事務的な処理にもだらしがなかったり、態度がぞんざいで、礼儀知らずで、乱暴だったり、話すことが低級だったりして、しかもこうした悲しむべき性格を真のけんそんとクリスチャン生活の特徴であると考えている人がいます。もし救い主がこの地上におられたら、イエスはそういう人々をさして、地の塩、世の光とおっしゃるでしょうか。決してそうはおっしゃいません。

クリスチャンの語ることは高尚です。彼らは、卑下してくだらないお世辞を言うことは罪だと信じていますが、しかし礼儀正しく、親切で、博愛に富んでいます。クリスチャンの語ることはまごころと真実がこもっています。彼らは同信の兄弟たちや世の人々に対して忠実です。服装においては、なくてもよいような飾りやみせびらかしを避けますが、着るものはきちんとした、けばけばしくない、つつましい、その人にふさわしい秩序と趣味のものを着用します。聖安息日や神の礼拝

のためには、神聖な気持をあらわす服装をするように特に注意します。

こういう人々と世人との境界線ははっきりしていて、まぎれる余地がありません。これまで不注意ならしのない習慣をもっていた人々が真理を受け入れ、その真理によつて高められ、きよめられて、きちんとしたよい趣味の衣服を着る習慣がついたら、その信者の感化力は十倍も大きいものになります。私たちの神は秩序の神です。神は少しでも乱雑や不潔や罪があることをおよろこびになりません。

### 流行との関係

クリスチャンは世の人々とちがった服装をして人目をひく者となつてはなりません。しかし、私たちが自分の信仰と義務に従つて服装をつつましく健康的なものにしようとして、それがもし流行おくれであつたとしたら、世の人々と同じようになるとして服装を変える必要はありません。世の人々がみな自分たちとはちがつていても、とうとい個性と、正しいものでありたいという道德的な勇気をあらわさねばなりません。もしつつましく、便利で、健康的な服装様式が世にはやり、それが聖書の教えに一致したものであるなら、そういうスタイルの服を着ても、神や世の人々に対する私たちの関係には少しもさしさわりがありません。クリスチャンは、キリストに従い、服装を神のみことばに一致させねばなりません。人々の賞賛や、誹謗に氣をとられず、まっすぐな道をけんそんに歩み、正しいことはあくまでも正しいとしなければなりません。

レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇〇年一月三〇日



## 一一九 正しい服装

聖書は、つつましい服装について教えています。「女はつつましい身なりをし、適度に慎み深く身を飾るべきであって……」（テモテ第一・二ノ九）。みせびらかしのための衣服や、けばけばしい色彩やおびただしい飾りがここに禁じられています。人々の注意を自分にひいたり、人々の称賛をひきおこすためのいろいろな工夫をこらすことは、神のみことばによって命じられているつつましい服装のうちにはいりません。

### 衣服の経済

衣服は、費用のかからないものであるべきで、「金や真珠をつけたり高価な着物」であってはなりません（テモテ第一・二ノ九）。金銭は神から委託されたものです。それを自分のものとして、誇りや欲望の満足のために費してはなりません。それは、神の子らの手にあるときに、飢えた者の食物となり、裸の者の着物となります。それはしいたげられる者に福音を説くものとなります。今みせびらかしのために使われている金銭を賢明に用いるならば、多くの人の心に幸福をもたらすことができます。キリストの一生を考えなさい。キリストの品性を学んで、その克己にあずかる者となりなさい。

クリスチャンと自称する人々の社会において、飢えた者に食べさせ、裸の者に着せるのに十分な

お金が、宝石や、不必要に高価な衣服のために費されています。貧しい者や苦しんでいる者をなくさめることのできる金銭が、流行や見えのためにつぎこまれています。そのために救い主の愛の福音が世界から奪われているのです。……

## 品性と趣味

衣類は、つましく質素でなければならぬと同時に、品質がよくて、色彩も似つかわしく、奉仕にふさわしいものでなければなりません。人に見せるためというより長持ちの点を考えて選ばねばなりません。あたたかくて、適当な保護となるものでなければなりません。賢者ソロモンは、箴言の中にこう言っています、「彼女はその家の者のために雪をおそれない、その家の者はみな紅の着物を着ているからである」(箴言三一ノ二一)。

## 健康と清潔

衣服は清潔でなければなりません。不潔な衣服は非健康的で、肉体にとっても魂にとっても汚れとなります。「あなたがたは神の宮であって……もし人が、神の宮を破壊するなら、神はその人を滅ぼすであろう」(コリント第一・三ノ一六、一七)。

衣服はすべての点において健康的でなければなりません。何よりも神は私たちが「すこやかであるように」と望んでおられます(ヨハネ第三・一二)。それは私たちの肉体と魂の健康を意味しています。肉体と魂の健康のために、神と共に働く者とならねばなりません。健康的な衣服によって肉体

と魂の健康が増進されます。

### 上品さと自然の美しさ

衣服は、上品さと美しさと自然で簡素なふさわしさがなければなりません。キリストは生活における誇りを戒められましたが、しかし上品さと自然の美しさには反対されませんでした。彼は野の花や純潔なよそおいのゆりの花をさして、「栄華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった」と言われました(マタイ六ノ一九)。このように、キリストは天が尊ぶ美しさ、すなわち、私たちの服装を神によるこばれるものとする、つつましい上品さ、簡素、純潔、ふさわしさを、自然の事物を通して例示されました。

教師、親、生徒への勧告・三〇二、三〇三ページ

### 一二〇 衣服の影響

上品な服装に反対はありません。上品な趣味を悪いと言ったり、軽蔑したりしてはなりません。信仰が実生活にあらわされるときに、私たちは簡素な衣服を着るようになります、善行に熱心になるのです、自然に私たちは目立った存在になるのです。しかしきちんと、さっぱりした衣服の趣味がなく、実質的に真理を離れることになります。というのは、真理は決して私たちを墮落させるものではなく、高めるものだからです。信者が服装にかまわず、行儀が乱暴になるとき、その感化は

真理をそこないます。靈感を受けたパウロは「わたしたちは、全世界に、天使にも人々にも、見せ物にされたのだ」と言いました（コリント第一・四ノ九）。全天はキリストに従う者たることを告白している人々が世に及ぼす影響を毎日注目しています。…

簡素な衣服は賢い婦人を最もひきたたせます。着ている衣服のスタイルによつて、その人の品性が判断されます。つましい敬虔な婦人はつましい服装をします。洗練された趣味や教養のある心は、質素でふさわしい服装をえらぶことにあらわされます。流行の奴隷たることを断ち切る若い女性は社会の誇りです。服装と態度に見えを張らない簡素な女性は、真の女性の特性が道德的価値にあることを理解しているのです。簡素な衣服は、なんと美しく、好ましいものでしょう。それは野の花にくらべられる美しさです。 レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇四年十一月一七日

## 一一一 簡素な衣服

「あなたがたは、髪を編み、金の飾りをつけ、服装をととのえるような外面の飾りではなく、くれた内なる人、柔和で、しとやかな霊という朽ちることのない飾りを身につけるべきである。これこそ、神のみ前に、きわめて尊いものである」（ペテロ第一・三ノ三）。人はいつもいろいろ議論しては、神のみことばの単純で、率直な教えを言いのがれようとしていたり、捨てたりしようとしてきました。どの時代にも、クリスチャンたることを自称している人々の大部分が、克己とけんそんを命じている戒めや語ることふるまうことに、あるいは服装につつましさと単純さを要求している戒

めを無視してきました。その結果は、いつの場合にも同じです。すなわち福音の教えから離れることは、世の流行と習慣と主義を取り入れることになるのです。死んだ形式主義が生きた敬虔と入れ代ります。神の臨在と力は世俗を愛する人々の群れから取り去られ、それはもつと敬虔な礼拝者たち、すなわち聖書の教えによるこんで従う人々の中にみられます。このような経験は各時代にわたって繰り返されてきました。つぎつぎと異なった教団が起りましたが、彼らはその単純さを捨てたために、初めのころの力を大部分失っています。

### 神の民の落し穴

私は、現代の真理を信じると告白している人々の中に、流行と見えを愛する心があるのを見ると、神の民は過去の歴史から何も学ばないのだろうかと悲しい心でたずねないではいられません。自分自身の心のわかる人は少ないのです。流行を追うようなふまじめな虚栄心の強い人でも、自分はクリスチャンだと主張するかもしれません。しかしその衣服と語ることは、その心を占めているもの、その愛情をひきつけているものが何であるかが現われています。彼らの生活は、彼らが世の友であることを暴露しており、世は彼らを自分のものとしめます。

キリストの愛を一度経験した者がどうして浅薄な流行に満足できるでしょうか。柔和でけんそんな救い主に従う者であることを公言している人々が、衣服のことで世の標準に一致しようと努力しているのを見ると、私の心は痛みます。敬虔を口にしながら未信者とすこしも区別がつかません。彼らは信仰生活を楽しんでいません。彼らの時間と金銭は、見えのために衣服をつくるという一つ

の目的のために費されています。

衣服についての虚栄と浪費は、女性が特に陥りやすい罪です。ですから使徒パウロは、直接に女性に向かつてこう戒めています。「女はつましい身なりをし適度に慎み深く身を飾るべきであって、髪を編んだり、金や真珠をつけたり、高価な着物を着たりしてはいけない。むしろ、良いわざをもって飾りとすることが、信仰を言いあらわしている女に似つかわしい」(テモテ第一・二ノ九)。

## 改革の必要

神のみことばによって罪に定められている悪が教会の中に着々と足場を占めているのがみられます。この問題について、教会の当事者にはどんな責任があるでしょうか。教会員の多くが、明らかに示されている神のみことばに従わないで、流行の命令に従っているとき、教会はその本来の感化を及ぼすことができるでしょうか。私たちの間にこういう状態があるのをそのままにしておいて、どうして聖霊の臨在と助けを期待できるでしょうか。キリストの教えが、信者たることを自称している人々から捨てられているのを私たちはだまっていられるでしょうか。神の教会を監督している人々は、こうした事態を見て悲しみ、困惑します。クリスチャンたるわが姉妹方は、この問題について祈りのうちに率直に反省しようではありませんか。神のみことばによって導かれるように求めようではありませんか。世の流行そのままの衣服をつくることに費される余分な時間を、心をさぐり、聖書を学ぶためにささげねばなりません。不必要な飾りをつくるために費される有害無益な時間、もしこれを正しい原則と内容のある知識を学ぶために用いるなら、黄金よりも価値のあるも

のとなります。キリストに従う者であることを口にしている若い女性が、キリストの品性とみこころについて実際に無知であるのを見ると、私の心は痛みます。このような若い人たちは、**かす**を食べて満足しているのです。この世の金ぴかの飾りが永遠の富よりも価値あるものに見えるのです。考え学ぶことによつて啓発されるべき知力が眠ったままになっており、感情は修養のないままになっています。それは霊的な美しさや知的な力よりも外面的な装いが重要視されているからです。

## 心の飾り

キリストに従う者は心の飾り、すなわち神が非常に高価なものと宣言された柔和で静かな精神を持つように努力すべきでしょうか。それともこの短い恩恵の時間を見えのために不必要に骨折ることに浪費すべきでしょうか。主は、女性がたえず頭と心の進歩に努力し、世の祝福また創造主の誉となるような有益で楽しい人生を送ることができるように、知的、道德的な力を得ることを望んでおられます。

現代の真理を信じると公言している今日の若い人たちに、真理のためにどういう点に自我を押えているかをたずねたいのです。あなた方は、衣服や飾りや何か便利な品物が実際にほしい時に、そのための金銭の消費を聖霊が是認なさるかどうかを知るために、この問題を祈りのうちに主に相談しますか。衣服をこしらえるときに、信仰の告白をはずかしめないように注意していますか。そのために用いられる時間の上に神の祝福を求めることができますか。教会に加わることと、キリストと一体になることとは全く別な問題です。信仰を告白しながら、献身のできていない、世俗を愛す

る者がいることは、キリストの教会を弱める最も重大な原因の一つです。

現代は、かつてないほどに享樂に熱狂しています。酒色と無謀なぜいたくがいたるところに見られます。群衆は娛樂を追い求めていきます。瞑想の習慣がなく、学ぶ訓練がないために、頭は輕率で浅薄になります。無知なセンチメンタリズムがはやっていきます。神はすべての魂が教養をつみ、洗練され、高められ、高貴なものとなるように要求しておられます。しかし流行の見えや浅薄な享樂のために価値のあるあらゆる知識がなおざりにされている場合があります。婦人たちは、流行のために自分の魂を飢えさせ、やせ細らせています。このようにして彼らは社会の祝福となるよりも、むしろ災となります。

レビユー・アンド・ヘラルド・一八八一年二月六日

## 一一二 衣服という偶像

衣服を偶像視することは一種の精神的な病氣です。これを新しい生活に持ち込んではいけません。たいていの場合、福音の命令に従うには、衣服における決然たる変化が必要です。

衣服について不注意であってはなりません。私たちは、キリストの証人ですから、キリストのために私たちの外觀をできるだけ利用しなくてはなりません。幕屋の奉仕において、神は、み前に仕える者の衣服について細かいところまでお定めになりました。このように神はご自分に奉仕している者の衣服について一つの好みをもっておられることが教えられています。アロンの衣について与えられた指示は非常に明確なものでした。それは彼の衣が象徴的だったからです。そのように、キ



リストに従う者の衣服も象徴的でなければなりません。すべてのことにおいて私たちはキリストの代表者でなければなりません。私たちの外観はすべての点において、さっぱりしていて、控え目で、純潔が目立っていなければなりません。神は、私たちがただ流行のためだけに、すなわち世間の人たちと同じように見られたいために衣服を変えることを承認しません。クリスチャンはぜいたくな衣服や高価な装身具で身を飾ってはなりません。

私たちは、衣服について、聖書のみことばに注意深い考慮を払わねばなりません。天の神が私たちの身体の服装についてまで関心をよせておられることを理解しなければなりません。キリストの恵みを熱心に求める者はだれでも、神の靈感による尊い教えのみことばに注意しなければなりません。服装のスタイルでさえも、福音の真理を表わしうるのです。

教会へのあかし・第六巻・九六ページ

## 一一三 真の飾り

いたるところに墮落的なぜいたくが流行し、衣服と見えへの執着のために魂が減びています。流行にこっている人々の中で、十人のうち九人まで、その生活は生きた虚偽です。虚偽と欺瞞が彼らの日常のなりとなつていきます。なぜなら、彼らは他人から自分自身ではないものに見られようと思んでいるからです。

魂の気高さ、やさしさ、物惜しみしない心は、悪の欲望を満足させることと取り代えられていま

す。幾千の人々が世の流行を追う金がほしいばかりに美德を売っています。世の移りかわる流行を追うこの狂気をみて、単純で質素な服装という立場をとる改革者の群れが起らねばなりません。サタンは金銭と時間と健康を犠牲にしなければついて行くことのできないような流行をたえず発明しています。

### 世俗に従うこと

流行という点において世の中がどんなに墮落しているかを目の前に示されている私たちクリスチヤンは、どうして世俗の道に従うことができるでしょう。そうした墮落的な流行を取り入れることによって、これを承認しているようにみられてよいでしょうか。実際多くの人々が世の流行を取り入れています。それは彼らのうちに栄光の望みであるキリストが形作られていないからです。豪華な生活やぜいたくな衣服は世の終末のしるしの一つとさえなっています。

誇りと虚栄がいたるところにみられます。鏡を見て自分で自分に感嘆する気はあっても、偉大な道德的鏡である神の律法を見ようとする気はほとんどありません。このように衣服を偶像視することは、品性のけんそんなと柔和と美しさを全く滅ぼしてしまいます。瞑想と心の吟味と、祈りのうちに神のみことを学ぶことに専念すべき貴重な時間がつぶれてしまいます。神のみことばの中に、特に私たちに教えるために靈感による教訓がしるされています。...

衣服にうき身をやつすことは、博愛慈善の働きのために託されている金銭を使いこむことで、その法外な出費は神に対する盗みの行為となります。私たちの手にある金銭は虚栄心の満足や見えの

欲のために与えられているではありません。私たちは賢い家つかさとなつて、裸の者に着せ、飢えた者に食べさせ、神の働きを前進させるために、金銭を用いなければなりません。飾りがほしければ、柔和、けんそん、上品、思慮分別という美德を身につけるべきで、これらのものこそ、境遇や身分にかかわらず、どんな人にもふさわしい飾りです。

忠実な見張り人としての立場を守り、この墮落した時世の遊蕩と浪費における快樂を私たちのことばと行為によつて威圧しようではありませんか。若い人たちに正しい模範を示し、飲むにも食べるにも、何事をなすにも、すべて神のみ栄えを表わそうではありませんか。

レビュー・アンド・ヘラルド・一九一二年一月二日



第一三  
部

レ  
ク  
リ  
エ  
ー  
シ  
ョ  
ン  
と  
娯  
楽

レクリエーションと娯楽はちがうものです。レクリエーションは、re-creation（再び造る）というその名の示す通り、力を養い、築くのに役立ちます。レクリエーションによって、私たちは日常の心配や仕事から離れて、心身に生気を回復し、新しい力をもって人生のまじめな働きに戻ることができます。一方娯楽は、歓楽のためであり、とかく度を過ぎしやすく、有力な働きのために必要なエネルギーを奪われ、そのため人生の真の成功の妨げとなります。

教育・262ページ

## 一二四 レクリエーシヨンの価値

クリスチャンはどんな人よりも楽しくて幸福な民でなければなりません。彼らは、神が彼らの父であり永遠の友であるという意識を持つことができるのです。

しかしクリスチャンと称する人々の中には、キリストの信仰を正しく表わしていない人々が少なくありません。彼らは、雲の下ににいるように陰気にみえます。彼らはクリスチャンになるために自分がどんなに大きな犠牲を払ったかをよく口にします。彼らはキリストを受け入れていない人々に向かつて訴え、人生を愉快に楽しくするようなものは一切断念しなければならぬことを自分自身のことばと行為に表わします。彼らは幸福なクリスチャンの望みに黒い幕を投げかけます。こうして、神の要求は、自発的な魂にとってさえ重荷であり、よろこびを与え趣味を楽しくするようなものは一切犠牲にしなければならぬのだという印象が植えつけられます。

こういう種類の自称クリスチャンは、ほんとうのものを持っていないのだと私はちゅうちょなしに言えます。神は愛です。神の内に住む者は愛の内に住みます。実際の経験による知識を通して天父のやさしいあわれみをほんとうに知るようになった人はみな、どこにいても光と喜びとを他人に与えます。彼らの存在と感化は、交わる人々にとって、かぐわしい花のかおりのようです。彼らは、神と天につながっているのです。天の純潔と気高い愛とは、彼らの感化を受けるすべての人々に伝えられます。こうして彼らは世の光、地の塩となります。彼らは実に「死から死に至らせる」もの

とはならないで「いのちからいのちに至らせるかおり」となります（コリント第二・二ノ一六）。

### クリスチャンのレクリエーション

体力と知力とを神の栄えのために用いることができるように、無邪気なレクリエーションによって精神を新たにし、身体を元気にすることはクリスチャンの特権であり、また義務です。私たちのレクリエーションは、ばかげた種類の、思慮のない歓楽であってはなりません。私たちの交わる人の益となり、彼らを向上させ、クリスチャンとして私たちの上に負わされている義務を、もつとよく果すのにふさわしい者となるような方法でレクリエーションを実行することができます。

日常生活の義務を忠実に果たさなくなり、神と天の事物について瞑想する気持を低下させるような傾向の娯楽をたのしむことは神の前に言い訳の余地がありません。キリストの宗教は人を向上させ励ます力を持っています。それは、ばかばかしい冗談や、からかいや、空虚なくだらないおしやりなどを超越するものです。レクリエーションの時に、私たちは神という源から新しい勇氣と力をいただいて、生活を純潔と真の徳と聖潔にまで一段と高めることができます。

### 美を愛する心

大いなる神でさえ美しいものを愛されます。神はこの点についてご自身のみ手のわざの中に、まぢがう余地のない証拠を与えておられます。神は始祖アダムとエバのためにエデンに美しい園を設けられました。神は地からあらゆる種類の堂々たる大木を生じさせて、これをいろいろな用に役立



たせ、また飾りとされました。たぐいまれな美しさであらゆる色どりの美しい花がつくられて、かぐわしいかおりをただよわせました。羽色もとりどりのたのしげな小鳥たちがよるこびの歌をかなでて創造主を賛美しました。神は、人間が神の造られたものを世話して働くことに幸福を感じ、園の果物の木によってその必要が満たされるように計画されたのです。

始祖アダムとエバのエデンの住居をくらべるものもないほどに美しくお造りになった神は、みごとに木やきれいな花など、自然界におけるすべての美しいものを私たちの幸福のためにお与えになりました。私たちが神のご品性について正しい観念を持つように神はこのような愛のしるしをお与えにくださったのです。

神はご自分の子らの心に美しいものを愛する心を植えつけられました。しかし多くの人々はこの愛を悪用しています。人々は神がお与えになった恩恵と美を拝んで、これをお与えくださった神そのものを忘れていきます。神のすべての創造のみわざの中にあらわされている神の愛をみとめ、私たちの心の最も聖なるそして最高の愛情を神にささげることによって、こうした神の愛の証拠にこたえなければなりません。

### 大画家であられる神

神は私たちのまわりを美しい自然の風景でかこんで、私たちの関心をひきつけておられます。神は私たちが自然の美しさと神のご品性をむすびつけて考えるように計画されました。自然という書物をまじめに研究してみると、自然こそは、神の限らない愛と力について瞑想する上に豊かな源で

あることがわかります。

多くの人々は、画布の上に美しい絵をかく芸術的な手腕を絶賛します。多くの人々はあらゆる能力をかたむけて絵にうちこみますが、しかしそれはなんとほかに自然に及ばないことでしょう。どんな絵も自然のうちにみられる完璧さには達しません。多くの自称クリスチャンは、日没時の絵にうつとりとなって、画家の腕前を崇拜しますが、しかし晴れた夕方に見ることのできる実際の輝かしい日没は無関心に見過ごしています。

画家はどこから構想をひき出すのでしょうか。自然からです。しかし大画家であられる神が天という移り変わる画布に壮麗な日没をおかきになるのです。神は天を金色銀色真紅の色に塗って輝かせます。それはあたかも私たちがその輝きをながめ、天の内側の栄光を想像することができるよう、その入口が開かれたかのようです。多くの人々はこの天にえがかれた絵を不注意にみすごします。彼らは天にみられる比類のない美しさの中に神の無限の愛と力とをみとめようとしません。そして不完全な絵すなわち大画家であられる神の絵をまねて描いたものを見て、これを崇拜してよろこんでいるのです。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八七一年六月二五日

### 誘惑に抵抗するのに適しない

遊ぶことやはやかな享樂が好きな人たちとつきあいながら、同時に誘惑に抵抗することができると思っではなりません。

ザ・サインズ・オブ・ザ・タイムズ・一九〇〇年六月二〇日

一一五 世俗的な享樂を愛する心

グループとして若い人々の心が世俗を愛する心で占められていることは驚くべき事実です。多くの者は、神のあわれみがまだとどまっているこのとうとい恩恵期間が一大休日でもあるかのようにな、そしてただ絶えまない刺激のくりかえしの満足と、自分自身の享樂のためだけにこの世に生まれてきたかのようにふるまっています。彼らは世と世の事物に楽しみを見いだし、天父やみたまの恩恵には縁遠いのです。多くの者は語ることは向こう見ずです。彼らは、自分の語ることはによって、義とされるか罪に定められるかのどちらかだということを忘れていきます。多くのわが青年たちの生活にめだつてみえる輕薄さや空虚なむなしのおしゃべりや笑いは神の榮えを汚すものです。……

サタンは若い人たちがこの世の娯樂を楽しみ、しかもこのような娯樂が無害で無邪気で、健康上重要でさえあることを一所懸命に示して、自らを正当づけるようにしむけます。サタンは、聖潔の道を困難にみせ、この世の娯樂の道には花がばらまかれてるようにみせます。

サタンは、若い人たちの前にこの世と快樂とを、偽りの、うれしがらせの色彩をもつて飾ります。しかし地上の快樂はたちまち終ってしまいます。そして自らまいたものは自ら刈りとらねばなりません。容姿の美しさ、才能や能力などは、私どもをつくり、一刻一刻を見守つてくださる神にささげるにはあまりに高価すぎるでしょうか。私たちの資格はあまりに貴重で神にささげられないでしょうか。

## 知 恵 の 道

若い人たちはよく自分たちには、気をひきたたせ、まぎらわせるようなものが何か必要だと主張します。クリスチャンの望みこそはその必要なものです。宗教は、信じる者にとって、慰めるものとなり、真の幸福の泉への確かな案内者となります。若い人たちは、神のみことばを学び、祈りと瞑想のために十分な時間を費さねばなりません。余分な時間をこれよりもよく用いることができないことがわかります。知恵の「その道は楽しい道であり、その道筋はみな平安である」とあります（箴言三ノ一七）。

パウロは、テトスに手紙を書いて、若い人たちに謹厳を勧めています。「若い男にも同じく、万事につけ慎み深くあるように、勧めなさい。あなた自身を良いわざの模範として示し、人を教える場合には、清廉と謹厳とをもつてし、非難のない健全なことを用いなさい。そうすれば、反対者も、わたしたちについてなんの悪口も言えなくなり、自ら恥じいるであろう」（テトス二ノ六）。

青年方よ、どうかあなた方自身の魂のために、使徒パウロのこの勧めに留意してください。すべてこうした情深い教えや警告や譴責は、生命にいたるかおりか死にいたるかおりかのどちらかです。若い人たちは、とかく自分たちにはたいした責任や心配や重荷を負うことは期待されていないのだと考えがちです。しかし、聖書の標準に到達する義務はどの人にも負わされています。特権と機会の中に、またみことばの働きと助言と警告と譴責の中に輝いている光は、品性を完成するかあるいは不注意な者を罪に定めるかのどちらかです。年長の者も若い者と同じくこの光を宿さなければ

ばなりません。いま神のために立ちあがり、神への奉仕を人生の第一とするように決心する者はだれでしょう。だれが重荷を負う者となるでしょう。

「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ」（伝道の書一一ノ一）。イエスは青年の若々しさを持つている人々の奉仕を望んでおられます。イエスは彼らが永遠の生命を継ぐ者となるように希望しておられます。多くの青少年を幼い時からむしばむ道德的墮落が世に満ちているにもかかわらず、彼らははりつばな男女に成長することができます。彼らはキリストの内にあつて自由です。彼らは暗黒の子らではなく、光の子らです。

神はすべての若い男女が一切の悪習慣を断ち切つて、仕事に熱心になり、盛んな精神力で主になれるようにと呼びかけておられます。悪い習慣にうち勝つために、あるいは行為を改めるためになんの努力もしないで、ただなまけていてはなりません。彼らの祈りの真剣さは、神のいましめに従うために力強く努力することによつて証明されます。彼らは、主がみたまの力によつて勝利する力を与えてくださることを信じ、一步一步と悪い習慣や交際を断ち切ることができます。

### 小 事 に 忠 実

個人的な、たゆまない、一致した努力は成功によつてむくいられます。この世で多くの良いことをしたいと望むなら、神の方法によつて、小さなことを喜んでしなければなりません。何か素晴らしい、偉大なことをして最高の業績をうちたてようと望む者は何一つできません。

よい働きに堅実に進歩し、一つの忠実な奉仕を幾度もくり返すことは、神の御目には、一つの大

きな働きをするよりも尊ばれ、若い人たちの評判がよくなり、その努力がみとめられます。

青年は魂を救う働きに役立つことができます。若い人たちは、自分に託されている才能の使用について神に対する責任があります。神のむすこ、娘であると言っている者は、高い標準をめざさない。そして、神から与えられているあらゆる能力を用いなさい。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇七年一月一日

### 満たされないあこがれ

たえず享樂的な娯樂を求めることは魂の深いあこがれを表わしています。しかし、世俗の楽しみという泉から飲む者は、魂のかわきが満たされないことを知ります。彼らはだまされているのです。彼らは歡樂を幸福とまちがえているのです。そして、興奮が静まると落胆と絶望の淵に沈んでしまいます。「いのちの水の泉」を捨てて、世俗の楽しみという「こわれた水ため」から飲むとは、なんとという狂気、なんとという愚かさでしょう(黙示録二一ノ六、エレミヤ書二一ノ三)。

キリスト教教育の基礎・四二二ページ

### あかしの機会

あなたがほんとうにキリストのものであるなら、キリストのためにあかしをする機会があるはずで。何か歡樂の席へ出るように招かれたとすると、その時こそ主のためにあかしをする機会です。その時、あなたがほんとうのクリスチャンなら、出席できないことについてなんといい訳をしよう

などと考えないで、自分は神の子だから、主の臨在を仰ぐことのできないような場所へ、ただの一度でも出ることは自分の主義が許さないということ率直に、けんそんに、はっきり言えるはずす。

ザ・ユース・インストラクター・一八九三年五月四日

## 一一六 忠告のことば

神は、知力だけでなく体力も訓練するように命じておられます。しかし、肉体的な運動の性格はキリストが弟子たちにお与えになった教訓と完全に一致していなければなりません。そうした教訓がクリスチャン生活に実際に生かされ、教師や生徒が、すべての教育と自己鍛練において、天使たちから、「快樂の愛好者」として記録されるようなことのないようにしなければなりません。今日、多数の人々が、「神よりも快樂を愛する者」として記録されています(テモテ第二・三ノ四)。

こうしてサタンと悪天使たちは、魂にわなをしかけています。彼らは教師と生徒たちの心に働きかけ、彼らの心を夢中にならせるような運動や娯楽にさそいます。そうした運動や娯楽は下等な欲情を強め、人間の心に働きかける神のみたまの働きを妨げるような食欲と情欲を起させる性格を持つています。

学校の教師はみな運動すなわち仕事からの気分転換が必要です。神は有益で实际的な働きをそのために当てるように指示されました。しかし多くの人は、神の計画から離れて、人間の考え出したもの、靈的生活にとって妨げになるものに走りしました。他のどんなものよりも娯楽が一番みたまの

働きを妨げます。主はそのことを悲しまれます。

「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのようになり、食いつくすべきものを求めて歩き回っている」（ペテロ第一・五ノ八）。サタンは運動場に立つて、あなたの方の遊びを見えています。そして油断している魂を捕え、人の心に種をまき、人の考えを支配しようとしています。サタンは教室のどんな学習にも出席しています。ゲームに熱中している生徒たちは、彼らにとって最も大切な教えと忠告と譴責を受け入れる状態にありません。

知恵の神は、肉体の運動をはつきりお示しになっています。実際生活上の義務を習う助けとなる仕事、すなわち、すべての青年に必要な欠くことのできない仕事の面について有益な教育を生徒たちに施すために、毎日数時間を当てなければなりません。

どの学校、どの伝道機関においても、すべての人がみなダニエルのように、すべての知恵の源である神と密接につながって、あらゆる方面の最高の標準に到達するようにしなければなりません。ダニエルには、いつも神を愛しおそれる思いがありました。彼は神に服従すべきことを意識して、大教師である神の愛の守りにできるだけ答えるように、自分のすべての能力を訓練しました。四人のヘブルの青年たちは、人生の最も大事な時期に利己的な動機と歓楽を愛する心に占領されませんでした。彼らは自発的な意志と、敏活な頭脳で学びました。これはどのクリスチャン青年でも到達できる高さの標準です。

教師、親、生徒への勧告・二八一—二八四ページ



## 一二七 青年にとって危険な遊び

興奮と面白い娯楽を求める心は神の民、特に若い者にとって誘惑であり、またわなです。サタンは人々の心を近い将来に起ろうとしている場面への準備という厳粛な働きから引き離そうとして、たえず誘惑をしむけています。サタンは、世俗の人々の手を通して不注意な人々を世俗の楽しみを引き込むために絶えず興奮状態を保っています。みせものや講演やその他かぞえきれないほどのいろいろな催し物が人々の心を世俗への愛へ引きよせるように企てられます。そうして世とのこうした結合によって信仰が弱められます。

サタンは忍耐強い職人、巧妙な大敵です。お世辞であろうと、あるいは若い人たちに何かの罪に対する憎悪心を和らげるために語られたものであると、とにかく不注意なことばが語られるといつても、サタンはそれに乗じて悪の種を育て、根をはらせ、豊かな収穫を生じさせます。サタンは文字通りに欺瞞者であり、巧妙な魅惑者です。彼は細かく織った網をたくさん持っています。それはなんの害もないように見えますが、若い人たちが不注意な者をひっかけないように巧妙に準備されています。生れつきのままの心は快楽や自我の満足の方に傾いています。世俗の娯楽への欲望をもつて人の心を満たし、自分の魂の状態がどうなっているかを吟味する余裕を与えないようにするのがサタンの政策です。私たちの魂はどうでしょうか。

## 不幸な時代

今は若い人たちにとって不幸な時代です。社会の風潮は若い人に自分の心が自然におもむくがままにさせています。子供たちがわがままであると、親たちは子供たちがもう少し大きくなれば道理をわきまえて悪い習慣をやめ、役にたつ男女になるだろうとあてにならない希望を持ちます。なんという考え違いでしょう。何年もの間親たちは、敵が心の畑に種子をまき、悪い要素が育って強くなるのをそのままにしておいて、かくれている危険と、彼らには幸福に見える道の恐るべき結果とを認めていないようです。多くの場合、後になってこうした若い人々のために、どんなに骨折つても、なんの役にも立ちません。

クリスチャンと称する人々の中にあつて、敬虔の標準は一般に低く、多くの教会員によつて助長された世俗的な影響に抵抗することは若い人々にとって困難です。名ばかりのクリスチャンの大多数はクリストのために生きると公言しながら、実は世のために生きています。彼らは天の事物の美しさを認めることができず、したがってそれらをほんとうに愛することができません。クリスト教といえは尊敬の目をもつて見られるので、多くの人が自分はクリスチャンだと言います。彼らは、真のクリスト教とは十字架を負うことであることを認めません。彼らの宗教は、世俗的な快樂にふけないように彼らをひきとめる力をほとんど持つていません。

ある者はダンスホールにはいつて、その場のあらゆる享樂にふけります。ある者はこれほどではなくても、享樂的なパーティーやピクニックやショウや、その他世俗的な娛樂の場所へ出入りしま

す。どんなに目のきく人でも彼らの風彩には未信者との違いを少しも見つけることができません。

現在のような社会状態では、親が子供たちをひきとめて、聖書の正しい原則に従って教育するとは容易なことではありません。子供たちは制止されると、がまんができなくなり、自分の思うまま気の向くままにふるまいたいのです。特に十才から十八才までは、若い友だち同志の世俗的な会合に出ても、なんの害もあるはずがない、と彼らは考えがちです。しかしクリスチャンの経験のある両親は、そこに危険を認めます。彼らは、子供たちの一種特別な気質をよくわきまえていて、世俗的な事物が彼らの心にどんな影響を及ぼすかを知っています。親たちは、子供たちを救いたいとの思いから、こうした刺激的な娯楽に近づかないように彼らをひきとめなければなりません。

子供たちが、世の楽しみを捨ててキリストの弟子となるように自分で決心する時に、忠実に見守っている親たちの心からはどんなにか重荷がおりることでしょう。しかしその時でさえ親は努力をやめてはなりません。これらの若い人たちは、罪との戦い、生れつきの心の悪との戦いを懸命に始めたばかりで、特別な意味において、親の助言と見守りとが必要です。

### 青年たちの前途に横たわる試練の時

世俗の感化に負けた若い安息日順守者たちは、試みられ、ためされなければなりません。終末時代の危険が私たちの上にのぞんでいます。そして多くの人々が予想もしなかった試練が若い人たちの前途に横たわっています。彼らは苦しい困難な目に会い、その信仰が真実なものであるかどうかのためされます。彼らは人の子キリストを待ち望んでいると告白しています。しかし彼らのある者

は、未信者にとんでもないお手本を示しています。彼らは世俗的なものをあきらめようとししないで、世の人々と一しょに物見遊山やその他の享樂的な会合に出かけ、自分は罪のない遊びをしているのだとうぬべれます。しかしこういう道樂こそ彼らを神から引き離し、世の子らとならせるものです。ある人々は始終、世俗的な面に氣持を向けています。彼らの見解や感情は、克己心の強いキリストの弟子たちの精神よりもむしろ世の精神に一致しています。彼らが自分自身の氣持に最もよく合った精神の人々を友として選ぶことはごく当然なことです。そしてこういう人々は神の民に非常な影響を与えます。彼らは、信者の中にあつて信者という名前を共有していますが、未信者や教会内の弱い者や献身のできていない者にとって手本となっています。このきよめの時にあたって、こういう名ばかりの信者は、まったく悔い改めて、真理に従うことによってきよめられるか、さもなければ、世の人々の中に置かれて、世俗の人々と共に報いを受けるかのどちらかです。

神は享樂を求める人を弟子となさいません。自我にうち勝ち、まじめに、けんそんに、清い生活を送る者だけが真にイエスに従う者です。こういう人は、世俗を愛する人々のくだらない、むなし

い話に同調できません。

## 世から離れる

真にキリストに従う者は、犠牲を払わなければなりません。彼らは世俗的な娛樂の場所を避けます。そういうところには、イエスがおいでになることはなく、また天について思わせ、恩恵のうちに成長することを促すような感化力がないからです。神のみことばに従うことによって、彼らはこ

うしたすべてのことから出て、世から離れることができます。

「このように、あなたがたはその実によつて彼らを見分けるのである」と救い主は宣言されました(マタイ七ノ二〇)。ほんとうにキリストに従う者はみなキリストの栄光のために実を結びます。神のみたまが彼らのうちに良いわざをなし、彼らが聖潔への実を結んでいることが、その生活によつて証拠だてられます。彼らの生活は高められ、純粹にされます。正しい行為は真の敬虔の確かな実です。このような実を結ばない人は、神の事物についてなんの経験も持っていないことを暴露しています。彼らはぶどうの木につらなっていないのです。イエスはこう仰せになっています。「わたしにつながっていないさい。そうすれば、わたしはあなたがたとつながっていないよう。枝がぶどうの木につながっていないければ、自分だけでは実を結ぶことができないようにあなたがたもわたしにつながっていないければ実を結ぶことができない。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とながつておればその人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである」(ヨハネ一五ノ四、五)。

真の神を礼拝したいと思えば、いっさいの偶像を犠牲にしなければなりません。イエスは、律法学者に向かつて、こう言われました。「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして主なるあなたの神を愛せよ。これがいちばん大切な第一のいましめである」(マタイ二二ノ三七、三八)。十戒の最初の四条に、私たちの愛情を神から離してはならないと教えられています。神のうちに見いだされる最高の喜びを何ものにも奪われてはなりません。私たちを神から離れさせる一切のものを捨て去った時に初めて、私たちのクリスチャン経験には進歩があるのです。

教会の偉大な首長であるキリストは、ご自分の民を世からえらび、世から離れているようにと要求しておられます。キリストに従う者が神のいましめの精神によって神にひきよせられ、世俗的な要素から離れることが神のみこころです。神を愛し、そのいましめを守ることは、世の楽しみと友情を愛することとはおよそかけ離れています。キリストとベリアルとの間に一致はありません。

### 青年への約束

キリストに従う若い人々の前途には戦いがあります。世から離れて、キリストの生活をまねるには日々負わなくてはならない十字架があります。しかし、若い時から救い主を求める人々のために多くの尊い約束がしるされています。知恵であられる神は、人の子らに、「わたしは、わたしを愛する者を愛する、わたしをせつに求める者は、わたしに出会う」と呼びかけておられます(箴言八ノ一七)。

「それだから、心の腰に帯をしめ、身を慎み、イエス・キリストの現れるときに与えられる恵みを、いささかも疑わずに待ち望んでいなさい。従順な子供として、無知であつた時代の欲情に従わず、むしろ、あなたがたを召して下さつた聖なるかたにならつて、あなたがた自身も、あらゆる行いにおいて聖なる者となりなさい」(ペテロ第一・一ノ一三 一五)。「すべての人を救う神の恵みがあらわれた。そしてわたしたちを導き、不信心とこの世の情欲とを捨てて、つつしみ深く、正しく、信心深くこの世で生活し、祝福に満ちた望み、すなわち大いなる神、わたしたちの救い主キリスト・イエスの栄光の出現を待ち望むようにと、教えている。このキリストが、わたしたちのため

にご自身をささげられたのは、わたしたちをすべての不法からあがない出して、良いわざに熱心な選別の民を、ご自身のものとして聖別するためにほかならない」(テトス二ノ一 一四)。

教師、親、生徒への勧告・三二五・三三〇ページ

## 一一一八 青年の心に正しい原則を植えつける

若い人は神が与えて下さった能力を正しく発達させることができるように、かたい主義によって支配されなければなりません。ところが、青年たちは、主義におかまいなくただ盲目的に一時の感情に動かされるので、たえず危険にさらされています。いつも親や保護者の指導と保護があるとはかぎらないので、彼らは自恃心と自制心を養う必要があります。良心的な原則に基いて思考し、行動することを彼らに教えなければなりません。

## 休養と娯楽

勉学に従事している者は、休息をとらねばなりません。頭をいつでも綿密な思考に使いつづけてはなりません。そうするとデリケートな頭脳の組織は消耗してしまいます。頭脳と同じように肉体も運動させなければなりません。しかしどんな仕事にも節制が必要であるように、娯楽にも大いに節制が必要です。そして、こういう娯楽の性格を入念にこまかく検討する必要があります。こうした娯楽は知的、肉体的、霊的な健康にどんな影響を及ぼすだろうか、心が興奮して神を忘れてしま

わないだろうか、神の栄光が自分の前から無くなりはいないだろうかということを、青年たちは自問してみなければなりません。

トランプ遊びを禁じなければなりません。この交際と傾向は危険です。こういう娯楽には、魂も身体も益するものは何もありません。そこにはまた知性を強め、将来用いるために、貴重な考えをたくわえるようなものは何もありません。かわされる多くのことは、つまらない、けがらわしい話題に関するものです。……

トランプ遊びがじょうずになると、この知識と技術を使って、何か個人的な金もうけをしたいと望むようになります。初めは少しの金額をかけていたのが、だんだん金額が大きくなり、賭事への味を覚え、ついには必ず破滅に落ち込んでしまします。この有害な遊びによって、どれほど多くの人間があらゆる罪悪行為や貧窮や牢獄や殺人や絞首台へ送られたことでしょうか。それでもなお、多くの親たちは、若い人たちの前に口を開いている恐るべき破滅の淵に気がつかないのです。

最も危険な遊び場所の一つに劇場があります。劇場は道徳と美德の学校のように言われることがあります。実際は不道徳の温床となっています。こうした遊興によって、悪い習慣と罪への傾向が強められ、固められます。低級な歌、みだらな身ぶりや表情や態度などは、見る者の想像を墮落させ、風儀を低下させます。このような見せ物の場所に入出入りする習慣のある若い人は、主義が墮落します。わが国において、人々の想像を毒し、宗教的印象を殺し、静かな楽しみと人生のまじめな現実への好みを鈍らせるのに、劇場の娯楽ほど強力なものはほかにありません。

酔う飲料を飲めば飲むほど、なお、ほしくなるように、こういう場所へも出入りすればするほど、



ますます心が引かれるようになります。唯一の安全な方法は劇場やサーカスや、その他のいかがわしい娯楽の場所をいっさい避けることです。

身体にも頭脳にも非常な益を与えるようなレクリエーションの方法があります。啓発された、識別力のある頭脳の持ち主なら、無邪気であるばかりでなくまた教訓的なみなもとから、遊びと楽しみとの十分な方法を見いだすことができます。戸外のレクリエーション、自然界における神のみわざについての瞑想は最も価値のあるものです。

教会へのあかし・第四卷・六五一 六五三ページ

### 無邪気な楽しみを与えよ

若い者はおとなのように落ち着いてどっしりしているわけにはいきませんし、子供は父親のように落ち着いているわけにはいきません。罪の娯楽は当然非難すべきですが、しかし一方、親や教師や保護者は、その代りとして風儀をけがしたり墮落させたりしない無邪気な楽しみを与えなければなりません。押えつけられているような感じを与え、それを破って愚かな破滅の道へ飛びこませるような堅い規則や制約で若い者たちを束縛してはなりません。親切な、思いやりのある手で統御の綱をしっかり握り、彼らの心と目的とをみちびき統御なさい。それでもなお、私たちが最善の考えを持っているのだということを彼らにわからせるように、優しく、愛情深く、賢明でなければなりません。

教師、親、生徒への勧告・三三五ページ

### 伝道の働きにおけるレクリエーション

身体にも魂にも新しい力を与えないような娯楽によく費される時間を、貧しい人々や病人や苦し

んでいる人々を見舞ったり、困っている人々を助けることに費さねばなりません。

教会へのあかし・第六卷・二七六ページ

## 一二九 きよくない感化

わが学校の生徒たちに、まじめな気持ちを持ってもらいたいと私は望んでいます。若い人たちの軽薄さは神に喜ばれません。彼らのスポーツやゲームはおびただしい誘惑に門戸を開きます。彼らは知的能力において天の神から与えられた賜物を持っているのですから、その思想が低級で下等なものであつてはなりません。神のみことばの戒めに従つて形成された品性は、強固な主義と、純粹で高潔な抱負をあらわします。聖霊は人の知力と協力されるので、そこには必然的に高い聖なる衝動が生じます。……

低級で凡俗な歌や演奏の会、遊びのパーティー、飲み食いの会合などには地上の精神が吹きこまれています。それはサタンへのささげ物です。……

こうしたくだらないことを率先してやるような人たちは神のみ事業にぬぐい去ることのできない汚点を残します。彼らは自らの魂を傷つけ、その傷跡は一生残ります。悪いことをする人は、自分の罪を認めて悔い改めるとき神からその罪を許されますが、しかし聖なることと凡俗なことを区別するために鋭く敏感にしておくべき識別力というものが大部分失われてしまします。

教師、親、生徒への勧告・三六六 三六八ページ

## 一三〇 信仰の喜び

義人のための未来の住居と永遠の報賞は、若い人たちにとって、高遠な、心を気高くする瞑想のテーマです。驚くべき救いのご計画、すなわち、あなたがキリストの血の功績によって高められ、従うことによってついには、キリストのみ座にまであげられるように、栄光の主によって払われた大きな犠牲を心に深く思いなさい。この問題については、最も尊い心の瞑想が必要です。神の恩恵を受ける者になるとは、なんと尊い特権でしょう。……

青年方よ、このような仕事と気晴らしこそ、あなた方の楽しみになるのだということを示されました。しかし、なぜあなた方が満足できないのかその理由は、あなた方が幸福の唯一の真の源泉を求めないからです。キリストのうちにだけある喜びを、キリストの外に求めようとするからです。キリストのうちにあっては、望みが失われることはありません。祈り ああ、この尊い特権がどんなになおざりにされていることでしょう。神のみことばを読むことによって、祈りの心が準備されます。祈りによって、いつそう神に近づこうという気が起らない最大の理由の一つは、あなた方がおもしろおかしい読み物を読んで、それが想像を刺激し、きよくない欲望をひき起すために、この聖なる働きにふさわしくない状態にあるからです。神のみことばは少しもおもしろくなくなり、祈りは忘れられてしまいます。祈りこそはクリスチャンの力です。クリスチャンは、ひとりであるも、ひとりではありません。彼は「わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」

と仰せになったお方が共におられることを感じるのです。

若い人たちは自分たちの持つていないもの、すなわち宗教を欲します。何ものもこれに代えることはできません。告白だけではなんにもなりません。教会員名簿には名前が載せられても、生命の書には載っていません。若い人々の中で経験を伴った宗教がなんであるかを知っている人は二十人にひとりもないことを私は示されました。彼らは、自分自身に仕えていながら、口ではキリストのしもべであると言っています。しかし、彼らは、サタンの魔力をうち破らなければ、自分は罪びとの運命におちいるということをもなくみとめるでしょう。彼らは、真理のために自我を制することや犠牲を払うことについては、それよりももっと安易な道を発見しました。涙を流し、声をあげて神のゆるしの恩恵を祈り求めることについては、そんなに熱心になる必要はないと彼らは思いました。そんなことをしなくても、彼らはうまくやっていけるのです。栄光の主キリストは、よく山や荒野へひとりでおいでになって天父の前に魂の願いを訴えられました。ところが罪深い人間はなんの力もないのに、それほど祈らなくても生きていかれると考えているのです。

教会へのあかし・第一巻・五〇三 五〇五ページ

## イエスの模範

イエスは、いつさいの放縦を戒められました。しかしイエスは、社交的な性質を持つておられました。彼はどんな階級の人々のもてなしも受け入れ、金持であろうと、貧しい者であろうと、学問があろうとなかろうと、すべての人の家庭を訪れて、彼らの思いを日常の生活問題から霊的な永遠

の問題に高めようとされました。イエスは決して酒色を容認されませんでした。イエスの行為には世俗的な軽はずみという陰影が少しもありませんでしたが、しかし、彼は無邪気な楽しみの場所をお喜びになり、自ら出席されることによって、そうした社交的な会合を是認されました。

各時代の希望・一五〇、一五一ページ

## 一三一 クリスチャンのレクリエーション

私たちは、心を清新にし、身体を元気づけるように努める一方では、全能力をいつでも最善の目的のために用いるように神から要求されています。私たちのレクリエーションは、自分に負わされている義務を最もよく果し、私たちと交わる人々に、もつと役立つ感化を与えるのにふさわしい者となることができるような方法で、実行されなければなりませんし、また実行し得るのです。そうしたレクリエーションから、向上した思いと新たな体力を持ち、もつと高い希望と、もつと強い勇氣を持って、新たに働きに携わる備えができて家へ帰ることができます。……

私たちは、人類の益となり、社会の祝福となるためにこの地上にいるのです。しかし、むなしい愚かなことしか求めない人々が心を注いでいるような下等な道に私たちも心を注ぐなら、どうして人類のために、この世代の人々のために益となることができるでしょうか。どうして周囲の社会に祝福となることができるでしょうか。

## 対照的な主義

キリストに従う者たちがクリスチャンらしいレクリエーションの交わりをすることと、享樂や娯樂のための世俗的な会合との間には、いちじるしい相違があります。キリストや聖なる事柄について述べたり、祈ったりすることばは聞かれないで、世の人々のくちびるからは、低級な笑いやくだらない会話がきかれます。彼らは大騒ぎをして遊ぶことしか考えません。彼らの娯樂は愚かさ、始まってむなしさに終わります。私たちの会合は、家に帰ってから神と人とに罪を犯したという良心のとがめのないように、つき合った人々にどんな形においても害を与えたり傷つけたりするようなことがなかったという意識、あるいは彼らに有害な感化を与えなかったという意識の持てるような方法で行われるべきであり、私たちはそのようにふるまわなければなりません。

生来の心は快樂と自己の欲望の満足とに傾きがちです。こうしたものを大量に作り出そうとするのがサタンの方針です。サタンは、人々の心に世俗的な娯樂への欲望を満たして、彼らが自分の魂の状態を吟味する余裕がないようにしようとします。快樂を愛する心は伝染します。一度この心に陥ると、心はなんらかの娯樂を求めて、あれこれと移って行きます。神の律法に従う時にこの傾向は防がれ、不敬虔に対する防壁が築かれます。

教師、親、生徒への勧告・三三六、三三七ページ

青年は、自分に与えられているすべての特権について、また時間の利用と才能の正しい用い方について神の前に責任があるということを忘れてはなりません。彼らはこう尋ねるかもしれませんが。

私たちには娯楽もレクリエーションもないのですか、なんの変化もなしに、ただ働け働けというのですかと。

信仰を持って神の祝福を求めることのできるような娯楽なら危険がありません。しかし、密室の祈りや、祈りの祭壇への献身や、祈禱会に出るのに心の妨げとなるような娯楽は安全ではなく、危険です。

教師、親、生徒への勧告・三三七ページ

## 一三二 親睦会

親睦会は、これにつどう人々の心の中に神の愛が燃えている時、また彼らが神のみことばについて思想を交換したり、神のみわざを進め人類の幸福のために尽す方法を考えたりするために集まる時に、最も有益で教訓的なものとなります。こうした会合に聖霊をお客としてよこんで迎え、聖霊を悲しませるようなことを言ったりしたりしないならば、神に栄光が歸せられ、集まっている人の心身がさわやかになり、元気づけられます。

しかし、これとは違った種類の親睦会があります。そこでは外観の誇りや、ばか騒ぎや、ふまじめさが見られます。そこにつどう人々は、娯楽を求めて神を忘れる危険があり、そこで行われていることは見守っている天使たちを泣かせます。その間中、快楽の場面が人々のパラダイスとなります。だれもかれもわれを忘れてばか騒ぎをし浮かれ楽しみます。目は輝き、ほおは赤らみますが良心は眠っています。

# 靈性の不足が暴露される

このような熱心と刺激とは天来のものではありません。それは全くこの地上のものです。天使たちは、キリストがあればどのことをしてくださったのに、人々のこのような忘れ方を悲しげに見ています。ただ好き勝手な人生を送った人々に病氣と死がやって来る時、彼らは自分のランプに油がなく、人生の歩みを閉じる備えが全くできていないで、しかもすでに手遅れであることに気がつきます。

多くの親睦会でかわされる会話の内容は、心がどこに向いているかをあらわしています。ただ笑わせるために語られるくだらない話や、ばからしいしゃれはキリストを正しく表わせません。そうしたことをしゃべる人たちは、自分のことばの記録を見たくないでしょう。聞く人にまちがった印象が与えられ、キリストに非難が投げかけられます。青年たちに、自分のことばに用心してもらいたいものです。彼らは語ることばによつて義とされるか、あるいは罪に定められるかのどちらかです。どこへ行くにも、イエスがそばについておられて、あなた方の行動に注目し、あなた方のことばをきいておられるということを忘れないでください。キリストがあなた方に話しかけられる声をきき、キリストがあなた方の会話をきいておられることを知つて、あなた方ははるかしくはないでしょうか。……

かつて熱心だったクリスチャンが世の中の娯楽を求める時に、彼は危険な立場にたちます。彼は天の生き生きしたふんいきの満ちている地域から離れて、もやと霧の中に飛びこんだのです。とい



うのは、娯楽のための陽気なパーティーや会合はキリストの宗教を非難するものが多いからです。神との関係を保つ者は、そうした会合に心から同調することができません。彼はそこで聞かれることばに共鳴できません。それがカナンのことばではないからです。話す人々は、心の中に神をたたえている証拠を表わしません。

### 陰 險 な 影 響

信仰生活と品性がほんものでない人は、とかく快楽と娯楽を求めて集まりがちで、その影響はまた他人を引きつけます。時には、聖書的なクリスチャンになろうと努力している若い男女がパーティーに招かれることがあります。変人に思われたくないのと、他人のすることをしたいという自然な気持ちから、彼らは、神との接触を多分まだ心や思いに感じたことのない人々の感化の中にはいつて行きます。もし祈りのうちに天の標準を考え、クリスチャンという木になるべき実についてキリストの言われたことばを学んでいたら、彼らはこうした余興がほんとうは、小羊の婚宴への招待を受けられないように魂を妨げるために備えられた宴会であることに気がついたでしょう。

主の道に注意深く教育された若い人たちが、娯楽の場所に出入りすることによって、人間の感化という魅力に取りつかれ、世俗的な性格の教育と訓練を受けた人々に愛着を覚えるようになります。彼らはキリストのような精神の飾りを持っていない人々と結合することによって、自らを一生の奴隷に売り渡します。ほんとうに神を愛し神に仕える人は、キリストを心に宿していない人々と交際することによって世のレベルまで下がることを恐れます。彼らは、たとえ自分の道が克己と犠牲の

道であっても、キリストのために大胆に立ちます。

### 浅薄の解毒剤

キリストは私たちのために苦勞と犠牲の人生をお送りになりました。私たちはキリストのために自分を押えることができないでしょうか。キリストが私たちのためにして下さったあがないと、私たちに与えようと待っておられる義とは、心を占領する価値のあるテーマではないでしょうか。青年たちが、聖書という蔵から宝をひき出し、また克己の一生の栄冠である罪のゆるしと平安と永遠の義とについて瞑想するなら、いかがわしい興奮や娯樂を望まなくなるでしょう。

青年たちの思いが雄大な高貴な救いのテーマによって占められるとき、キリストはお喜びになります。キリストはこのようなすべての者の心に滞在客としておはいりになって、その心によるこびと平安を満たされます。キリストの愛が魂に宿るとき、それは、「泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがる」のです(ヨハネ四ノ一四)。…この愛を持っている者は、神がご自分を愛する者のために備えておられるものについて語ることをよろこびます。

永遠の神は、聖徒と罪びと、悔い改めた者と悔い改めない者との間に境界線をひいておられます。この両者は、虹の色のように微妙に混ざり合うことなく、真昼と真夜中のようにはっきりと区別されます。神の民が真理を知りながらこれを実行しない人々と親密な交わりをすることは安全ではありません。父祖ヤコブは、むすこたちのある行為について、嫌惡の思いをもって、「わが魂よ、彼らの會議に臨むな。わが栄えよ、彼らのつどいに連なるな」と叫びました(創世記四九ノ六)。彼は

もし自分が罪びとの行為に加わったならば、自分の名誉は危くなると感じたのでした。彼は、私たちが悪に染まらないように悪い交際を避けよと警告し、危険信号をかがけているのです。聖霊も使徒パウロを通して、同じ警告を語っておられます。「実を結ばないやみのわざに加わらないで、むしろ、それを指摘してやりなさい」(エペソ五ノ一)。

### み旨にかなう親睦会

ザ・ユース・インストラクター・一八九七年二月四日

あらゆる感化力という才能をきよく大切にして、魂をキリストに集める目的のために用いなければなりません。若い男女は、普通に行われている自分たちのスポーツや夜のパーティーや音楽会などがキリストに受け入れられると思ってはなりません。

私たちの会合は、すべてに歴然とした宗教的なふんいきが特徴として見られなければならないことについて、くりかえしくりかえし光が私に与えられました。もし若い人たちが聖書を読み理解するために集まり、「永遠の生命を得るためにはどんな良いことをしたらいいでしょうか」とたずね、真理の側に身を置くならば、主イエスは彼らの心に祝福を送ってくださいます(マタイ一九ノ一六)。教会員のひとりびとり、伝道機関の働き人のひとりびとりに、人生とは、純潔、美しい思い、無私の行為について天の神から試験されるための準備であることを認めていただきたい。すべてのことばと行為、すべての思いは天の記録の書にしるされます。……

私たちがきよめられて、みことばに示されている真の尊厳の標準にまで高められるのは、真理の力とその普及によつてです。みことばに注意深く従うことによつてのみ、主の道を学ぶことができ

ます。みことばを学びなさい。

ザ・ユース・インストラクター・一九〇六年八月一四日

## 一三三 休日の過ごし方

レクリエーションは肉体労働に従事している人に必要ですが、働きが主として知能的な方面の人には、もっと必要です。頭脳をたえず過度に働かせつづけることは、たとえそれが宗教上の問題についてであっても、私たちの救いのために必要ではなく、また神の栄えとはなりません。ダンスやトランプ遊びやチェスやチェッカーズのように、賛成できない遊びがあります。天の神がそうした遊びはいけなないと仰せになっているからです。こういう遊びは大きな悪への門戸を開きます。それらは私たちの性質に益を与えないばかりか、むしろ刺激的な影響を与えて、賭博や酒色に陥るような遊びへの欲望を人々の心に生じさせます。クリスチャンはこのようなすべての遊びをいけないものとして、その代りに、何か全く無害な遊びと取り替えなくてはなりません。

休日世間の人々と同じように過ごしてはならないと同時に、またこれを見捨ててもいけないことを、私は示されました。休日を見捨てると子供たちに不満を与えるからです。子供たちが悪い感化にさらされて、世俗の楽しみと刺激によって墮落させられる危険のある今日、親たちは、そうした危険な遊びの代りに何かを与えるように工夫しなければなりません。親は、子供たちの幸福を考えているのだということを彼らに悟らせなさい。

都会や町に住んでいる数家族が一しょに集まって、知的肉体的な重荷となつてゐる仕事を離れ、

自然の風景の美しい湖畔や森などのあるいなかへピクニックに出かけることはよいことです。果実や穀物のような簡単に健康的な食物を用意して、木陰や青空の下にむしろをひるげなさい。車に乗ったり、運動したり風景をながめたりすることによって、食欲は増し、王様もうらやむような食事を楽しむことができます。

こういう機会には、親も子供たちも、心配や苦労や働きから解放されなければなりません。親たちは、子供たちと一しょに子供になって、なんでも子供たちのためにできるだけおもしろくしなければなりません。そして終日をレクリエーションに過ごさなさい。

戸外の運動は、家の中で仕事をしている人や、すわって仕事をしている人々の健康を増進します。できる者はみな戸外の運動をすることを義務と感じなければなりません。そのために、損をするものは何もなく、むしろ多くの益が得られます。新しい生命と新しい勇気をもって自分の仕事に戻り、熱意をもって働き、また一段と病気に抵抗することができます。

教会へのあかし・第一巻・五一四、五一五ページ

### クリスチャンの楽しみの源泉

神は貧しい者でも金持でも同じように楽しめる楽しみをお与えになっています。それは、純潔な思いと無私の行為を養い育てる楽しみ、また、やさしいことばを語り、親切な行いをする楽しみです。このような奉仕をする者からは、キリストの光が輝き出て、いろいろな苦悩のために暗い生活を送っている人々を明るくします。

教会へのあかし・第九巻・五七ページ

## 一三四 文学会

文学会はわが青年たちにとって益があるかという質問をたびたび受けます。この質問に正しく答えるためには、そのような文学会の表向きの趣旨を考えるばかりでなく、その会が実際にどういう影響を及ぼしているか、その経験を証拠として考えてみなければなりません。知性の発達ということは、私たちが自分自身に対して、社会に対して、また神に対して負っている義務です。しかし道徳的靈的な面を犠牲にしてまで知的な面の発達を計る方法を工夫すべきではありません。知的な能力と靈的な能力は、両者の調和的な発達によってのみ、それぞれに最高の完全に達することができるとです。このような結果は、普通のやり方で運営されている文学会によって得られるでしょうか。

世間のたいいていの文学会は、その名に示されているのとは反対の影響を及ぼしています。普通のやり方では、文学会というものは、若い人たちにとって害になります。というのは、サタンがそこにはいつてきて、その行事にサタンのスタンプを押すからです。男を男らしく、女を女らしくするものはすべてキリストの品性から反映するものです。こういう会でキリストについて考えることが少なければ少ないだけ、私たちの間に目だって見られなければならない要素、すなわち私たちを高め、洗練し、高貴にするような要素がますます少なくなります。世俗の人々が自分たちの望み通りに会を指導する時、キリストの精神は除外されます。心はまじめな反省から離れ、神からも、實際的で実質的なことから離れてしまって、空想的で浅薄な方面へ向けられます。文学会 この名

前が会の真の性格をあらわすことを望むものです。「わらと麦とを、くらべることができようか」  
(エレミヤ書二三ノ二八)。

文学会を組織するにいたった趣意や目的は良いかもしれませんが。しかし、神からの知恵がこうした組織を支配しないかぎり、それは絶対的な悪となってしまう。無信仰で、心も生活もきよめられていない人々が入会し、最も責任のある立場を占めるのが普通です。あらゆる有害な感化を阻止するのに十分と思われるような規則や規定が採用されるかもしれませんが、狡猾な策略家であるサタンは、会の性格を自分の計画にうまく合うように形づくるために働きかけ、ついにはたいいてい成功します。大敵サタンは、自分が過去において支配した人々に容易に近づき、彼らを通して、自分の目的を達成します。世間の人々のために会をおもしろく楽しくするためにいろいろな余興が持ちこまれ、こうしていわゆる文学会なるものの行事は、墮落的な劇場の演技や低級な茶番と墮落してしまいます。こうしたことはみな神の敵である肉欲の思いを満足させますが、知性を深め、徳性を強固にするには役だちません。

神をおそれる者がこうした会の不信者とまじわったからといって、罪びとから聖徒ができるわけではありません。神の民が自ら進んで世俗の者やきよくない人々と協同し、その人たちに高い地位を与える時に、彼らはそのきよくない感化によって、神からひき離されます。しばらくの間は、特に反対すべき点はないかもしれませんが、しかし心が神の霊の支配の下にない者は、真理と義のかおりを容易に受け入れません。もしこれまで霊的な事物を味わっていたら、彼らはイエス・キリストの隊列の中に加わっていたでしょう。この二つの階級は異なった隊長に統治されていて、その目

的、望み、趣味、希望などが正反対です。イエスに従う者は、まじめで、常識的で、気高いテーマをよるこびますが、聖なる事物を好まない者は、浅薄で非現実的なことが行事の主要な部分を占めていなければ、こうした会合を楽しむことができません。不信仰な者によって霊的な要素が少しずつ除外され、相反する主義を一致させようとする努力は決定的な失敗となります。

関係者のすべてにとって益のある文学会を設けようとその計画に工夫と努力が払われてきました。その目標とするところは、文学会を本来の姿に戻し、とかくこういう会を宗教的原則にとって危険なものとしがちな悪を避けるために、会員の全部に精神的な責任を感じさせようというのです。思慮分別と判断力があって、天との生きたつながりを持ち、悪の傾向を見ぬき、サタンにだまされないで、いつもキリストの旗を高くかかげて誠実な道をまっすぐに歩むような人が、こういう会の指導者として必要です。このような感化があつて初めて、人々の尊敬がよせられ、会は災とならずに祝福となります。

もし成年の男女が若い人たちと協力して文学会を組織し運営するなら、会は有益でおもしろいものとなるでしょう。しかしこういう会合が遊びや底ぬけ騒ぎだけに終わってしまうなら、それはもう文学的とか向上的などとは言えません。それは知性にとつても風儀にとつても墮落です。

聖書研究や、聖書の問題についての吟味や、知性を向上させ知識を与えるような問題について書かれた随筆や預言やキリストに関する教訓についての研究などは、知力を増し、靈性を高める力を持っています。聖書をよく知っていることによって、識別力は鋭くなり、サタンの攻撃に対して魂の防御が固くなります。



思うことや想像することにブレーキをかける必要があることを認めている人はあまりありません。訓練されていない心を有益な問題に集中することは困難です。しかし、心の思いが正しく働かなければ、宗教は魂の中に育ちません。心の中が聖なる永遠の事物で占領されていなければなりません。さもないと、つまらない浅薄な思いが宿ります。知力も霊的な能力も訓練しなければなりません。そのとき両者とも働かされることによって強くなり向上します。...

心と同じように、知性も神の奉仕にささげなければなりません。神は私たちのすべてのものについて権利を持つておられます。キリストに従う者は、それが罪のない健全なものにみえようと、熱心を鈍らせ霊性を低下させると良心がささやくようなものなら、どんな楽しみにふけることも、どんな事業に携わることもしてはなりません。クリスチャンはみな悪の潮流をおし返し、青年たちを破滅におし流す感化から救うために努力しなければなりません。どうか神がこの流れに逆らって進む力をお与えくださるよう祈るものです。

教師、親、生徒への勧告・五四一 五四四ページ

## 一三五 ダンス

真のクリスチャンは、神の祝福を求めることのできない娯楽の場所へ出入りしたり、遊びに加わったりしたいとは思いません。こういうクリスチャンは、劇場や玉突き場やボーリング場に姿をみせません。彼はまた、はなやかなワルツを踊る人々の仲間にはいたり、心の中からキリストを追

い出し、魂を奪われるようなその他の快樂にふけるようなことをしません。

こういう遊びをしたいという人々に対する答は、ナザレのイエスの名において私たちはそうした遊びにふけることができないということです。劇場やダンスホールで過ごした時間の上に、神の祝福はくだりません。クリスチャンならそういう場所で死にたいとは思いません。だれでも、キリストがおいでになる時にそういう場所にいるのをみられたくはありません。

最後の時になって、自分の一生の記録に直面するとき、私たちは享樂のパーティーにあまり出席しなかったことを後悔するでしょうか。無思慮な歡樂の場にあまり出入りしなかったことを後悔するでしょうか。むしろ私たちは多くの貴重な時間を肉欲の満足のために浪費してしまったことを、正しく用いれば永遠の宝を獲得できたはずの多くの機会をなおざりにしてしまったことを激しく後悔するのではないでしょうか。

信仰を告白している者が、何か有害な道樂をもっていると、そのことについて言い訳をするのが通例です。罪に慣れることによつて、人々はその恐ろしさに盲目になっています。神の子と自称する多くの人々が、不敬虔な宴会騒ぎを教会の何かの慈善目的とむすびつけることによつて、神のみに禁じられている罪を言ひのがれようとします。こうして、彼らは天の衣服を身につけて、悪魔に奉仕します。こうした社交界の遊興によつて、魂は欺かれ、迷わされ、美德と誠実とが失われてしまいます。

## 遊興の道で

信仰をもっている多くの家庭において、客間の遊びにダンスやトランプが行われています。こうした遊びは、静かな家庭的な遊びで、親の目の届いているところで安全に楽しめると主張されます。しかし、人の心を興奮させるこのような楽しみを好む心はこうして養われ、家庭で無害に思われていたことが、まもなく外でも危険に思われなくなります。こうした遊びから何かの益が得られるということはまだ確められていません。そうした遊びは、肉体に活力を与えることも、心に休みを与えることもありません。それはまた魂に高潔な、聖なる感情を一つも植えつけません。むしろ反対に、それらはまじめな思いや宗教的な行事への好みを減らしてしまいます。なるほど上流家庭のパーティーと低級なダンス・ホールの墮落した乱脈な会との間には大きな違いがあるでしょう。しかし、いずれもみな道楽の道を歩いていることに変わりはありません。

今日行われているようなダンス遊びは、墮落の学校であり、社会にとって恐るべき災です。大都会に住んで、この道によって年々破滅している人々を全部一しょに集めたら、なんとという悲惨な生涯の歴史がくりひろげられることでしょう。この習慣についてすぐ言い訳をしたがる人々の中に、結果を見て驚きと苦痛に心を満たされる者がどんなに多いことでしょう。クリスチャンたることを目ざしている親たちは、子供のお供をしてこうしたお祭り騒ぎの場所に出入りすることによって、子供たちを誘惑の道に置くことにどうして同意できるのでしょうか。若い男女は、夢中にさせられるこの楽しみと魂を取り替えることができるでしょう。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八八二年二月二八日

## 遊びの危険

快楽を愛することは最も危険なことの一つです。なぜなら、快楽は都会の青年や子供たちを襲う最も巧妙な多くの誘惑の中の一つだからです。休日がたくさんあって、ゲームや競馬などが幾千人々をひきつけます。そして彼らは興奮と快楽のうず巻きにまきこまれ、人生のまじめな義務から離れて行きます。もっと良いことのために用いられるはずのお金、しかもそれは貧しい人々の乏しい収入である場合が多いのですが、そうしたお金が遊びのために浪費されてしまいます。

キリスト教教育の基礎・四二二ページ

## 主義に導かれる

多くの人々は、おもしろくない批判や意地の悪いうわさの種になることを恐れて、あえて主義に従って行動しようとしません。彼らは、キリストに全的に従っている者であることを示しません。彼らは世俗の習慣に従い、世間の人々の好意を得ようと望みます。「キリストが、わたしたちのためにご自身をささげられたのは、わたしたちをすべての不法からあがない出して、良いわざに熱心な選びの民を、ご自身のものとして聖別するためにほかならない」(テトス二ノ一四)。

レビユー・アンド・ヘラルド・一八八七年十一月二九日

第一  
四部

社  
交  
關  
係

キリスト教が世の人たちと接触するのは、社交的な関係を通してです。天来の光を受けた男女はひとりびひとりこのよき道をまだ知らない人々の暗い道を照らすために光を放たねばなりません。社交の能力は、キリストのみたまにきよめられて、魂を救い主にみちびくのに利用されなければなりません。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・496ページ

## 一三六 救うための社交

キリストのみことばをのべ伝える者やキリストの恵みの福音を受け入れた者はみな、キリストが人類の利害と一体になられた模範に従わねばなりません。私たちは親睦会のまじわりを否定してはなりません。私たちは人々から孤立すべきではありません。どんな階級の人々にも接するためには、彼らの居るところへ行つて会わねばなりません。人々が自分の方から私たちを求めてやって来ることはめつたにありません。講壇からだけでは、人々の心を天来の真理に感動させることができません。もう一つの働きの領域があります。それは目立たないかもしれませんが、しかし有望な働きの領域です。それは身分の低い人々の家庭に、勢力のある人々の邸宅に、ごちそうの席に、罪のない親睦会の中に見いだされます。

私たちはキリストの弟子として、ただ快樂を好む心から世の人々の中にまじつて、彼らと一しよに愚かなことをしてはなりません。こういう交わりは有害な結果をもたらすだけです。私たちは、ことばや行いにおいて、あるいは沈黙していることや自分がその場に居合わせることによって、罪を承認するようなことがあつてはなりません。どこへ行くにも、イエスと共に行って、とうとい救い主を他人に示すべきです。一方、自分の信仰を石の壁の内側にかくして保とうとする者は、善をなす尊い機会を失います。社交的な関係を通して、キリスト教は世の人々と接触するのです。天来の光を受けた者にはだれでも、生命の光であるキリストを知らない人々の道を照らす責任があります。

私たちはみなイエスの証人とならねばなりません。キリストの恵みによってきよめられた社交の能力は、魂を救い主にみちびくために活用されなければなりません。私たちは自分自身の利害にだけ利己的に熱中しているのではなく、私たちの恵みと特権を他人に分け与えようとしているのだということを世間の人から認められなければなりません。信仰というものは、同情心を薄れさせたり、人を過酷に遇したりするものではないということを悟ってもらわねばなりません。キリストを見いだしたと告白している者はみな、キリストが人類のために尽されたように、奉仕しなければなりません。

クリスチャンというものは陰気な楽しくない人たちだという印象を世間に与えてはなりません。イエスに目をそそぐ時に、私たちはそこにあわれみ深い救い主を見、そのみ顔の光を捕えます。キリストの霊が支配しているところには平和が宿ります。そこにはまた神に対する落ち着いた聖なる信頼があるので、よろこびもあります。

キリストに従う著たちが、人間でありながら神の性質にあずかる者であることを示す時に、キリストはお喜びになります。彼らは彫像ではなく、生きた男女なのです。彼らの心は、天来の恵みの露によって新鮮なものとなり、義の太陽に向かって開かれ、拡大されます。キリストの愛の輝いている働きをする時に、彼らは自分自身の上に照っている光を他人に反射します。

各時代の希望・一五二、一五三ページ

交友は遺命を左右する



交友の影響は、成人した男女にとってさえ大きいことが、神のみことばのうちに強調されています。ましてや青年や子供たちの育って行く心や品性にとって交友の影響力というものはどんなに大きいことでしょうか。彼らがどういう仲間を持ち、どういう主義を取り入れ、どういう習慣を形づくるかによって、この地上における有用さと、未来の運命についての問題が決定されるのです。

教師、親、生徒への勧告・二二〇ページ

## 一三七 クリスチャンの社交性と礼儀

一般に神の民の間ではクリスチャンの社交性というものがあまり養われていません。私たちの学校ではこの方面の教育をなおざりにしたり、無視したりしてはなりません。

生徒たちは孤立した分子ではなくて、各人が織り込まれて布地となるべき系であるということを経験しなければなりません。この教訓はどこよりも学校の寄宿舎において最も効果的に教えることができます。そこでは、生徒たちは、活用すれば品性の社交的な面を啓発するのに大きな助けとなる機会に囲まれています。幸福で有用な者となる品性を養い育てるように、時間と機会を活用するのは生徒たち自身の能力次第です。自分のからに閉じこもり、他人の祝福となるように親しい交わりによって人々に近づこうとしない者は、多くの恵みを失います。なぜなら、人間はお互の接触によって心がみがかれ、洗練され、また、社交的な交わりによって知人ができ、友情がむすばれ、その結果、神の御目に喜ばれる心の一致と愛のふんいきが生じるからです。

特に、キリストの愛を一度知った者は、社交的な能力を啓発しなければなりません。このようにして魂を救い主にみちびくことができるからです。キリストを心の中に隠してしまい、自分だけが楽しむために聖なる美しいたいせつな宝としてしまいこんでおいてはなりません。また、キリストの愛を、ただ自分の好きな人にだけ示してはなりません。たとえ自分から選んだ友だちではなくても、最も必要な人々に向かって親切な関心と社交的な一面とをお見せになったキリストのような精神を生徒たちに教えなければなりません。どんな時にも、どんな場所においても、イエスは、人類家族に愛の関心を示し、まわりに明るい敬虔な光を放たれました。そのキリストの歩みに従うように生徒たちを教えなければなりません。若い友人たちにクリスチャンとしての関心と同情と愛を示して、彼らをイエスにみちびく努力をするように生徒たちに教えなければなりません。キリストが彼らの心の中にあつて、永遠の生命へいたる流れとしてわきあふれ、接触するすべての人を清新にする水の井戸とならねばなりません。

神の御目にとうといのは、必要に応じて他人のために尽す自発的な愛の奉仕です。こうして、学校で勉強している間でさえ、生徒たちは、告白通りに真実ならば、神のために生きた伝道者となることができます。すべてこうしたことには時間がかかりますが、しかし、こういうことのために費される時間は有益に費されたといえます。というのは、このようにして生徒たちは、キリスト教を世に示すことを学んでいるからです。

キリストは、親しい交わりによって他人の中にはいりこむことを拒否されませんでした。イエスは、パリサイ人や取税人からごちそうに招かれると、その招待に応じられませんでした。こういう機会に

イエスのお語りになったことばは聞く者にとってその一つ一つが生命へいたるかおりとなりましたそれは、イエスがそうした食事の時間を、人々の必要について適切などうとい教訓を与える機会とされたからです。キリストはこのようにして、弟子たちに、信仰をもっている人々の中でも信仰を持っていない人々の中でも、どのようにふるまうべきかを教えられたのでした。

教会へのあかし・第六巻・一七二、一七三ページ

## 一三八 指導原則

心はイエスのものです。キリストは魂のために無限の価を払われました。そこで彼は、私たちの仲保者として天父の前でとりなしておられます。しかも嘆願者としてではなくて、ご自身のものを要求される勝利者として、とりなしておいでのなるのです。キリストは私たちのために、「いつも生きていて彼らのためにとりなしておられるので、彼によつて神に来る人々を、いつも救うことができるのである」(ヘブル七ノ二五)。若い心はとうといささげ物、神にささげることのできる最も貴重なたまものです。私たちの全人格、私たちのもっているすべての才能は、聖なる委託物として神から与えられたもので、私たちはこれらを聖なるささげ物として喜んでもう一度神にお返しすべきです。私たちが神にささげるものはなんでも、まず最初に神から私たちに与えられたものです。そこで心を神にささげることが、神が買いつけてご自身のものとされた賜物を神にささげることにはほかなりません。

若い人たちの時間、愛情、力を要求するものがたくさんあります。サタンは、青年たちを自分の所有物として権利を主張します。そして多数の人々が自分の持っている才能や能力を全部サタンにささげています。世は若い人たちの心を要求しますが、その心はこれをあがなわれたお方のものです。もし世に心をささげたら、それは心配と苦勞と失意に満たされ、不純で墮落したものとなります。私たちの心の愛情と奉仕を世にささげることは、最も悪質な盗みの行為となります。なぜなら、それらは神のものだからです。享樂を追い求める事に心をささげることはなんの益にもなりません。義の敵サタンは、人生のあらゆる境遇において若い人々のためにあらゆる種類の快樂を準備しています。そうした快樂は、人々の雜踏する都会にばかりでなく、人間の住むかぎりあらゆる場所に見られます。サタンは青年たちを自分の兵士の隊列の中に確保しておきたいのです。大敵サタンは、どんな材料を取り扱うかをちゃんと知っていて、青年たちの愛情をイエス・キリストから引き離すような習慣や快樂を工夫するのに、とんでもない悪知恵を發揮してきました。……

### 放蕩むすこ

若い人たちを教えるために放蕩むすこの教訓が与えられています。この放蕩むすこは、享樂と罪にふける生活を送っているうちに、親からもらった財産のわけ前をその放蕩生活に使い果してしまします。彼は異郷にあつて友もなくなり、ぼろをまとい、飢え、豚にやったえさの残りくずさえほしがりまします。彼の最後の望みは、悔い改め、へりくだった心をもって父親の家にもどり、そこに喜んで迎えられ、ゆるされ、ふたたび父親の胸にもどることです。多くの青年たちは、この放蕩むす

こと同じように、享樂を追い求めて金使いの荒いでたらめな生活を送り、生ける水の源、真の楽しみを捨てて、水のたまらない、こわれた水ためを自分のために作っています。

### 神の恵み深い招き

神は青年のひとりびとりに向かって、「わが子よ、あなたの心をわたしにささげなさい。そうしたらわたしはそれを純潔に保ち、真の幸福をもつて魂のあこがれを満足させてあげよう」と招いておられます。神は若い人々を幸福にすることを喜びになります。ですから、神から与えられた全能力が活発で健康な状態に保たれるように、神は若い人々の心をご自分の守護の中に置きたいと望まれるのです。彼らは神の生命の賜物を持っています。神は心臓を鼓動させ、すべての能力に力をお与えになります。純潔な楽しみは神の賜物である能力を一つも低下させません。愛情を神から引き離すような快樂を追い求める時に、私たちは自分自身の肉体に対し、また神に対して罪を犯すことになります。若い人たちは、自分たちが試練の世界におかれていて、天使たちとともに住むのにふさわしい品性を持っているかどうかを、ためされているのだということを考えてみなければなりません。

友だちが愚かな悪の道にあなた方をさそい、まわりの者たちがみな神を忘れるように、また神からゆだねられている能力を減らすようにあるいは性質の中のすべてのとうといものをけがすようにあなた方を誘惑する時、そうした友だちに抵抗なさい。あなたは神のみ子の苦難と苦悩という価をもつて買われた神の財産であることを忘れてはなりません。……

主イエスはあなたの奉仕を求めておられます。彼はあなたを愛しておられます。イエスの愛を疑うなら、カルバリーに目をそそぎなさい。十字架から反射する光は、口では言い表わすことのできない愛の広大さをあらわしています。「わたしのいましめを心にいだいてこれを守る者は、わたしを愛する者である」(ヨハネ一四ノ二一)。私たちは熱心に研究して、神のいましめを知らねばなりません。そして私たちが神の従順なむすこ娘であることを示さなければなりません。

### 神のいつくしみに囲まれて

神のいつくしみは、片時も離れずあなたを取り囲んでいます。あなたの祝福が毎日どこからどのようにして与えられるかを考えてみることは有益です。あなたの心のうちに、神の祝福に対する感謝の念が目ざめなければなりません。神の祝福、絶えまなくあなたに示される神の優しい愛は、かぞえつくすことができません。それは清新な雨のしずくのように無数です。いつくしみの雲があなたの上をおおって、いつでも雨を降らすように備えられています。救いの貴重な賜物を感謝する時に、あなたは日ごとに清新の気を感じ、またイエスの愛と守りを意識し、平安の道に導かれます。

自然界における神のすばらしい事物をごらんください。それをお与えになった神に感謝の心を向けなさい。自然という書物には、頭脳にとって有益な研究があります。恩を忘れて、向こう見ずな者になつてはいけません。さとの眼を開いて自然界における神の法則の調和を見、天地の最高の支配者であられる創造主をおそれ敬いなさい。神があなたの上に優しく身をかがめて、「わがむすこよ、娘よ、あなた方の心を私にささげなさい」とあわれみをこめて仰せになっているのを信仰の眼

でござんなさい。イエスにすべてを任せなさい。その時、あなたは、「わたしは知る、わたしをあがなう者は生きておられる」と感謝の心をもって言うことができます(ヨブ記一九ノ二五)。イエスに対する信仰によって、あらゆる目的に力が与えられ、矛盾のない品性が与えられます。

この世における幸福、平安、よろこび、成功はすべて、神に寄り頼む真の信仰があるか否かで決定します。この信仰は、神のいましめにすぐ従う気持を促進します。神を知り信じていることは、あらゆる悪を押える上に最も強い力となり、またすべての善をなす動機となります。

あなたの罪をゆるすお方として、またあなたのために準備していただく住居であなたが幸福になるように望んでいくださるお方として、イエスを信じなさい。イエスは、あなたが目前にあつて生活し、永遠の生命と栄えの冠をいただけるように望んでおられます。

ザ・ユース・インストラクター・一八八七年一月五日

## 一三九 交友の影響

若い人たちが交友を持つことは当然のことであり、そしてまたその交友から影響を受けることも必然的なことです。魂を結びつける環はふしぎなもので、心と心とは感応し合うものです。人は相手の考え、感情、精神を感じとります。こうした交わりは祝福か災かのどちらかです。青年は互に助け励まし合い、態度や性質や知識において向上することもあり、あるいは、互に不注意で不信実

になって、墮落的な影響を及ぼすこともあります。仲間を選ぶという問題は、生徒たちが真剣に考えることを学ばねばならぬ問題の一つです。わが学校に学んでいる青年たちの中には、いつも二種類の人々がみられます。一方は神を喜ばせ教師に従うように努力している生徒であり、一方は不法の精神に満たされている生徒です。青年たちが大衆とともに悪いことをすれば、その影響は魂の敵サタンの側を有利にします。彼らはゆるがない忠誠心という主義にまだ堅くたっていない人々を誤った方向へみちびきます。

「友だちを見ればその人柄がわかる」とは名言です。青年は、友人の選択次第で人格も評判も敏感な影響を受けるということを認めません。人は趣味や習慣や慣例などの同じ人を友として求めます。賢明な良い交わりよりも無知で悪い交際を好む者は、彼自身の品性に欠陥があることを示しています。彼の趣味や習慣は最初はその交際を求める人々の趣味や習慣と全く異なっているように見えるかもしれませんが、しかしこの種類の人々の中にはいると、彼の思想や感情が変化し、彼は正しい主義を犠牲にし、だんだんにしかも確実に友だちの水準にまで落ちて行きます。

川の流れがその貫流している大地の性質をつねに受けるように、青年の主義や習慣は必ずその交わる友の品性に染まります。……

### 力のものさし

人格の力は、意志力と自制力の二つのものから成り立っています。強大で抑制されない熱情を人格の力と取りちがえている青年がたくさんいます。しかし実際は、熱情に征服されている人は弱い



人間です。人間の真の偉大さと高潔は、自分の感情を制する力によって測られるのであって、その人を征服している感情の力によって測られるものではありません。最も強い人間は、他人のひどい仕打ちを感じながらもなお激情を押えて敵をゆるすことのできる人です。

神は私たちに知的道徳的な力をお与えになっています。しかし自分の人格の建設者は、大部分自分自身です。毎日この建物は完成に近づきます。神のみことばの中には、この建物を永遠の岩の上に建てているかどうか、その建て方に気をつけるように警告されています。私たちの働きがそのまゝに表わされる時がやってきます。いまは、すべての者がこの世においても来世においても有用な品性を築くように、神から与えられた力を養う時です。

キリストを自分自身の救い主として信じる信仰によって、品性に力と堅実さが与えられます。真にキリストを信じる信仰を持っている者は、まじめな心になり、神の御目が自分の上にそそがれていることや、人類の審判者であられる神が道徳的価値を測っておられることや、どんな品性が発達しているかを天使たちが見守っていることなどを忘れません。

青年がなぜそんなに重大な誤りを犯すのか、その理由は、彼らが自分よりも年とった人たちの経験から学ぼうとしないからです。生徒たちは、教師や親たちの注意と教えを茶化したり笑ったりして無視するようなことがあってはなりません。彼らはその教訓を一つ一つ心に留め、同時にどんな人間が与えることができるよりも、もっと深い教えが必要であることを認めなければなりません。信仰によってキリストが心に住んで下さる時に、キリストのみたまは魂をきよめてこれに生氣を与えます。心の中にある真理は必ず生活に正しい影響を及ぼします。……

家庭から離れて、親の直接の影響の下にない生徒たちは、天父の御目が自分の上にそそがれていることを覚えていなければなりません。神は青年を愛しておられます。神はまた彼らの必要をご存じであり、彼らの誘惑を理解しておられます。神は彼らの中に偉大な可能性があることをごらんにあって、彼らがもし自分の必要をみとめて神に助けを求めるなら、最高の標準に到達するのを助けるようとしておられます。

生徒方よ、あなた方のためにささげられる両親の祈りが、夜も昼も神のみもとにのぼって行くのです。来る日も来る日も両親の関心があなた方の上にそそがれているのです。親の願いと忠告に耳をかたむけ、まわりを囲んでいる悪から向上するために全力を尽そうと決心なさい。敵があなた方の心と習慣を墮落させ、不健全な主義を發展させようとして、巧妙に立ち働いているのをあなた方は見分けることができないのです。

愚かなことや快楽を追い求めることに最初の一步を踏み入れる時には、本当の危険はないようにみえ、また自分の生活を変えたい時には、悪いことに負けてしまった以前のように簡単に正しいことをすることができると思うかもしれません。しかしそれは考え違いです。悪い友だちを選ぶことによって多くの者は美德の道から一步一步と、以前にはそんなところにまで落ちることは絶対にないと思っていたような不従順と快楽の深みへはいって行きます。

誘惑に負ける生徒は、善の感化を弱めます。悪い行為の道によって魂の敵の手先になる者は、他人の道につまずきの石を置く役割を果たしたことについて、神の前に責任を問われます。生徒たちはなぜ大いなる背信者サタンと手をつなぐのでしょうか。なぜサタンの手先となって他人を誘惑する者

となるのでしよう。むしろ仲間の生徒や教師たちを助け励ますことをなぜ学ばないのでしよう。サタンは、教師たちが重荷を負い困難に会う時に、彼らを落胆させるほどその重荷や困難を重くつらいものにしますが、これを助けるのが生徒たちの特権です。生徒たちは、助けになる明るいふんいきをつくり出すことができます。どの生徒もみな自分がキリストの側に立っているという意識を持って、秩序と勤勉と従順を重んじる精神をあらわし、人の心を高めるすべての善の大敵であるサタンのためには、一片の才能も感化力も貸すことを拒絶することができます。

真理について良心的な関心を持ち、義務について真の認識を持っている生徒は、キリストのためになる感化を仲間の生徒たちに与えることができます。救い主につながっている青年は、不規律になりません。彼らは利己的な快楽や満足を求めません。彼らは、精神においてキリストと一つです。から、行動においてもキリストと一つです。わが学校の年長の生徒たちは、年少の生徒たちの習慣や行為を形成する力が自分たちにあることをおぼえて、あらゆる機会を利用するように努めなければなりません。自分の感化によつて友だちを敵の手に売り渡すようなことがないように決心しなければなりません。

イエスはご自分に寄り頼むすべての人を助けてください。キリストにつながる者は、自由に幸福を楽しむことができます。彼らは救い主がみちびいて下さるところについて行き、キリストのために執着や欲望をもった肉を犠牲にしなければなりません。彼らは望みをキリストの上に築いているので、地のあらしは無力でその堅い土台を破壊することができません。

## 信頼に値し、忠実であること

青年男女方よ、あなた方がどんな事情の下にあつても断固として正義のために立つ信頼すべき忠実な者となるかどうかは、あなた方自身が決定するのです。あなた方は正しい習慣をつくりたいと望みますか。そうなら、品行の健全な、そして善をなそうと心がけている人々を友として求めなさい。とうとい恩恵の期間は、あなたが品性からあらゆる欠点をとり除くために与えられているのであつて、あなたは来世の生命を得るためばかりでなくまたこの世において役だつ者となるために、この点に努力しなければなりません。立派な品性は、金や銀よりも価値のある資本です。この資本は金融恐慌にも失敗にも影響されず、地上の財産が全滅されるその日に豊かな報いを来たらせます。誠実、堅固、忍耐は、すべての人が熱心に養い育てなければならぬ特性です。なぜならこのような性質を持つている人は、何ものにも負けない力を与えられるからです。その力によって、彼は善をなし、悪に抵抗し、逆境に耐えるのに強くなります。

真理を愛する心と、神の栄えをあらわさねばならないという責任感は、知性の向上にとってどんな刺激よりも力があります。行動へのこの動機があるときに、生徒はくだらない人間になることはできません。彼はいつも熱心です。彼は自分を教育する働きのために全天が動員されていることを知って神の御目の前にいるかのように勉強します。彼は気高い心をもち、寛大で、親切で礼儀正しく、キリストのようで、有能な者となります。心と思ひは神のみこころに一致して働きます。

## 一四〇 感 化

キリストの生活はたえず無限にひろがる感化を及ぼしました。その感化は、キリストを神と全人類家族にむすびつけました。キリストを通して、神は、人間が自分のためにだけ生活することを不可能にする影響力をおさずけになりました。私たちは神の大家族の一部である人類同胞と個人的につながっており、お互に義務を負わされています。人類同胞から孤立できる人はだれもいません。なぜなら各人の幸福は互に依存し合っているからです。各人が他人の幸福のために役立たねばならないことを感じ、人々の幸福を増進するように努めることが神のみこころです。

各人はそれぞれ固有のふんいきに包まれています。それは、信仰と勇気と望みと、かぐわしい愛のかおりという生命を与える力に満ちたふんいきであるかもしれません。それはまた、不満と利己心という暗い影で冷たく重たいふんいき、あるいは心に宿る罪の悲しい汚れに毒されたふんいきであるかもしれません。私たちが接触するすべての人は、私たちを取りまいているこのふんいきによって、意識的あるいは無意識のうちに影響されるのです。

## われらの責任

私たちはこの責任から免れることができません。私たちのことば、行為、服装、態度、また顔の表情さえ影響力を持っています。私たちの与える印象によって、だれも測り知ることのできない善、

あるいは悪の結果が生れます。このような刺激が与えられる時、それはまかれた種子となって収穫を生じます。それはどこまで延びるかわからない人間世界の出来事という長い鎖の環です。もし私たちが自分の模範によつて他人の中に立派な主義が発達するのを助けるなら、私たちは彼らに善をなす力を与えたことになります。そしてこんどは彼らが同じ影響を他人に及ぼし、その人からまた他人へと影響が伝わって行きます。こうして、私たちの無意識の感化が幾千の人々にとって祝福となる場合があります。

池に小石を投げこむと波が立ちます。するとそれは次々に波紋を起し、ふえるにしたがつてその波紋はひろがり、ついには岸にまで達します。私たちの感化もそのようなものです。知らないうちにまたどうすることもできないうちに、それは祝福か、さもなければ災となつて他人に影響します。人格は力です。真実で利己心のない敬虔な生活という無言のあかしは、何ものも抵抗できない感化を及ぼします。自らの生活にキリストの品性をあらわすことによつて、私たちは救霊の働きにキリストと協力するのです。自分の生活にキリストの品性を表わすことによつてのみキリストと協力することが出来ます。

感化の及ぶ範囲が広ければ広いほど、ますます善をなすことができます。神に仕えたと告白している人々がキリストの模範に従い、日ごとの生活に律法の原則を実行する時、そしてまた一つ一つの行為が神を最も愛し、自分を愛するように隣人を愛することをあかししている時、その時こそ教会は世を動かす力を持つことができます。

自然と宗教・英文・三三九、三四〇ページ

## 一四一 友だちの選択

霊的向上に最も適した交際をえらび、手のとどく限りあらゆる助けを利用しなければなりません。サタンは私たちが天に向かって前進するのをできるだけ困難にしようとして、多くの妨害物をおきます。多くの人は境遇を自分の思い通りにすることができませんから、私たちはつらい立場におかれるかもしれません。しかし私たちはクリスチャン品性を築くのに不利な感化の下に自分から身をおいてはなりません。もし、やむを得ずそうしなければならぬ場合には、キリストの恵みによって、墮落することのないように、これまでに倍して気をつけ、祈らねばなりません。

ロトは、自分自身と家族とを取り囲む霊的な感化よりもこの世の利益を得ることを望んだので、居住の場所としてソドムを選びました。この世の事物に関する限り、彼は何を待たでしょうか。彼の財産は滅ぼされ、子供の中のある者はあの邪悪な町とともに滅亡し、彼の妻は途中で塩の柱と変わり、彼自身は、「火の中をくぐってきた者のようにではあるが、救われ」ました。（コリント第一・三ノ一五）。彼の利己的な選択の悪い結果はそれだけにとどまりませんでした。ソドムの道德的墮落は彼の子供たちの品性に織りこまれていたので、彼らは善と悪、罪と義とのみさかいがつきませんでした。

ザ・サイNZ・オブ・ザ・タイムズ・一八八四年五月二九日

## 一四二 黄金律

人と交わるときには、相手の立場に身をおきなさい。彼らの感情、困難、失望、よろこび、悲しみを共になさい。彼らと一体になり、もし自分が彼らの立場にあつたら、こうしてもらいたいと思うように、彼らにきなさい。これが正直についての真の法則です。それは「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」という律法の別な表現です(マタイ一九ノ一九)。それは預言者たちの教えの実体でした。それは天の原則であり、天の聖なる交わりにふさわしいすべての人々の中にあらわされる原則です。

この黄金律は、真の礼儀の原則で、この真の实例はイエスの品性と生活の中にみられます。ああ、救い主の毎日の生活からは、なんとという柔らかい美しい光が輝き出ていることでしょう。イエスの御前からは、なんとという優しさがあふれていることでしょう。この同じ精神がイエスの子らのうちにみられるのです。キリストが共に住んでくださっている人々は聖なるふんいきに包まれています。彼らの純潔という白い衣は、主の園のかぐわしいかがりがあります。彼らの顔はキリストの光を反映し、つまずきがちな疲れた足をひきずつている人々のために道を照らします。

完全な品性を形成するものについて真の理想を持っている者はだれでも必ずキリストのような同情と優しさをあらわします。恩恵の影響は、心を和らげ、思いを洗練してきよめ、これに天来のデリカシーと礼儀の觀念を与えます。

祝福の山・一九二、一九三ページ



# 一四三 眞の洗練

主イエスは、私たちが各人の権利をみとめるように要求しておられます。人間の社会的権利とクリスチャンとしての権利を考慮に入れなければなりません。すべての人を神のむすこ娘として礼儀とデリカシーをもってとり扱わねばなりません。

キリスト教は人を紳士にします。キリストは迫害者に対してさえ思いやりを持っておられました。ほんとうにキリストに従う者はこの同じ精神をあらわします。王たちの前につれてこられた時のパウロをごらん下さい。アグリッパ王の前での彼の演説は、人を説き伏せる雄弁と共に眞の礼儀についての実例です。福音は、世に流行している形式的な丁重さでなく、ほんとうの親切心からわき出る礼儀を助長します。

生活の外面的な礼儀をどんなに注意深く育てても、いらだちや、きびしい批判や不法なことばなどをしめ出すのに十分ではありません。自我が最高の目的とみなされる限り、眞の洗練はあらわされません。心の中に愛が宿らねばなりません。純粋なクリスチャンにとって、行為の動機は、主に対する深い愛の心から出ます。キリストに対する愛情という根を伝わって、兄弟たちに対する無私の関心がわきあがってくるのです。愛は、愛の所有者に恩恵と礼儀と正しい態度を与えます。愛は、顔を照らし、声をやわらげ、全人格を洗練し向上させます。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・四八九、四九〇ページ

## 真の礼儀の必要

神のみこころについて知っている男女が、神の働きに成功する働き人となるために学ばねばならない最大の必要があります。彼らは洗練された、理解力のある人となるべきで、世間の人のように外側だけの偽りのみせかけやわざとらしい気どりでなく、すべてのクリスチャンが天来の性質を持つ者となるときに与えられる、天の香気のただよう優雅と真の礼儀を、身につけねばなりません。安息日を守る人々の中に真の気品とクリスチャンの優雅が欠けていることは、神の民にとって不利であり、私たちの告白する真理を味気ないものとします。心と態度を教育する働きは完全に向かつて進められます。もし真理を公言している人々が自らの特権と機会をいま利用してイエス・キリストのうちにある全き人にまで成長しないなら、彼らは真理の働きにとって誉とはならず、キリストにとっても栄えとなりません。

教会へのあかし・第四巻・三五八、三五九ページ

## 仲間 の 選 択

キリストと一致している青年は、正しいことをするのに役だつような友を選び、正しい原則と高貴な目的を啓発する助けとならないような交際を避けます。知性を劣等な型にはめてつくられた青年がいたるところにみうけられます。こういう種類の人々と交わらねばならない場合、無条件にキリストの側に身を置く者は、理性と良心が正しいと示す原則に固く立ちます。

教師、親、生徒への勧告・二二六ページ

## 一四四 世俗的な交わりを拒否する

青年は自分の一生の目的と仕事は何であるべきかをまじめに考え、その習慣が墮落に染まないような道に土台を据えねばなりません。他人に感化を及ぼす立場に立ちたいと思えば、独立独行の精神がなくてはなりません。水蓮はごみとどろの水面下に深く根をおろし、気孔のあるその茎を通して、發育を助ける栄養を吸いあげ、けがれの無い花を咲かせて池の真中に純潔な姿を浮かせます。純潔な美しさをけがしたり、きずつけたりするものを一切こばみます。

私たちはこの水蓮から教訓を学ぶことができます。どんなに品行を墮落させ、魂を破滅させるような感化にかこまれていても、私たちは墮落することをこばみ、悪友が私たちの心を腐敗させることのできないところに身をおくことができます。個人的には、青年は上の方へ向かってしっかりと足どりで進んでいる友を求めるべきです。彼らは、あらゆる悪の感化を身につけている人々や、高い品性の標準に達するように熱心に希望することも努力することもしない人々や、主義に忠実な人として信頼できないような人々を避けなければなりません。青年は、神をおそれ神を愛する人々とのまじわりの中にいなければなりません。このような人々の堅固な品性は、池の真中に純潔な花を咲かせる水蓮に象徴されています。彼らは墮落的な感化によって品性が形づくられるのを拒否し純潔で高貴な品性の發達にとって役だつものだけを自らのために集めます。彼らは天来の型に一致させられることを求めます。

## われらのことばは助けのもと

クリスチャンの間で、経験という尊い話題についてあまり語られていません。ことばの才能を乱用することによって、神の働きはかたわになり、神の栄えがけがされます。ねたみや邪推や利己心が心の中に宿ると、その心のけがれはことばにあらわれます。キリストの名を口にする多くの人々が悪い考えと悪い雑談にふけています。彼らは、神のみ子がこの世に与えられたことに表わされている神の恵みとあわれみと愛については、めったに口にしません。神は私たちのために、これほどまでにしてくださったのですから、私たちの愛と感謝はことばとなって表わされるべきではないでしょうか。私たちのことばがクリスチャン生活においてお互に助けと励ましのもととなるように、努力すべきではないでしょうか。ほんとうにキリストを愛するなら、ことばによってキリストをあがめるべきです。神への賛美と感謝の美しいことばをきいて未信者が信仰を持つようになることがよくあります。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八九八年一月二五日

## われらの感化

クリスチャンの模範は、そのことばかりでなく行為と態度においても、生命の源である神のもとに行きたいという思いを罪びとの心に呼び起すものでなければなりません。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八八七年十一月二九日

## 一四五 高尚な談話

科学の方面に最も高い教育を受けた人が、神のご用のために必ずしも最も有力な器であるとはかぎりません。多くの人が仕事をやめさせられる一方では、本からの知識を得る機会にめぐまれない人がその地位を占めることがあります。こういう人は、日常の生活に必要な実際の知識を持っているからです。一方自分は学問があると考えている人は、もう学ぶことをしなくなり、自己満足に陥り、この世の最も偉大な教師であるイエスからさえも教えていただく必要を感じません。

神のみこころを知るために、聖書を深く研究することによって成長発達し、理性の能力が向上した人は、有用な地位を占めるようになります。その生活と品性に神のみことばがはいって行くからです。みことばが節々と骨髓を刺し貫き、心の思いと志とを見通すような特別な働きをしなければなりません。神のみことばは栄養となります。クリスチャンはその力によって、真理と義のために戦うことができるように、心も頭も強くならねばなりません。

## 標準の低い理由

青年は、またおとなでさえ、どうしてこうもたやすく誘惑と罪に陥るのでしょうか。その理由は、神のみことばについての研究と瞑想が足りないからです。もし神のみことばをほんとうに味わうならば、正直な心と強い精神が養われ、悪をなそうとするサタンの誘惑に抵抗します。神の聖なる教

訓が研究と瞑想の主題にされないために、生活と品性に堅いしっかりした意志力が生じてこないのです。心を純粹で聖なる思いにひそめ、不純で不真実なものを避けるために、当然しなければならぬ努力がなされていません。天来の教師イエスから最も神聖な教えを学び、それを心にたくわえ、日常生活に実行する者となるために、ちょうどマリヤのようにイエスの足もとにすわるといふ良い方を選ぼうとしないのです。聖なる事柄についての瞑想は心を高め、洗練し、男女をりっぱなクリスチャンに成長させます。

思いやことばや行為において自分の能力を軽んじてこれを肉欲的な世俗並みに低下させる人は神に受け入れられません。天は純潔で聖なる場所ですから、洗練され、靈的な者となり、きよめられ、純潔な者とならなければ、だれもそこに、はいることができません。自分で自分のためにしなければならぬ働きがあります。私たちはイエスから力をいただくことによってのみその働きをなすことができます。他のどんな本にもまして聖書を学ばねばなりません。聖書を神の声として愛し、これに従わねばなりません。「こうしなさい。」「こうしてはいけない。」という神の禁止と要求に氣をつけてこれを理解し、神のみことばの真の意味を認めなければなりません。

### きよい心の必要

神のみことばを相談相手とし、光を求めるために聖書を調べるとき、天使たちは近くにやってきて心に印象づけ、さとりを開くので、「みことばが開けると、光を放って、無学な者に知恵を与えます」と、心から言うことができます(詩篇一一九ノ一三〇)。神のみことばに少しも注意が払われ

ないときに青年たちがどんなにクリスチャンたることを自称しても、彼らのうちに天来の心が見られないのは驚くにあたりません。彼らは天来の忠告に耳をかたむけず、訓戒に従わず、過去の罪を避け品性から墮落の跡を洗い清めてもらうために恩恵と天来の知恵を求めようとしません。ダビデは「あなたのさとしの道を、わたしにわきまえさせてください。わたしはあなたのくすしきみわざを深く思います」と、祈りました（詩篇一一九ノ二七）。

年配の人々も青年たちも、交際するにあたって心が正しい方向に向けられるならば、高貴なテーマについて語ります。心が純潔で、神の真理によって思いが高められているとき、その語ることばは「銀の彫り物に金のりんごをはめたよう」な性質のものとなります（箴言二五ノ一一）。しかし現在のような理解、現在のような習慣、クリスチャンと自称する者さえそこに到達して満足してしまっている低い標準では、会話は低級で無益なものとなります。それは「地から出て土に属」するもので、真理のかおり、天のかおりを持たず、世の中の教養のある人々の標準にさえ達しません（コリント第一・一五ノ四七）。

### きよめの激しい過程

キリストと天が瞑想の主題になるとき、会話にはその証拠があらわれます。語ることばは恵みをもつて味をつけられ、語る人は天来の教師の学校で教育を受けていることを示します。詩篇記者は「わたしは真実の道をえらび、あなたのおきてをわたしの前に置きました」と言っています（詩篇一一九ノ三〇）。彼は神のみことばをたくわえました。それは彼のさとりを開き、無視されることな

く、生活に実行されました。……

日々に、時々刻々に、克己ときよめが心の中で活発に進行しなければなりません。そのとき外面の行動はイエスが信仰によって心の中に住んでおられることを証拠だてます。きよめは魂が知識にいたる道を閉ざすことなく、むしろ心を発達させ、靈感を与え、隠れた宝を捜すように真理を探らせます。神のみこころについての知識はきよめのわざを進めます。天があります。ああ、そこに到達するためにどんなに熱心に励まねばならないことでしょう。

わが学校の生徒方に、イエスを救い主として信じるように訴えたいと思います。真実な気持ちでイエスのみもとに行くならば、イエスはいつでも恵みによって助けてくださることを信じなさい。あなたは信仰のよい戦いをたたかねばなりません。生命の冠をめざして格闘しなければなりません。努力なさい。サタンはあなた方をつかまえているのです。彼の手をふり離さなければ、麻痺して滅びてしまいます。敵は右にも左にも前にも後にもいます。敵を足下に踏みつけなければなりません。努力なさい。獲得すべき冠があります。努力なさい。もし冠を手に入れなければ、この世においても来世においてもいっさいを失ってしまうのです。天にあげられた救い主の力によって、努力なさい。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八八八年八月二二日

キリスト教教育の基礎・一二九 一三七ページ

## 一四六 若氣の道楽



青年方よ、若氣の道楽に費されたすこしの時間から一生苦しむような収穫が生じます。誘惑に負けた無思慮な一時間が、一生の流れをまちがった方向へ変えてしまうことがあります。青年時代は二度とありません。この青年時代を役立たせなさい。いったん道をふみはずしてしまつて、戻つてまちがいを改めることはなかなかできません。神につながることを拒み、誘惑の道に身をおく者は必ず倒れてしまいます。

神は青年たちをひとりびとりためしておられます。多くの者は、自分たちよりも経験のある、クリスチャンと称する人たちが悪い模範を示したからといって、自分の不注意や不敬虔の言い訳をします。しかしそうしたことが善行をする妨げとなつてはなりません。最後の清算の日には、いまのような言い訳をするわけにゆきません。道を知っていながら、その道を歩もうとしなかったのです

人は、自分自身の欲望に心がひかれ、そのかされるとき、誘惑されます。自分自身の心のおもむくままに従うときに、美德と真実の道から離れてしまいます。青年が道徳的誠実さを持っているら、どんなに激しい誘惑もききめがありません。あなたを誘惑するのは、サタンの行為ですが、それに負けてしまうのはあなた自身の行為です。サタンがどんなに全軍の力をかたむけても、誘惑を受けている者に罪を犯させるように強制することはできません。罪の言い訳はありません。

一部の青年たちが虚栄や愚かなことに力を浪費している一方では、一部の青年たちは、知識をたくわえ、人生の戦いに臨むために武装し、人生の戦いに勝利すべく決心して、心を訓練しています。しかしどんなに高いところへのぼろうと試みても、愛情を神にそそがないかぎり、人生の成功は得られません。もし、正しいことをしようとする目的を少しでも弱めようとする連中のへつらいをしりぞけて、全心全霊を神に向けるなら、神のうちに力と確信を見いだすことができます。

### むなししい娯楽は真の幸福ではない

社交好きな人は、この傾向にしばしばふけるために、ついにはその欲望に支配されてしまいます。服を着ること、娯楽の場所に入出入りすること、全くくだらないことについて笑ったりしゃべったりすること、そうしたことが彼らの人生の目的なのです。彼らは聖書を読み、天の事物について瞑想することに耐えられません。彼らは、何か刺激的なものがないと不幸なのです。彼らは、幸福になる力を自分自身のうちに持っていないかもしれません。そして自分たちと同じように、考えのない向こうみずな連中との交わりの中に幸福を求めようとするのです。彼らは、とうとい目的のために向けられるべ

き力を、愚かなことに費しています。…

神のみことばを読み、祈りをする時間によるこびと幸福をみいだす青年は神という生命の源泉から飲むことによつて、いつも清新な気持ちになります。こういう人は道德的完全という高さと、他人の考えの及ばないような広い思想に到達します。神との交わりはすぐれた思想と、りっぱな抱負と真理についてのはっきりした認識と氣高い行為の目的とを助長します。このように魂を神にむすびつけている人は神からむすこ娘として認められます。彼らは絶えずだんだん高いところに達し、神と永遠についてますますはっきりした見解を持つようになりますので、神は彼らを世に光と知恵を伝える器となさいます。…

イエスのうちに住む者は、神にあつて幸福であり、愉快であり、楽しいのです。その声には静かなやさしさがあらわれ、その行為には靈的な永遠の事物に対する尊敬の念がみられ、そのくちびるからは音楽、しかも楽しい音楽がきこえます。それは神のみ座からただよってくるからです。これは敬虔の奥義で、説明するのは容易ではありませんが、それでもそれを感じ、受けることができます。かたくなで反抗的な人は、こうした神の恩恵によるすべてのうるわしい感化と聖霊によるすべてのよろこびに対して心を閉ざします。しかし知恵の道はいつも楽しい道であり、その道はどれも平安です。キリストに密接につながればつながるほど、私どものことばと行いには人の心を和らげ、生れ変らせる恩恵の力があらわれます。

教会へのあかし・第四巻・六二二 六二六ページ

## 一四七 不信仰な来訪者

神と関係のない人でその行為が神によるこばれないような人と交際することはクリスチャンにとって安全ではありません。しかしこの禁じられた場所に足を踏み入れる自称クリスチャンが、なると多いことでしょう。むなししい、くだらない、不信仰な親類を自分の家庭に招待する人が多くありますが、こうした不信仰な人たちの手本と感化は家庭の子供たちにいつまでも残る印象を与えます。こうして与えられた感化は、ちょうどヘブル人が神を信じないカナン人と交わって受けた感化と同じようなものです。……

不信心な親類や友だちをよろこばせるために、ある程度譲歩しなくてはならないと考える人が少なくありません。しかし、ここまでという限界線はなかなかひきにくいので、一度譲歩すればその次も譲歩しなくてはならなくなります。したがって、かつては忠実だったクリスチャンの信者がついには生活においても品性においても世俗の習慣に一致するようになります。こうして神との結合は破れます。彼らは名ばかりのクリスチャンになります。試みの時がやってきた時に彼らの望みは根拠のないものにみえます。彼らは自分自身と子供たちとを敵に売り渡してしまったのです。彼らは神の栄えをけがしたのですから、神の正しいさばきがあらわれるときに、自らまいた種子の結果を刈りとるのです。キリストは昔のイスラエル人に仰せになったように、「あなたがたはわたしの命令に従わなかった。あなたがたは、なんということをしたのか」と彼らに言われます。(士師記二ノ二)。

ザ・サインズ・オブ・ザ・タイムズ・一八八一年六月二日

第一五部

求婚と結婚

家庭のきずなは、この地上のどんなものよりも一番緊密で、また最もやさしく、聖なるものです。家庭は人類にとって祝福となるように企てられたのです。神をおそれ、その責任を正しく認識して、賢明に結婚の誓約がとりかわされるところでは、それは祝福となります。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・356、357 ページ

## 一四八 真 の 愛

愛はとうとい賜物で、イエスから受けるものです。純潔で聖なる愛情というものは、感情ではなくて原則です。真の愛に基いて行動する者は不合理でも盲目的でもありません。彼らは、聖霊によって教えられますので、神を最も愛し、自分のように隣人を愛します。

結婚しようと考えている人は、自分の一生の運命を共にしようと考えて相手のあらゆる情操を吟味し、あらゆる品性のあらわれに注意しなくてはなりません。結婚による結合に向かつての歩みには、慎み深さと、質素と、誠実と、神をよるこばせ神の栄えをあらわそうとする熱心な目的が目立っていなければなりません。結婚はこの世と来世とにおける両方の生活を左右します。真実なクリスチャンは神が承認なさることのできないような計画をたてません。

### 助言を求め

さいわいに神をおそれる両親を持っていたら、彼らの助言を求めなさい。自分の望みや計画を両親に打ち明け、彼らが人生の経験から教えられたことを学びなさい。そうすると、多くの心の苦しみを免かれます。何よりもまずキリストを助言者となさい。キリストのみことばを祈りをもって学びなさい。

このようなみちびきの下にあつて、若い女性は、純潔で男らしい品性を持った人、勤勉で正直で、

抱負を持った人、神を愛しおそれる人　　こういう人だけを一生の伴侶として受け入れるべきです。若い男性は、人生の重荷を一しよに負うのにふさわしい人、自分を高め洗練してくれるような感化力を持った人、その愛によって自分を幸福にしてくれる人　　こういう女性を自分の伴侶として求むべきです。

「賢い妻は主から賜わるものである。」「その夫の心は彼女を信頼して……彼女は生きながらえている間、その夫のためによい事をして、悪い事をしない。」「彼女は口を開いて知恵を語る、その舌にはいつくしみの教えがある。彼女は家のことをよくかえりみ、怠りのかてを食べることをしない。その子らは立ち上がって彼女を祝し、その夫もまた彼女をほめたたえて言う、『りっぱに事をなしとげる女は多いけれども、あなたはすべてのにまさっている』と。」「このような「妻を得る者は、よき物を得る、かつ主から恵みを与えられる」(箴言一九ノ一四、三一ノ一、一二、二六、二九、一八ノ二二)。

ミニストリ・オブ・ヒーリング・三五八、三五九ページ

## 伴侶の選択

クリスチャン青年は、友だちをつくつたり伴侶を選択したりするときに十分に注意を払わねばなりません。純金だとばかり思っていたものが卑金属であったかもしれないから、注意なさい。世俗的な交わりは、神への奉仕を妨げます。事業において、あるいは結婚において、決して品性を高めたり向上させたりすることのできないような相手との不幸な結合のために多くの魂が滅んでゆきます。神の民は決して禁じられた立場に足をふみ入れてはなりません。信者と未信者との結婚は神



から禁じられています。しかし悔い改めていない心の持ち主が自分自身の気持に従って、神からは認められない結婚をすることがよくあります。

キリスト教教育の基礎・五〇〇ページ

## 一四九 求婚についての悪い形式

品性に堅固さと克己心が欠けていることが、確固たる信仰経験を得る上に重大な妨げとなります。堅固で誠実な目的を育てなければなりません。こうした特性は、りっぱなクリスチャン生活を送るのに絶対的に必要です。あなたが誠実な魂をもっていれば、あなたは正しい道から離れるようなことがありません。どんな動機も、あなたを義務のまっすぐな道から動かすことができません。あなたは神に忠誠であり真実であることができます。愛情の訴えも、友情の懇望も、あなたを真実と義務の道からひき離すことはできません。あなたは自分の気持に負けて義務を犠牲にするようなことをしません。

兄弟よ、もしあなたが若くて経験のない女性、すなわち日常生活のあたりまえな実際の仕事についての教育が全く欠けているような女性に心をひかれて結婚するなら、それはまちがいです。しかしこうした欠陥は、彼女が神に対する義務について全く無知であるのにくらべたら、まだ小さいものです。彼女は光が与えられていなかったのではなく、宗教的特権を与えられていたのに、キリスト無しのあわれな罪深さを感じなかったのです。

## 信仰経験への影響

もし夢中になったあまり、神への愛を持たず、信仰生活になんの魅力も感じないような相手との交際を楽しむために、神が民にお会いになる祈禱会に出るのを始終なまけているようでは、神がそうした結合を祝福してくださるはずがありません。

急いではいけません。早婚は感心できません。もし若い男女のどちらかが神のご要求を尊重する念を持たず、自分を宗教に結びつける要求に留意することを怠るようなら、夫または妻の要求にも正当な注意を払わない恐れがあります。自分のえらんだ相手と絶えず交際し、しかも宗教的特権と祈りの時間を犠牲にしてまで交際する習慣は危険です。そのことによって償うことのできないほどの損失を被ります。

夜おそくまで話している習慣がよく見うけられますが、たとえ両方ともクリスチャンであっても、こうしたことは神によるこばれません。そうした不規則な時間は健康を害し、頭を翌日の仕事に向かなくし、悪い状態になります。兄弟よ、こうした求婚の仕方を避けるだけの自尊心を持たれるように、私は望みます。神のみ栄えをあらわすことにだけ目をそそいでいたら、慎重な注意をもって行動するはずです。恋愛病というセンチメンタリズムのために、神がクリスチャンとしてのあなたの上に置かれた高い要求をみわけることができないほど明き盲になってはいけません。

教会へのあかし・第三卷・四四、四五ページ

早 婚

早婚は勧められません。結婚のような重大でしかも遠大な結果を生じるような関係に、知的肉体的能力もまだ発達しないうちに、十分な準備もなしに、急いではいるべきではありません。

ミニストリー・オブ・ヒーリング・三五八ページ

一五〇 未信者との婚約

愛する姉妹よ、私はあなたが信仰的に一致しない方と婚約しようとしておられることを聞きました。あなたはこの重大な問題を十分に考慮されなかったのではないのでしょうか。あなたのこれからの一生に影響を及ぼす一步をふみ出す前に、この問題を注意深く祈りのうちに考慮されるようにおすすめます。この新しい関係はほんとうの幸福となるのでしょうか。あなたのクリスチャン生活に助けとなるのでしょうか。神をよろこばせることができるのでしょうか。あなたの手本は他の人々がまねをしても安全でしょうか。

愛の吟味

結婚に着手する前に、女性はみな自分が運命を共にしようとしている相手の男性が価値のある人間であるかどうかを吟味してみなければなりません。彼のこれまでの経歴はどうでしょうか。彼の

生活は純潔でしょうか。彼の表現する愛は高貴な種類の愛でしょうか、それとも単なる感情的な愛情ではないでしょうか。彼はあなたを幸福にするような品性の傾向を持っているでしょうか。あなたは彼の愛情に平安とよろこびを見いだすことができるでしょうか。彼はあなたの個性を保つことをみとめるでしょうか。それともあなたの判断と良心は、夫たる彼の支配下に服しなければならないでしょうか。キリストの弟子として、あなたはあなた自身のもではありません。あなたは価をもつて買われたのです。あなたは救い主の要求を最高のものとして尊重することができますでしょうか。肉体と魂、思想と目的を純潔に保つことができるでしょうか。こうした質問は、結婚関係にはいるすべての女性の幸福と重大な関係があります。

宗教は家庭に必要です。しばしば結婚生活を苦しいものにする悲しむべきまちがいを防ぐことができるのは宗教だけです。キリストの支配なさるところだけに、深い、真実な、無我の愛があるのです。そのとき魂と魂がむすばれ、二つの生命が一つに結ばれるのです。神の天使たちはそうした家庭の客となり、その聖なる見守りによって結婚のへやは神聖なものとなります。墮落的な情欲は追い払われます。思いは上なる神の方へ向けられ、心は神に向かってささげられ、のぼって行きます。

### 不従順の結果

心は人間的な愛をあこがれ求めますが、しかしこの愛はイエスの愛に代るほど強く純潔でとうといものではありません。妻は、生活の苦勞や責任や不幸に応ずる知恵と力と恵みを、救い主のうちにだけ見いだすことができます。救い主を自分の力また導きとしなければなりません。この地上の

友に自分をまかせる前にまずキリストに自分をささげるべきで、このことを妨げるような関係を持つてはいけません。真の幸福をみいだす者は、自分の所有するもの、自分のなすことの全部に天の祝福がなければなりません。多くの人々の心と家庭が不幸に満たされるのは、神への不従順からです。姉妹よ、暗い影の晴れ間もないような家庭を持ちたくなければ、神の敵と結合してはいけません。

さばきの日にこうしたことばに直面することを予期している者として、私はあなた方がいま考えているような歩みについてよく熟慮されるようお願いしたい。自分自身にこう尋ねてみてください。「未信者の夫は私の思いをイエスから引き離しはしないだろうか。彼は神を愛するよりも快樂を愛する人間だから、私にも同じようなことによるこびを感じさせようとしはないだろうか」と。永遠の生命への道は、けわしくきびしいものです。あなた方の前進を妨げるような重荷を加えてはいけません。……

私は手遅れにならないうちに、あなたの危険について警告したいのです。あなたは、なめらかな、気持のよいことばをきいて万事うまく行くだろうと信じこんでいます。しかしこのような美しいことばを並べたてる動機を読みとることができません。心のうちにかくされている深い悪だくみに気がつきません。あなたは表面にあらわれた事柄の裏を見ることができず、サタンが魂にしかけているわなをみわけることができません。サタンはあなたをねらって誘惑の矢を放つために自分の一番近づきやすい道へあなたをひっぱってきます。サタンの乗ずるすきをすこしも与えてはいけません。神がしもべたちの心に働きかけられるとともに一方ではサタンが不従順の子らを通して働いていきます。キリストとベリアルとの間に一致はありません。この両者は調和することができません。未信

者と結合することはサタンの側に身をおくことです。神の霊を悲しませ、その守りを失ってしまします。永遠の生命のための戦いにおいて、こういう不利な条件に甘んじることができませんでしょうか。

## 婚約の破棄

「しかし私は約束してしまったのです。今からでも取り消すべきでしょうか」とあなたは言うでしょう。もし聖書に反した約束をしたのだしたらどんなことがあっても、即刻取り消し、そのように軽率な約束をするほど夢中になったことを、神の前にへりくだった心で悔い改めなさい。そんな約束を守って創造主の栄えをけがすよりは、神をおそれる思いをもって約束を取り消す方がはるかによいのです。

私たちには、獲得すべき天国があり、避けなくてはならない破滅への大道があることを忘れないでください。神の仰せになることはその通りになります。神が始祖アダムとエバに善悪を知るの木の実を食べることを禁じられたとき、彼らがこれに従わなかったために、全世界に苦悩の水門が開かれたのです。もし私たちが神に反対して歩めば、神も私たちに反対して歩まれます。私たちにあってただ一つの安全な道は、どんな犠牲を払っても、神のご要求に従うことです。すべてのことは無限の愛と知恵を土台としています。

教会へのあかし・第五巻・三六一—三六五ページ

## おとなの判断が必要

社会のためにも、また生徒の最高の利益のためにも、生徒自身の品性がまだ発達しきれず、判断

が未熟で、しかも親の保護と指導から離れているときに、一生の伴侶をえらぶようなことがないようになければなりません。……

青年たちを誘惑から守り、彼らを有用な人生のために準備する人たちは、りっぱな働きに従事しています。どんな学校においても、青年たちを正しく抑制し、しつけることの重要さが認められていることはうれしいことです。このようなすべての教師たちの努力が成功をもって報いられるように祈るものです。

キリスト教教育の基礎・六二、六三ページ

## 一五一 助言と指導の必要性

危険と墮落に満ちた今日の時代に、青年たちは多くの試みと誘惑にさらされています。多くの人々は、危険な港の中を走っています。彼らは水先案内人が必要なのに、ぜひ必要なその助けを受けることをあざけり、自分で自分の舟をあやつる力があると思いい、信仰と幸福の難破をひき起すような隠れた岩に今にもぶつかりそうになっていることに気がつきません。彼らは求婚と結婚という問題に夢中になり、自分の思い通りに事をはこぶことが彼らの重要な関心事となっています。一生のうちでこの最も大切な時期に、彼らにはまちがいのない助言者と確かな案内人が必要です。それは神のみことばのうちに見いだされます。このみことばを忠実に研究する者とならないならば、現世と来世のために自分の幸福も他人の幸福もそこなうような重大なまちがいを起します。

激しくて、強情な性質は多くの人にあります。彼らは神のみことばの賢明な助言に留意せず、自

我と戦つてとうとい勝利を獲得することをせず、ごうまんて頑固な意志によつて義務と従順の道から離れてしまつています。青年方よ、過去の生活をふりかえり、神のみことばに照らして自分の道を忠実に考慮なさい。聖書に命じられているように、親に対する義務を良心的に尊重する念をいだいていますか。赤ん坊の時からあなたを世話してくださつた母に愛と親切の誠をつくしていますか。母の願いを尊重していますか、それとも自分の望みや計画通りに事を運んで母の心に苦しみと悲しみとを与えてはいませんか。あなたが口にする真理は、あなたの心をきよめ、意思を和らげ、すなおにしていますか。もしそうでなかったら、過去の悪かつた点をなおすために注意深く努力しなければなりません。

### 完全な道案内

聖書には、品性の完全な標準が示されています。神の靈感を受け、聖なる人々によつて書かれたこの聖なる書は、人生のどんな事情の下にあつても完全な道案内です。聖書は、若い人の義務も年とつた人の義務もはっきりと示します。これを人生の道案内とするならば、その教えによつて魂は上の方へみちびかれます。それは思いを高め、品性を向上させ、心に平和とよるこびを与えます。しかし、若い人たちの多くは、自分が自分の助言者また道案内になり、自分自身の考えで事を処理しようとしています。こういう人々は聖書の教えをもつと注意深く研究する必要があります。そのページには、親と同信の兄弟たちに対する義務が示されています。十戒の第五条には、「あなたの父と母を敬え。これは、あなたの神、主が賜わる地で、あなたが長く生きるためである」とあります（出



エジプト記二〇ノ一二)。また、「子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである」とあります(エペソ六ノ一)。

私たちが末の世に生存している証拠の一つは、子供たちが親に従わず、感謝することを知らず、清くないことです。神のみことばの中には、親を敬うように命じられている戒めや助言がたくさんあります。それらは親を大事にし、愛するという聖なる義務があることを若い人たちに強調しています。親は、子供を赤ん坊の時から、青少年時代を経て一人前のおとなになるまでみちびき、いまもなお親の平安と幸福は大部分子供次第でまります。この問題について聖書の教えはあいまいではありません。それにもかかわらずその教えは非常になおざりにされています。

若い人たちには学ばねばならない教訓がたくさんありますが、中でも最も学ばねばならない点は自分自身を知ることです。彼らは親に対する義務と責任について正しい観念を持ち、心の柔和なへりくだった者となるために、いつもキリストの学校で学ばねばなりません。親を愛し尊敬すると同時に、一方では教会関係の経験者の意見を尊重しなければなりません。

### りっぱな行為

相手の両親が知らないのに女性と交際してその友情を得ることは、彼女に対してもまたその親に対してもりっぱなクリスチャン行為とは言えません。彼は、秘密な交際と会合によって、彼女の心を動かすことができるかもしれませんが、しかしそうすることによって、神の子のだれもが持つべき魂の高貴と誠実をあらわすことを怠っています。自分たちの目的を達成するために、彼らは率直

に公明に聖書に従って行動することをしないで、自分たちを愛し、自分たちのために忠実な保護者になろうとしている者たちに対して不真実になります。このような影響のもとにむすばれた結婚は、神のみことばに則したものではありません。娘を義務から引き離し、親に従い親を敬えとのほつきりした絶対的な神の命令について彼女の考えを混乱させるような男は、結婚の義務に忠実な人ではありません。

「若い人はどうしておのが道を清く保つことができるでしょうか」との質問がなされ、「みことばに従ってそれを守るよりほかにありません」との答が与えられています(詩篇一一九ノ九)。聖書を道案内とする若い人は、義務と安全の道から足をふみはずすにはおよびません。このありがたい本は、人が品性の誠実さを保ち、欺瞞を行わず、真実となることを教えてくれます。「あなたは盗んではならない」とは、神の指によって石の板に書かれたことばです。それなのに、愛情を不正に盗むことがどれほど行われ、また言い訳されていることでしょう。

欺瞞的な求婚がつづけられ、秘密な交際がつづけられる結果、経験のない、しかもそうしたことがどんなことになるかも知らない若い女性の愛情は、幾分両親から離れて行き、彼女の愛に値しないような行為をする男性の上にそがれるようになります。聖書には、どんな種類の不正直も罪とされ、どんな事情のもとにあっても正しく行動しなければならないことが要求されています。青年時代に聖書を道案内また道を照らす光とする者は、すべてのことにおいてその教えに従います。結果において、たとえどんなに大きな犠牲を払わねばなくても、何か目的を遂げるために律法の一点一画でも犯すようなことをしません。聖書を信じるならば、神の祝福はまっすぐな正直の道か

ら離れる者の上にはくだらないことがわかります。一時はうまく行っているようにみえても、必ずその行為の結果を刈り取ることになります。

神ののろいは、いまの時代になされた時期を得ない、不適当な縁組の上にくだります。もしこうした問題について、聖書の中に与えられている光がばくぜんとしたあやふやなものであるなら、今日の多くの青年たちがお互いの愛情の問題についてたどりつつある道について言い訳もできるでしょう。しかし聖書の要求は中途半ばな命令ではありません。そこには思いとことばと行為の完全な純潔が要求されています。神のみことばは足もとを照らす光で、だれも義務の道から迷う必要のないことを、私たちは神に感謝するものです。青年は聖書を相談相手として、その助言に留意することを務めなければなりません。悲しむべきまちがいは、いつも、聖書の戒めから離れるときに起るのです。

### 健全な判断の必要

冷静な理性と、感情に走らない判断をもつて考慮しなければならぬ問題があるとすれば、それは結婚問題です。聖書を助言者にしようとするならば、それはふたりの人間が一生のきずなを結ばないうちでなければなりません。しかしこの問題について感情を道案内にすべきであるという気持ちが一般にはやっていて、多くの場合、恋愛病的な感情に支配され、ついには必ず破滅にいたります。青年たちが、他の問題にくらべて知恵が足りず、理性的になろうとしないのはこのことについてです。結婚の問題は、青年たちの上に一種の魔力を持っているようにみえます。彼らは自己を神に降

伏させません。彼らの感覚はしばらく、あたかも自分の計画がだれかにじゃまされるのを恐れるかのように、秘密のうちに行動します。

求婚や結婚が内密のうちに行為れることは、非常に多くの不幸の原因であつて、その全貌は神だけがご存じです。この岩にぶつかつて、幾千の魂が難破したのです。クリスチャンを名のる人々で、その生活には誠実さがあらわれ、他の事ならどんなことにも理性的にみえる人たちが、この問題では恐るべき過失を犯しています。彼らは理屈では変えることのできない決定的な意志を示します。彼らは人間的な感情と動機に心が迷わされているので、聖書を調べ、神との密接な関係を保とうという気持がありません。

サタンは、自分の取り扱わねばならない人間がどういふ性質の人であるかをちゃんとわきまえていて、魂を破滅におとし入れるためのわなをいろいろ工夫するのに悪知恵を働かせます。彼は相手の一步一步を見て、いろいろなことを吹きこみます。人々は神のみことばの助言よりもこうしたそのかしに従うことがよくあります。このこまかく織られた危険な網は、若い人たちや不注意な者を捕えるために巧みに仕掛けられています。それは光のおおいの下に偽装されていることもあります。しかしこのとりことなる者は後悔に胸を刺されます。その結果、難破した人間がいたるところに見うけられます。

### 親と相談すべきである

わが青年たちはいつになったら賢くなるでしょう。こういうようなことが、いつまで続けられる

のでしよう。子供たちは、親の忠告や意見を無視して、自分自身の気持や望みだけを相談相手とすべきでしょうか。親の希望や勧告などは全然考えてみようともせず、親の円熟した意見には見向きもしようとしなない人がいます。利己主義のために彼らの心は、子としての愛情に全く戸を閉ざしています。この点について、若い人たちの考えを自覚させなければなりません。律法の第五条は、約束が付加されている唯一のいましめですが、それは軽くみられ、愛人の要求によって積極的に無視されてさえいます。母親の愛を軽んじ、父親の守りを恥ずかしめることが、多くの青年たちについて記録されている罪です。

この問題に関連して最大のまちがいの一つは、若い者や経験のない者が自分たちの愛情を妨害されたくない、自分たちの恋愛経験に口を出してもらいたくないという考えです。あらゆる立場から考えるべき問題があるとすれば、それはこのことです。他人の経験の助け、またこの問題を両方の立場から冷静に注意深く考慮することが絶対的に必要です。この問題は大多数の人があまりにも軽くとり扱っている問題です。

青年方よ、神と、神をおそれる両親を助言者となさい。この問題について祈りなさい。一生の運命を共にしようと考えている相手のあらゆる情操を考慮し、品性のあらわれを見守りなさい。いまふみ出そうとしている一步は、人生の最も重大な一步ですから、軽々しくふみ出してはなりません。愛することはよいが、盲目的に愛してはいけません。

自分の結婚生活は幸福となるか、それとも不調和で不幸となりはしないかを注意深く吟味なさい。この結合は私を天へ向けるだろうか、神に対する私の愛を増すだろうか、この世において自分の役

だつ範圍がもっと大きくなるだろうかと問うてみなければなりません。このように反省してみてもここに弱点がなかったら、神をおそれる思いをもつて前進なさい。

しかしもし縁組するつもり相手の品性を十分に理解しないうちに婚約にまで進んだとしても、その婚約のために結婚の誓約を承諾し、愛することも尊敬することもできない相手と一しよにならねばならないと考える必要はありません。条件付きの婚約をむすぶことにはよほど慎重でなければなりません。しかし多くの人たちのように、後になって別れるよりは、結婚する前に婚約を破棄する方がはるかに、はるかによいことです。

### 母親に対する態度が見本

ほんとうの愛は、育てなければならぬ植物のようなものです。平和で幸福な結婚を望み、将来の不幸と悲しみを免れたいと思う女性は、愛情をささげる前に、自分の愛人には母親があるかどうか、そしてその母親の品性はどうか、彼は母親に対する義務を果しているか、母親の願いや幸福に関心を持っているか、もし彼が自分の母親を尊敬しないようなら、妻に対して尊敬と愛情、親切といたわりを示すだろうか、新婚の気分がすぎ去ってから私を変わず愛するだろうか、私のまがい忍んでくれるだろうか、それとも批判的で横暴で独裁的ではないだろうか、というようなことを考えてみる必要があります。真の愛情は多くの過失をみのがします。愛は過失をみつけません。

### あてにならない一時の感情

青年は概して一時的な感情にあまりたよりすぎます。愛人の表面的な魅力にたちまち負けてしま

つてすぐにそのとりことなるようなことがあつてはなりません。この年ごろに行われる求愛は、主よりも魂の敵に大いに関係のある欺瞞と偽善の計画です。ここにこそ常識が必要なのですが、しかし実際にはこの問題にあまり常識が働かされていません。

もし子供たちがもつと両親としたしみ、何事でも両親に打ち明けて話し、よろこびや悲しみを共にわけ合うなら、将来の多くの悲嘆から免れます。どの道が正しいのかわからないで迷うときにはその問題について自分の考えるままのことを両親に話して、その助言を求める必要があります。神を敬う両親ほど、子供たちの危険を指摘するのに適している人は他にありません。両親ほど子供たちの特殊な気持を理解できる人はありません。

クリスチャンである子供たちは、この世のどんなよいものよりも神をおそれる両親から愛と称賛を受けることをよろこびます。両親は子供たちと一つ心となり、神が子供たちを守りみちびいて下さるように、子供たちのために子供たちと一しょに祈ることができます。他のどんなものにもまして、両親は子供たちに対して、常に変らぬ友であり助言者であるイエスをさし示します。イエスは子供たちが自分の弱点について悩むのに心を動かされます。すべての点に私たちと同じように試みられてしかも罪を犯されなかったイエスは、試みられている者をどうしたら救うことができるかをご存じます。

レビユー・アンド・ヘラルド・一八八六年一月二六日

## 天 来 の 愛

一生の縁組において、あなたの愛情は相互の幸福のために貢献するものでなければなりません。

お互に相手の幸福のために仕えなければなりません。それがあなたに対する神のみこころです。しかし互に一つになるとは言っても、お互に個性を失ってはなりません。神はあなたの個性の所有者です。…

神のために生きるときに、魂は最高にして最上の愛情を神にそそぎます。あなたのために死んでくださったイエスに向かってあなたの最も大きな愛の流れがそそがれているでしょうか。もしそうなら、あなた方のお互の愛は天来のものとなります。

教会へのあかし・第七巻・四五、四六ページ

## 一五二 早 婚

少年少女たちは、未熟な愛と未発達の判断力のまま、とうとい気高い感情もなく結婚関係には入り、ただ少年少女らしい情熱にひきずられて、結婚の誓約をかわします。…

### 子供心の愛情の危険

子供時代にむすばれた愛情が、不幸な結婚生活あるいは不面目な離婚に終る場合がよくあります。親の同意なしに、年若い時に愛情にむすばれることによって幸福になることはめったにありません。十分な年令と経験に達し、自由になつてもりっぱで安全な時期に達するまで、年若い時の愛情は抑制しなければなりません。抑制されなければ、彼らは不幸な生活をつづける危険があります。まだ



十代を出ない若者は、自分と同じように相手が一生の伴侶として適当かどうかの判断に欠けています。判断力がもつと発達すると、彼らは自分たちが一生お互にしばられていて、しかもお互に相手を幸福にしようという考えなどないことに気がつくかもしれません。すると彼らは、その運命を最もよい方向へ持って行こうとしないで、互に非難し合い、その破局は大きくなり、ついには互に冷淡と無視の状態がつづきます。彼らにとって、家庭ということばにはなんの神聖さありません。家庭のふんいきそのものが、愛情のないことばと、きびしい非難によって毒されているのです。

ア・ソレムン・アッピール・一一、一二ページ

## 一五三 賢い結婚、賢くない結婚

早婚は今日存在している多くの悪を生み出しています。あまりに年若くて結婚することは、肉体の健康も知力も増進しません。この問題については大体あまりに理性が働かされていません。多くの青年たちは一時の感情にかられて行動します。彼らに幸福か不幸、あるいは祝福か災かのどちらかをもたらすこの一歩が、一時の感情にかられてあまりにせっかちにふみ出されます。クリスチャンとしての立場から理性や教えに耳をかたむけようとしなない人が多いのです。……

つりあわない結婚の結果として、今日世には不幸と罪が満ちています。多くの場合、まだ数カ月もたたないうちに、夫と妻は自分たちの性格がお互に決して融合しないものであることに気がつきます。その結果、天来の愛と調和だけがあるべき家庭の中に、不和がみなぎります。

つまらないことを言い争うために、にがにがしい精神が養われます。公然たる不一致と口論によって、家庭の中に言いようのない不幸が持ち込まれ、愛のきずなによって結ばれているべき兩人がばらばらになってしまいます。こうして賢くない結婚によって幾千の人々が魂においても肉体においても自らを犠牲にし、破滅の道をたどって行きます。

### 等しくなくびき

現世的な縁組をすることは危険です。サタンは多くの青年男女の結婚が証明された瞬間、彼らの宗教経験と有用さの歴史が閉じられることをよく知っています。彼らは、しばらくの間は、クリスチャン生活を送るように努力するかもしれませんが。しかしその全部の努力は、反対の方向からの根強い影響力に向かつてなされるのです。かつては自分のよるこびと望みについて語ることを特権と感じていたのに、一生の運命を共にする相手がそうしたことに興味を示さないことがわかると、まもなくそれらのことは話題にのぼらなくなります。こうしてサタンは、知らない間に彼らのまわりに懷疑という網を張りめぐらし、とうとい真理に対する信仰は心の中から消えうせてしまいます。

青年たちを罪の中に閉じこめておくことにサタンは研究を重ねて努力します。そうしておけばサタンはその人間を確実に自分のものとしておけるのです。魂の敵は、青年たちを正しい方向へみちびこうとするどんな努力に対しても激しい憎しみに満たされるのです。彼は、神とキリストについて正しい見方を教えるあらゆるものを憎みます。彼の努力は特に、天から光を受けるのに恵まれた立場におかれている者に向けられます。神と結合するような傾向が彼らにあると、それはサタンの

誘惑に対する抵抗力を彼らに与えるものであることを、サタンは知っているからです。彼は光の天使として見かけのよい策略をもって青年たちに近づき、一步一步彼らを義務の道から引き離すのに成功します。

### 正しい交際

お互の交際によって結ばれた若い人々は、その交際を祝福とすることも災とすることもできます。彼らは互に教化し、力づけ、祝福し、態度や気持や知識において向上することもできれば、あるいは不注意になり不忠実になって墮落的な感化しか及ぼし得ない場合もあります。

ザ・ユース・インストラクター・一八九九年八月一〇日

### 性急な結婚

サタンは、経験のない青年たちを結婚の結合に急がせようとしていつも忙しいのです。しかし私たちはいま行われている結婚をなるべく誇りにしない方がよいのです。結婚の神聖な性質と要求とが理解される時に、それは今でも天に是認され、その結果は両方にとって幸福であり、神があがめられることになります。……

真の宗教は心を高め、趣味を洗練し、判断をきよめ、当人を天の純潔と感化力を持った者としめます。それはまた天使を近づけ、世俗の精神と感化をますます遠ざけます。

教会へのあかし・第二巻・二五二、二五三ページ

## 結婚するようにサタンが働く

サタンはお互に不似合いな人々に働きかけてその利害を一つに結びつけようと忙しく働いています。彼はこの働きが大好きです。というのは、他のどんな方面に腕をふるうよりも、この働きを通して人類家族に不幸と絶望的な災を生じさせることができるからです。

教会へのあかし・第二巻・二四八ページ

## 一五四 めとり、とつぎなど

神は人類をこの世界に置かれました。飲み、食い、売り、買い、めとり、とつぎなどすることは人類の特権です。しかしそうしたことはすべて神をおそれる思いをもってなされるときだけ安全です。私たちは永遠の世界に関連してこの世に生存しなければなりません。ノアの時代の結婚における大きな罪悪は、神の子らが人の娘たちと縁組したことでした。神をみとめ、あがめると公言している人々が心の墮落した人々と交わりました。そうして彼らは無差別にだれとでも好むままに結婚しました。今日でも深い宗教経験を持たず、ノアの時代と全く同じことをしている人がたくさんいます。彼らは、祈りのうちに注意深く考慮することなしに結婚にはいります。あたかも商売の取り引きでもするかのように深い考えもなく、神聖な誓約をします。真の愛がその縁組の動機となっていないません。

## きよくない熱中

結婚について考えることは、多くの若い人々の心に一種の魔力を持っているようです。両人が知

り合いになります。彼らは互に夢中になり、いつさいの関心はそのことに奪われます。理性は盲目になり、判断力は放棄されます。彼らはどんな忠告やどんな抑制にも従おうとせず、どんな結果になろうとおかまいなしに自分たちのやり方を押し通そうとします。彼らののぼせ方は一応行きつくところまで行かなくてはやまない流行病や伝染病のようなもので、何ものもそれをとどめることができないようにみえます。もし当の兩人が結婚したら、結果は一生の不幸以外にないということを認めている人々がおそらく彼らのまわりにいるでしょう。しかしどんなに頼んでも、どんなにすめてもむだなのです。神への奉仕において神から祝福を与えられるような人の有用さはおそらくこういう結婚によってそこなわれ、だめになってしまいうでしょう。しかし理性も説得も顧みられませんが。

経験のある人たちの言うことも効果がありません。それは彼らの欲望から出た決心を変える力がありません。彼らは祈禱会に出ることやまた宗教に関係のあるどんなことにも興味を失います。彼らは互に全く夢中になってしまつて、人生の義務など大した問題ではないかのように、顧みません。来る夜も来る夜も、この若者たちは、真夜中まで起きていておしゃべりにふけます。まじめな、厳粛な問題についてでしょうか。どうして、どうして。なんの重要さもない、つまらないことについてです。

### 健康と慎みの法則を犯す

サタンの使者たちは、夜の大部分の時間を愛の語らいに過ごしている人たちを見張っています。

もし目が開かれるなら、彼らはひとりの天使が自分のことばと行いを記録しているのを見ることができません。健康と慎みの法則は犯されています。結婚前の愛の語らいに費される時間の幾分かが結婚生活にも続けられるようなら、結構です。ところが一般に、結婚するとまもなくそうした求婚時代に表わされた熱情は失われてしまいます。

この墮落した時代にあつて真夜中まで、でたらめな時間を費していることから、婚約者両方の破滅を招くことがよくあります。男女が自らを恥ずかしめるようなことをするとき、サタンは大よろこびし、神のみ栄えはけがされます。名誉というよい名は、この夢中という魔力によつて犠牲にされ、このような人々の結婚は、神の是認のもとに式をあげることができません。彼らは情欲に動かされて結婚するのです。結婚の物珍しさがさめると、彼らは自分たちのしたことを認めます。誓約が語られて六カ月過ぎると、彼らの間の感情は変化します。結婚生活を通して、お互に自分のえらんだ伴侶の品性を、もつとよく知るようになります。以前、盲目的に愚かな交際をしていた時には見えなかった欠点を互に発見します。聖壇の前での約束は彼らを一つにしません。せっかちな結婚の結果、神の民と称する人々の間においてさえ、別居や離婚があり、そうして教会の中に大きな乱れが生じます。

## 助言の無視

このような種類のめとり、とつぎはサタンの特別な策略の一つで、彼はその計画においてほとんど毎回成功します。この問題について当事者たちが私のところへ助言を求めに来るたびに私はどう

にもならない痛々しい気持ちを感じさせられます。神が私に語らせられることばを彼らに語っても、彼らは一つ一つ疑問を持ち、自分たちの計画を実行する方がよいのではないかと懇願することが多く、ついには自分たちの考え通りに事をはこんでしまいます。

彼らは自分自身の願いや好みにうち勝つ力を持っていないようです。そして万難を排しても結婚します。彼らはこの問題を祈りのうちに注意深く考慮しようとせず、またすべてを神のみにまかせて神のみたまにみちびかれ支配されようとしません。彼らの目の前には神をおそれる思いがありません。神からの知恵や人の助言がなくても、自分たちにはこの問題がよくわかつているのだと彼らは考えます。

もう手遅れになってしまってから、彼らは自分たちがまちがっていたことや、この世の幸福と魂の救いを危険に落し入れたことに気がつきます。忠告を受け入れさえすれば、心配と不幸の年月を免れたものを、彼らはこの問題について自分たちより他によくわかつている人がいることを認めようともしなかったのです。自分たちの思い通りにやって行こうと決心している者たちに忠告してもそれは無益に終るだけです。こういう人たちは理性と判断力に阻止されても熱情によってその障害を乗り越えてしまいます。

### 真の愛の特徴

愛は天に生じた植物です。愛は不合理でも盲目的でもありません。それは純粹で聖潔です。しかし肉の心の熱情は全然別物です。純粹な愛はすべての計画に神を入れ、神のみたまと完全な調和の

中にありますが、熱情は強情で、せっかちで、不合理で、どんな抑制も問題にせず、自らえらんだ相手を偶像とします。

真の愛を持っている人の態度には神の恩恵があらわれます。慎み、単純、誠実、徳性、信仰といったものが、結婚という結合に向かっての一步一步の歩みにその特徴としてみられます。このように制御されている人は、祈祷会や教会の集会に対する関心を捨ててまで、お互の交際に没頭するようないことをしません。

### 天来のみちびきを求める

結婚を考える前に一日二回祈る習慣のあった人は、結婚への歩みが予期される時には一日四回祈らねばなりません。結婚は、この世においても来世においても、あなた方の一生に影響を及ぼすものです。誠実なクリスチャンなら、神が自分の道を是認なさることがわからなければ、この方面へ自分の計画を進めません。彼は自分でえらばうとしないで、神がえらんでくださるべきだと感じます。キリストはご自分の好きなようになさらなかったのですから、私たちも自分の好きなようにしてはなりません。自分の愛していない人と結婚すべきだと私が言っているように受けとられたくはありません。そうすることは罪です。しかし、空想や感情的性質のおもむくままに破滅に至るようなことがあってはなりません。神は全心全霊、最高の愛情を要求なさいます。

いまの時代の大多数の結婚とその様式は、末の世のしるしの一つとなっています。男も女も、頑固で強情で、神を問題にしません。この厳粛で重大な事柄に、宗教の果すべき立場はないかのよう



に、それはうち捨てられています。しかし真理を信じると告白する者が、真理によってきよめられ、思いと品性において高められるのでなければ、彼らは、真理の要求についてまだ光を受けたことのない罪びとほどにも神の前に恵みを受ける立場にあるとはいわれません。

レビュー・アンド・ヘラルド・一八八八年二月二五日

## 一五五 結婚の責任

自分の作った財産もなく、あるいは親ゆずりの資産もないのに結婚関係にはいる者が大勢います。彼らには財産を作る体力も知力ありません。急いで結婚したり、正しい認識もなしに責任を負ったりするのは、とかく、こういう人に多いのです。彼らは高潔で気高い感情もなく、夫また父親としての義務について、あるいは家族の必要に備えるのにどんなに犠牲を払わねばならないかということについて正しい観念も持っていません。彼らは職務の遂行に適性を欠いているのと同じように家族をふやすことにも適性を欠いていることを示します。……

結婚制度は人類の祝福となるように天によって定められたものです。しかし全般的にそれは非常に悪用され、恐るべき災となつています。たいていの男女は、結婚関係にはいるにあたって、お互に愛し合っているかどうかということだけが、解決すべき唯一の問題であるかのように考えています。しかし、結婚関係にはそれよりももっと大きな責任が負わされていることを認めなければなりません。彼らは自分の子孫が肉体的健康と知的道德的能力とを持つことができるかどうかというこ

とを考慮してみなければなりません。ところが、高い動機と軽々しく見すごしてはならない気高い考慮、すなわち社会は自分たちに要求する権利をもっているということ、また家庭の感化力は社会を向上させもすれば墮落させもするということを考えて行動する人が少ないのです。

ア・ソレムン・アッピール・六三、六四ページ

## 一五六 結婚における良識と自制

クリスチャンと公言する人たちは、この結婚によって神の栄えがあらわれるかどうかという高い見地から注意深く祈りのうちにこの問題を考えてみないうちは結婚関係にはいるべきではありません。次に彼らは結婚関係のあらゆる特権についてその結果を正しく考察し、きよめられた原則をすべての行為の基としなければなりません。

### 先を見る

家族をふやす前に、彼らは子供たちを生むことが神の栄えになるかそれとも神を恥ずかしめることになるかということを考えてみなければなりません。彼らは、結婚の第一歩から結婚生活の一年一年を通じて神の栄えをあらわすように努めなければなりません。彼らは子供のためにどんな用意をすることができるかについて冷静に考慮しなければなりません。彼らは子供を生んで他人に迷惑をかける権利はありません。他人の厄介にならないで家族を養うに足る仕事を持っているでしょう

か。もしそうでなければ、子供を生んで、その子供を十分に世話したり食べさせたり着せたりすることができないで苦しめることは、一つの罪惡を犯すことになります。

### 情欲のとりこ

急速に悪化しているいまの時代に、こうしたことが考えられていません。好色的な情欲は猛威をふるい、その支配下に弱さと悲惨な境遇と死とが生じるにもかかわらず、自制に服しません。女たちは、夫という名の男たち、むしろ動物といった方がよいくらいの男たちの無節制な情欲のために、困難と苦痛と苦難の生活をしいられています。母親たちはほとんどたえまなく子供たちを腕にかかえて、食事や着る物の世話にいろいろやりくりしながら悲惨な生活をどうにかつづけています。このように積み積った不幸がこの世に満ちています。

真実で誠実な、献身的で純粋な愛はほんとうに少ないものです。こういう尊いものはめったにありません。情欲が愛と呼ばれています。多くの女性たちは、結婚関係によって、夫と呼ぶ男が自分を動物的に取り扱うために、美しくやさしい感情を荒されてしまいました。彼女には夫の愛が胸の悪くなるような下劣な性質のものであることがわかったのです。

### 自 制 の 必 要

夫であり父親である男性の動物的な性質が知性と徳性の上に勢力を占めているために、非常に多くの家族が不幸な状態で生活しています。その結果、無氣力と憂うつな気分が感じられることが多

いのですが、その原因は彼ら自身の不当な行為にあるということがなかなかわかりません。人類にとつて益となり神に完全な奉仕をなすために、心を純潔に、からだを健康に保つことが神に対する私たちの厳粛な義務です。

教会へのあかし・第二巻・三八〇、三八一ページ

## 一五七 イサクの模範

神をおそれる者ならだれでも神をおそれない者と結合することは危険です。「ふたりの者がもし約束しなかったなら、一緒に歩くだろうか」(アモス書三ノ三)。結婚関係の幸福と繁栄は当人たちの一致次第です。しかし信者と未信者との間には、趣味、傾向、目的などに根本的な相違があります。彼らはふたりの主に仕えているのであつて、この両者には一致があり得ません。一方の主義がどんなに純潔で正しいものであると、未信者の伴侶の感化は、相手を神から引き離す傾向があります。まだ信仰を持たないうちに結婚し、その後信仰にはいった人は、宗教的信仰についてどんなに大きな相違があろうとも、相手に対して一層忠実でなければならぬ義務があります。しかしたとえ試練や迫害を招こうとも、神の要求をこの世のあらゆる関係よりも上に置かねばなりません。愛と柔和の精神を持つときに、この忠誠によつて未信者の伴侶を神にみちびく感化を及ぼすことができます。しかしクリスチャンが神を敬わない者と結婚することは聖書に禁じられています。主は、「不信者と、つり合わないくびきを共にするな」と命じておられます(コリント第二・六ノ一四)。

イサクは神から高い栄誉を受けて、世の祝福となるべき約束を継ぐ者とされました。しかし四十才になった時、彼は神をおそれる老練なしもべに彼の妻の選択を依頼しようとする父親の意見に従いました。その結婚の結果、聖書に書かれている通り、やさしく美しい幸福な家庭の光景がみられました。「イサクはリベカを天幕につれて行き、リベカをめとって妻とし、彼女を愛した。こうしてイサクは母の死後、慰めを得た」(創世記二四ノ六七)。

イサクの道と、今日の青年たち、ことにクリスチャンと称する青年が歩んでいる道との間には、なんとという相違があることでしょう。若い人たちの中には、愛情をそぐことは自分たちだけが考えればよいことで、神にも両親にも干渉されるべき問題ではないと思っている人が少なくありません。一人前の男女にならないうちから、彼らは親の助けなしに自分だけで選択する能力があると考えています。結婚して数年もすればその誤りははっきりと現われますが、その時にはもうその有害な結果を防ぐにはおそすぎます。せっかくかな選択を命じた知恵と自制心の欠乏が、同様にまた不幸を悪化させ結婚関係はついに耐えがたいくびきとなります。こうして多くの人たちは人生の幸福と、来世の望みをだいにししてしまします。

注意深い思慮と、年とつた経験者の助言を必要とするものがあるとなれば、それは結婚の問題です。助言者として聖書が必要であり、祈りのうちに天来のみちびきを求めねばならないとしたら、それはふたりが一生のきずなにむすばれる第一歩をふみ出す前でなければなりません。

両親は子供たちの将来の幸福について自分たちの責任を見落してはなりません。イサクが父親の意見に従ったことは、彼が従順な生活を愛するように教育されていた結果でした。アブラハムは

子供たちに親の權威を重んじるように要求しましたが、一方彼の日常生活は、その權威が利己的でもなければ独断的な支配でもなく、愛に根ざし、彼らの安寧と幸福とを念頭においたものであることを証明していました。

父親と母親は、若い者の愛情が適当な相手の上に注がれるように、その愛情をみちびく責任が負わされていることを考えなければなりません。親は、子供たちが、純潔で気高くなり、善なるもの、真実なるものにひきつけられるように、自らの教えと模範と神の恩恵の助けによって、彼らの品性を幼い時から形成することに責任を感じなければなりません。類は友を呼ぶとも、朱にまじわれれば赤くなるともいわれています。幼い時から子供の魂に真実と純潔と善を愛する念を植えつけなさい。そうするとき、若い者は同じような特性を持つている者との交際を求めるようになります。……

真の愛は高い聖なる原則であつて、衝動的にめざめたり、きびしい試みに会えばたちまち消滅してしまうような愛とは全然異なつた性質のものです。青年たちは親の家庭において忠実に義務をつくすことによって、将来の自分の家庭のために自らを準備するのです。親の膝下において、自制心を実行し、親切心、礼儀、クリスチャン的同情を表わさねばなりません。こうして心のうちにあたたかい愛が宿ります。このような家庭から出て自分自身の家庭の長となる者は、自分が人生の伴侶としてえらんだ女性の幸福をどうしたら増進することができるかを知っています。そのとき、結婚は愛の終りではなく、愛の始まりとなります。

## 青年への使命

一九五七年二月二〇日 初版発行

著者 イー・ジー・ホワイト

横浜市保土ヶ谷区上川井町一九六六  
発行人 斎 藤 孝

横浜市保土ヶ谷区上川井町一九六六  
印刷者 前 田 忠

版權所有  
転載複製を禁ず  
印刷所 福 音 社  
横浜市保土ヶ谷区上川井町一九六六

横浜市保土ヶ谷区上川井町一九六六  
発行所 福 音 社

振替口座・横浜五九九番  
電話・九五・一三八五番

落丁本・乱丁本はお取りかえいたします

PRINTED IN JAPAN